

(仮称)栗国村教員住宅(南棟Ⅱ)新築工事(建築)

令和5年度

図 面 目 録

※縮尺はA1サイズの主要図面 (A3はA1の1/2)

意匠図面			意匠図面			構造図面・土木図面		
図面番号	図面名称	縮尺	図面番号	図面名称	縮尺	図面番号	図面名称	縮尺
A-01	特記仕様書1	---	A-25	1・2階建具キープラン	1/50	S-01	構造特記仕様書	---
A-02	特記仕様書2	---	A-26	金製建具表	1/50	S-02	鉄筋コンクリート構造 配筋標準図(1)	---
A-03	特記仕様書3	---	A-27	木製建具表	1/50	S-03	鉄筋コンクリート構造 配筋標準図(2)	---
A-04	配置図・案内図	1/150	A-28	雑詳細図1	図示	S-04	鉄筋コンクリート壁式構造 配筋標準図	---
A-05	求積図-1	1/100	A-29	雑詳細図2	図示	S-05	ポーリング位置図・柱状図	---
A-06	求積図-2	1/50	A-30	1階法規チェック図	1/50	S-06	伏図	1/100
A-07	外部・内部仕上表	---	A-31	外構図	1/100	S-07	軸組図(1)	1/100
A-08	1階平面図	1/50	A-32	共通仮設平面図	1/150・250	S-08	軸組図(2)	1/100
A-09	2階平面図	1/50	A-33	ユニットバス参考図1	1/10	S-09	部材リスト	1/30
A-10	R階平面図	1/50	A-34	ユニットバス参考図2	1/10	S-10	架構配筋図(1)	1/30
A-11	断面図	1/50	A-35	ユニットバス参考図3	1/10	S-11	架構配筋図(2)	1/30
A-12	北・西立面図	1/50	A-36	ユニットバス参考図4	---	土-01	計画平面図	1/125
A-13	南・東立面図	1/50	A-37	キッチン参考図1	1/20	土-02	造成平面図	1/100
A-14	平面詳細図-1	1/30	A-38	磁気探査 横断図	1/100	土-03	縦断図面	1/100
A-15	平面詳細図-2	1/30	A-39	磁気探査 詳細図	1/100	土-04	横断図(1)	1/100
A-16	矩計図-1	1/30	A-40	水平探査 平面図	1/100	土-05	横断図面(2)	1/100
A-17	矩計図-2・階段詳細図	1/30	A-41	赤土対策(1)	1/100	土-06	排水溝詳細図	1/10・15
A-18	各階天井伏図	1/50	A-42	赤土対策(2)	1/100	土-07	横断側溝	1/20・30
A-19	展開図-Aタイプ	1/30	A-43	赤土対策(3)	1/100	土-08	擁壁展開図	1/30・50
A-20	展開図-Bタイプ	1/30	A-44	赤土対策(4)	1/100	土-09	L型擁壁割付詳細図	1/60・100
A-21	展開図-Cタイプ-1	1/30				土-10	防護柵詳細図	1/15
A-22	展開図-Cタイプ-2	1/30				土-11	付帯工詳細図	1/10・50・100
A-23	展開図-Dタイプ-1	1/30				土-12	伐開平面図	1/250
A-24	展開図-Dタイプ-2	1/30				土-13	赤土流出対策平面図	1/250

令和2年版	建築工事特記仕様書〔建築工事編〕	沖縄県土木建築部	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項																																																																																																			
1	<p>工事概要</p> <p>(1) 工事名： (仮称) 粟国村教員住宅 (南棟Ⅱ) 新築工事 (建築)</p> <p>(2) 工事場所： 粟国村字東544番地 (他5筆) (地域地区等： 都市計画区域外)</p> <p>(3) 敷地面積： 1,035.83 m²</p> <p>(4) 工事種目 ○新築 ・増築 ・改築</p> <p>ア 建築物</p> <table border="1"> <tr> <td>建築物の名称</td> <td>(仮称) 粟国村教員住宅 (南棟Ⅱ)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>主要用途</td> <td>共同住宅</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>構造及び階数</td> <td>鉄筋コンクリート造、地上2階建て</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>工事種別</td> <td>新築</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>建築面積</td> <td>350.85</td> <td>m²</td> <td>m²</td> </tr> <tr> <td>延べ面積</td> <td>498.52</td> <td>m²</td> <td>m²</td> </tr> </table> <p>イ 工作物及び立木</p> <table border="1"> <tr> <td>工作物等の名称</td> <td></td> </tr> <tr> <td>数量</td> <td></td> </tr> </table> <p>2 本工事の設計時期</p> <p>本工事設計書は、令和5年7月時点で沖縄県土木建築部建築工事積算基準及び公共工事設計労務単価に基づいて作成している。</p> <p>3 建築工事仕様</p> <p>(1) 標準仕様</p> <p>図面及びこの特記仕様に記載されていない事項は、国土交通大臣官房官庁管理課部制定の「公共建築工事標準仕様書 (建築工事編)」[令和4年版] (以下「標準仕様書」という。) による。</p> <p>(2) 特記仕様</p> <p>ア 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。</p> <p>イ 特記事項は「・」に○印の付いたものを適用する。「・」に○印がつかない場合は「※」の付いたものを適用する。「・」と「※」共に○印がついた場合は共に適用する。</p> <p>ウ 項目及び特記事項に記載の() 内表示番号は、標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。</p> <p>エ 特記事項に記載の(参・) は、標準仕様書の参考資料4各都府県参考図の当該項目を示す。</p> <p>4 その他</p> <p>(1) 公共事業労務費調査に対する協力</p> <p>ア 本工事が公共事業労務費調査の対象工事となった場合、調査票等に必要事項を正確に記入し、必要な協力を行わなければならない。また、本工事の完成後においても、同様とする。</p> <p>イ 調査票等を提出した事業所を事後に訪問して行う調査・指導等の対象になった場合、その実施に協力しなければならない。また、本工事の完成後においても、同様とする。</p> <p>ウ 公共事業労務費調査の対象工事となった場合に正確な調査票等の提出が行えるよう、労働基準法等に従って就業規則を作成するとともに、賃金台帳を調製・保存する等、日頃より履行している現場労働者の賃金時間管理を適切に行っておかなければならない。</p> <p>エ 本工事の一部について下請契約を締結する場合には、当該下請工事の受注者 (当該下請工事の一部に係る二次以降の下請負人を含む。) がアからウまでと同様の義務を負う旨を定めなければならない。</p> <p>(2) 暴力団員等による不当介入の排除対策</p> <p>受注者は、当該工事の施工に当たって「沖縄県土木建築部発注工事における暴力団員等による不当介入の排除手続きに関する合意書 (平成19年7月24日)」に基づき次に掲げる事項を遵守しなければならない。なお、違反したことが判明した場合は、指名停止等の措置を行うなど、厳正に対処するものとする。</p> <p>ア 暴力団員等から不当要求を受けた場合は、毅然として拒否し、その旨を速やかに監督員に報告するとともに、所轄の警察署等に被害の届出を行い、捜査に必要な協力を行うこと。</p> <p>イ 暴力団員等から不当要求による被害又は工事妨害を受けた場合は、速やかに監督員に報告するとともに、所轄の警察署等に被害の届出を行うこと。</p> <p>ウ 暴力団員等に対する排除対策を講じたにもかかわらず、工事に遅れが生じるおそれがある場合は、速やかに監督員と工程に関する協議を行うこと。</p> <p>(3) ワンデーレスポンスの実施</p> <p>ア この工事はワンデーレスポンス実施対象工事である。</p> <p>「ワンデーレスポンス」とは、監督員が、受注者からの質問、協議の回答は、基本的に「その日のうち」に回答するよう対応することである。ただし、即回答が困難な場合は、いまだに回答が必要なものを受注者と協議の上、回答期限を設けるなど、何らかの回答が「その日のうち」にできることである。</p> <p>イ 受注者は計画工程表の提出に当たって、作業間の関連把握や工事の進捗状況を把握できる工程管理方法について、監督員と協議を行うこと。</p> <p>ウ 受注者は工事施工中において、問題が発生した場合及び計画工程と実施工程を比較照査し、差異が生じた場合は速やかに文書にて監督員へ報告すること。</p> <p>エ 効果・課題等を把握するためアンケート調査等のフォローアップ調査を実施する場合があるため、協力すること。</p> <p>(4) 工事監理業務の一部委託</p> <p>ア 本工事の工事監理業務 (建築工事監理業務委託契約に基づき、建築士法第2条第8項並びに同法第18条第3項に掲げる工事監理を行う業務をいう。以下同じ。) は、別途委託契約を締結することとしており、本工事の現場代理人等は、当該工事監理業務の履行に協力すること。</p> <p>イ 工事監理業務の受注者が配置した管理技術者、主任担当技術者並びに担当技術者 (以下「管理技術者等」という。) の氏名等は、発注者から通知する。</p> <p>なお、管理技術者等は本工事に関する指示・承諾・協議の権限は有しない。</p> <p>ウ 設計図書において監督員に提出することとなっている書類は、原則として管理技術者等に提出すること。</p> <p>エ 建築士法第23条の2の規程に基づく工事監理に対する報告の書類は、監督員に提出すること。</p> <p>(5) 本工事の請負代金額の変更協議をする場合及び本工事と関連する工事を本工事受注者と随意契約する場合の取扱いについて</p> <p>本工事の請負代金額の変更協議をする場合又は本工事と関連する工事を本工事受注者と随意契約する場合にあつては、変更協議または関連する工事の予定価格の算定は、本工事の請負比率 (元契約額÷元設計額) を変更設計額または関連工事の設計額に乗じた額で行う。</p> <p>(6) 県産資材の優先使用</p> <p>本工事に使用する資材等のうち、沖縄県内で生産、製造され、かつ、規格、品質、価格等が適正である場合はこれを優先して使用するよう努めなければならない。なお、主要建設資材の使用状況を「県産建設資材使用状況報告書」にて報告すること。</p> <p>(7) 下請業者の県内企業優先活用</p> <p>請負業者は、下請契約の相手方を県内企業 (主たる営業所を沖縄県内に有する者。) から選定するように努めなければならない。</p> <p>(8) 不発弾等発見時の処理について</p> <p>本工事において、不発弾等が発見された場合には、警察署 (交番、駐在所) に報告すると共に、監督員を通して関連市町村 (防災主管課)、沖縄県電気室防災危機管理課及び沖縄県土木建築部技術、建設業課に報告すること。また、発見された不発弾等については、警察署または自衛隊より指示があるまでは、触れずにそのままの状態 で保存すること。なお、これについては、下請業者へも周知すること。</p>	建築物の名称	(仮称) 粟国村教員住宅 (南棟Ⅱ)			主要用途	共同住宅			構造及び階数	鉄筋コンクリート造、地上2階建て			工事種別	新築			建築面積	350.85	m ²	m ²	延べ面積	498.52	m ²	m ²	工作物等の名称		数量		<p>令和4年1月改訂版</p> <p>(9) ダンプトラック等による過積載等の防止について</p> <p>ア 工事用資機材等の積載超過がないようするとともに交通安全管理を十分に行うこと。</p> <p>イ 過積載を行っている資材納入者から、資材購入をしないこと。</p> <p>ウ 資材等の過積載を防止するため、資材の購入等に当たっては、資材納入業者等の利益を不当に害することのないようにすること。</p> <p>エ さし枠の装置または物品積載装置の不正改造をしたダンプカーが工事現場へ出入りすることのないようにすること。</p> <p>オ 「土砂等を運搬する大型自動車による交通事故の防止に関する特別措置法」 (以下「法」という。) の目的に鑑み、法第12条に規定する団体等の設立状況を踏まえ、同団体等の加入者の使用を促進すること。</p> <p>カ 下請契約の相手方又は資材納入者を選定するにあつては、交通安全に関する配慮に欠けるもの又は業務に關しダンプトラック等によって悪質かつ重大な事故を発生させたものを排除すること。</p> <p>キ アからカの事につき、下請契約における受注者を指導すること。</p> <p>(10) 不正軽油の使用の禁止等について</p> <p>ア 受注者は、工事の施工にあたり、工事現場で使用し、若しくは使用させる車両 (資機材の搬出入車両を含む。) 又は建設機械等の燃料として、不正軽油 (地方税法第144条の32の規定に違反する燃料をいう。) を使用し、又は使用させてはならない。</p> <p>イ 受注者は、県の税務当局が実施する使用燃料の採取調査に協力しなければならない。</p> <p>(11) 設計図書における資材等への取扱いについて</p> <p>ア 本工事の設計図書及び参考図に示す資材等については、特定企業の製品又は工法を指定するものではない。</p> <p>イ 本工事で使用する資材等については、設計図書及び参考図のうちの品質規格・仕様等で積算しており、その品質規格・仕様等と同品以上の資材を使用すること。なお、使用にあつては監督職員の承諾を得るものとする。</p> <p>ウ 「参考図」は建設工事積算規約第1条に定める設計図書ではなく、発注者の積算の透明性を確保し、入札者の積算、工事費内訳書作成の効率化を図ることを目的に「参考資料」として提示するものである。</p> <p>(12) ガイドライン等の遵守について</p> <p>設計変更等については、契約書18条から24条に記載されているところであるが、その具体的な考え方や手続きについては、「工事積算契約における設計変更ガイドライン (営繕工事編)」 (沖縄県土木建築部) によるものとする。</p> <p>(13) 本工事の予定価格に占める法定福利費概算額について</p> <p>ア 受注者は契約締結後15日以内に監督員を経由して請負代金内訳書を提出し、請負代金内訳書には、工事現場に発生する現場労働者に係る社会保険料 (健康保険、厚生年金保険及び雇用保険をいう。) の内事業主が納付義務を負う保険料 (以降「法定福利費」という。) を明示する。また、明示する法定福利費の算出に当たっては、各専門工事事業単体が作成した標準見積書に照らして作成された法定福利費を内訳明示した下請け企業の見積書の活用等の方法により適正に見積る事が必要であり、「法定福利費を内訳明示した見積書の作成手順」に準拠する等により適正に算出する事。</p> <p>イ 受注者は、受注者から提出された請負代金内訳書に明示された法定福利費と予定価格に占める法定福利費概算額について確認を行い、「一定以上の乖離がある場合」は、受注者に対して説明を求め、場合によっては、建築士法第19条の3に違反するおそれがないか確認します。 【法定福利費を内訳明示した見積書の作成手順 (国土交通省HP)】 http://www.mlit.go.jp/common/001090440.pdf 【法定福利費を内訳明示した見積書の作成手順 (簡易版) (国土交通省HP)】 http://www.mlit.go.jp/common/001203247.pdf 【各団体が作成した標準見積書 (国土交通省HP)】 ホーム>政策・仕事>土地・建設産業>建設産業・不動産業>各団体が作成した標準見積書 http://www.mlit.go.jp/totikensangyo/const/totikensangyo_const_tk2_000082.html</p>	<p>10 施工条件 (1.3.5)</p> <p>施工順序等の制約 ・無し ・有り【・現場説明書による ・図示 ・ 】</p> <p>工事車両の駐車場所： ・図示 ・現場説明書による ・資材、機材置場： ・図示 ・現場説明書による ・建設発土の仮置場： ・図示 ・現場説明書による ・その他の施工条件： ・図示 ・現場説明書による</p> <p>① 施工中の安全確保及び環境保全等 (1.3.7) (1.3.10)</p> <p>(1) 「低騒音型、低振動型建設機械の指定に関する規程」 (平成9年7月31日建設省告示第1536号 最終改正平成13年4月9日 国土交通省告示第487号) による建設機械を使用する。</p> <p>(2) 本工事において以下に示す建設機械を使用する場合は原則として「排出ガス対策型建設機械指定要領 (平成3年10月8日付け建設省総務課第249号最終改正平成22年9月18日付け国総施設第291号)」に基づき指定された排出ガス対策型建設機械を使用するものとする。</p> <p>一般工用建設機械 (ディーゼルエンジン出力7.5~260kW)</p> <p>ア バックホウ イ 車輪式トラクタショベル ウ ブルドーザ エ 発動発電機 オ 空気圧縮機 カ ローラダンプ キ ホイールクレーン</p> <p>国道6路線及び県道7路線における警備業者が交通誘導警備業務を行う場合は、一般又は二級検査合格警備員を配置すること。(平成27年4月9日 沖縄県公安委員会告示第36号)</p> <p>② 交通安全管理 (1.3.8)</p> <p>③ 発生材の処理等 (1.3.11)</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>発生材の種類</td> </tr> <tr> <td>発注者に引き渡すもの</td> <td></td> </tr> <tr> <td>特別管理産業廃棄物の有無及び処理方法</td> <td></td> </tr> <tr> <td>現場において再利用を図るもの</td> <td></td> </tr> </table> <p>(1) 本工事により発生する建設廃棄物のうち、県内の最終処分場に搬入する産業廃棄物は、産業廃棄物の処理に係る税 (沖縄県産業廃棄物税) が課税されるので、適正に処理すること。</p> <p>(2) 受注者は、工事着手前に「建設副産物情報交換システム」(COBRIS)により作成した、「再生資源利用計画書」及び「再生資源利用促進計画書」を監督員に提出しなければならない。また、受注者は、その計画書に従い建設廃棄物が適切に処理されたことを確認し、工事完成時に「建設副産物情報交換システム」(COBRIS)により作成した、「再生資源処理報告書」、「再生資源利用促進報告書」、「再生資源利用促進実施書」を監督員に提出しなければならない。</p> <p>(3) 受注者は、工事で発生した建設廃棄物について、ゆくゆく材の認定を受けた施設又はゆくゆく材の認定を受けていないが、再資源化後にゆくゆく材製造業者へ出荷している施設へ搬出すること。ただし、島内に当該施設がない場合はこの限りではないとする。</p> <p>(4) 本工事における再資源化に要する費用 (運搬費を含む処分費) は、前に掲げる施設のうち、受入条件のうちから運搬費と処分費 (平日受入費用) の合計が最も経済的なものを見込んでいく。したがって、正当な理由がある場合を除き、再資源化に要する費用の変更は行わない。</p> <p>(5) 本工事における再資源化に要する費用 (運搬費を含む処分費) は、前に掲げる施設のうち、受入条件のうちから運搬費と処分費 (平日受入費用) の合計が最も経済的なものを見込んでいく。したがって、正当な理由がある場合を除き、再資源化に要する費用の変更は行わない。</p> <p>(6) アスファルト舗装切断に伴い発生する濁水及び粉体 (以下、廃棄物という。) については、廃棄物吸引機能を有する切断機等により回収するものとする。回収された廃棄物については、関係機関等と協議の上、適正に処理するものとし、必要と認められる経路については変更契約を要するものとする。</p> <p>「適正に処理」とは、「廃棄物処理及び排出に関する法律」に基づき、産業廃棄物の排出事業者 (請負業者) が産業廃棄物の処理を委託する際、適正処理のために必要な廃棄物情報 (成分性状等) を処理業者に提供することが必要である。なお、工事に際して特別な混入物が無ければ、下記HPに記載されている「濁水及び粉体の分析結果」を用いても差し支えない。 http://www.pref.okinawa.lg.jp/site/kanky/seibi/sangyo/asufaruto.html</p> <p>なお、受注者は、廃棄物の処理に係る産業廃棄物管理系 (マニフェスト) について、監督員から請求があった場合は提示しなければならない。</p> <p>イ 発生する濁水 (汚濁) に関しては「アスファルト舗装切断に伴い発生する濁水の取扱基準について (通知) (平成24年3月28日付け技策第1257号)」に基づき、適正に処理すること。</p> <p>ウ 発生する粉体に関しては「アスファルト舗装切断に伴い発生する廃棄物の取扱いについて (通知) (平成25年1月17日付け技策第942号)」に基づき、適正に処理すること。</p>		発生材の種類	発注者に引き渡すもの		特別管理産業廃棄物の有無及び処理方法		現場において再利用を図るもの		<p>④ 主任技術者・監理技術者</p> <p>(1) 工事請負代金額が4,000万円以上 (建築一式工事の場合8,000万円以上) の工事については、主任技術者又は監理技術者を現場ごとに専任で配置する。なお、専任を要しない期間は、次のとおりとする。</p> <p>ア 現場施工に着手するまでの期間</p> <p>【現場施工に着手する日が確定している場合】</p> <p>請負契約の締結の日を翌日から令和 年 月 日までの期間については、主任技術者又は監理技術者の工事現場への専任は要しない。</p> <p>【現場施工に着手する日が確定していない場合】</p> <p>請負契約の締結後、現場施工に着手するまでの期間 (現場事務所の設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまでの期間) については、主任技術者又は監理技術者の工事現場への専任を要しない。なお、工事施工に着手する日については、請負契約の締結後、監督員との打合せにおいて定める。</p> <p>イ 検査終了後の期間</p> <p>工事完成後、検査が終了 (発注者の都合により検査が遅延した場合を除く。) 、事務手続、後片付け等のみが残っている契約工期中の期間については、主任技術者又は監理技術者の工事現場への専任を要しない。</p> <p>(2) 主任技術者及び監理技術者の雇用関係について</p> <p>ア 建築士法第26条の規定により、工事現場に専任で配置する主任技術者又は監理技術者は、受注者と入札執行日以前に3か月以上の雇用関係が成立していなければならない。</p> <p>イ 受注者は、着手前と共に工事現場に専任で配置する主任技術者又は監理技術者の雇用関係を証明する書類 (健康保険被保険者証等の写し) を提出しなければならない。</p> <p>(1) 主任技術者及び監理技術者の資格については、入札公告、現場説明資料等による。なお、入札公告、現場説明資料等で示されていない場合、主任技術者等の資格は、以下による。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1級建築士、又は1級建築施工管理技士のいずれかの資格を有するもの ・1級建築士、2級建築士、1級建築施工管理技士、又は2級建築施工管理技士のいずれかの資格を有するもの <p>ア 監理技術者にあつては、監理技術者資格者証及び監理技術者講習修了証を有する者であること。</p> <p>イ 配置予定技術者にあつては、入札開始日前に3か月以上の直接的かつ恒常的な雇用関係にあること。</p> <p>ウ 配置予定技術者の専任を要しない期間については、設計図書等で確認すること。</p> <p>(2) 発注者へ資格を証明する資料を提出すること。</p>	<p>⑤ 主任技術者等の資格</p> <p>(1) 主任技術者及び監理技術者の資格については、入札公告、現場説明資料等による。なお、入札公告、現場説明資料等で示されていない場合、主任技術者等の資格は、以下による。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1級建築士、又は1級建築施工管理技士のいずれかの資格を有するもの ・1級建築士、2級建築士、1級建築施工管理技士、又は2級建築施工管理技士のいずれかの資格を有するもの <p>ア 監理技術者にあつては、監理技術者資格者証及び監理技術者講習修了証を有する者であること。</p> <p>イ 配置予定技術者にあつては、入札開始日前に3か月以上の直接的かつ恒常的な雇用関係にあること。</p> <p>ウ 配置予定技術者の専任を要しない期間については、設計図書等で確認すること。</p> <p>(2) 発注者へ資格を証明する資料を提出すること。</p>	<p>⑥ 監理技術者の業務 (特別監理技術者の配置)</p> <p>⑦ 工事の保険等</p> <p>(1) 次の工事関係保険に加入すること。なお、保険の加入期間は、原則として工事着工日から工事完了後14日以上とする。</p> <p>【○火災保険 ○建設工事保険 ○組立保険 ○請負業者賠償責任保険】</p> <p>(2) 建設労災補償共済又はこれに準ずる共済、保険に加入し、契約後1月以内に加入を証明する書類を発注者に提出する。</p> <p>(3) 建設業退職金共済制度に加入し、次の項目を遵守すること。</p> <p>ア 掛金収納書を契約後1ヶ月以内に発注者に提出する。</p> <p>イ 当該建設現場に「建設業退職金共済制度適用事業主工事現場」構標を掲示する。</p> <p>ウ 未加入下請業者に対する加入を指導する。</p>	<p>⑧ 工事の記録 (1.2.4)</p> <p>沖縄県土木建築部工事関係標準様式を用いる。</p> <p>⑨ 電気保安技術者 (1.3.3)</p> <p>電気工作物の工事を行う場合、その工事期間において電気保安技術者を配置し、保安業務を行うこと。</p>	<p>⑩ ゆいくる材の使用等</p> <p>(1) 本工事で使用するリサイクル資材は、特定建設資材廃棄物を原材料とするゆくゆく材に限り原則「ゆくゆく材」とする。それ以外を原材料とするゆくゆく材は、事前に使用することとする。ただし、ゆくゆく材がない離島等での工事の場合は、ゆくゆく材以外の再生資材を使用できる。なお、ゆくゆく材以外の再生資材を使用する場合も「ゆくゆく材品質管理要領」に準じて品質管理を実施すること。</p> <p>また、ゆくゆく材の在庫がない等により使用することができない場合は、新材を使用すること。</p> <p>(2) ゆくゆく材の品質管理</p> <p>ア ゆくゆく材の品質管理にあつては、「標準仕様書」等のほかに「ゆくゆく材の品質管理要領」に基づいて行うこと。</p> <p>イ 受注者は、工事請負代金額が500万円以上でゆくゆく材を使用する場合、着手後に一般財団法人沖縄県建設技術センターあてに「ゆくゆく材品質管理依頼」を行い、必要書類の交付を受けなければならない。</p> <p>ウ 受注者は、路盤材のサンプル送付試験のサンプル採取及び現場への資材初回搬入時と敷き均し転圧完了後の現場簡易試験を監督員の立会の下、実施しなければならない。</p> <p>エ 受注者は、路盤材の現場簡易試験が終了した場合、速やかに監督員に試験結果を報告しなければならない。</p> <table border="1"> <tr> <td>適用工事種別</td> <td>技能検定作業</td> </tr> <tr> <td>建築大工、とび、左官、塗装</td> <td>建築大工、とび、左官、塗装</td> </tr> <tr> <td>建具製作、防水施工、内装仕上施工</td> <td>建具製作、防水施工、内装仕上施工</td> </tr> <tr> <td>型枠施工、鉄筋施工、ガラス施工等</td> <td>型枠施工、鉄筋施工、ガラス施工等</td> </tr> </table> <p>(1) 測定方法の基準、測定方法、測定対象及び測定箇所</p> <p>○ 「官庁管轄部におけるホルムアルデヒド等の室内空気中の化学物質の抑制に関する措置について」 (国営整第4号 平成24年4月5日)</p> <p>・ 「学校における室内空気汚染対策について」 (15学健第11号 平成15年7月4日)</p> <table border="1"> <tr> <td>測定対象室</td> <td>測定箇所</td> <td>備考 () 内は測定箇所を示す。</td> </tr> <tr> <td>協議による</td> <td>2カ所</td> <td>1階：1カ所 ・ 2階：1カ所</td> </tr> </table> <p>(2) 測定対象化学物質が濃度指針値を超えた濃度で検出された場合は、引渡は受けない。</p> <p>※完成図 ※保表に関する資料</p> <p>(1) 本工事の完成時の提出図書は、「営繕工事における工事関係図書等に関する効率化要領 (案)」による。</p> <p>(2) 完成図は、(表7.1.1) に次表を含むものとする。</p> <table border="1"> <tr> <td>種類</td> <td>記入内容</td> </tr> <tr> <td>詳細図</td> <td>監督員との協議による</td> </tr> </table> <p>(3) 本工事は電子納品対象工事とする。</p> <p>電子納品とは、調査、設計、工事などの各段階の最終結果を電子データで納品することをいう。ここでいう電子データとは、各種電子納品要領・基準等 (以下、「要領」) に示されたファイルフォーマットに基づいて作成されたものを指す。なお、書面における署名又は押印の取り扱いについては、別途監督職員と協議することとする。</p> <p>(4) 工事完成図書は、「要領」に基づいた電子データとなっているか (一財) 沖縄県建設技術センターにて確認を受け、「電子納品確認登録証」の発行を受けること。</p> <p>業務成果品 (工事完成図書) は、電子媒体 (CD-R等) で (正) 1部提出すること。「要領」で特に記載が無い項目については、監督員と協議の上、電子化のファイルフォーマットを決定すること。なお、「紙」による提出物は、監督員と協議の上、決定すること。</p> <p>(5) 受注者は、完成通知書の添付書類として以下の書類及び電子データを監督員に提出しなければならない。</p> <p>ア ゆくゆく材利用状況報告書</p> <p>イ ゆくゆく材利用確認証明書</p> <p>(6) 建築物等の利用に関する説明書について</p> <p>・ 「建築物等の利用に関する説明書」を作成する。作成の手引き (国土交通省ホームページに掲載) を参考にし、記載事項は監督員との協議により決定する。</p> <p>(7) 受注者は、監督員より「長期保全計画書」の作成の指示があった場合、これを作成し監督員に提出しなければならない。なお、この計画書の内容等は監督員との協議により決定する。</p> <p>本工事では発注者から受注者に対し設計図CADデータを貸与する。なお、貸与されたCADデータを本工事における施工図又は完成図の作成のために以外に使用してはならない。</p> <p>(1) 現場事務所など、情報共有システムが使用可能な以下に示す程度のインターネット環境を整えること。なお、現場条件等により当該要領に不可な場合は、監督員と協議すること。</p> <p>【インターネット環境】：プロードバンド回線 【パソコンOS】：Microsoft Windows 8.1/10 【推奨ブラウザ】：microsoft Edge</p> <p>情報共有システムとは、工事期間中において受注者間でインターネットを介して協議簿、図面等の各種データのやり取りを行い、情報共有サーバーを用いてそれらのデータを共有・交換するものである。</p> <p>(2) 受注者は、沖縄県CALSシステムの利用にあつては、沖縄県とCALS運営会社で定めた使用承諾書を沖縄県CALSシステムを運営している者に交付すること。</p> <p>(3) 沖縄県CALSシステムの使用許諾料を支払ったときは、速やかに監督員に支払いの事実を報告し、確認を受けること (支払いの実業を証明する書類 (銀行振り込みの写し等) を提出)</p> <p>塵落制止用器具は、フルハーネス型とする。ただし、塵落時に着着物が地面に達するおそれがある場合は、脚ペルト型の使用を認めるものとする。また、塵落制止用具の安全と使用に関するガイドライン (平成30年6月22日付け発第0622第2号) を厳守すること。</p> <p>25 「労務費見積り専重宣言」促進モデル工事</p> <p>・ 本工事は、「労務費見積り専重宣言」促進モデル工事の対象工事である。</p> <p>実施については「沖縄県「労務費見積り専重宣言」促進モデル工事試行要領 (案)」及び「「労務費見積り専重宣言」実施要領」 (2018.12.21 日本建設業連合会) 等を参照し実施するものとする。</p> <p>26 建設キャリアアップシステム (OCUS)</p> <p>・ 本工事は、建設キャリアアップシステム (以下「OCUS」という。) の対象工事であり、受注後に「沖縄県建設キャリアアップ (OCUS) 活用試行要領」によりOCUSを活用するか発注者と協議するものとする。実施については、「沖縄県建設キャリアアップシステム (OCUS) 活用工事試行要領」、及び「建設キャリアアップシステム現場運用マニュアル」 (一般財団法人建設業振興基金) 等を参照し実施するものとする。</p>	適用工事種別	技能検定作業	建築大工、とび、左官、塗装	建築大工、とび、左官、塗装	建具製作、防水施工、内装仕上施工	建具製作、防水施工、内装仕上施工	型枠施工、鉄筋施工、ガラス施工等	型枠施工、鉄筋施工、ガラス施工等	測定対象室	測定箇所	備考 () 内は測定箇所を示す。	協議による	2カ所	1階：1カ所 ・ 2階：1カ所	種類	記入内容	詳細図	監督員との協議による	<p>① 工事用水</p> <p>② 工事用電力</p> <p>③ 環境対策について</p> <p>(1) 受注者は、本工事の施工にあたり、「沖縄県赤土等流出防止条例」、「水質汚濁防止法」及びその他環境保全に関する法令等を遵守し、その対策については工事着手前に現場状況の調査、検討を十分に行い、監督員の確認を得た上で施工すること。</p> <p>(2) 赤土等流出防止対策を行う場合、その対策範囲は図示による。</p> <p>④ 足場その他 (2.2.4)</p> <p>・ 「手すり先行工法に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの別紙1「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における2の(2)手すり設置方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行う。</p> <table border="1"> <tr> <td>規模 (m²)</td> <td>別紙による</td> </tr> <tr> <td>床</td> <td>別紙による</td> </tr> <tr> <td>仕上り</td> <td>別紙による</td> </tr> <tr> <td>内装</td> <td>別紙による</td> </tr> <tr> <td>屋根</td> <td>別紙による</td> </tr> <tr> <td>備品の種類及び数量</td> <td>別紙による</td> </tr> </table>	規模 (m ²)	別紙による	床	別紙による	仕上り	別紙による	内装	別紙による	屋根	別紙による	備品の種類及び数量	別紙による	<p>5 監督員事務所 (2.3.1)</p> <table border="1"> <tr> <td>工事名称</td> <td>(仮称) 粟国村教員住宅 (南棟Ⅱ) 新築工事 (建築)</td> <td>工事年度</td> <td>令和5年度</td> </tr> <tr> <td>工事場所</td> <td>粟国村字東544番地 (他5筆)</td> <td>図面名称</td> <td>特記仕様書 (1)</td> </tr> <tr> <td>発注機関</td> <td>粟国村教育委員会</td> <td>縮尺</td> <td>1/non</td> </tr> <tr> <td>摘要</td> <td></td> <td>図面番号</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">検</td> <td>管理建築士</td> <td>設計</td> <td>製</td> </tr> <tr> <td>設計者</td> <td>名 称</td> <td>称 (株) 渡久山設計</td> </tr> <tr> <td>資格者氏名</td> <td>比嘉 義明</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>登録番号</td> <td>一級建築士 大臣登録 第 29568号 一級建築士事務所知事登録 第104-194号</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>所在地</td> <td>浦添市牧港2丁目8番4号</td> <td></td> </tr> </table>	工事名称	(仮称) 粟国村教員住宅 (南棟Ⅱ) 新築工事 (建築)	工事年度	令和5年度	工事場所	粟国村字東544番地 (他5筆)	図面名称	特記仕様書 (1)	発注機関	粟国村教育委員会	縮尺	1/non	摘要		図面番号		検	管理建築士	設計	製	設計者	名 称	称 (株) 渡久山設計	資格者氏名	比嘉 義明			登録番号	一級建築士 大臣登録 第 29568号 一級建築士事務所知事登録 第104-194号			所在地	浦添市牧港2丁目8番4号	
建築物の名称	(仮称) 粟国村教員住宅 (南棟Ⅱ)																																																																																																													
主要用途	共同住宅																																																																																																													
構造及び階数	鉄筋コンクリート造、地上2階建て																																																																																																													
工事種別	新築																																																																																																													
建築面積	350.85	m ²	m ²																																																																																																											
延べ面積	498.52	m ²	m ²																																																																																																											
工作物等の名称																																																																																																														
数量																																																																																																														
	発生材の種類																																																																																																													
発注者に引き渡すもの																																																																																																														
特別管理産業廃棄物の有無及び処理方法																																																																																																														
現場において再利用を図るもの																																																																																																														
適用工事種別	技能検定作業																																																																																																													
建築大工、とび、左官、塗装	建築大工、とび、左官、塗装																																																																																																													
建具製作、防水施工、内装仕上施工	建具製作、防水施工、内装仕上施工																																																																																																													
型枠施工、鉄筋施工、ガラス施工等	型枠施工、鉄筋施工、ガラス施工等																																																																																																													
測定対象室	測定箇所	備考 () 内は測定箇所を示す。																																																																																																												
協議による	2カ所	1階：1カ所 ・ 2階：1カ所																																																																																																												
種類	記入内容																																																																																																													
詳細図	監督員との協議による																																																																																																													
規模 (m ²)	別紙による																																																																																																													
床	別紙による																																																																																																													
仕上り	別紙による																																																																																																													
内装	別紙による																																																																																																													
屋根	別紙による																																																																																																													
備品の種類及び数量	別紙による																																																																																																													
工事名称	(仮称) 粟国村教員住宅 (南棟Ⅱ) 新築工事 (建築)	工事年度	令和5年度																																																																																																											
工事場所	粟国村字東544番地 (他5筆)	図面名称	特記仕様書 (1)																																																																																																											
発注機関	粟国村教育委員会	縮尺	1/non																																																																																																											
摘要		図面番号																																																																																																												
検	管理建築士	設計	製																																																																																																											
	設計者	名 称	称 (株) 渡久山設計																																																																																																											
	資格者氏名	比嘉 義明																																																																																																												
	登録番号	一級建築士 大臣登録 第 29568号 一級建築士事務所知事登録 第104-194号																																																																																																												
	所在地	浦添市牧港2丁目8番4号																																																																																																												

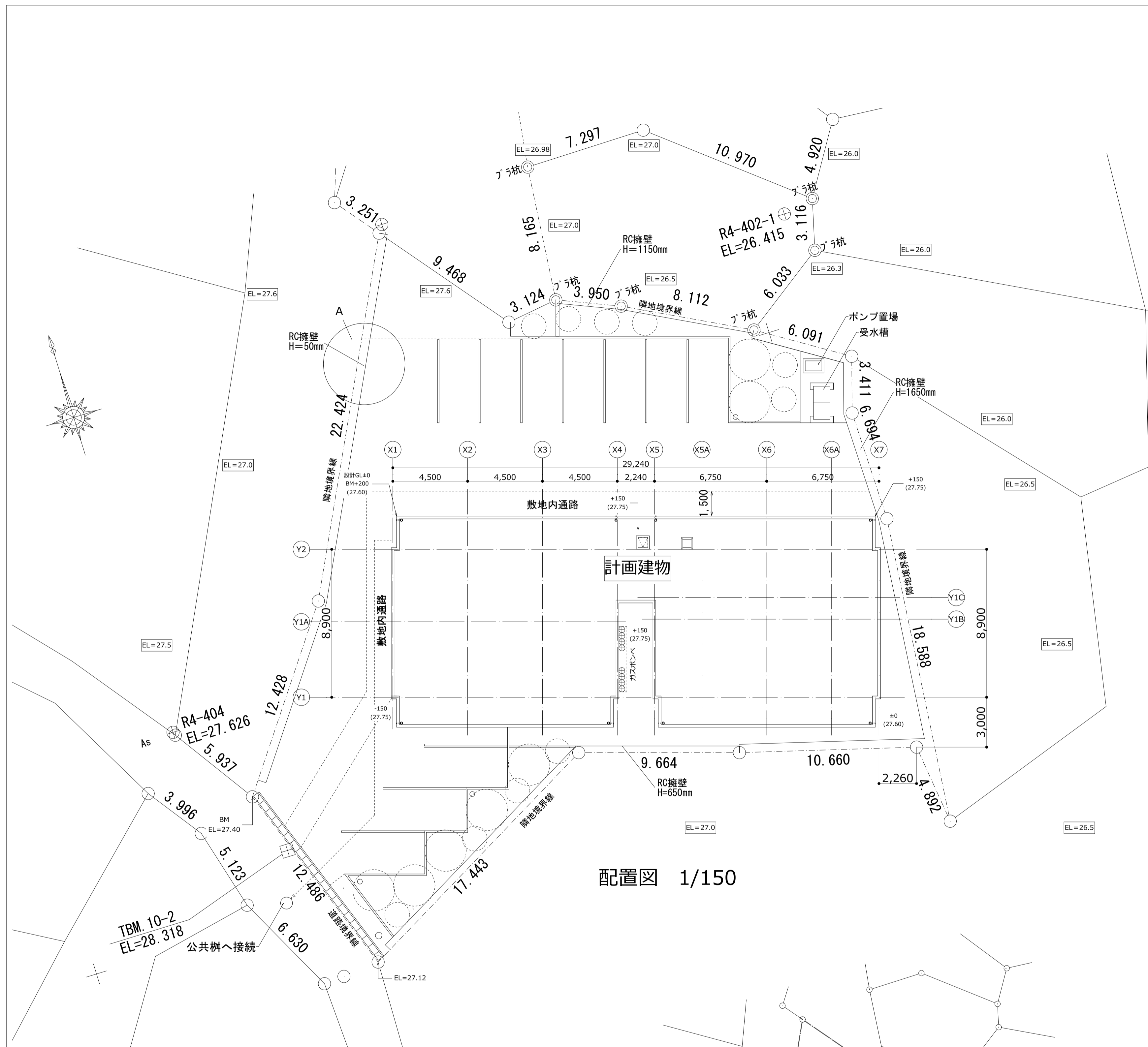
章	項目	特記事項																		
③ 土工	① 埋戻し及び盛土 (表3.2.1)	埋戻し及び盛土の種類：【 ・A種適用場所() ・B種適用場所() ・C種適用場所() ・D種適用場所() 土質() 受浸場所() 】																		
	② 建設発生土の処理 (3.2.5)	建設発生土の処分は次による。 ※構外搬出適切処理 搬出先名称 () 搬出先所在地 () 運搬距離 2.69 km () 搬出先基準 (条件) ()																		
④ 地業工事	2 山留めの撤去 (3.3.3)	・構内堆積 ・構内敷ならし 山留めの存置：【 ・撤去 ・存置 】																		
	1 載荷試験 (4.2.3) (4.2.4)	<table border="1"><thead><tr><th>載荷試験の種類</th><th>試験の方法</th><th>試験の位置</th><th>載荷荷重</th><th>報告書の記載事項</th></tr></thead><tbody><tr><td>杭</td><td>・水平試験 ・鉛直試験</td><td>・図示</td><td>・図示</td><td>・図示</td></tr><tr><td>地盤</td><td>・平板載荷試験</td><td>・図示</td><td>・図示</td><td>・図示</td></tr></tbody></table>	載荷試験の種類	試験の方法	試験の位置	載荷荷重	報告書の記載事項	杭	・水平試験 ・鉛直試験	・図示	・図示	・図示	地盤	・平板載荷試験	・図示	・図示	・図示			
載荷試験の種類	試験の方法	試験の位置	載荷荷重	報告書の記載事項																
杭	・水平試験 ・鉛直試験	・図示	・図示	・図示																
地盤	・平板載荷試験	・図示	・図示	・図示																
⑤ 床下防湿層 (4.6.5)	2 杭地業	(1) 杭地業の種類と工法 (4.3.1) (4.4.1) (4.5.1) <table border="1"><thead><tr><th>杭地業の種類</th><th>工法</th></tr></thead><tbody><tr><td>・既製コンクリート杭地業</td><td>・セメントミルク工法 ・特定埋設杭工法</td></tr><tr><td>・鋼杭地業</td><td>・アースドリル工法 () 工法</td></tr><tr><td>・場所打ちコンクリート杭地業</td><td>・図示</td></tr><tr><td>・マイ独楽構造</td><td>・トップベース工法 (構造図参照)</td></tr></tbody></table>	杭地業の種類	工法	・既製コンクリート杭地業	・セメントミルク工法 ・特定埋設杭工法	・鋼杭地業	・アースドリル工法 () 工法	・場所打ちコンクリート杭地業	・図示	・マイ独楽構造	・トップベース工法 (構造図参照)								
	杭地業の種類	工法																		
・既製コンクリート杭地業	・セメントミルク工法 ・特定埋設杭工法																			
・鋼杭地業	・アースドリル工法 () 工法																			
・場所打ちコンクリート杭地業	・図示																			
・マイ独楽構造	・トップベース工法 (構造図参照)																			
⑥ 鉄筋工事	1 鉄筋 (5.2.1)	(2) 杭の寸法等 (4.2.2) (4.3.3) (4.4.3) (4.5.4) <table border="1"><thead><tr><th>杭径</th><th>杭長(m)</th><th>種類</th><th>継手数</th><th>先端部の形状</th><th>備考</th></tr></thead><tbody><tr><td>試験杭</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>位置は図示による</td></tr><tr><td>本杭</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></tbody></table>	杭径	杭長(m)	種類	継手数	先端部の形状	備考	試験杭					位置は図示による	本杭					
	杭径	杭長(m)	種類	継手数	先端部の形状	備考														
試験杭					位置は図示による															
本杭																				
⑦ コンクリート工事	4 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔 (5.3.5)	(3) 杭の品質等 (4.3.4) ~ (4.3.8) (4.4.4) ~ (4.4.6) 設計支持力 推定支持力の算定方法 水平方向のずれ精度 継手工法 杭頭部の処理																		
	5 各部配筋 (5.3.7)	(4) 支持層 (4.3.4) (4.3.5) (4.5.5) (4.5.6) 支持層の位置 支持層の種類 支持層への掘削深さ 支持層への掘入れ深さ																		
⑧ コンクリート強度	1 コンクリートの強度	(5) 場所打ちコンクリートにおける材料等 ア 鉄筋 (4.5.4) 帯筋 鉄筋の最小かぶり厚さ 備考 【 ・(参-2.2) ・図示 】 イ セメントの種類 【 ・普通ポルトランドセメント ・図示 】 ウ コンクリート 設計基準強度 種類 備考																		
	2 コンクリートの材料	防湿層の範囲は、図示による。(防湿シート立上り高さH300程度)																		
⑨ 防水工事	3 コンクリートの強度試験	<table border="1"><thead><tr><th>種類の記号</th><th>呼び名(mm)</th><th>備考</th></tr></thead><tbody><tr><td>構造図による</td><td></td><td></td></tr></tbody></table>	種類の記号	呼び名(mm)	備考	構造図による														
	種類の記号	呼び名(mm)	備考																	
構造図による																				
6 打継ぎ (6.6.1)	打継ぎ目地の寸法は、図示による。																			

章	項目	特記事項												
⑧ 鉄骨工事	1 鋼材 (7.2.1) (表7.2.1)	<table border="1"><thead><tr><th>記号の種類</th><th>適用箇所</th><th>備考</th></tr></thead><tbody><tr><td></td><td></td><td>形状及び寸法は、図示による。</td></tr></tbody></table>	記号の種類	適用箇所	備考			形状及び寸法は、図示による。						
	記号の種類	適用箇所	備考											
		形状及び寸法は、図示による。												
⑨ コンクリートブロック・ALCパネル・ECCP工事	1 補強コンクリートブロック造 (8.2.2) (8.2.4) (8.2.5)	<table border="1"><thead><tr><th>ブロックの種類及びモジュール呼び寸法</th><th>正味厚さ</th><th>各部の配筋</th></tr></thead><tbody><tr><td></td><td></td><td></td></tr></tbody></table>	ブロックの種類及びモジュール呼び寸法	正味厚さ	各部の配筋									
	ブロックの種類及びモジュール呼び寸法	正味厚さ	各部の配筋											
⑩ 防水の種類	1 防水の種類等 (9.2.2) (9.3.2) (9.4.2) (9.5.2) (9.6.1)	<table border="1"><thead><tr><th>防水の種類</th><th>厚さ</th><th>施工箇所</th></tr></thead><tbody><tr><td>ウレタン塗膜防水 (透熱断熱)</td><td>X-2工法 上塗：シリコン 厚=3mm</td><td>屋根</td></tr></tbody></table>	防水の種類	厚さ	施工箇所	ウレタン塗膜防水 (透熱断熱)	X-2工法 上塗：シリコン 厚=3mm	屋根						
	防水の種類	厚さ	施工箇所											
ウレタン塗膜防水 (透熱断熱)	X-2工法 上塗：シリコン 厚=3mm	屋根												
⑪ タイル工事	1 タイル (11.2.2) (11.3.2)	<table border="1"><thead><tr><th>種類</th><th>径</th><th>縁端距離</th><th>間隔</th><th>ゲージ</th><th>備考</th></tr></thead><tbody><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></tbody></table>	種類	径	縁端距離	間隔	ゲージ	備考						
	種類	径	縁端距離	間隔	ゲージ	備考								
⑫ 木工事	1 木材 (12.1.4) (表12.1.1) (表12.1.2)	<table border="1"><thead><tr><th>パネルの種類</th><th>単位荷重</th><th>厚さ</th><th>長さ</th><th>構法</th></tr></thead><tbody><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></tbody></table>	パネルの種類	単位荷重	厚さ	長さ	構法							
	パネルの種類	単位荷重	厚さ	長さ	構法									
⑬ 屋根及びびとい工事	1 長尺金属屋根 (13.2.2)	<table border="1"><thead><tr><th>施工箇所</th><th>屋根形式</th><th>板及びコイルの種類</th><th>塗膜の耐久性、めっき付着量の種類の表示記号</th><th>厚さ等</th></tr></thead><tbody><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></tbody></table>	施工箇所	屋根形式	板及びコイルの種類	塗膜の耐久性、めっき付着量の種類の表示記号	厚さ等							
	施工箇所	屋根形式	板及びコイルの種類	塗膜の耐久性、めっき付着量の種類の表示記号	厚さ等									
⑭ 金属工事	1 鋁合金成形板張り (14.6.2) (14.6.3)	<table border="1"><thead><tr><th>施工箇所</th><th>樹種</th><th>寸法</th><th>等級又は品質</th><th>含水率</th><th>防虫処理</th></tr></thead><tbody><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></tbody></table>	施工箇所	樹種	寸法	等級又は品質	含水率	防虫処理						
	施工箇所	樹種	寸法	等級又は品質	含水率	防虫処理								
⑮ 手すり及びタラップ	1 手すり (14.8.2) (14.8.3) (表14.2.1)	<table border="1"><thead><tr><th>施工箇所</th><th>樹種</th><th>寸法</th><th>等級又は品質</th><th>含水率</th><th>化粧薄板の厚さ</th></tr></thead><tbody><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></tbody></table>	施工箇所	樹種	寸法	等級又は品質	含水率	化粧薄板の厚さ						
	施工箇所	樹種	寸法	等級又は品質	含水率	化粧薄板の厚さ								
⑯ 工事名称	1 手すり (14.8.2) (14.8.3) (表14.2.1)	<table border="1"><thead><tr><th>施工箇所</th><th>樹種</th><th>寸法</th><th>等級又は品質</th><th>含水率</th><th>化粧薄板の厚さ</th></tr></thead><tbody><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></tbody></table>	施工箇所	樹種	寸法	等級又は品質	含水率	化粧薄板の厚さ						
	施工箇所	樹種	寸法	等級又は品質	含水率	化粧薄板の厚さ								
⑰ 工事場所	1 手すり (14.8.2) (14.8.3) (表14.2.1)	<table border="1"><thead><tr><th>施工箇所</th><th>樹種</th><th>寸法</th><th>等級又は品質</th><th>含水率</th><th>化粧薄板の厚さ</th></tr></thead><tbody><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></tbody></table>	施工箇所	樹種	寸法	等級又は品質	含水率	化粧薄板の厚さ						
	施工箇所	樹種	寸法	等級又は品質	含水率	化粧薄板の厚さ								
⑱ 発注機関	1 手すり (14.8.2) (14.8.3) (表14.2.1)	<table border="1"><thead><tr><th>施工箇所</th><th>樹種</th><th>寸法</th><th>等級又は品質</th><th>含水率</th><th>化粧薄板の厚さ</th></tr></thead><tbody><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></tbody></table>	施工箇所	樹種	寸法	等級又は品質	含水率	化粧薄板の厚さ						
	施工箇所	樹種	寸法	等級又は品質	含水率	化粧薄板の厚さ								
⑳ 概要	1 手すり (14.8.2) (14.8.3) (表14.2.1)	<table border="1"><thead><tr><th>施工箇所</th><th>樹種</th><th>寸法</th><th>等級又は品質</th><th>含水率</th><th>化粧薄板の厚さ</th></tr></thead><tbody><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></tbody></table>	施工箇所	樹種	寸法	等級又は品質	含水率	化粧薄板の厚さ						
	施工箇所	樹種	寸法	等級又は品質	含水率	化粧薄板の厚さ								
㉑ 検印	1 手すり (14.8.2) (14.8.3) (表14.2.1)	<table border="1"><thead><tr><th>施工箇所</th><th>樹種</th><th>寸法</th><th>等級又は品質</th><th>含水率</th><th>化粧薄板の厚さ</th></tr></thead><tbody><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></tbody></table>	施工箇所	樹種	寸法	等級又は品質	含水率	化粧薄板の厚さ						
	施工箇所	樹種	寸法	等級又は品質	含水率	化粧薄板の厚さ								

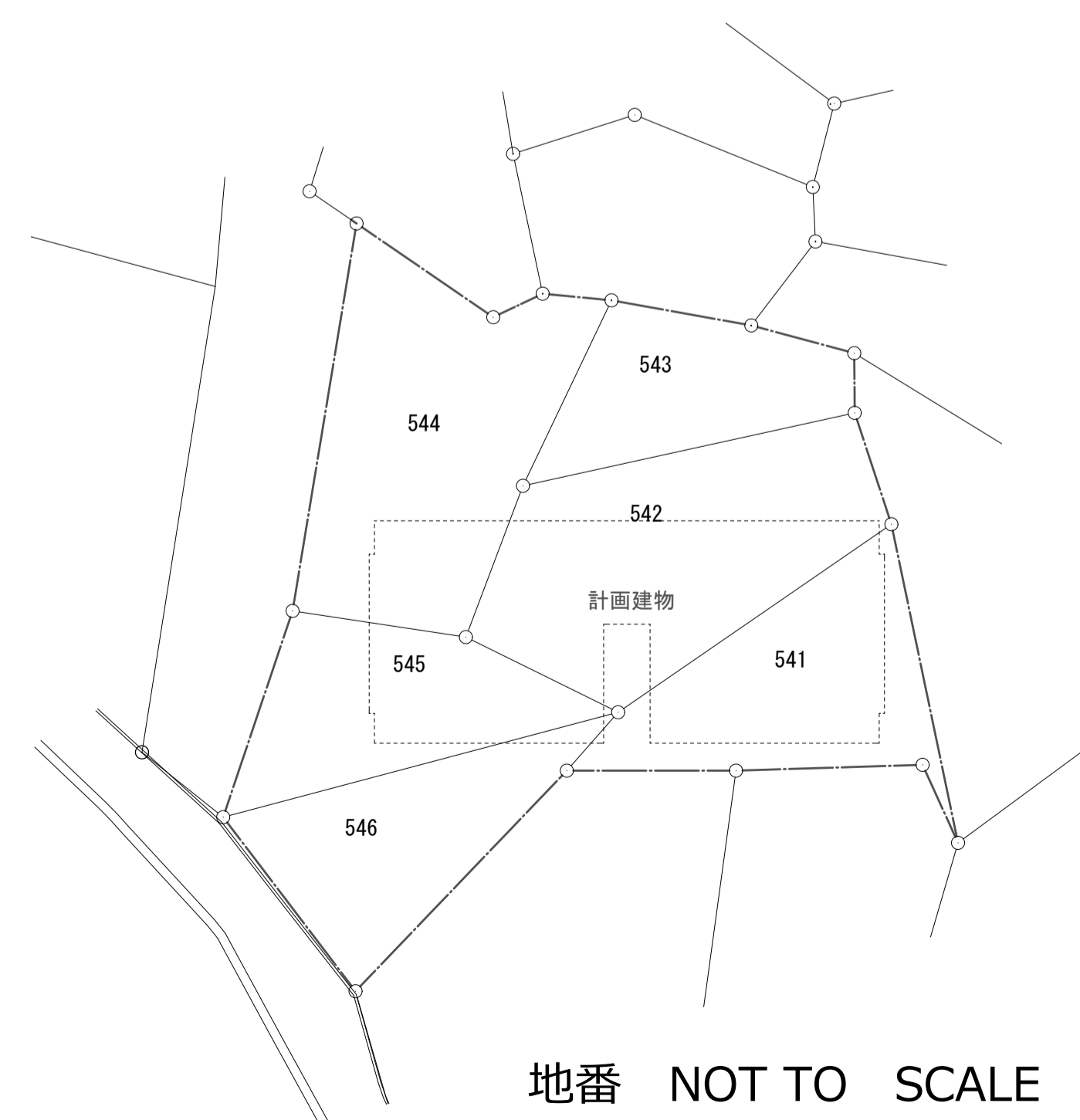
章	項目	特記事項												
① 軽量コンクリート	8 軽量コンクリート	<table border="1"><thead><tr><th>施工部位</th><th>種類</th><th>気乾単位容積質量</th></tr></thead><tbody><tr><td></td><td>・1種 ・2種</td><td></td></tr><tr><td></td><td>・1種 ・2種</td><td></td></tr></tbody></table>	施工部位	種類	気乾単位容積質量		・1種 ・2種			・1種 ・2種				
	施工部位	種類	気乾単位容積質量											
	・1種 ・2種													
	・1種 ・2種													
② シーリング (9.7.2) (9.7.3) (9.7.5) (16.14.5) (17.3.2)	9 暑中コンクリート	暑中コンクリートの適用は【 那覇市 】の年平均気温の年平均値が25℃を超える【 6月2日 】から【 10月1日 】までとする。 【注】適用する場合は、気象庁より年平均気温の年平均値を確認し、【 】を記載すること。												
	10 品質確保	・レディーミクストコンクリートの品質確保については、「レディーミクストコンクリートの品質確保について」(平成15年11月10日付け国営建第95号)及び「レディーミクストコンクリートの品質確保について」(平成15年11月16日付け国営技第71号)を適用する。 ※構造図参照												
③ 保証	1 鋼材 (7.2.1) (表7.2.1)	<table border="1"><thead><tr><th>記号の種類</th><th>適用箇所</th><th>備考</th></tr></thead><tbody><tr><td></td><td></td><td>形状及び寸法は、図示による。</td></tr></tbody></table>	記号の種類	適用箇所	備考			形状及び寸法は、図示による。						
	記号の種類	適用箇所	備考											
		形状及び寸法は、図示による。												
④ 保証	2 高力ボルト (7.2.2) (7.3.2) (7.4.2) (7.4.7)	<table border="1"><thead><tr><th>種類</th><th>径</th><th>縁端距離</th><th>間隔</th><th>ゲージ</th><th>備考</th></tr></thead><tbody><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></tbody></table>	種類	径	縁端距離	間隔	ゲージ	備考						
	種類	径	縁端距離	間隔	ゲージ	備考								
⑤ 保証	3 普通ボルト (7.2.3) (7.3.2)	すべり係数試験：【 ・実施する ・実施しない 】 試験の方法、試験片の摩擦面の処理：【 ・図示 ・ 】												
	4 アンカーボルト (7.2.4) (7.3.2) (7.10.3) (表7.10.1)	<table border="1"><thead><tr><th>径</th><th>縁端距離</th><th>間隔</th><th>ゲージ</th><th>備考</th></tr></thead><tbody><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></tbody></table>	径	縁端距離	間隔	ゲージ	備考							
径	縁端距離	間隔	ゲージ	備考										
⑥ 保証	5 デッキプレート (7.2.7) (7.7.8)	・構造用アンカーボルト <table border="1"><thead><tr><th>種類</th><th>縁端距離</th><th>間隔</th><th>ゲージ</th><th>形状及び寸法</th><th>保持及び埋込み工法</th></tr></thead><tbody><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></tbody></table>	種類	縁端距離	間隔	ゲージ	形状及び寸法	保持及び埋込み工法						
	種類	縁端距離	間隔	ゲージ	形状及び寸法	保持及び埋込み工法								
⑦ 保証	6 スタッド (7.2.8)	・建方用アンカーボルト <table border="1"><thead><tr><th>種類</th><th>縁端距離</th><th>間隔</th><th>ゲージ</th><th>形状及び寸法</th><th>保持及び埋込み工法</th></tr></thead><tbody><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></tbody></table>	種類	縁端距離	間隔	ゲージ	形状及び寸法	保持及び埋込み工法						
	種類	縁端距離	間隔	ゲージ	形状及び寸法	保持及び埋込み工法								
⑧ 保証	7 柱底均しモルタル (7.2.9)	<table border="1"><thead><tr><th>施工部位</th><th>材質</th><th>形状</th><th>寸法</th><th>備考</th></tr></thead><tbody><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></tbody></table>	施工部位	材質	形状	寸法	備考							
	施工部位	材質	形状	寸法	備考									
⑨ 保証	8 材料試験等 (7.2.10)	引張りを受ける材料の試験等： ・実施する【 ・図示 () 】												
	9 仮組 (7.3.10)	仮組の実施：【 ・実施する ・実施しない 】												
⑩ 保証	10 溶接 (7.6.3) (7.6.4) (7.6.7) (7.6.12)	<table border="1"><thead><tr><th>開先の形状</th><th>エンドタブの有・無及び適用箇所</th><th>スラップの形状</th><th>溶接部の試験</th></tr></thead><tbody><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></tbody></table>	開先の形状	エンドタブの有・無及び適用箇所	スラップの形状	溶接部の試験								
	開先の形状	エンドタブの有・無及び適用箇所	スラップの形状	溶接部の試験										
⑪ 保証	11 塗料の種類 (7.8.4) (表7.8.3.1)	錆止め塗料の種類：【 ・A種 ・B種 】												
	12 耐火被覆の種類及び性能 (7.9.2) (7.9.3)	<table border="1"><thead><tr><th>種類</th><th>所要性能及び概要箇所</th></tr></thead><tbody><tr><td></td><td></td></tr></tbody></table>	種類	所要性能及び概要箇所										
種類	所要性能及び概要箇所													
⑫ 保証	11 その他 (7.11.2) (7.12.5)	(1) 軽量鉄鋼構造におけるボルトの接合方法： (2) 溶融亜鉛めっき高力ボルトを使用する場合の摩擦面の処理： 【 ・プラスト処理 ・プラスト以外の特別な処理方法及びすべり耐力等の確認方法： 】												
	1 補強コンクリートブロック造 (8.2.2) (8.2.4) (8.2.5)	<table border="1"><thead><tr><th>ブロックの種類及びモジュール呼び寸法</th><th>正味厚さ</th><th>各部の配筋</th></tr></thead><tbody><tr><td></td><td></td><td></td></tr></tbody></table>	ブロックの種類及びモジュール呼び寸法	正味厚さ	各部の配筋									
ブロックの種類及びモジュール呼び寸法	正味厚さ	各部の配筋												
⑬ 保証	2 コンクリートブロック構壁及び欄 (8.3.2) ~ (8.3.4)	<table border="1"><thead><tr><th>ブロックの種類及びモジュール呼び寸法</th><th>正味厚さ</th><th>各部の配筋</th></tr></thead><tbody><tr><td></td><td></td><td></td></tr></tbody></table>	ブロックの種類及びモジュール呼び寸法	正味厚さ	各部の配筋									
	ブロックの種類及びモジュール呼び寸法	正味厚さ	各部の配筋											
⑭ 保証	3 ALCパネル (8.4.2) ~ (8.4.5) (表8.4.2) (表8.4.3)	塙の場合の化粧ブロックの有無：【 ・有り ・無し 】												
	4 押出成形セメント板 (ECP) (8.5.2) ~ (8.5.4) (表8.5.1) (表8.5.2)	(1) パネルの種類等 <table border="1"><thead><tr><th>パネルの種類</th><th>単位荷重</th><th>厚さ</th><th>長さ</th><th>構法</th></tr></thead><tbody><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></tbody></table>	パネルの種類	単位荷重	厚さ	長さ	構法							
パネルの種類	単位荷重	厚さ	長さ	構法										
⑮ 保証	5 ライニングブロック (配管ブロック)	(2) 床パネルの耐火性能：【 ・1時間 ・2時間 】												
	6 有孔ブロック (目隠し壁)	(3) 外壁パネル構法の場合の伸縮調整目地の目地幅： 【 ・図示 ・ () mm 】												
⑯ 保証	1 防水の種類 (9.2.2) (9.3.2) (9.4.2) (9.5.2) (9.6.1)	(4) 耐火目地材の適用：【 ・適用する ・適用しない 】												
	2 防水層の種類 (9.2.3) (9.3.3) (9.4.3) (9.5.3) (9.6.3)	<table border="1"><thead><tr><th>パネルの種類</th><th>表面形状</th><th>厚さ</th><th>幅</th><th>取付工法</th></tr></thead><tbody><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></tbody></table>	パネルの種類	表面形状	厚さ	幅	取付工法							
パネルの種類	表面形状	厚さ	幅	取付工法										
⑰ 保証	1 防水の種類等 (9.2.2) (9.3.2) (9.4.2) (9.5.2) (9.6.1)	<table border="1"><thead><tr><th>防水の種類</th><th>厚さ</th><th>施工箇所</th></tr></thead><tbody><tr><td>ウレタン塗膜防水 (透熱断熱)</td><td>X-2工法 上塗：シリコン 厚=3mm</td><td>屋根</td></tr></tbody></table>	防水の種類	厚さ	施工箇所	ウレタン塗膜防水 (透熱断熱)	X-2工法 上塗：シリコン 厚=3mm	屋根						
	防水の種類	厚さ	施工箇所											
ウレタン塗膜防水 (透熱断熱)	X-2工法 上塗：シリコン 厚=3mm	屋根												
⑱ 保証	2 防水層の種類 (9.2.3) (9.3.3) (9.4.3) (9.5.3) (9.6.3)	<table border="1"><thead><tr><th>防水層の種類</th><th>工法</th><th>備考</th></tr></thead><tbody><tr><td></td><td></td><td></td></tr></tbody></table>	防水層の種類	工法	備考									
	防水層の種類	工法	備考											
⑳ 保証	1 防水の種類等 (9.2.2) (9.3.2) (9.4.2) (9.5.2) (9.6.1)	(表9.2.3) ~ (表9.2.9) (表9.3.1) ~ (表9.3.3) (表9.4.1) ~ (表9.4.3) (表9.5.1) (表9.5.2) (表9.6.2)												
	2 防水層の種類 (9.2.3) (9.3.3) (9.4.3) (9.5.3) (9.6.3)													

章	項目	特記事項																					
① 土壌の防蟻処理	(1) 施工箇所：「防蟻施工標準仕様書」(公益社団法人日本しろあり対策協会発行) I 新築建築物しるあり予防処理標準仕様書 4 処理の箇所 に準ずることとし、建築物の外周処理を含む。																						
	(2) 処理薬剤：(公社)日本しろあり対策協会又は(公社)日本木材保存協会の認定品とする。																						
② 防蟻・防蟻・防虫処理 (12.3.1) (12.3.2)	(3) 処理方法：「防蟻施工標準仕様書」 I 新築建築物しるあり予防処理標準仕様書 3 処理の方法 に準ずる。また、土間コンクリートを打設する部分には、薬剤処理後、厚さ0.15mmポリエチレンフィルム敷きを行う。	木材処理 (防蟻・防虫) (1) 施工箇所：合板、集成材等を除く全ての木材 (2) 処理方法：工場における加圧式とし、十分に乾燥を行う。ただし、現場における加工が生じた場合には、加工した箇所に対し、現場にて木材保存剤を塗布する。 (3) 性能区分：性能区分は次による。ただし、監督員の指示を受けた部材については、その指示に従うものとする。 ア 造作材にラワン材等広葉樹を使用する場合は、JASの保存処理K1+保存処理K3とする。 イ 構造材、下地材については、JASの保存処理K3とする。																					
	(4) 施工 ・下地の処理方法等：()																						
③ 防蟻・防蟻・防虫処理 (12.3.1) (12.3.2)	<table border="1"><thead><tr><th>シーリング材の種類</th><th>施工箇所</th><th>試験等</th></tr></thead><tbody><tr><td>PU-2</td><td>打継目地</td><td>※簡易接着性試験</td></tr><tr><td>MS-2</td><td>建具廻り</td><td>※簡易接着性試験</td></tr></tbody></table>	シーリング材の種類	施工箇所	試験等	PU-2	打継目地	※簡易接着性試験	MS-2	建具廻り	※簡易接着性試験													
	シーリング材の種類	施工箇所	試験等																				
PU-2	打継目地	※簡易接着性試験																					
MS-2	建具廻り	※簡易接着性試験																					
④ 防蟻処理、防虫処理の施工及び保証	※シーリング材条件：ノンブリージング 可塑剤フリー低モジュラス																						
	(1) 元請業者、施工業者、製造所の三者連署による保証書を監督員に提出する。 (2) 保証期間は、工事完成後【 10 】年間とする。 ただし、アスファルト防水は【 】年間とする。																						
⑤ 防蟻・防蟻・防虫処理 (12.3.1) (12.3.2)	(1) 天然石 <table border="1"><thead><tr><th>施工箇所</th><th>種類</th><th>表面仕上げの種類</th></tr></thead><tbody><tr><td>各住戸/玄関：より框</td><td>ミカゲ石</td><td>本磨き+テーパー</td></tr></tbody></table>	施工箇所	種類	表面仕上げの種類	各住戸/玄関：より框	ミカゲ石	本磨き+テーパー																
	施工箇所	種類	表面仕上げの種類																				
各住戸/玄関：より框	ミカゲ石	本磨き+テーパー																					
⑥ 防蟻・防蟻・防虫処理 (12.3.1) (12.3.2)	(2) テラゾ <table border="1"><thead><tr><th>施工箇所</th><th>種石の種類・大きさ</th><th>形状及び寸法</th><th>表面仕上げの種類</th></tr></thead><tbody><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></tbody></table>	施工箇所	種石の種類・大きさ	形状及び寸法	表面仕上げの種類																		
	施工箇所	種石の種類・大きさ	形状及び寸法	表面仕上げの種類																			
⑦ 防蟻・防蟻・防虫処理 (12.3.1) (12.3.2)	(1) 工法、加工等 <table border="1"><thead><tr><th>工法</th><th>厚さ</th><th>石裏面処理</th><th>裏打ち処理</th><th>備考</th></tr></thead><tbody><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></tbody></table>	工法	厚さ	石裏面処理	裏打ち処理	備考																	
	工法	厚さ	石裏面処理	裏打ち処理	備考																		
⑧ 防蟻・防蟻・防虫処理 (12.3.1) (12.3.2)	(2) 乾式工法方式：【 ・スライド方式 ・ロッキング方式 】																						
	(3) あと施工アンカーの材質及び寸法： (4) 外壁湿式工法に使用するドレンパイプの材質：																						
⑨ 防蟻・防蟻・防虫処理 (12.3.1) (12.3.2)	<table border="1"><thead><tr><th>厚さ</th><th>石裏面処理</th><th>目地幅</th><th>備考</th></tr></thead><tbody><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></tbody></table>	厚さ	石裏面処理	目地幅	備考																		
	厚さ	石裏面処理	目地幅	備考																			
⑩ 防蟻・防蟻・防虫処理 (12.3.1) (12.3.2)	<table border="1"><thead><tr><th>施工箇所</th><th>工法</th><th>石材の厚さ</th><th>石裏面処理</th><th>裏打ち処理</th><th>備考</th></tr></thead><tbody><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></tbody></table>	施工箇所	工法	石材の厚さ	石裏面処理	裏打ち処理	備考																
	施工箇所	工法	石材の厚さ	石裏面処理	裏打ち処理	備考																	
⑪ 防蟻・防蟻・防虫処理 (12.3.1) (12.3.2)	(1) タイルの種類 <table border="1"><thead><tr><th>施工箇所</th><th>形状・寸法</th><th>うわぐすり</th><th>吸水率</th><th>役物</th><th>色</th><th>耐滑り性</th></tr></thead><tbody><tr><td>玄関</td><td>150角</td><td>施釉</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>階段/段鼻</td><td>150×60</td><td>施釉</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></tbody></table>	施工箇所	形状・寸法	うわぐすり	吸水率	役物	色	耐滑り性	玄関	150角	施釉					階段/段鼻	150×60	施釉					
	施工箇所	形状・寸法	うわぐすり	吸水率	役物	色	耐滑り性																
玄関	150角	施釉																					
階段/段鼻	150×60	施釉																					
⑫ 防蟻・防蟻・防虫処理 (12.3.1) (12.3.2)	(2) タイルの試験張り：【 ・行う ○行わない 】																						
	(3) タイルの見本焼き：【 ・行う ○行わない 】																						
⑬ 防蟻・防蟻・防虫処理 (12.3.1) (12.3.2)	壁タイル張りの工法等 <table border="1"><thead><tr><th>タイルの種類</th><th>大きさ</th><th>工法</th><th>張付け材料の種類、塗厚等</th></tr></thead><tbody><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></tbody></table>	タイルの種類	大きさ	工法	張付け材料の種類、塗厚等																		
	タイルの種類	大きさ	工法	張付け材料の種類、塗厚等																			
⑭ 防蟻・防蟻・防虫処理 (12.3.1) (12.3.2)	モルタル塗りを行うコンクリート素地面の処理： 【 ・MCR工法 ・目荒らし工法 】																						
	① 木材 (12.1.4) (表12.1.1) (表12.1.2)	(1) 見え掛り面の表面仕上げの程度 <table border="1"><thead><tr><th>施工箇所</th><th>種類</th><th>備考</th></tr></thead><tbody><tr><td></td><td>・A種 ○B種 ・C種 ・H-種</td><td></td></tr><tr><td></td><td>・A種 ・B種 ・C種 ・H-種</td><td></td></tr></tbody></table>	施工箇所	種類	備考		・A種 ○B種 ・C種 ・H-種			・A種 ・B種 ・C種 ・H-種													
施工箇所	種類	備考																					
	・A種 ○B種 ・C種 ・H-種																						
	・A種 ・B種 ・C種 ・H-種																						
⑮ 防蟻・防蟻・防虫処理 (12.3.1) (12.3.2)	(2) 木材(下地材)の含水率： ・A種 ・B種 木材(造作材)の含水率： ・A種 ・B種																						
	(3) 製材 【 ・「製材の日本農林規格」による ・「製材の日本農林規格」以外による 】 【 ・下地用針葉樹製材 ・造作用針葉樹製材 ・広葉樹製材 ・ 】																						
⑯ 防蟻・防蟻・防虫処理 (12.3.1) (12.3.2)	<table border="1"><thead><tr><th>施工箇所</th><th>樹種</th><th>寸法</th><th>等級又は品質</th><th>含水率</th><th>防虫処理</th></tr></thead><tbody><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></tbody></table>	施工箇所	樹種	寸法	等級又は品質	含水率	防虫処理																
	施工箇所	樹種	寸法	等級又は品質	含水率	防虫処理																	
⑰ 防蟻・防蟻・防虫処理 (12.3.1) (12.3.2)	(4) 造作用集成材 【 ・「集成材の日本農林規格」による ・「集成材の日本農林規格」以外による 】 【 ・造作用集成材 ・化粧ばり造作用集成材 ・化粧ばり構造用集成材 ・ 】																						
	<table border="1"><thead><tr><th>施工箇所</th><th>樹種</th><th>寸法</th><th>等級又は品質</th><th>含水率</th><th>化粧薄板の厚さ</th></tr></thead><tbody><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></tbody></table>	施工箇所	樹種	寸法	等級又は品質	含水率	化粧薄板の厚さ																
施工箇所	樹種	寸法	等級又は品質	含水率	化粧薄板の厚さ																		
⑱ 防蟻・防蟻・防虫処理 (12.3.1) (12.3.2)	(5) 造作用単板積層材 【 ・「単板積層材の日本農林規格」による ・「単板積層材の日本農林規格」以外による 】																						
	<table border="1"><thead><tr><th>施工箇所</th><th>厚さ</th><th>表面の品質</th><th>含水率</th><th>防虫処理</th></tr></thead><tbody><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></tbody></table>	施工箇所	厚さ	表面の品質	含水率	防虫処理																	
施工箇所	厚さ	表面の品質	含水率	防虫処理																			
⑳ 防蟻・防蟻・防虫処理 (12.3.1) (12.3.2)	(6) 合板等【 ・普通合板 ・構造用合板 】 <table border="1"><thead><tr><th>施工箇所</th><th>樹種</th><th>厚さ品質、等級等</th><th>接着の程度</th><th>防虫・強度等</th></tr></thead><tbody><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></tbody></table>	施工箇所	樹種	厚さ品質、等級等	接着の程度	防虫・強度等																	
	施工箇所	樹種	厚さ品質、等級等	接着の程度	防虫・強度等																		
㉑ 防蟻・防蟻・防虫処理 (12.3.1) (12.3.2)	(7) パーティクルボード <table border="1"><thead><tr><th>施工箇所</th><th>厚さ</th><th>表裏面の状態</th><th>曲げ強さ</th><th>接着剤</th><th>難燃性</th></tr></thead><tbody><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></tbody></table>	施工箇所	厚さ	表裏面の状態	曲げ強さ	接着剤	難燃性																
	施工箇所	厚さ	表裏面の状態	曲げ強さ	接着剤	難燃性																	
㉒ 防蟻・防蟻・防虫処理 (12.3.1) (12.3.2)	(8) 構造用パネル <table border="1"><thead><tr><th>施工箇所</th><th>厚さ</th><th>等級</th></tr></thead><tbody><tr><td></td><td></td><td></td></tr></tbody></table>	施工箇所	厚さ	等級																			
	施工箇所	厚さ	等級																				
㉓ 防蟻・防蟻・防虫処理 (12.3.1) (12.3.2)	工事名称 (仮称) 栗国村教員住宅 (兩棟Ⅱ) 新築工事 (建築)	工事年度 令和5年度																					
	工事場所 栗国村字東544番地 (他5筆)	図面名称 特記仕様書 (2)																					
㉔ 防蟻・防蟻・防虫処理 (12.3.1) (12.3.2)	発注機関 栗国村教育委員会	縮尺 1/non																					
	概要	図面番号 A-02																					
㉕ 防蟻・防蟻・防虫処理 (12.3.1) (12.3.2)	検印	設計者 名称 (株) 渡久山設計 資格者氏名 比嘉 義明 登録番号 一級建築士 大臣登録 第 25958号 二級建築士 事務所知事登録 第104-195号 所在地 浦添市牧港2丁目8番4号																					

章	項	目	特	記	事	項	章	項	目	特	記	事	項	章	項	目	特	記	事	項																																																																																					
15	左官工事	1	ラス系下地 (15.2.4)	(1) 種類：・通気工法（・二重下地 ・単層下地 ） ・直貼り工法（ ・フタ材下地 ・シート材下地 ） ・外断熱工法で断熱材の外側に副縁を施工する形式の通気工法を行う場合 (2) 建築基準法に基づく耐力壁、防火構造、準耐火等の指定がある場合の下地の仕様			16	建具工事	16	木製建具 (16.7.2) (16.7.4)	(1) かまち戸 かまちの樹種：、鏡板の樹種： (2) ふすま 上張りの種類：、縁の仕上げ：			17	内装工事	19	内装工事	2	カーベット敷き (19.3.2) (19.3.3) (表19.3.1) (表19.3.2)	<table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>カーベットの種類・種別</th> <th>厚さ</th> <th>パイル形状等</th> <th>工法</th> <th>工法</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・グリッパ</td> <td>・全面接着</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・グリッパ</td> <td>・全面接着</td> </tr> </table>	施工箇所	カーベットの種類・種別	厚さ	パイル形状等	工法	工法					・グリッパ	・全面接着					・グリッパ	・全面接着	20	排水工事	2	せつこうボード その他のボード下地 (15.2.5)						21	排水工事	3	合成樹脂塗床 (19.4.3)	(1) 帯電性の適用 【 ・有り ・無し 】 見切り、押さえ金物の材質、種類及び形状は図示による。 エポキシ樹脂塗床の仕上げの種類： 防塵塗装（フラット仕上げ）	21	舗装工事	1	路床 (22.2.2) (22.2.3) (22.2.5) (表22.2.1)	(1) 路床の種類等 <table border="1"> <tr> <th>層の種類</th> <th>厚さ</th> <th>盛土の材料</th> <th>路床安定処理</th> <th>試験</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	層の種類	厚さ	盛土の材料	路床安定処理	試験																																											
		施工箇所	カーベットの種類・種別	厚さ	パイル形状等	工法			工法																																																																																																
						・グリッパ			・全面接着																																																																																																
						・グリッパ			・全面接着																																																																																																
		層の種類	厚さ	盛土の材料	路床安定処理	試験																																																																																																			
		3	モルタル塗り (15.3.2) (15.3.5)	(1) モルタル： ・現場調合材料 ・既調合材料（ ） (2) 既製目地材の適用及び形状： (3) 床の目地の設置及び工法： (4) 外装タイル張り下地等の下地モルタルの接着試験： 【 ・実施する ・実施しない 】 セルフレベリング材の種類：【 ・せつこう系 ・セメント系 】	10	鍵 (16.8.4)			(1) マスターキー：【 ○製作する ・製作しない 】 (2) 関連工事がある場合は、受注者間で協議し1つの鍵箱にまとめて納品する。	5	フローリング張り (19.5.2) (19.5.3)	<table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>工法</th> <th>品名</th> <th>備考（樹種、種別等）</th> </tr> <tr> <td>図示による</td> <td>図示による</td> <td>図示による</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	施工箇所			工法	品名	備考（樹種、種別等）	図示による	図示による	図示による										2	路盤 (22.3.2) (22.3.5)	(1) 車道部の厚さ：【 】 (2) 締固め度試験：【 】																																																																								
		施工箇所	工法	品名	備考（樹種、種別等）																																																																																																				
		図示による	図示による	図示による																																																																																																					
4	セルフレベリング材 塗り (15.5.2) (表15.5.1)		11	自動ドア開閉装置 (16.9.3) (表16.9.4)	(1) 戸の開閉方法：【 ・引戸 ・開き戸 ・折戸 】 (2) センサーの種類： 図示による。	6	敷き (19.6.2)	(1) 畳の種類【 ・A種 ・B種 ・C種 ・D種（種別： ）】 (2) 畳表に使用する材料は沖繩県産とする。	3	アスファルト舗装 (22.4.2) (22.4.4) (22.4.5)	(1) 構成及び厚さ：【 ・図示による（A- ） ・ 】 (2) 加熱アスファルト混合物等の種類： 【 ・密粒度アスファルト混合物(13) ・再粒度アスファルト混合物(13) 】																																																																																														
5	仕上塗材仕上げ (15.6.2) (表15.6.1)	<table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>呼び名</th> <th>仕上げの形状等</th> </tr> <tr> <td>複層仕上塗材</td> <td>複層塗材Si</td> <td>凹凸模様</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	種類	呼び名	仕上げの形状等	複層仕上塗材	複層塗材Si	凹凸模様				12	シャッター (16.11.2) (16.12.2) (16.12.4)	(1) シャッターの種類：【 ・重量（ 上部電動式 ） ・軽量 】 (2) 耐風圧強度： (3) 開閉機能：【 ・手動式 ・電動式 】 (4) スラットの形状：【 ・インターロック型 ・オーバーラッピング型 】	7	せつこうボード、 その他ボード及び 合板張り (19.7.2) (19.7.3) (19.7.3) (表19.7.5)	(1) せつこうボード <table border="1"> <tr> <th>規格名称</th> <th>種類の記号</th> <th>厚さ</th> <th>施工箇所</th> <th>目地工法の種類</th> </tr> <tr> <td>図示による</td> <td>図示による</td> <td>図示</td> <td>図示による</td> <td>壁：継目処理工法</td> </tr> </table>	規格名称	種類の記号	厚さ	施工箇所	目地工法の種類	図示による	図示による	図示	図示による	壁：継目処理工法	4	コンクリート 舗装 (22.5.2)	(1) 構成及び厚さ：【 ・図示による（A- ） ・ 】																																																																											
種類	呼び名	仕上げの形状等																																																																																																							
複層仕上塗材	複層塗材Si	凹凸模様																																																																																																							
規格名称	種類の記号	厚さ	施工箇所	目地工法の種類																																																																																																					
図示による	図示による	図示	図示による	壁：継目処理工法																																																																																																					
6	マステック塗料塗り (表15.7.2)	<table border="1"> <tr> <th>工程</th> <th>種別</th> <th>塗料その他</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	工程	種別	塗料その他				13	オーバーヘッドドア (16.13.2)	(1) 耐風圧性能の区分： (2) 開閉機能：【 ※バンス式 ・チェーン式 ・電動式 】 (3) 収納形式による区分：	8	カラー舗装 (22.6.2)	(1) 構成及び厚さ：【 ・図示による（A- ） ・ 】 (2) 種類：【 ・加熱系（ ） ・常温系（ ） 】 (3) 添加する着色骨材又は自然石 【 ・図示による（A- ） ・ 】																																																																																											
工程	種別	塗料その他																																																																																																							
7	せつこうプラスター 塗り (15.8.2) (15.8.3)	(1) 下塗り及び中塗りに用いるせつこうプラスター ・既調合プラスター（下塗り用） ・現場調合プラスター（下塗り用） (2) 上塗り： ・既調合プラスター（上塗り用） ・しゅくい塗り	14	ガラス (16.14.2) (16.14.4) (16.14.5)	(1) ガラスの種類及び厚さ等 <table border="1"> <tr> <th>ガラスの種類</th> <th>厚さ等</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>図示による</td> <td>図示による</td> <td></td> </tr> </table>	ガラスの種類	厚さ等	備考	図示による	図示による		9	ロックウール吹付け (15.12.3)	仕上げ厚さ：	(2) ガラス留め材 <table border="1"> <tr> <th>建具の種類</th> <th>材種</th> </tr> <tr> <td>アルミサッシ</td> <td>シーリング</td> </tr> </table>	建具の種類	材種	アルミサッシ	シーリング	5	カラー舗装 (22.6.2)	(1) 構成及び厚さ：【 ・図示による（A- ） ・ 】 (2) 種類：【 ・加熱系（ ） ・常温系（ ） 】 (3) 添加する着色骨材又は自然石 【 ・図示による（A- ） ・ 】 (4) その他 【 ・ 】																																																																																			
ガラスの種類	厚さ等	備考																																																																																																							
図示による	図示による																																																																																																								
建具の種類	材種																																																																																																								
アルミサッシ	シーリング																																																																																																								
8	しゅくい塗り (15.10.2)	(1) しゅくい： ・現場調合材料 ・既調合材料（ ）	17	カーテンウォール (17.2.2) (17.2.3) (17.2.6) (17.3.2) (17.3.3) (17.3.6)	(1) カーテンウォールの種類：【 ・メタル ・PC 】 (2) 性能 <table border="1"> <tr> <th>耐風圧性能</th> <th>耐震性</th> <th>水密性</th> <th>気密性</th> <th>耐火性</th> <th>耐温度性</th> <th>遮音性</th> <th>断熱性</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	耐風圧性能	耐震性	水密性	気密性	耐火性	耐温度性	遮音性	断熱性									6	ブロック系舗装 (表15.7.2)	<table border="1"> <tr> <th>工程</th> <th>種別</th> <th>塗料その他</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	工程	種別	塗料その他				(3) 熱線反射ガラスの映像調整： (4) ガラスブロックの材料及び工法 <table border="1"> <tr> <th>表面形状</th> <th>呼び寸法</th> <th>厚さ</th> <th>壁用金属材料</th> <th>補強材</th> <th>色</th> <th>金属製化粧カバー</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	表面形状	呼び寸法	厚さ	壁用金属材料	補強材	色	金属製化粧カバー								7	ブロック系舗装 (表15.7.2)	(1) 構成及び厚さ：【 ・図示による（A- ） ・ 】 (2) 種類及び寸法等：【 ・図示による（A- ） ・ 】 (3) ジオテキスタイルの適用及び品質：【 ・有り ・無し 】																																																									
耐風圧性能	耐震性	水密性	気密性	耐火性	耐温度性	遮音性	断熱性																																																																																																		
工程	種別	塗料その他																																																																																																							
表面形状	呼び寸法	厚さ	壁用金属材料	補強材	色	金属製化粧カバー																																																																																																			
9	ロックウール吹付け (15.12.3)	仕上げ厚さ：	18	カーテンウォール (17.2.2) (17.2.3) (17.2.6) (17.3.2) (17.3.3) (17.3.6)	(1) カーテンウォールの種類：【 ・メタル ・PC 】 (2) 性能 <table border="1"> <tr> <th>耐風圧性能</th> <th>耐震性</th> <th>水密性</th> <th>気密性</th> <th>耐火性</th> <th>耐温度性</th> <th>遮音性</th> <th>断熱性</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	耐風圧性能	耐震性	水密性	気密性	耐火性	耐温度性	遮音性	断熱性									8	壁紙張り (19.8.2)	※合板の木材処理（防虫・防蟻）については、本特記仕様書第12章第3項及び第4項を適用する。 (3) 経年劣化骨壁下地ボード遮音壁に用いる遮音シール材：【 ・ ・ 】 品質及び防火性能：【 】	4	コンクリート 舗装 (22.5.2)	(1) 構成及び厚さ：【 ・図示による（A- ） ・ 】																																																																														
耐風圧性能	耐震性	水密性	気密性	耐火性	耐温度性	遮音性	断熱性																																																																																																		
16	建具工事	1	防火戸等 (16.1.3) (16.1.6)	(1) 防火戸の指定及び機構等は、図示による。 (2) 防犯建物部品の適用は、図示による。	19	内装工事	19	内装工事	1	フリーアクセスフロア (20.2.2)	<table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>寸法</th> <th>高さ</th> <th>耐震性能</th> <th>所定荷重</th> <th>帯電防止性能</th> <th>漏えい抵抗</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	施工箇所	寸法	高さ	耐震性能	所定荷重	帯電防止性能	漏えい抵抗								9	鋼製建具 (16.4.1) (16.4.2)	(1) 建具の性能等 <table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>耐風圧性</th> <th>気密性</th> <th>水密性</th> <th>枠見込み寸法</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td>C種</td> <td>S-6</td> <td>A-4</td> <td>W-5</td> <td>70mm, 100mm</td> <td>図示</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	種別	耐風圧性	気密性	水密性	枠見込み寸法	施工箇所	C種	S-6	A-4	W-5	70mm, 100mm	図示							10	くつふきマット	(1) くつふきマットの材種：【 ・塩化ビニル又はゴム製 ・硬質アルミニウム合金製 ・ステンレス鋼（SUS304）製 】 (2) 受け枠の材種：【 ・硬質アルミニウム合金製 ・ステンレス鋼（SUS304）製 】 <table border="1"> <tr> <th>名称</th> <th>寸法</th> <th>適用内容</th> <th>規格・品質</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>流し台+ガス台</td> <td>図示による</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>吊戸棚</td> <td>図示による</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>水切り棚</td> <td>図示による</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	名称	寸法	適用内容	規格・品質	備考	流し台+ガス台	図示による				吊戸棚	図示による				水切り棚	図示による				5	鋼製軽量建具 (16.5.2) (16.5.3) (表16.5.1)	(2) 特殊なドアセット等の適用及び等級 <table border="1"> <tr> <th>ドアセット等の種類</th> <th>適用箇所</th> <th>等級</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・防音ドアセット ・断熱ドアセット ・耐震ドアセット</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	ドアセット等の種類	適用箇所	等級	備考	・防音ドアセット ・断熱ドアセット ・耐震ドアセット				11	流し台ユニット	<table border="1"> <tr> <th>材種</th> <th>管の種類</th> <th>呼び径</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>図示による</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	材種	管の種類	呼び径	備考	図示による				6	ステンレス製建具 (16.6.2) (16.6.3)	(3) 外部に面する建具の表面処理の種類及び複合皮膜の種類 種類：B-1 複合皮膜の種類：【 ○A1 ・A2 】（JIS H 8602） (4) 結露の処理方法： (5) 水切り及びびね板等の加工及び組立は、図示による。	12	排水工事	<table border="1"> <tr> <th>材種</th> <th>管の種類</th> <th>呼び径</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>図示による</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	材種	管の種類	呼び径	備考	図示による			
施工箇所		寸法	高さ	耐震性能	所定荷重		帯電防止性能		漏えい抵抗																																																																																																
種別		耐風圧性	気密性	水密性	枠見込み寸法		施工箇所																																																																																																		
C種		S-6	A-4	W-5	70mm, 100mm		図示																																																																																																		
名称		寸法	適用内容	規格・品質	備考																																																																																																				
流し台+ガス台		図示による																																																																																																							
吊戸棚		図示による																																																																																																							
水切り棚	図示による																																																																																																								
ドアセット等の種類	適用箇所	等級	備考																																																																																																						
・防音ドアセット ・断熱ドアセット ・耐震ドアセット																																																																																																									
材種	管の種類	呼び径	備考																																																																																																						
図示による																																																																																																									
材種	管の種類	呼び径	備考																																																																																																						
図示による																																																																																																									
4	樹脂製建具 (16.3.2) (16.3.3) (16.3.4) (表16.3.1) (表16.3.2) (表16.3.3) (表16.3.4)	(1) 建具の性能等 <table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>耐風圧性</th> <th>気密性</th> <th>水密性</th> <th>枠見込み寸法</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	種別	耐風圧性	気密性	水密性	枠見込み寸法	施工箇所							20	舗装工事	20	舗装工事	1	フリーアクセスフロア (20.2.2)	<table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>寸法</th> <th>高さ</th> <th>耐震性能</th> <th>所定荷重</th> <th>帯電防止性能</th> <th>漏えい抵抗</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	施工箇所	寸法	高さ	耐震性能	所定荷重	帯電防止性能	漏えい抵抗								7	鋼製建具 (16.4.1) (16.4.2)	(2) 特殊なドアセット等の適用及び等級 <table border="1"> <tr> <th>ドアセット等の種類</th> <th>適用箇所</th> <th>等級</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・防音ドアセット ・断熱ドアセット</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	ドアセット等の種類	適用箇所	等級	備考	・防音ドアセット ・断熱ドアセット				2	路盤 (22.3.2) (22.3.5)	(1) 車道部の厚さ：【 】 (2) 締固め度試験：【 】																																																								
種別	耐風圧性	気密性	水密性	枠見込み寸法	施工箇所																																																																																																				
施工箇所	寸法	高さ	耐震性能	所定荷重	帯電防止性能	漏えい抵抗																																																																																																			
ドアセット等の種類	適用箇所	等級	備考																																																																																																						
・防音ドアセット ・断熱ドアセット																																																																																																									
5	鋼製建具 (16.4.1) (16.4.2)	(1) 建具の性能等 <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>気密性</th> <th>水密性</th> <th>耐風圧性</th> <th>備考（材料等）</th> </tr> <tr> <td>図示による</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>3. アルミ製建具に準ずる</td> </tr> </table>	施工箇所	気密性	水密性	耐風圧性	備考（材料等）	図示による				3. アルミ製建具に準ずる	3	アスファルト舗装 (22.4.2) (22.4.4) (22.4.5)	(1) 構成及び厚さ：【 ・図示による（A- ） ・ 】 (2) 加熱アスファルト混合物等の種類： 【 ・密粒度アスファルト混合物(13) ・再粒度アスファルト混合物(13) 】																																																																																										
施工箇所	気密性	水密性	耐風圧性	備考（材料等）																																																																																																					
図示による				3. アルミ製建具に準ずる																																																																																																					
6	鋼製建具 (16.5.2) (16.5.3) (表16.5.1)	(2) 特殊なドアセット等の適用及び等級 <table border="1"> <tr> <th>ドアセット等の種類</th> <th>適用箇所</th> <th>等級</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・防音ドアセット ・断熱ドアセット</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	ドアセット等の種類	適用箇所	等級	備考	・防音ドアセット ・断熱ドアセット				4	コンクリート 舗装 (22.5.2)	(1) 構成及び厚さ：【 ・図示による（A- ） ・ 】																																																																																												
ドアセット等の種類	適用箇所	等級	備考																																																																																																						
・防音ドアセット ・断熱ドアセット																																																																																																									
7	鋼製建具 (16.5.2) (16.5.3) (表16.5.1)	(3) 表面色： (4) 水切り及びびね板等の加工及び組立は、図示による。 (5) ガラス： ※複層ガラス ・単板ガラス ・三重ガラス ・	4	ガラス (16.14.2) (16.14.4) (16.14.5)	(1) ガラスの種類及び厚さ等 <table border="1"> <tr> <th>ガラスの種類</th> <th>厚さ等</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>図示による</td> <td>図示による</td> <td></td> </tr> </table>	ガラスの種類	厚さ等	備考	図示による	図示による		5	カラー舗装 (22.6.2)	(1) 構成及び厚さ：【 ・図示による（A- ） ・ 】 (2) 種類：【 ・加熱系（ ） ・常温系（ ） 】 (3) 添加する着色骨材又は自然石 【 ・図示による（A- ） ・ 】																																																																																											
ガラスの種類	厚さ等	備考																																																																																																							
図示による	図示による																																																																																																								
8	鋼製建具 (16.5.2) (16.5.3) (表16.5.1)	(4) 水切り及びびね板等の加工及び組立は、図示による。 (5) ガラス： ※複層ガラス ・単板ガラス ・三重ガラス ・	5	カーテンウォール (17.2.2) (17.2.3) (17.2.6) (17.3.2) (17.3.3) (17.3.6)	(1) カーテンウォールの種類：【 ・メタル ・PC 】 (2) 性能 <table border="1"> <tr> <th>耐風圧性能</th> <th>耐震性</th> <th>水密性</th> <th>気密性</th> <th>耐火性</th> <th>耐温度性</th> <th>遮音性</th> <th>断熱性</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	耐風圧性能	耐震性	水密性	気密性	耐火性	耐温度性	遮音性	断熱性									6	ブロック系舗装 (表15.7.2)	(1) 構成及び厚さ：【 ・図示による（A- ） ・ 】 (2) 種類及び寸法等：【 ・図示による（A- ） ・ 】 (3) ジオテキスタイルの適用及び品質：【 ・有り ・無し 】																																																																																	
耐風圧性能	耐震性	水密性	気密性	耐火性	耐温度性	遮音性	断熱性																																																																																																		
9	鋼製建具 (16.5.2) (16.5.3) (表16.5.1)	(1) 建具の性能等 <table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>耐風圧性</th> <th>気密性</th> <th>水密性</th> <th>枠見込み寸法</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	種別	耐風圧性	気密性	水密性	枠見込み寸法	施工箇所							6	カーテン (20.2.14)	あと施工アンカーの使用： 【 ・有り ・無し 】 材質、寸法等は図示による。 <table border="1"> <tr> <th>表面材の材質</th> <th>脚部の形状及び寸法</th> <th>ドアエッジの形状及び材質</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	表面材の材質	脚部の形状及び寸法	ドアエッジの形状及び材質				7	ブロック系舗装 (表15.7.2)	(1) ブロック系舗装の適用：【 ・コンクリート平板舗装 ・インターロック型ブロック舗装 ・舗石舗装 】 (2) 種類及び寸法等：【 ・図示による（A- ） ・ 】 (3) ジオテキスタイルの適用及び品質：【 ・有り ・無し 】																																																																															
種別	耐風圧性	気密性	水密性	枠見込み寸法	施工箇所																																																																																																				
表面材の材質	脚部の形状及び寸法	ドアエッジの形状及び材質																																																																																																							
10	鋼製建具 (16.5.2) (16.5.3) (表16.5.1)	(2) 特殊なドアセット等の適用及び等級 <table border="1"> <tr> <th>ドアセット等の種類</th> <th>適用箇所</th> <th>等級</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・防音ドアセット ・断熱ドアセット</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	ドアセット等の種類	適用箇所	等級	備考	・防音ドアセット ・断熱ドアセット				7	カーテン (20.2.14)	あと施工アンカーの使用： 【 ・有り ・無し 】 材質、寸法等は図示による。 <table border="1"> <tr> <th>表面材の材質</th> <th>脚部の形状及び寸法</th> <th>ドアエッジの形状及び材質</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	表面材の材質	脚部の形状及び寸法	ドアエッジの形状及び材質				8	カラー舗装 (22.6.2)	(1) 構成及び厚さ：【 ・図示による（A- ） ・ 】 (2) 種類：【 ・加熱系（ ） ・常温系（ ） 】 (3) 添加する着色骨材又は自然石 【 ・図示による（A- ） ・ 】																																																																																			
ドアセット等の種類	適用箇所	等級	備考																																																																																																						
・防音ドアセット ・断熱ドアセット																																																																																																									
表面材の材質	脚部の形状及び寸法	ドアエッジの形状及び材質																																																																																																							
11	鋼製建具 (16.5.2) (16.5.3) (表16.5.1)	(3) 表面色： (4) 水切り及びびね板等の加工及び組立は、図示による。 (5) ガラス： ※複層ガラス ・単板ガラス ・三重ガラス ・	8	カーテン (20.2.14)	あと施工アンカーの使用： 【 ・有り ・無し 】 材質、寸法等は図示による。 <table border="1"> <tr> <th>表面材の材質</th> <th>脚部の形状及び寸法</th> <th>ドアエッジの形状及び材質</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	表面材の材質	脚部の形状及び寸法	ドアエッジの形状及び材質				9	カラー舗装 (22.6.2)	(1) 構成及び厚さ：【 ・図示による（A- ） ・ 】 (2) 種類：【 ・加熱系（ ） ・常温系（ ） 】 (3) 添加する着色骨材又は自然石 【 ・図示による（A- ） ・ 】																																																																																											
表面材の材質	脚部の形状及び寸法	ドアエッジの形状及び材質																																																																																																							
12	鋼製建具 (16.5.2) (16.5.3) (表16.5.1)	(4) 水切り及びびね板等の加工及び組立は、図示による。 (5) ガラス： ※複層ガラス ・単板ガラス ・三重ガラス ・	9	カーテン (20.2.14)	あと施工アンカーの使用： 【 ・有り ・無し 】 材質、寸法等は図示による。 <table border="1"> <tr> <th>表面材の材質</th> <th>脚部の形状及び寸法</th> <th>ドアエッジの形状及び材質</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	表面材の材質	脚部の形状及び寸法	ドアエッジの形状及び材質				10	カラー舗装 (22.6.2)	(1) 構成及び厚さ：【 ・図示による（A- ） ・ 】 (2) 種類：【 ・加熱系（ ） ・常温系（ ） 】 (3) 添加する着色骨材又は自然石 【 ・図示による（A- ） ・ 】																																																																																											
表面材の材質	脚部の形状及び寸法	ドアエッジの形状及び材質																																																																																																							
13	鋼製建具 (16.5.2) (16.5.3) (表16.5.1)	(1) 建具の性能等 <table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>耐風圧性</th> <th>気密性</th> <th>水密性</th> <th>枠見込み寸法</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	種別	耐風圧性	気密性	水密性	枠見込み寸法	施工箇所							10	カーテン (20.2.14)	あと施工アンカーの使用： 【 ・有り ・無し 】 材質、寸法等は図示による。 <table border="1"> <tr> <th>表面材の材質</th> <th>脚部の形状及び寸法</th> <th>ドアエッジの形状及び材質</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	表面材の材質	脚部の形状及び寸法	ドアエッジの形状及び材質				11	カラー舗装 (22.6.2)	(1) 構成及び厚さ：【 ・図示による（A- ） ・ 】 (2) 種類：【 ・加熱系（ ） ・常温系（ ） 】 (3) 添加する着色骨材又は自然石 【 ・図示による（A- ） ・ 】																																																																															
種別	耐風圧性	気密性	水密性	枠見込み寸法	施工箇所																																																																																																				
表面材の材質	脚部の形状及び寸法	ドアエッジの形状及び材質																																																																																																							
14	鋼製建具 (16.5.2) (16.5.3) (表16.5.1)	(2) 特殊なドアセット等の適用及び等級 <table border="1"> <tr> <th>ドアセット等の種類</th> <th>適用箇所</th> <th>等級</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・防音ドアセット ・断熱ドアセット</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	ドアセット等の種類	適用箇所	等級	備考	・防音ドアセット ・断熱ドアセット				11	カーテン (20.2.14)	あと施工アンカーの使用： 【 ・有り ・無し 】 材質、寸法等は図示による。 <table border="1"> <tr> <th>表面材の材質</th> <th>脚部の形状及び寸法</th> <th>ドアエッジの形状及び材質</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	表面材の材質	脚部の形状及び寸法	ドアエッジの形状及び材質				12	カラー舗装 (22.6.2)	(1) 構成及び厚さ：【 ・図示による（A- ） ・ 】 (2) 種類：【 ・加熱系（ ） ・常温系（ ） 】 (3) 添加する着色骨材又は自然石 【 ・図示による（A- ） ・ 】																																																																																			
ドアセット等の種類	適用箇所	等級	備考																																																																																																						
・防音ドアセット ・断熱ドアセット																																																																																																									
表面材の材質	脚部の形状及び寸法	ドアエッジの形状及び材質																																																																																																							
15	鋼製建具 (16.5.2) (16.5.3) (表16.5.1)	(3) 表面色： (4) 水切り及びびね板等の加工及び組立は、図示による。 (5) ガラス： ※複層ガラス ・単板ガラス ・三重ガラス ・	12	カーテン (20.2.14)	あと施工アンカーの使用： 【 ・有り ・無し 】 材質、寸法等は図示による。 <table border="1"> <tr> <th>表面材の材質</th> <th>脚部の形状及び寸法</th> <th>ドアエッジの形状及び材質</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	表面材の材質	脚部の形状及び寸法	ドアエッジの形状及び材質				13	カラー舗装 (22.6.2)	(1) 構成及び厚さ：【 ・図示による（A- ） ・ 】 (2) 種類：【 ・加熱系（ ） ・常温系（ ） 】 (3) 添加する着色骨材又は自然石 【 ・図示による（A- ） ・ 】																																																																																											
表面材の材質	脚部の形状及び寸法	ドアエッジの形状及び材質																																																																																																							
16	鋼製建具 (16.5.2) (16.5.3) (表16.5.1)	(4) 水切り及びびね板等の加工及び組立は、図示による。 (5) ガラス： ※複層ガラス ・単板ガラス ・三重ガラス ・	13	カーテン (20.2.14)	あと施工アンカーの使用： 【 ・有り ・無し 】 材質、寸法等は図示による。 <table border="1"> <tr> <th>表面材の材質</th> <th>脚部の形状及び寸法</th> <th>ドアエッジの形状及び材質</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	表面材の材質	脚部の形状及び寸法	ドアエッジの形状及び材質				14	カラー舗装 (22.6.2)	(1) 構成及び厚さ：【 ・図示による（A- ） ・ 】 (2) 種類：【 ・加熱系（ ） ・常温系（ ） 】 (3) 添加する着色骨材又は自然石 【 ・図示による（A- ） ・ 】																																																																																											
表面材の材質	脚部の形状及び寸法	ドアエッジの形状及び材質																																																																																																							
17	鋼製建具 (16.5.2) (16.5.3) (表16.5.1)	(1) 建具の性能等 <table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>耐風圧性</th> <th>気密性</th> <th>水密性</th> <th>枠見込み寸法</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	種別	耐風圧性	気密性	水密性	枠見込み寸法	施工箇所							14	カーテン (20.2.14)	あと施工アンカーの使用： 【 ・有り ・無し 】 材質、寸法等は図示による。 <table border="1"> <tr> <th>表面材の材質</th> <th>脚部の形状及び寸法</th> <th>ドアエッジの形状及び材質</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	表面材の材質	脚部の形状及び寸法	ドアエッジの形状及び材質				15	カラー舗装 (22.6.2)	(1) 構成及び厚さ：【 ・図示による（A- ） ・ 】 (2) 種類：【 ・加熱系（ ） ・常温系（ ） 】 (3) 添加する着色骨材又は自然石 【 ・図示による（A- ） ・ 】																																																																															
種別	耐風圧性	気密性	水密性	枠見込み寸法	施工箇所																																																																																																				
表面材の材質	脚部の形状及び寸法	ドアエッジの形状及び材質																																																																																																							
18	鋼製建具 (16.5.2) (16.5.3) (表16.5.1)	(2) 特殊なドアセット等の適用及び等級 <table border="1"> <tr> <th>ドアセット等の種類</th> <th>適用箇所</th> <th>等級</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・防音ドアセット ・断熱ドアセット</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	ドアセット等の種類	適用箇所	等級	備考	・防音ドアセット ・断熱ドアセット				15	カーテン (20.2.14)	あと施工アンカーの使用： 【 ・有り ・無し 】 材質、寸法等は図示による。 <table border="1"> <tr> <th>表面材の材質</th> <th>脚部の形状及び寸法</th> <th>ドアエッジの形状及び材質</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	表面材の材質	脚部の形状及び寸法	ドアエッジの形状及び材質				16	カラー舗装 (22.6.2)	(1) 構成及び厚さ：【 ・図示による（A- ） ・ 】 (2) 種類：【 ・加熱系（ ） ・常温系（ ） 】 (3) 添加する着色骨材又は自然石 【 ・図示による（A- ） ・ 】																																																																																			
ドアセット等の種類	適用箇所	等級	備考																																																																																																						
・防音ドアセット ・断熱ドアセット																																																																																																									
表面材の材質	脚部の形状及び寸法	ドアエッジの形状及び材質																																																																																																							
19	鋼製建具 (16.5.2) (16.5.3) (表16.5.1)	(3) 表面色： (4) 水切り及びびね板等の加工及び組立は、図示による。 (5) ガラス： ※複層ガラス ・単板ガラス ・三重ガラス ・	16	カーテン (20.2.14)	あと施工アンカーの使用： 【 ・有り ・無し 】 材質、寸法等は図示による。 <table border="1"> <tr> <th>表面材の材質</th> <th>脚部の形状及び寸法</th> <th>ドアエッジの形状及び材質</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	表面材の材質	脚部の形状及び寸法	ドアエッジの形状及び材質				17	カラー舗装 (22.6.2)	(1) 構成及び厚さ：【 ・図示による（A- ） ・ 】 (2) 種類：【 ・加熱系（ ） ・常温系（ ） 】 (3) 添加する着色骨材又は自然石 【 ・図示による（A- ） ・ 】																																																																																											
表面材の材質	脚部の形状及び寸法	ドアエッジの形状及び材質																																																																																																							
20	鋼製建具 (16.5.2) (16.5.3) (表16.5.1)	(4) 水切り及びびね板等の加工及び組立は、図示による。 (5) ガラス： ※複層ガラス ・単板ガラス ・三重ガラス ・	17	カーテン (20.2.14)	あと施工アンカーの使用： 【 ・有り ・無し 】 材質、寸法等は図示による。 <table border="1"> <tr> <th>表面材の材質</th> <th>脚部の形状及び寸法</th> <th>ドアエッジの形状及び材質</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	表面材の材質	脚部の形状及び寸法	ドアエッジの形状及び材質				18	カラー舗装 (22.6.2)	(1) 構成及び厚さ：【 ・図示による（A- ） ・ 】 (2) 種類：【 ・加熱系（ ） ・常温系（ ） 】 (3) 添加する着色骨材又は自然石 【 ・図示による（A- ） ・ 】																																																																																											
表面材の材質	脚部の形状及び寸法	ドアエッジの形状及び材質																																																																																																							
21	鋼製建具 (16.5.2) (16.5.3) (表16.5.1)	(1) 建具の性能等 <table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>耐風圧性</th> <th>気密性</th> <th>水密性</th> <th>枠見込み寸法</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	種別	耐風圧性	気密性	水密性	枠見込み寸法	施工箇所							18	カーテン (20.2.14)	あと施工アンカーの使用： 【 ・有り ・無し 】 材質、寸法等は図示による。 <table border="1"> <tr> <th>表面材の材質</th> <th>脚部の形状及び寸法</th> <th>ドアエッジの形状及び材質</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	表面材の材質	脚部の形状及び寸法	ドアエッジの形状及び材質				19	カラー舗装 (22.6.2)	(1) 構成及び厚さ：【 ・図示による（A- ） ・ 】 (2) 種類：【 ・加熱系（ ） ・常温系（ ） 】 (3) 添加する着色骨材又は自然石 【 ・図示による（A- ） ・ 】																																																																															
種別	耐風圧性	気密性	水密性	枠見込み寸法	施工箇所																																																																																																				
表面材の材質	脚部の形状及び寸法	ドアエッジの形状及び材質																																																																																																							
22	鋼製建具 (16.5.2) (16.5.3) (表16.5.1)	(2) 特殊なドアセット等の適用及び等級 <table border="1"> <tr> <th>ドアセット等の種類</th> <th>適用箇所</th> <th>等級</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・防音ドアセット ・断熱ドアセット</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	ドアセット等の種類	適用箇所	等級	備考	・防音ドアセット ・断熱ドアセット				19	カーテン (20.2.14)	あと施工アンカーの使用： 【 ・有り ・無し 】 材質、寸法等は図示による。 <table border="1"> <tr> <th>表面材の材質</th> <th>脚部の形状及び寸法</th> <th>ドアエッジの形状及び材質</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	表面材の材質	脚部の形状及び寸法	ドアエッジの形状及び材質				20	カラー舗装 (22.6.2)	(1) 構成及び厚さ：【 ・図示による（A- ） ・ 】 (2) 種類：【 ・加熱系（ ） ・常温系（ ） 】 (3)																																																																																			
ドアセット等の種類	適用箇所	等級	備考																																																																																																						
・防音ドアセット ・断熱ドアセット																																																																																																									
表面材の材質	脚部の形状及び寸法	ドアエッジの形状及び材質																																																																																																							



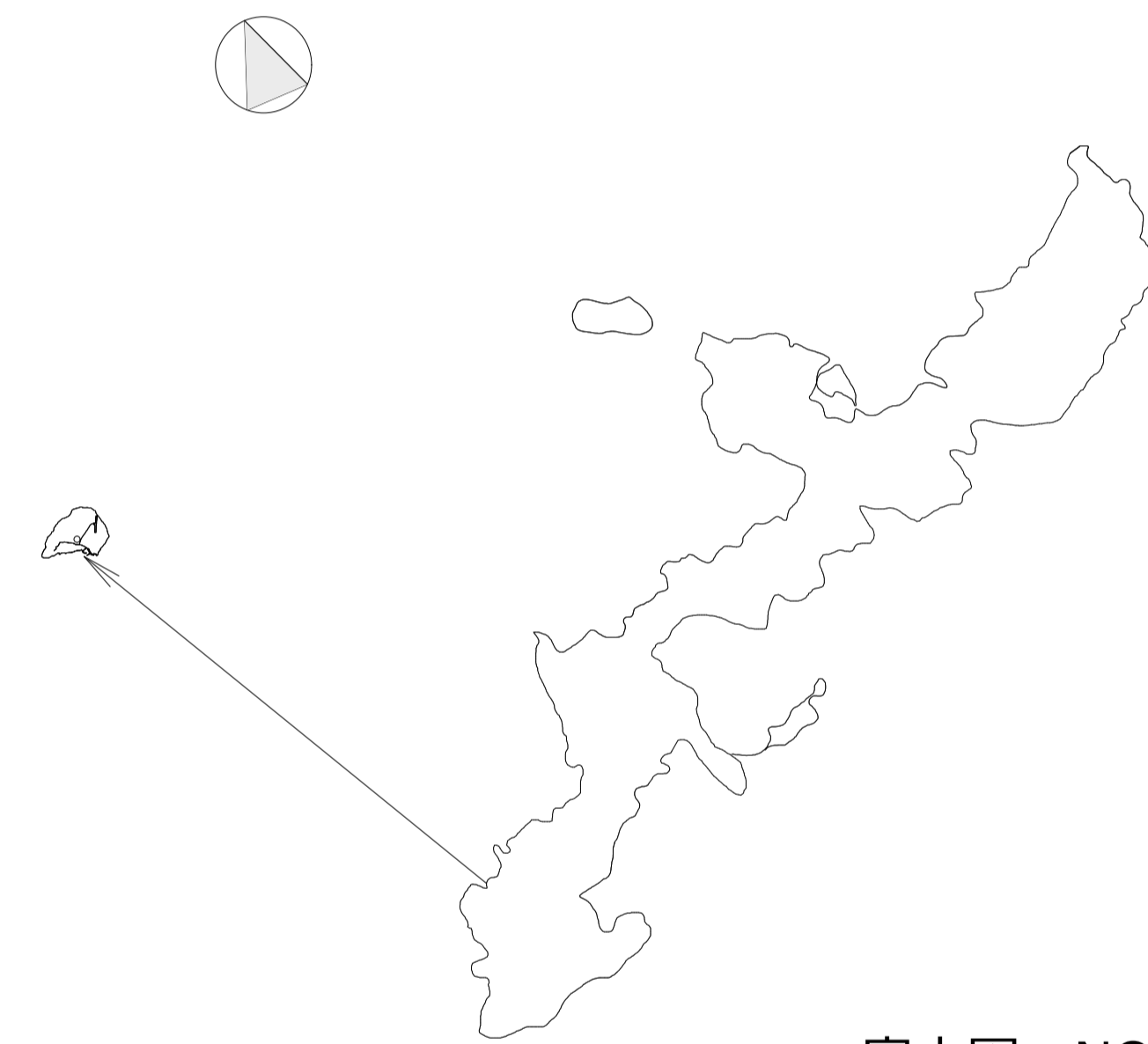
配置図 1/150



地番 NOT TO SCALE

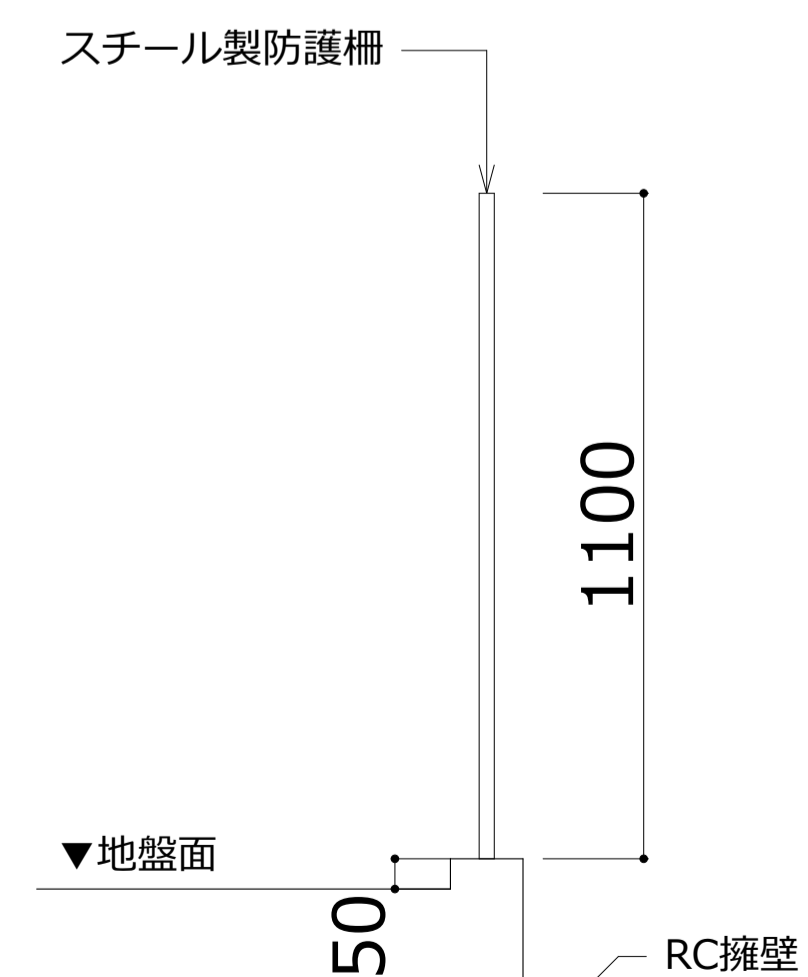


工事場所: 栗国村字東544番地(他5筆)

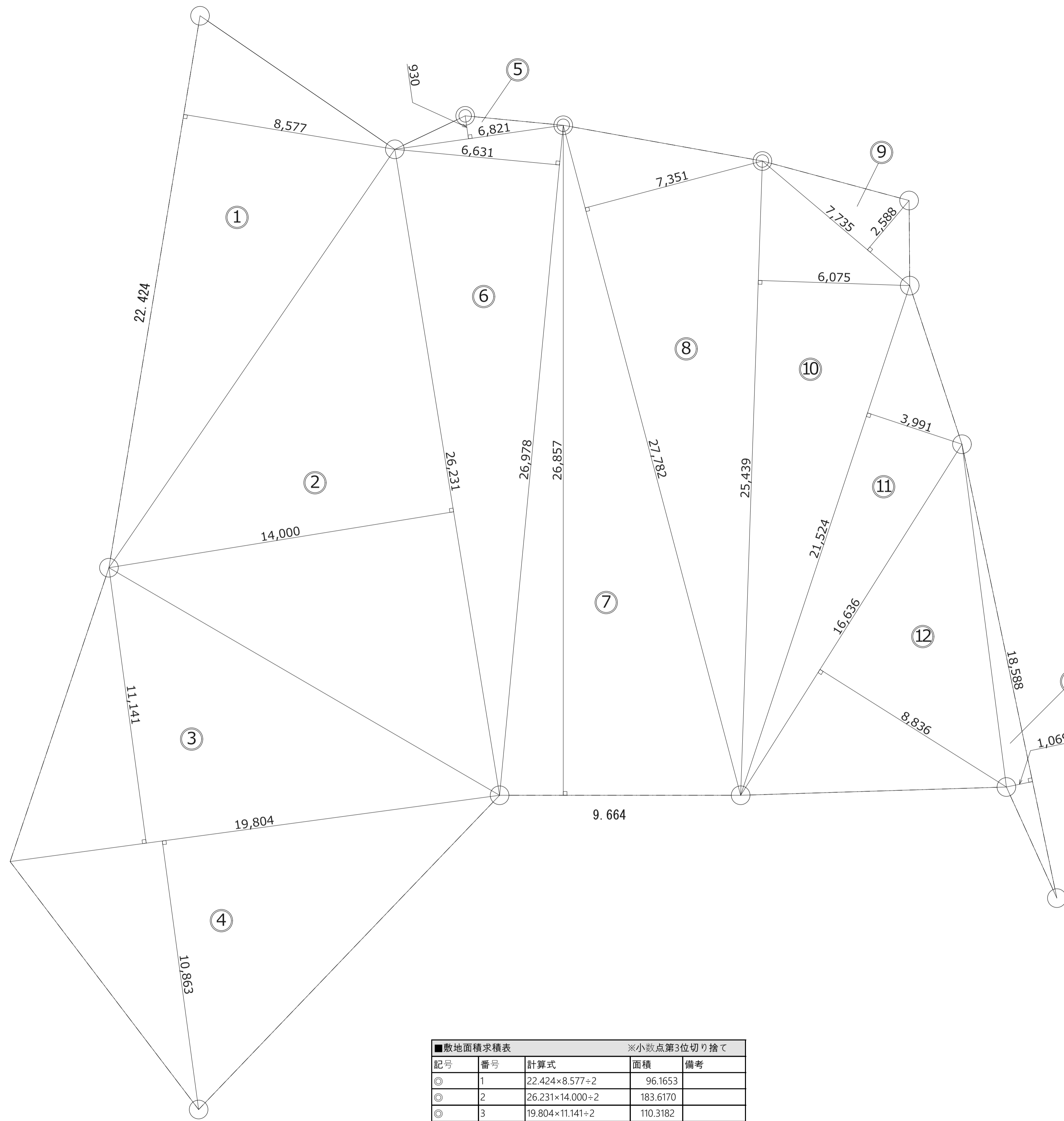


案内図 NOT TO SCALE

A: 擁壁・防護柵高さ参考図



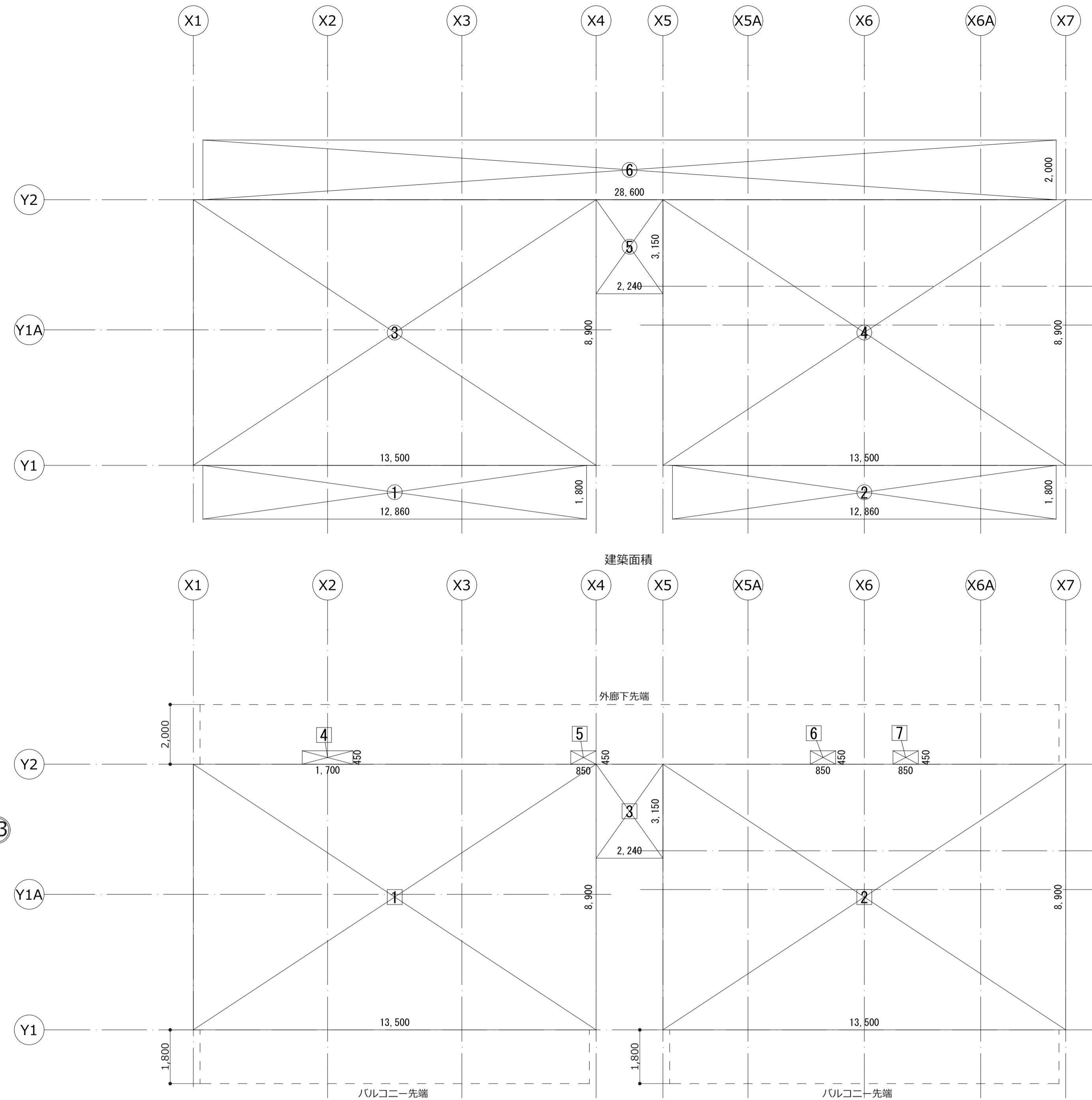
工事名称	(仮称) 栗国村教員住宅(南棟Ⅱ)新築工事(建築)	工事年度	令和5年度
工事場所	栗国村字東544番地(他5筆)	図面名称	配置図・案内図
発注機関	栗国村教育委員会	図面名尺	A1 1/150 A3 1/300
摘要		図面番号	A-04
検印	管理建築士	設計	製図
	名称	(株) 渡久山設計	
	資格者氏名	比嘉 義明	
	登録番号	一級建築士 本邦登録 第 25938号 一級建築士事務所 登録 第104-194号	
所在地	浦添市牧港2丁目8番4号		



■敷地面積求積表 ※小数点第3位切り捨て				
記号	番号	計算式	面積	備考
◎	1	$22.424 \times 8.577 \div 2$	96.1653	
◎	2	$26.231 \times 14.000 \div 2$	183.6170	
◎	3	$19.804 \times 11.141 \div 2$	110.3182	
◎	4	$19.804 \times 10.863 \div 2$	107.5654	
◎	5	$6.821 \times 0.930 \div 2$	3.1718	
◎	6	$26.978 \times 6.631 \div 2$	89.4456	
◎	7	$9.664 \times 26.857 \div 2$	129.7730	
◎	8	$27.782 \times 7.351 \div 2$	102.1127	
◎	9	$7.735 \times 2.588 \div 2$	10.0091	
◎	10	$25.439 \times 6.075 \div 2$	77.2710	
◎	11	$21.524 \times 3.991 \div 2$	42.9511	
◎	12	$16.636 \times 8.836 \div 2$	73.4978	
◎	13	$18.588 \times 1.069 \div 2$	9.9353	
合計			1035.8333	
端数処理			1035.83	1035.83 m ²
坪			313.34	313.34 坪

■建築面積求積表 ※小数点第3位を切り捨て				
記号	番号	計算式	面積	備考
□	1	12.860×1.800	23.1480	
□	2	12.860×1.800	23.1480	
□	3	13.500×8.900	120.1500	
□	4	13.500×8.900	120.1500	
□	5	2.240×3.150	7.0560	
□	6	0.850×0.450	0.3825	
□	7	0.850×0.450	0.3825	
合計			350.8520	
端数処理			350.85	350.85 m ²

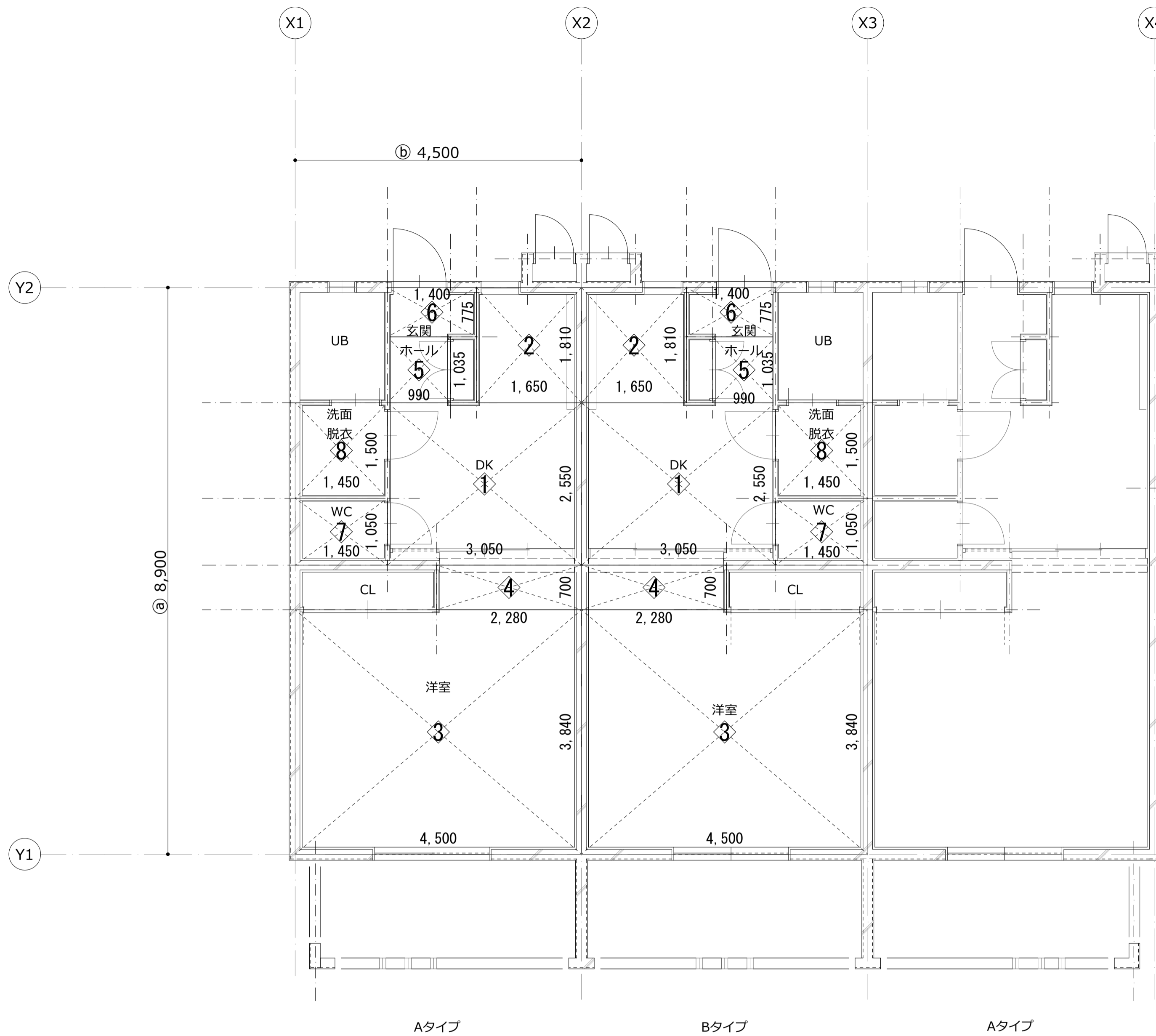
■1・2階床面積求積表 ※小数点第3位切り捨て				
記号	番号	計算式	面積	備考
□	1	13.500×8.900	120.1500	
□	2	13.500×8.900	120.1500	
□	3	2.240×3.150	7.0560	
□	4	1.700×0.450	0.7650	
□	5	0.850×0.450	0.3825	
□	6	0.850×0.450	0.3825	
□	7	0.850×0.450	0.3825	
合計			249.2685	
端数処理			249.26	249.26 m ²



1・2階床面積

■延床面積表(m ²)	
階数	各階床面積
2階	249.26
1階	249.26
合計	498.52
■建築面積表(m ²)	
全体建築面積	
	350.85
合計	350.85
■容積率・建築率	
敷地面積(m ²)	1035.83
建築率	$350.85 \div 1035.83 \times 100 = 33.88\%$
容積率	$498.52 \div 1035.83 \times 100 = 48.13\%$

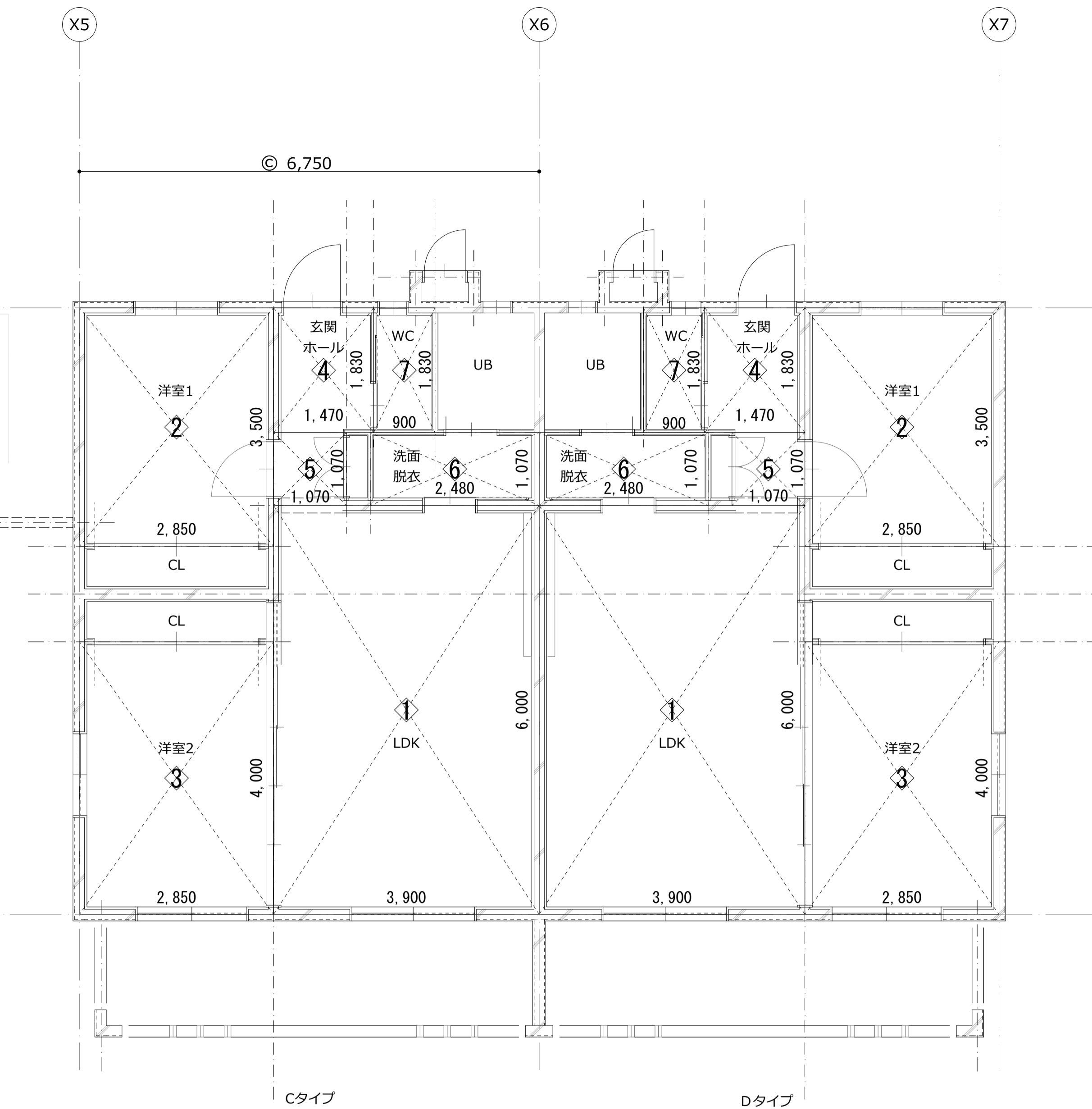
工事名称	(仮称) 栗国村教員住宅(南棟II)新築工事(建築)	工事年度	令和5年度
工事場所	栗国村字東544番地(他5筆)	図面名称	求積図-1
発注機関	栗国村教育委員会	図面名尺	A1 1/100 A3 1/200
摘要		図面番号	A-05
検印	管理建築士	設計	製図
	名称	(株) 渡久山設計	
	資格者氏名	比嘉 義明	
	登録番号	第一級建築士 本邦登録 第 25938号 第一級建築士 事務用特種登録 第104-194号	
	所在地	浦添市牧港2丁目8番4号	



Aタイプ

Bタイプ

Aタイプ



Cタイプ

Dタイプ

室名	記号	番号	計算式	面積	計	備考
DK	◇	1	3.050×2.550	7.7775		
DK	◇	2	1.650×1.810	2.9865	10.7640	
洋室	◇	3	4.500×3.840	17.2800		
洋室	◇	4	2.280×0.700	1.5960	18.8760	
玄関 ホール	◇	5	0.990×1.035	1.0247		
玄関 ホール	◇	6	1.400×0.775	1.0850	2.1097	
WC	◇	7	1.450×1.050	1.5225	1.5225	
洗面・脱衣	◇	8	1.450×1.500	2.1750	2.1750	
合計					35.4472	
端数処理					35.44	35.44 m ²

室名	記号	番号	計算式	面積	計	備考
DK	◇	1	3.050×2.550	7.7775		
DK	◇	2	1.650×1.810	2.9865	10.7640	
洋室	◇	3	4.500×3.840	17.2800		
洋室	◇	4	2.280×0.700	1.5960	18.8760	
玄関 ホール	◇	5	0.990×1.035	1.0247		
玄関 ホール	◇	6	1.400×0.775	1.0850	2.1097	
WC	◇	7	1.450×1.050	1.5225	1.5225	
洗面・脱衣	◇	8	1.450×1.500	2.1750	2.1750	
合計					35.4472	
端数処理					35.44	35.44 m ²

室名	記号	番号	計算式	面積	計	備考
LDK	◇	1	3.900×6.000	23.4000	23.4000	
洋室1	◇	2	2.850×3.500	9.9750	9.9750	
洋室2	◇	3	2.850×4.000	11.4000	11.4000	
玄関 ホール	◇	4	1.470×1.830	2.6901		
玄関 ホール	◇	5	1.070×1.070	1.1449	3.8350	
洗面・脱衣	◇	6	2.480×1.070	2.6536	2.6536	
WC	◇	7	0.900×1.830	1.6470	1.6470	
合計					52.9106	
端数処理					52.91	52.91 m ²

室名	記号	番号	計算式	面積	計	備考
LDK	◇	1	3.900×6.000	23.4000	23.4000	
洋室1	◇	2	2.850×3.500	9.9750	9.9750	
洋室2	◇	3	2.850×4.000	11.4000	11.4000	
玄関 ホール	◇	4	1.470×1.830	2.6901		
玄関 ホール	◇	5	1.070×1.070	1.1449	3.8350	
洗面・脱衣	◇	6	2.480×1.070	2.6536	2.6536	
WC	◇	7	0.900×1.830	1.6470	1.6470	
合計					52.9106	
端数処理					52.91	52.91 m ²

単身世帯住戸面積

①×② : 4.500×8.900 = 40.05m²

家族世帯住戸面積

①×③ : 6.750×8.900 = 60.07m²

工事名称	(仮称) 栗国村教員住宅(南棟Ⅱ)新築工事(建築)	工事年度	令和5年度
工事場所	栗国村字東544番地(他5筆)	図面名称	求積図-2
発注機関	栗国村教育委員会	縮尺	A1 1/50 A3 1/100
摘要	管理建築士 設 計 製 図	図面番号	A-06
検 印	名 称	(株) 渡久山設計	
	資格者氏名	比嘉 義明	
	登録番号	一級建築士 本登録第 259388号 一級建築士事務所登録第 104-194号	
	所在地	浦添市牧港2丁目8番4号	

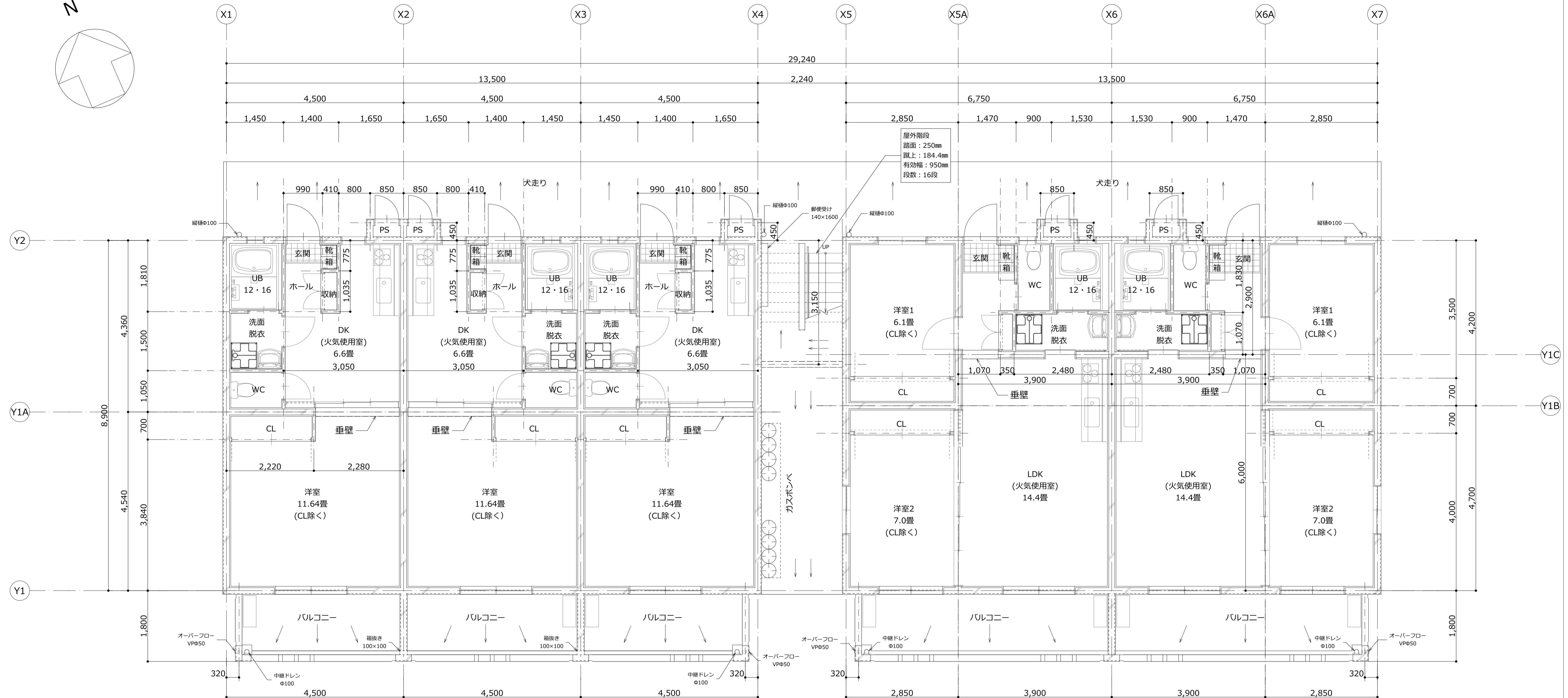
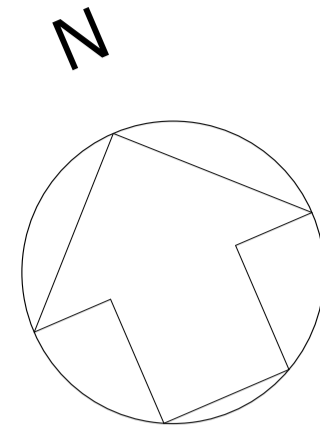
■ 外部仕上表				■ その他	
屋根	コンクリート直均し、ウレタンゴム系塗膜防水(遮熱断熱仕様) t=3mm (X-2) 立上り:ウレタンゴム系塗膜防水(遮熱断熱仕様)	外壁 クラック目地	外壁の開口部は上下方向にクラック目地w20x10を施す。 シーリングPU-2	最上階屋根 スラブ下	押出法ポリスチレンフォーム断熱材打込 t=30 3種 b-A F4等級 熱伝導率0.028以下
屋外廊下	コンクリート直均し仕上げ エアコンドレン部分排水目地w20x15	打継目地 化粧目地	※打継目地、クラック誘発目地、化粧目地等は、目地底でフカシ コンクリートを10mm以上確保する事。目地w20x10、シーリングPU-2	階段手摺	アルミ製鋼管φ34.0φ コーナー部分、及び端部は、曲面処理とする。
バルコニー	コンクリート直均し仕上げ エアコンドレン部分排水目地w20x15	タラップ	ステンレス製 φ19.0・w400×d300 (4本)	カーテンレール	ステンレスカーテンレール ダブル(各洋室・LDK:開口幅+片側150mm)
1階ポーチ	土間コンクリート直均し仕上げ、カッター目地@3m以下	オーバー フロー管	樹脂製50φ	屋上点検口	ステンレス製600角
外壁	コンクリート打放し(B種)補修のうえ複層塗材Si 手摺、パラペット天端等はトップのみ			造作材	特記なき造作材は、メラビとする
軒天	コンクリート打放し補修の上 EP-1				
縦樋	硬質塩化ビニール管 EP塗装 VP100φ 1階部分/各ヵ所掃除口				
雨水埋設管 集水柵	雨水埋設管VP100φ コンクリート製集水柵(呼び)400×400 H600 鋼製グレーチング柵蓋:400角、枠付、普通目、T-2				
ドレイン	鋳鉄製タテ引き(ルーフ・中継)※呼径100φ				

■ 内部仕上表											
階	室名	天井高	レベル (FL+)	床	巾木 (H)	下地	壁	廻縁	天井(1階)	天井(2階)	備考
共通	玄関	2350 (家族世帯)	-150	下地:モルタル t=30 仕上:150角磁器質タイル貼り	タイル立上 木製 CL 15x60	LGS 65型 RC GL工法	石膏ボード t=12.5 ビニールクロス	木製CL 9×30	(家族世帯) 下地:LGS 19型 仕上:化粧石膏ボード t=9.5 張り	下地:LGS 19型 仕上:化粧石膏ボード t=9.5 張り	上框:御影石本磨き 100×30(糸面付) 靴箱
		1F:2520 2F:2500 (単身世帯)							(単身世帯) 下地:コンクリート 打放補修複層塗材(小粒吹付)		
	玄関ホール	2200 (家族世帯)	±0	下地:置き床組t=25 仕上:複合フローリング t=12 (ノダナチュラルフェイスS・Jベース同等品以上)	木製 CL 15x60	LGS 65型 RC GL工法	石膏ボード t=12.5 ビニールクロス	木製CL 9×30	(家族世帯) 下地:LGS 19型 仕上:化粧石膏ボード t=9.5 張り	下地:LGS 19型 仕上:化粧石膏ボード t=9.5 張り	
		1F:2520 2F:2500 (単身世帯)							(単身世帯) 下地:コンクリート 打放補修複層塗材(小粒吹付)		
	DK(単身世帯)	2520 (1F)	±0	下地:置き床組t=25 仕上:複合フローリング t=12 (ノダナチュラルフェイスS・Jベース同等品以上)	木製 CL 15x60	LGS 65型 RC GL工法	石膏ボード t=12.5 ビニールクロス 流し台前:耐水石膏ボード t=12.5 キッチンパネル (準不燃以上)	木製CL 9×30	下地:コンクリート打放補修 複層塗材 (小粒吹付)	下地:LGS 19型 仕上:化粧石膏ボード t=9.5 張り	流し台 B.L品(単身世帯L=1800) (家族世帯L=2100) 吊戸棚 ステンテス製2段水切柵(L=1200)
		2500 (2F)							下地:コンクリート打放補修 複層塗材 (小粒吹付)		
	各洋室	2520 (1F)	±0	下地:置き床組t=25 仕上:複合フローリング t=12 (ノダナチュラルフェイスS・Jベース同等品以上)	木製 CL 15x60	LGS 65型 RC GL工法	石膏ボード t=12.5 ビニールクロス	木製CL 9×30	下地:コンクリート打放補修 複層塗材 (小粒吹付)	下地:LGS 19型 仕上:化粧石膏ボード t=9.5 張り	
		2500 (2F)							下地:コンクリート打放補修 複層塗材 (小粒吹付)		
	洗面脱衣	2200	±0	下地:置き床組t=25(t=9耐水合板下地) 仕上:ビニール床シート貼り t=2.5	ソフト巾木 H=60	LGS 65型 RC GL工法	耐水石膏ボード t=12.5 ビニールクロス	塩ビ 見切縁	下地:LGS 19型 仕上:ケイカル板 t=6 EP-1	下地:LGS 19型 仕上:ケイカル板 t=6 EP-1	
	WC	2200	±0	下地:置き床組t=25(t=9耐水合板下地) 仕上:ビニール床シート貼り t=2.5	ソフト巾木 H=60	LGS 65型 RC GL工法	耐水石膏ボード t=12.5 ビニールクロス	塩ビ 見切縁	下地:LGS 19型 仕上:ケイカル板 t=6 EP-1	下地:LGS 19型 仕上:ケイカル板 t=6 EP-1	
CL	2520 (1F)	±0	下地:置き床組t=25 仕上:複合フローリング t=12 (ノダナチュラルフェイスS・Jベース同等品以上)	木製 CL 15x15	LGS 65型 RC GL工法	石膏ボード t=12.5 ビニールクロス	木製CL 9×30	下地:コンクリート打放補修 複層塗材 (小粒吹付)	下地:LGS 19型 仕上:化粧石膏ボード t=9.5 張り	枕棚・SUSハンガーパイプ	
	2500 (2F)							下地:コンクリート打放補修 複層塗材 (小粒吹付)			
収納	2520 (1F)	±0	下地:置き床組t=25 仕上:複合フローリング t=12 (ノダナチュラルフェイスS・Jベース同等品以上)	木製 CL 15x15	LGS 65型 RC GL工法	石膏ボード t=12.5 ビニールクロス	木製CL 9×30	下地:コンクリート打放補修 複層塗材 (小粒吹付)	下地:LGS 19型 仕上:化粧石膏ボード t=9.5 張り	可動棚板・棚柱	
	2500 (2F)							下地:コンクリート打放補修 複層塗材 (小粒吹付)			

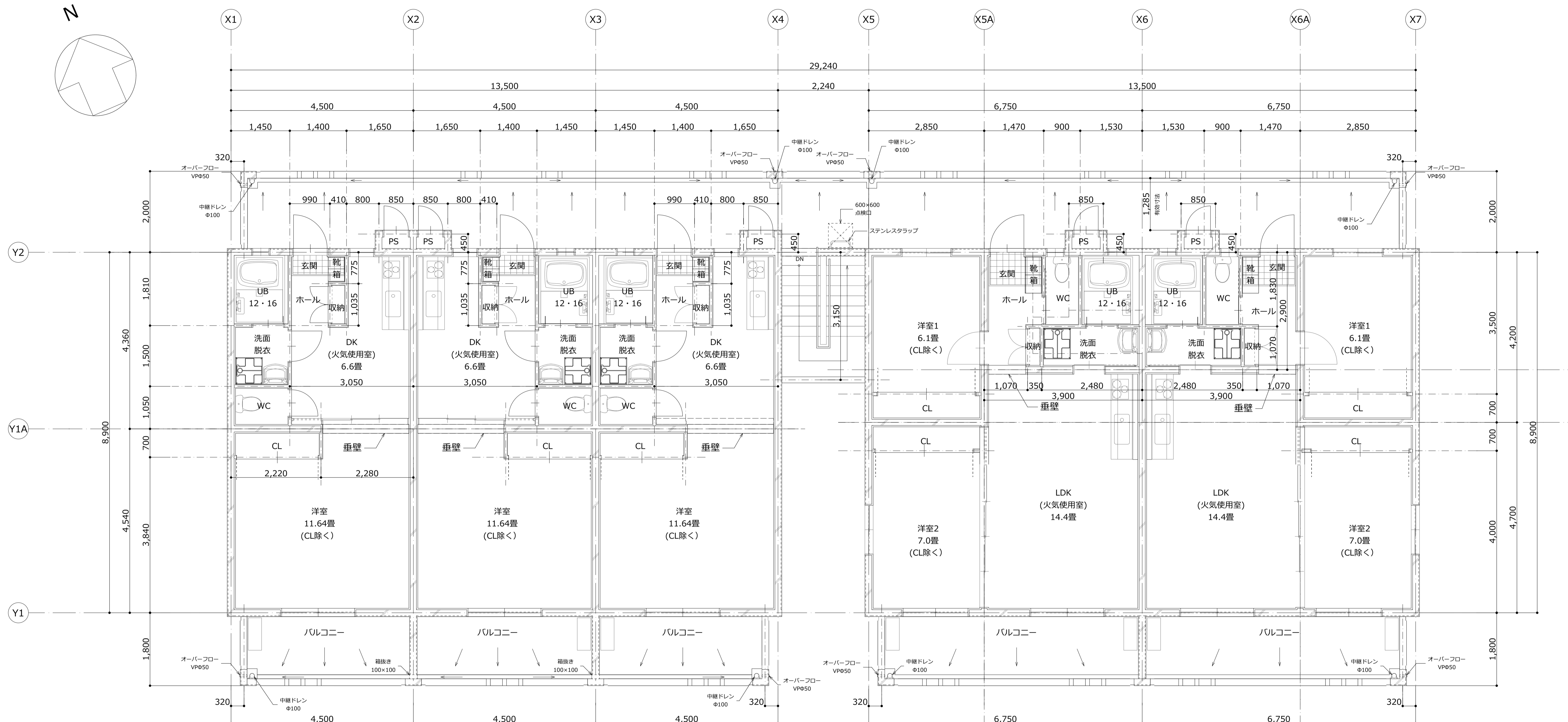
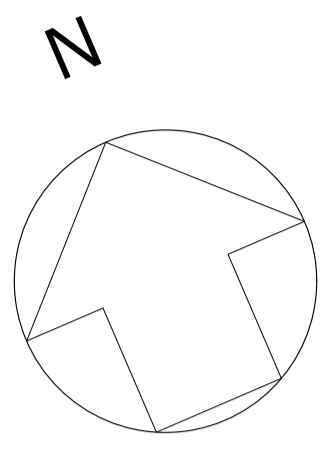
石膏ボード t=12.5	不燃 NM-8619
シーリング石膏ボード t=12.5	不燃 NM-9639
珪酸カルシウム板 t=6	不燃 NM-8578
化粧石膏ボード t=9.5	準不燃 QM-0524

特記
 ※内装仕上材は全てF☆☆☆☆とする。
 ※建築材料の品質は法第37条(構造部材の耐久)に適合させ、
 完了検査時にミルシート及びコンクリート強度証明資料等を提出する。
 ※水廻り・外部等の珪酸カルシウム板 目透かし張りは全てシーリング(10x10)処理を行う。
 ※コンクリートとボード・合板類の突付けヵ所はシーリング(10x10)処理を行う。
 ※壁/石膏ボードのジョイント目地は、グラスメッシュテープを施し、パテ処理を行う。
 ※壁/石膏ボードの出隅及び入角部分は、コーナービート、ジョイントテープ、パテ処理を行う。
 ※住戸界壁のコンセントボックス等の位置は、背中合わせとしてはならない。

工事名称	(仮称)栗国村教員住宅(南棟Ⅱ)新築工事(建築)	工事年度	令和5年度
工事場所	栗国村字東544番地(他5筆)	図面名称 箱 尺	外部・内部仕上表 A1 A3
発注機関	栗国村教育委員会	図面番号	A-07
摘要	管理建築士 設 計 製 図	名 称	(株)渡久山設計
検 印		資格者氏名	比嘉 義明
		登録番号	第一級建築士 大正登録 第 25938号 二級建築士 事務用特等登録 第104-194号
		所在地	浦添市牧港2丁目8番4号



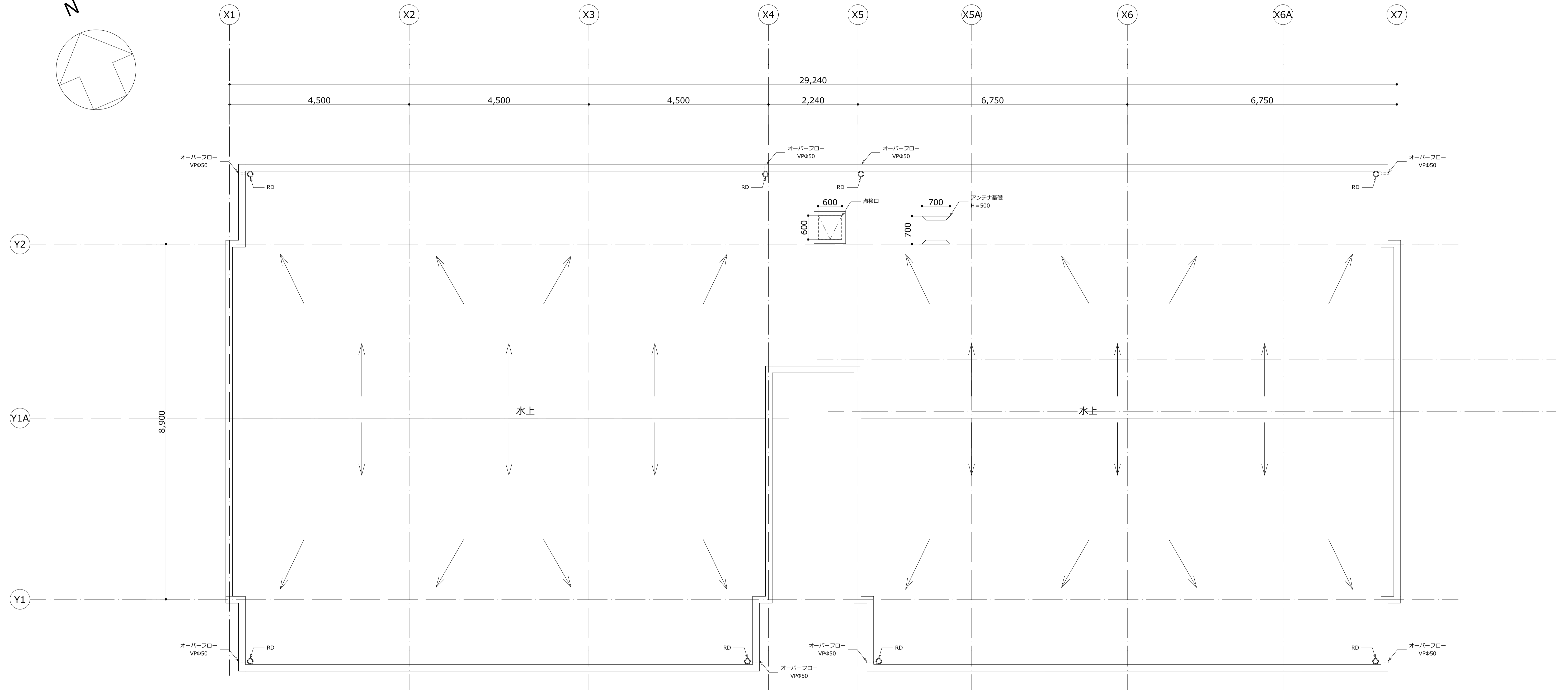
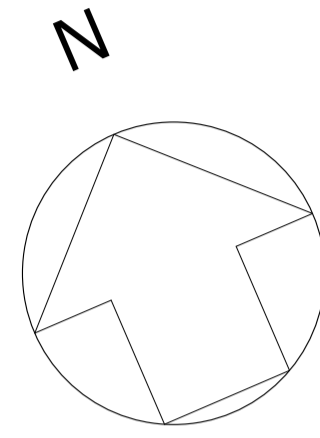
工事名称	(仮称) 栗国村教員住宅(南棟Ⅱ)新築工事(建築)	工事年度	令和5年度
工事場所	栗国村字東544番地(他5筆)	図面名称	1階平面図
発注機関	栗国村教育委員会	縮尺	A1 1/50 A3 1/100
摘要	図面番号 A-08		
検印	管理建築士	設計	製図
	名称	(株) 渡久山設計	
	資格者氏名	比嘉 義明	
	登録番号	一級建築士 本邦登録 第 259388号 一級建築士事務所 登録 第 04-198号	
所在地	浦添市牧港2丁目8番4号		



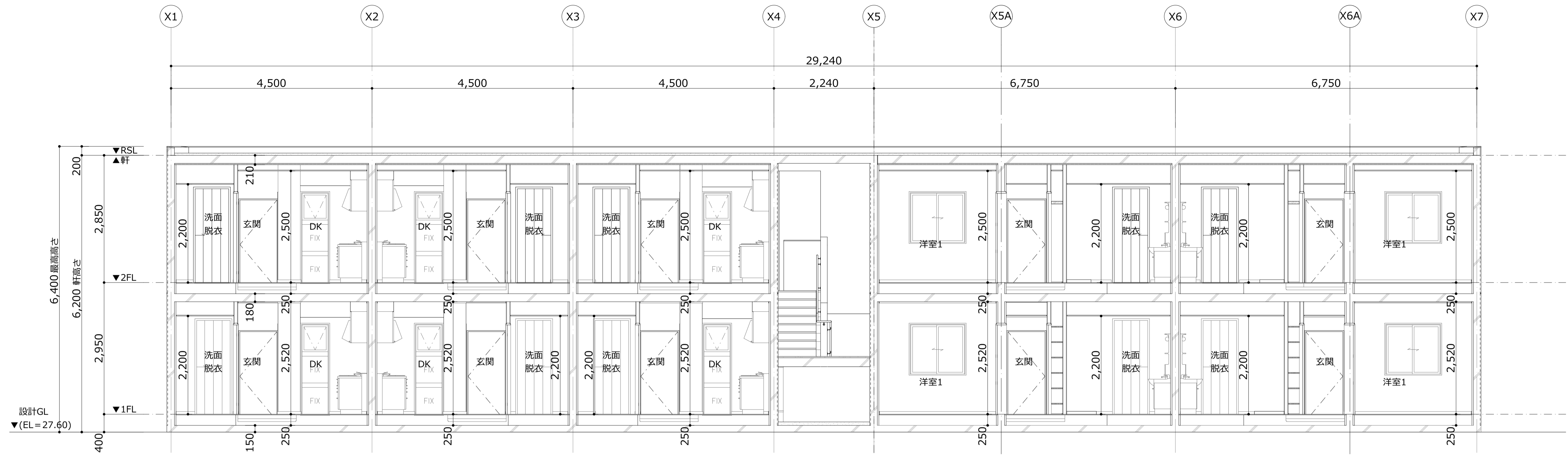
Aタイプ 居室面積：29.64㎡ 住戸面積：35.44㎡	Bタイプ 居室面積：29.64㎡ 住戸面積：35.44㎡	Aタイプ 居室面積：29.64㎡ 住戸面積：35.44㎡	Cタイプ 居室面積：44.77㎡ 住戸面積：52.91㎡	Dタイプ 居室面積：44.77㎡ 住戸面積：52.91㎡
---	---	---	---	---

合計居室面積
 $29.64\text{m}^2 \times 3 + 44.77\text{m}^2 \times 2 = 178.46\text{m}^2$
 合計住戸面積
 $35.44\text{m}^2 \times 3 + 52.91\text{m}^2 \times 2 = 212.14\text{m}^2$

工事名称	(仮称) 栗国村教員住宅(南棟II)新築工事(建築)	工事年度	令和5年度
工事場所	栗国村字東544番地(他5筆)	図面名称	2階平面図
発注機関	栗国村教育委員会	縮尺	A1 1/50 A3 1/100
摘要	図面番号 A-09		
検印	管理建築士	設計	製図
	名称	(株) 渡久山設計	
	資格者氏名	比嘉 義明	
	登録番号	一級建築士 本登録第 25938号 一級建築士事務所登録第 第104-194号	
	所在地	浦添市牧港2丁目8番4号	



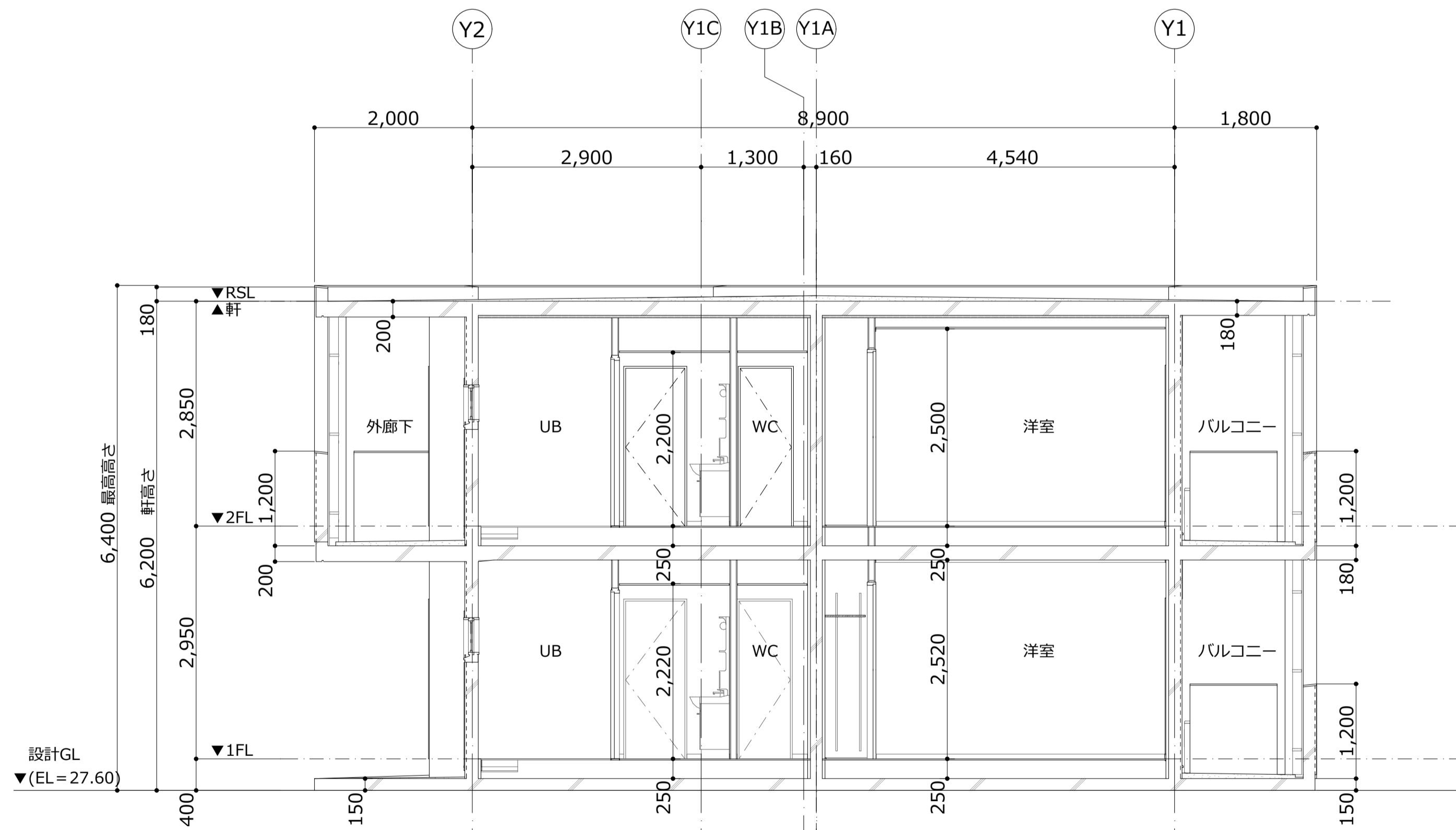
工事名称	(仮称) 栗国村教員住宅(南棟Ⅱ)新築工事(建築)	工事年度	令和5年度
工事場所	栗国村字東544番地(他5筆)	図面名称	R階平面図
発注機関	栗国村教育委員会	図面名尺	A1 1/50 A3 1/100
摘要	図面番号 A-10		
検印	管理建築士	設計	製図
	名称	(株) 渡久山設計	
	資格者氏名	比嘉 義明	
	登録番号	一級建築士 本邦登録 第 25938号 一級建築士 事務用特種登録 第04-194号	
	所在地	浦添市牧港2丁目8番4号	



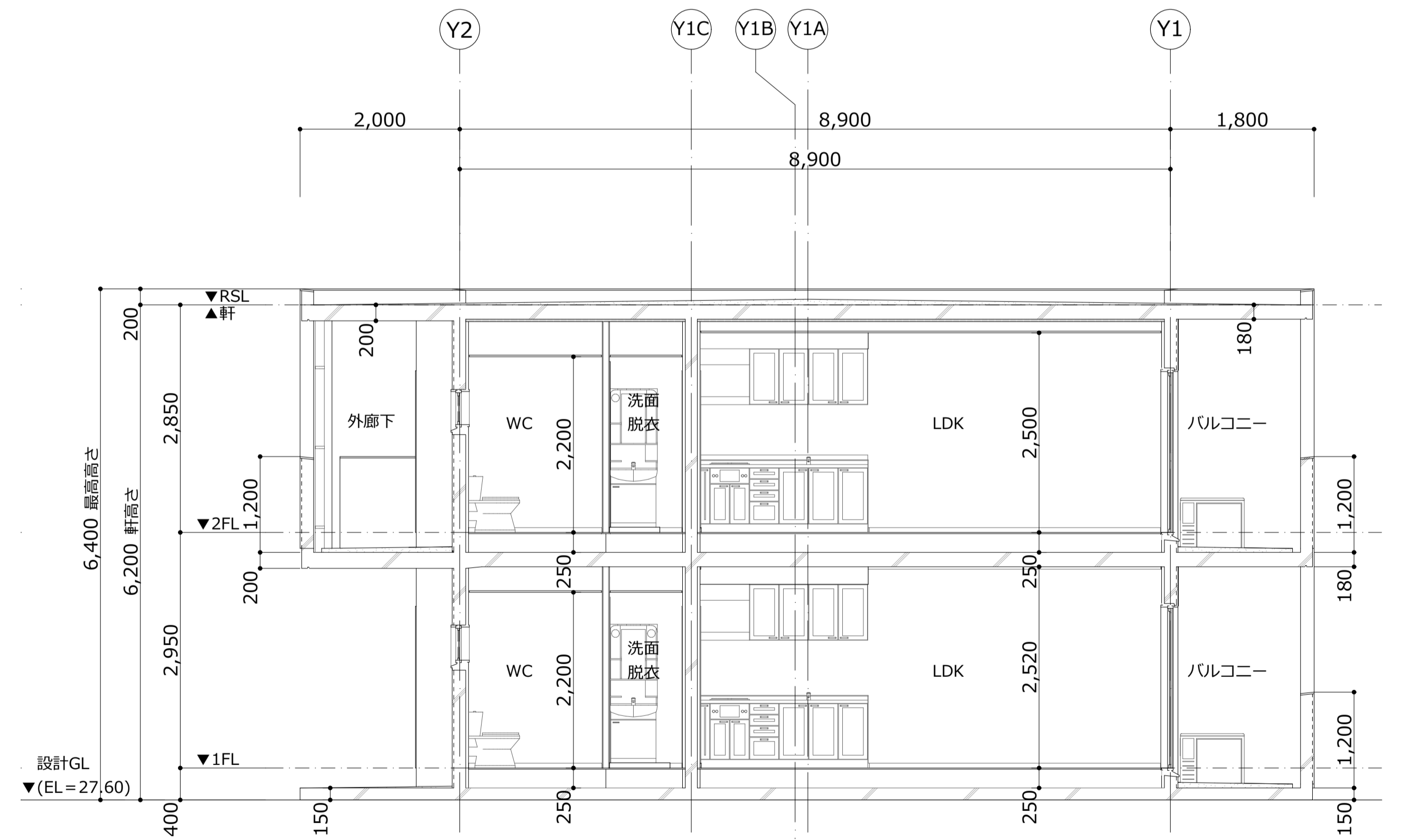
A断面図

単身世帯住戸

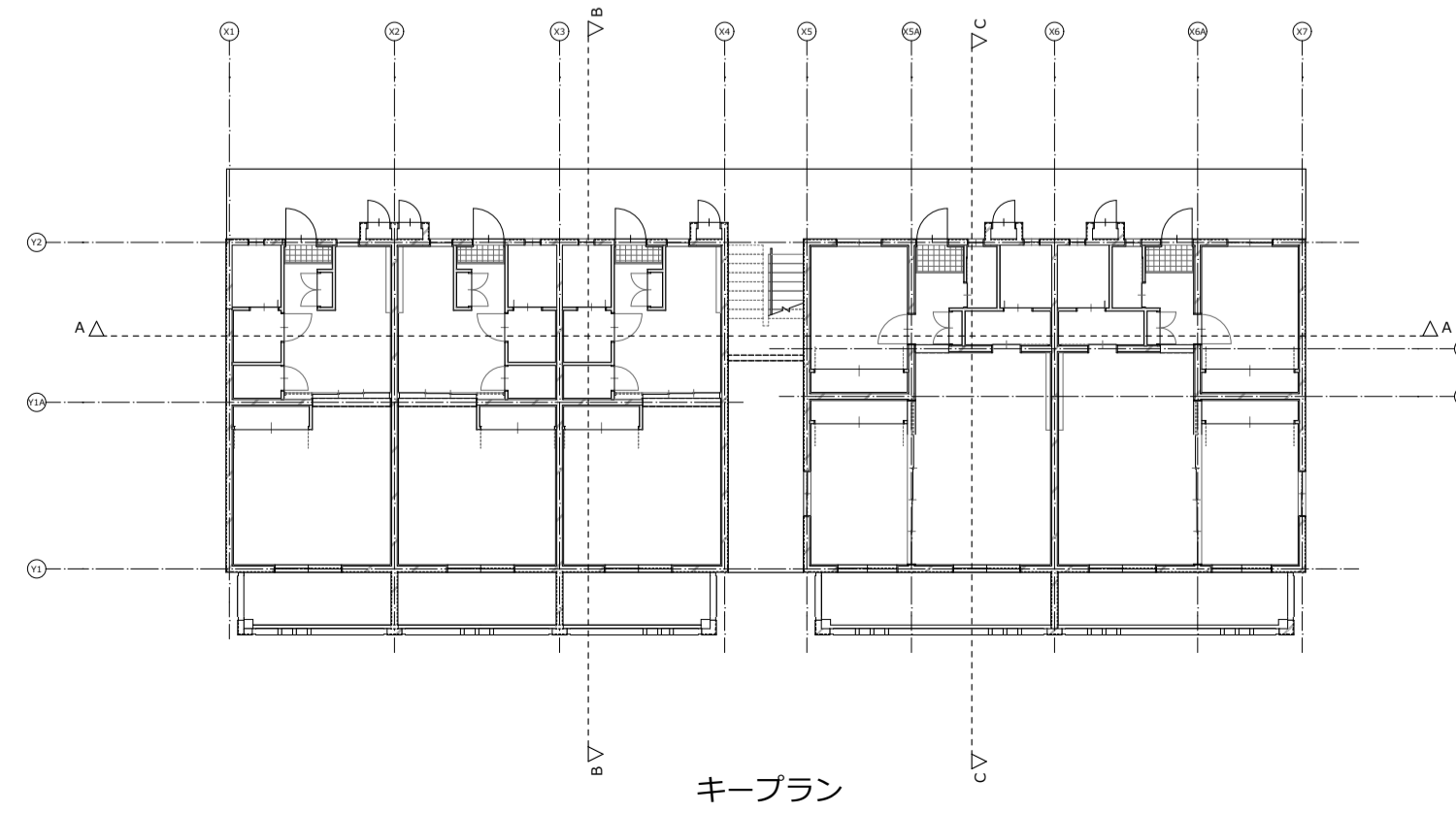
家族世帯住戸



B断面図



C断面図

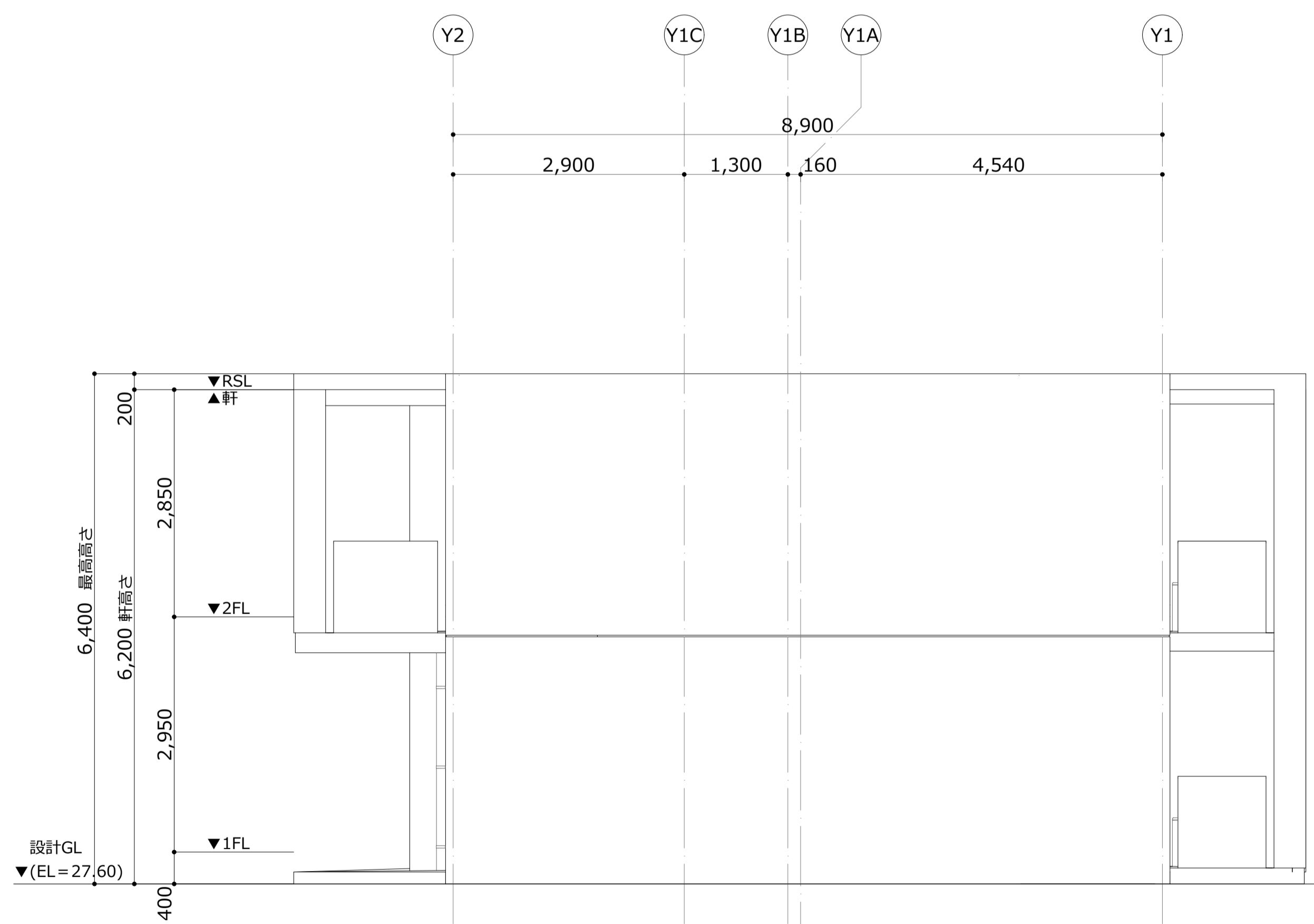


キープラン

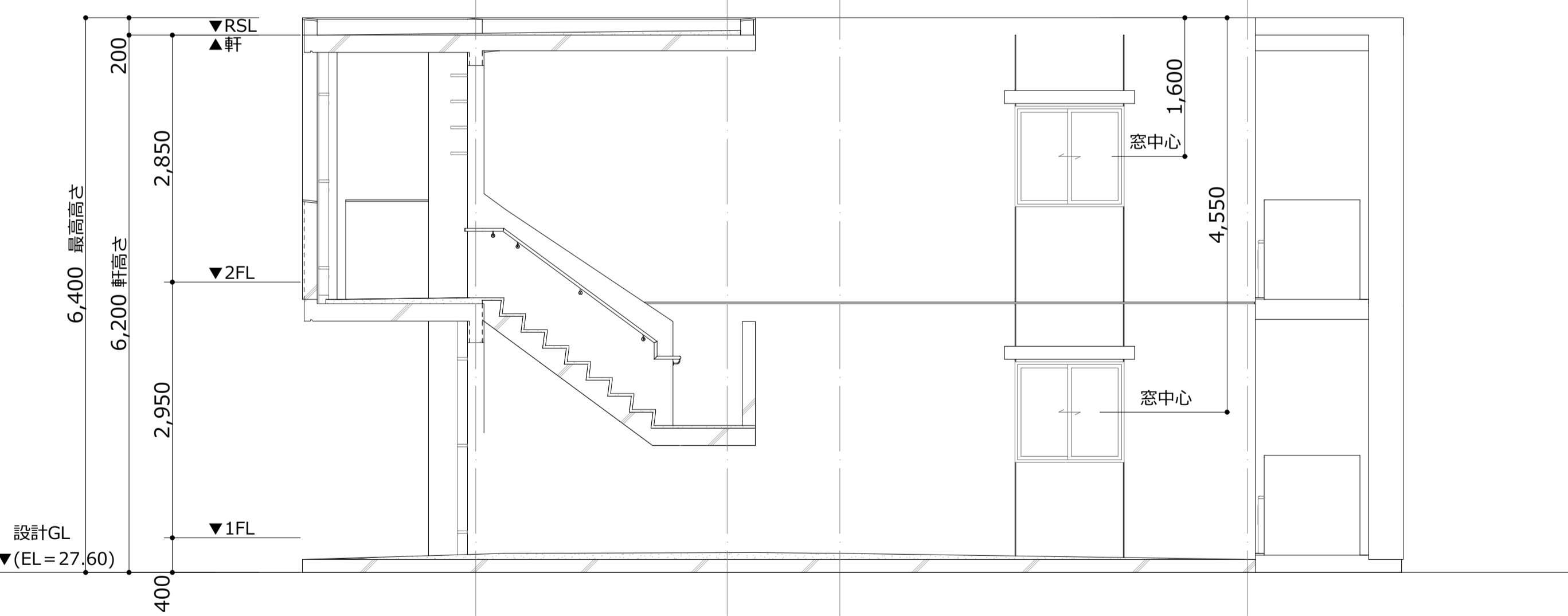
工事名称	(仮称)栗国村教員住宅(南棟II)新築工事(建築)	工事年度	令和5年度
工事場所	栗国村字東544番地(他5筆)	図面名称	断面図
発注機関	栗国村教育委員会	縮尺	A1 1/50 A3 1/100
摘要		図面番号	A-11
検印	管理建築士	設計	製図
	名称	(株)渡久山設計	
	資格者氏名	比嘉 義明	
	登録番号	一級建築士 本邦登録 第 25938号 一級建築士事務所特許登録 第104-194号	
	所在地	浦添市牧港2丁目8番4号	



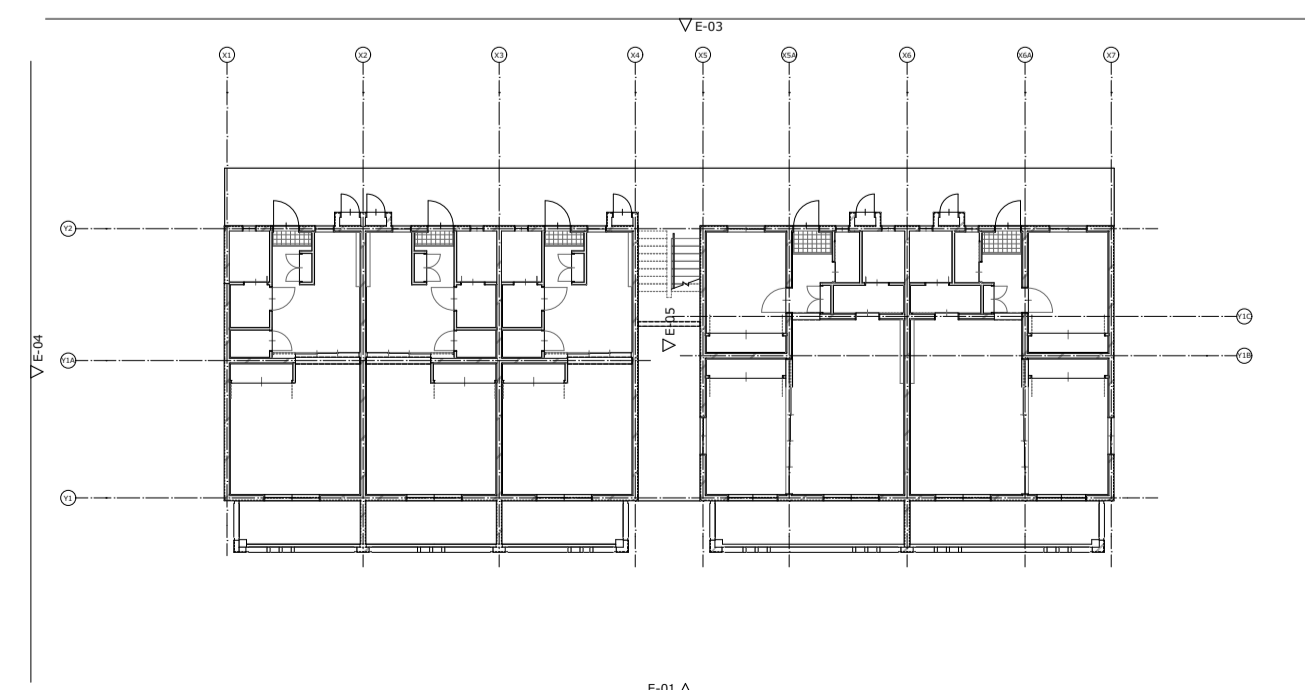
北側立面図



西側立面図-1



西側立面図-2

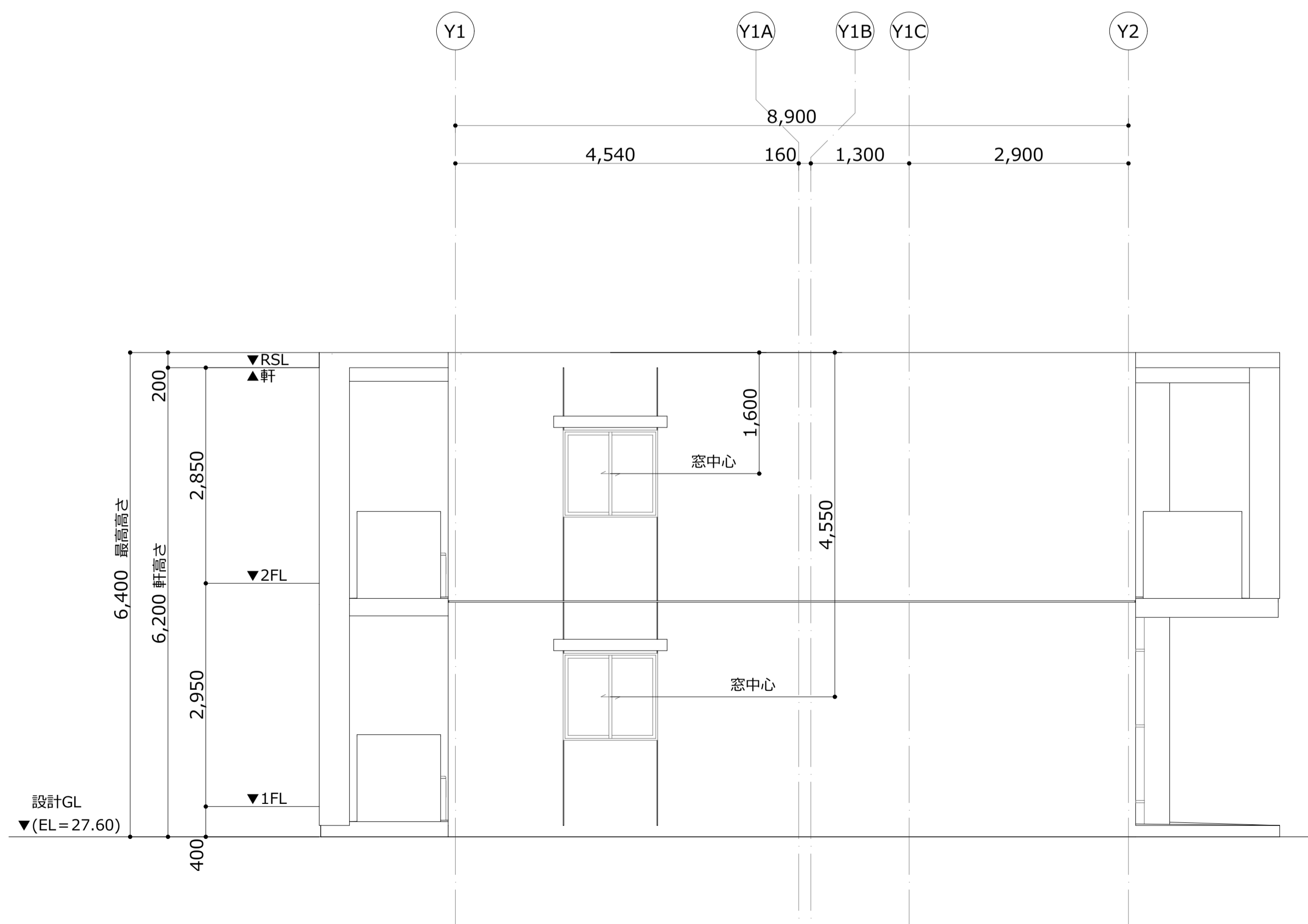


キープラン

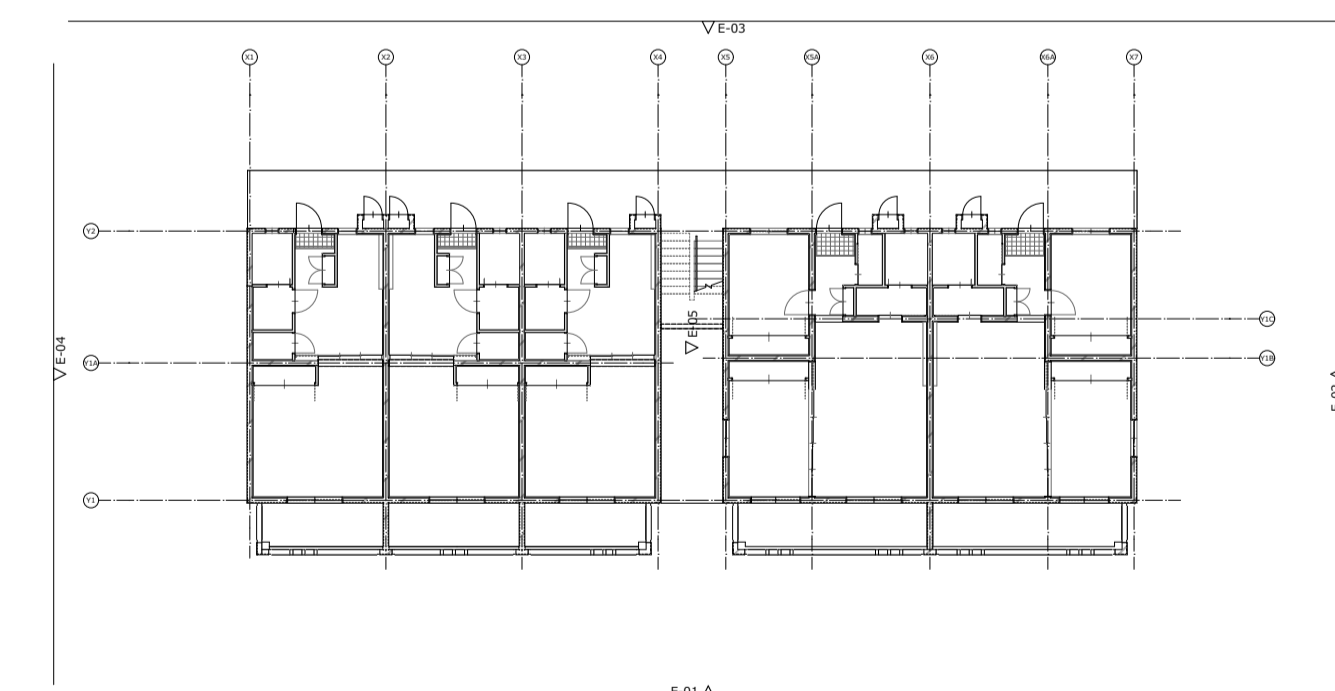
工事名称	(仮称) 栗国村教員住宅(南棟Ⅱ)新築工事(建築)	工事年度	令和5年度
工事場所	栗国村字東544番地(他5筆)	図面名称	北・西立面図
発注機関	栗国村教育委員会	図面名称	A1 1/50
摘要		図面番号	A3 1/100
検印	管理建築士	設計	製図
	名称	(株) 渡久山設計	
	資格者氏名	比嘉 義明	
	登録番号	一級建築士 本邦登録 第 25938号 一級建築士事務所別格登録 第104-194号	
所在地	浦添市牧港2丁目8番4号		



南側立面図

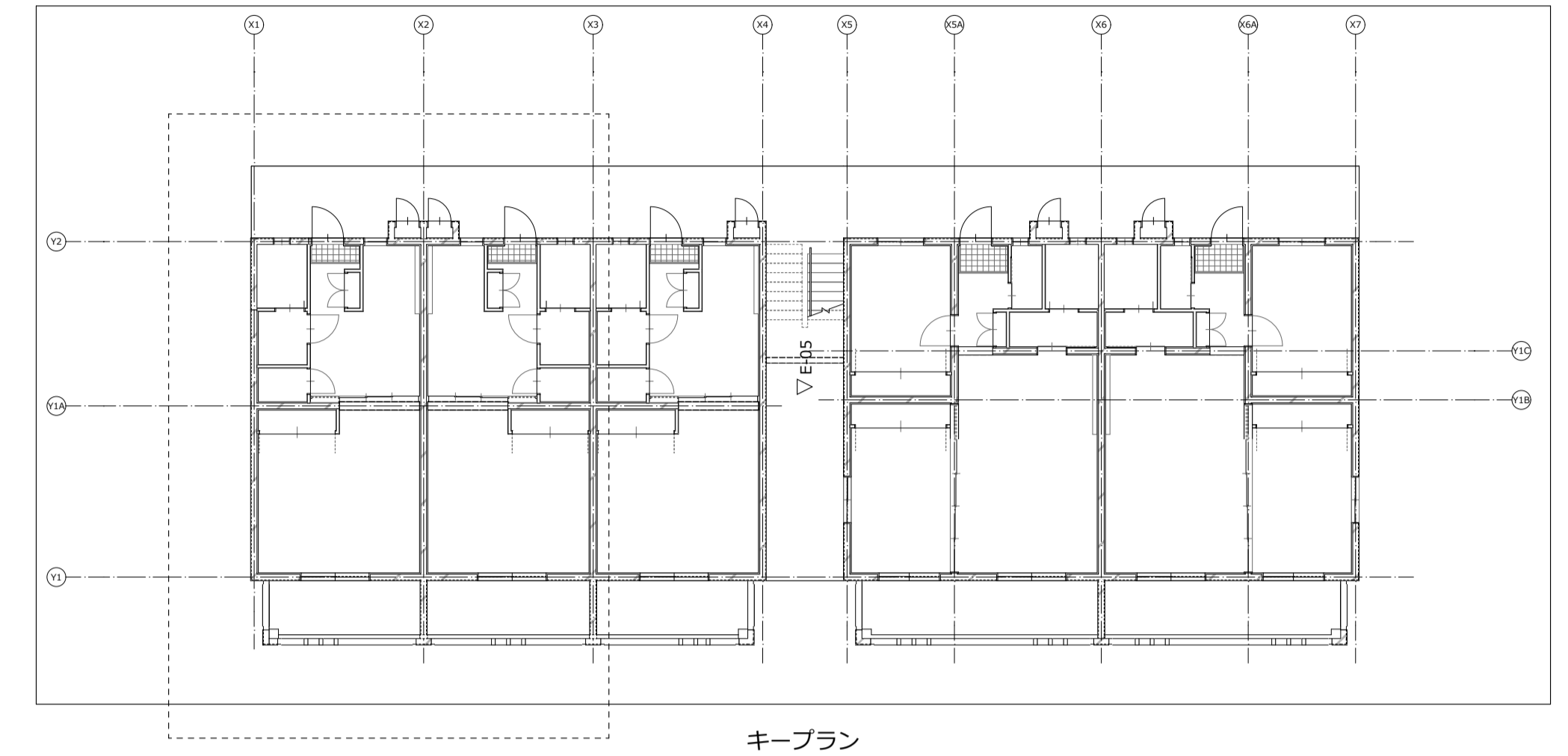
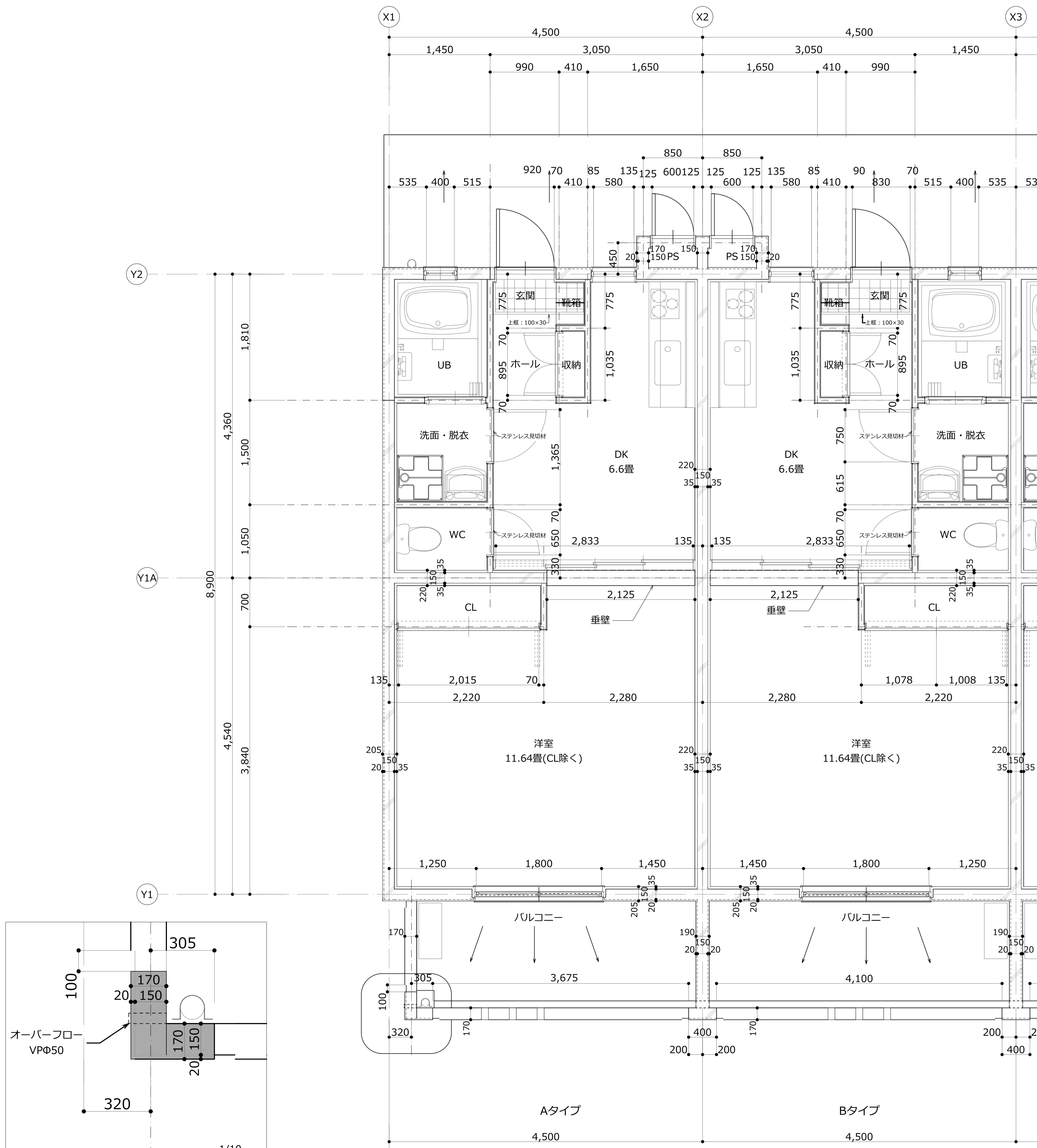


東側立面図



キープラン

工事名称	(仮称)栗国村教員住宅(南棟Ⅱ)新築工事(建築)	工事年度	令和5年度
工事場所	栗国村字東544番地(他5筆)	図面名称	南・東立面図
発注機関	栗国村教育委員会	縮尺	A1 1/50 A3 1/100
摘要		図面番号	A-13
検印	管理建築士	設計	製図
	名称	(株)渡久山設計	
	資格者氏名	比嘉 義明	
	登録番号	一般建築士 大宮事務所 第 25938号 一般建築士事務所附属登録 第104-198号	
	所在地	浦添市牧港2丁目8番4号	

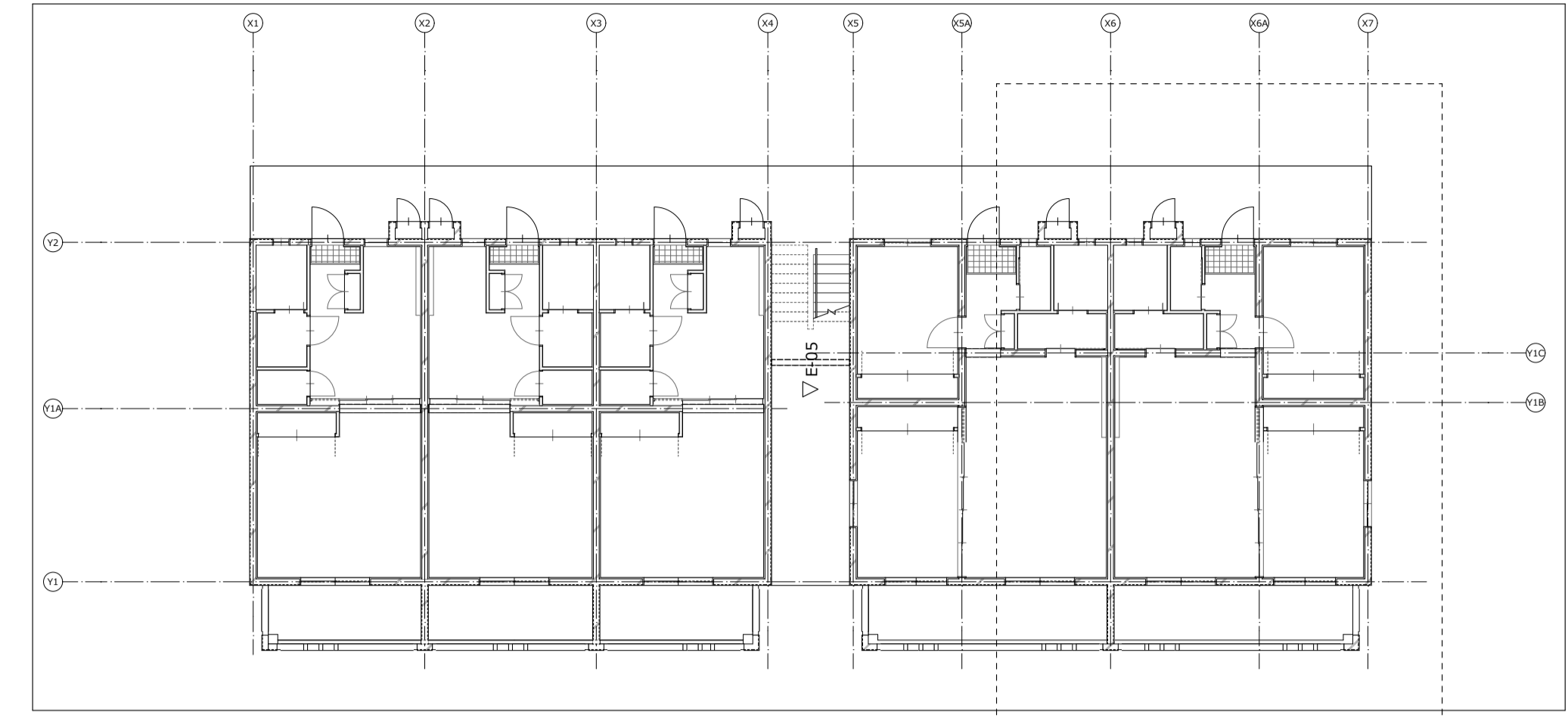
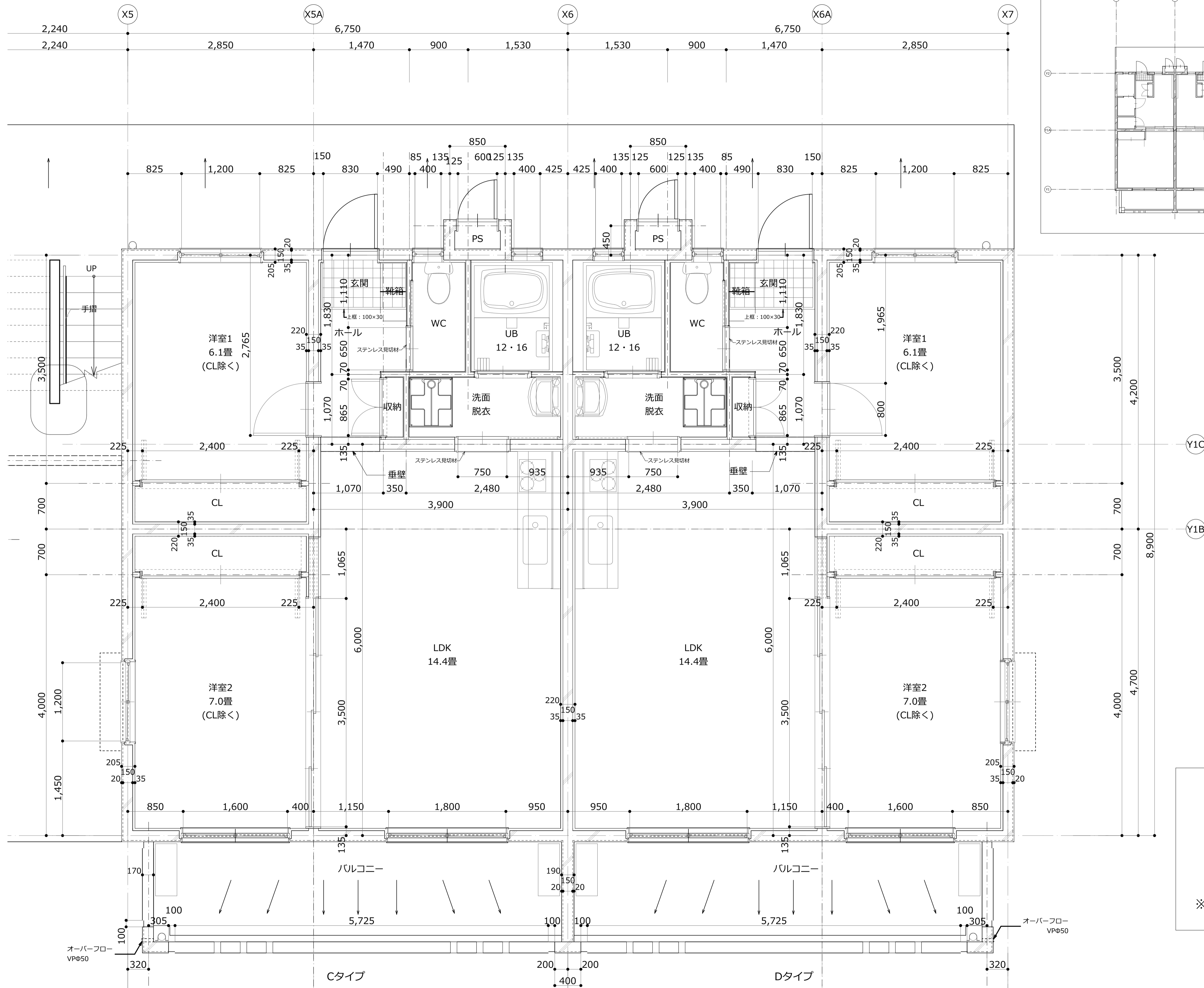


凡例・特記

展開方向

※靴箱背面壁、AC、カーテンレール取付箇所下地補強

工事名称	(仮称) 栗国村教員住宅(南棟Ⅱ)新築工事(建築)	工事年度	令和5年度
工事場所	栗国村字東544番地(他5筆)	図面名称	平面詳細図-1
発注機関	栗国村教育委員会	図面名称	A1 1/30
摘要		図面番号	A3 1/60
検印	管理建築士	設計	製図
	名称	(株) 渡久山設計	
	資格者氏名	比嘉 義明	
	登録番号	一般建築士 大宮登録 第 25938号 一般建築士事務所登録 第104-198号	
	所在地	浦添市牧港2丁目8番4号	



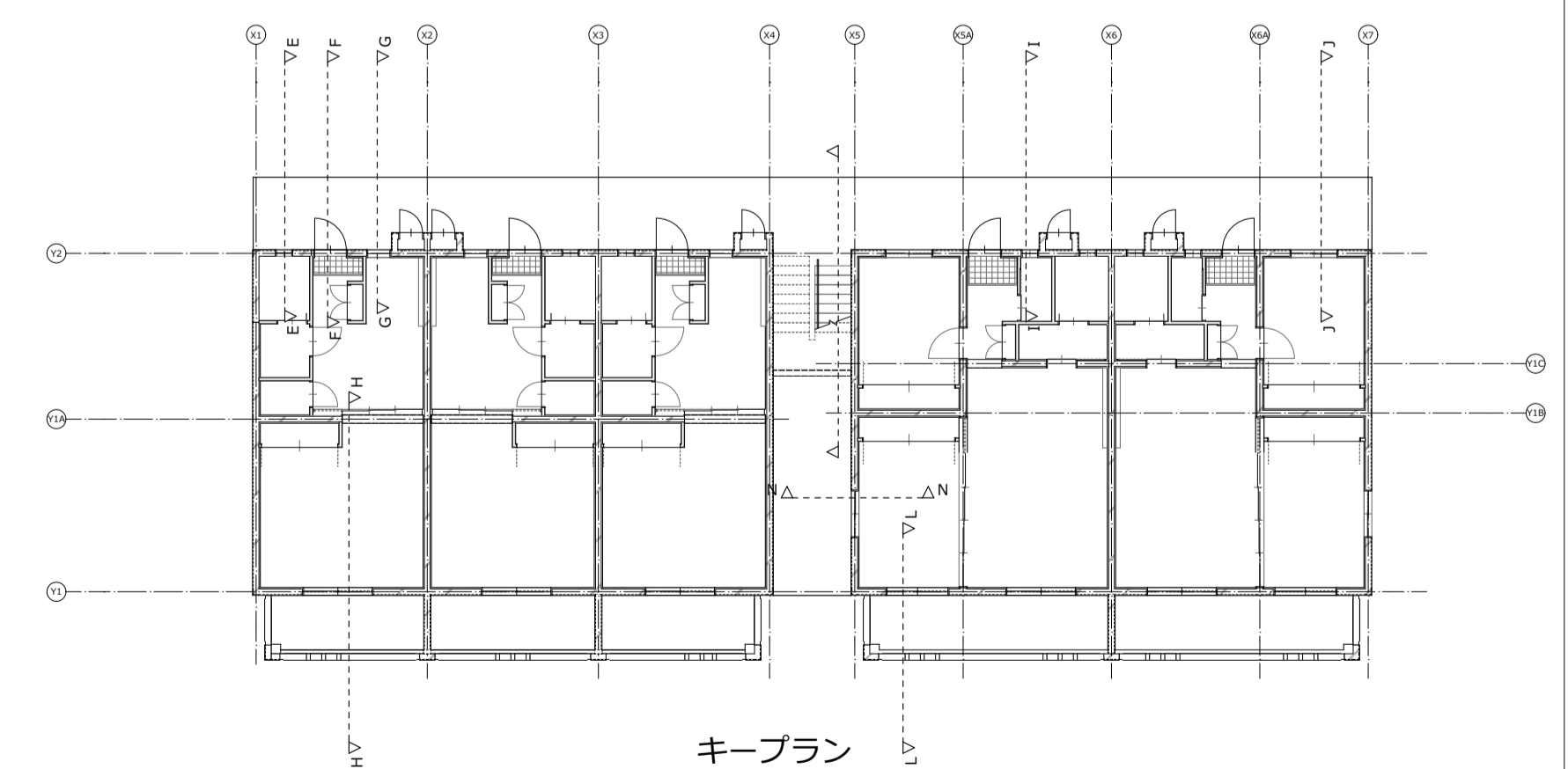
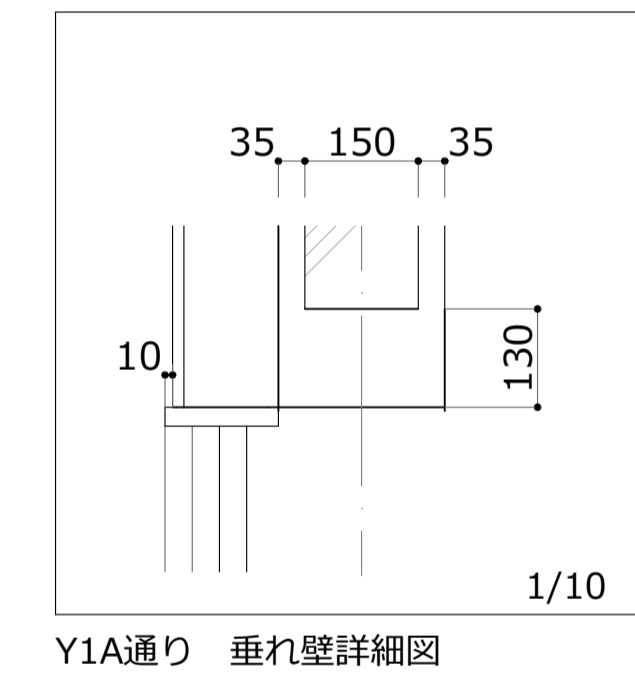
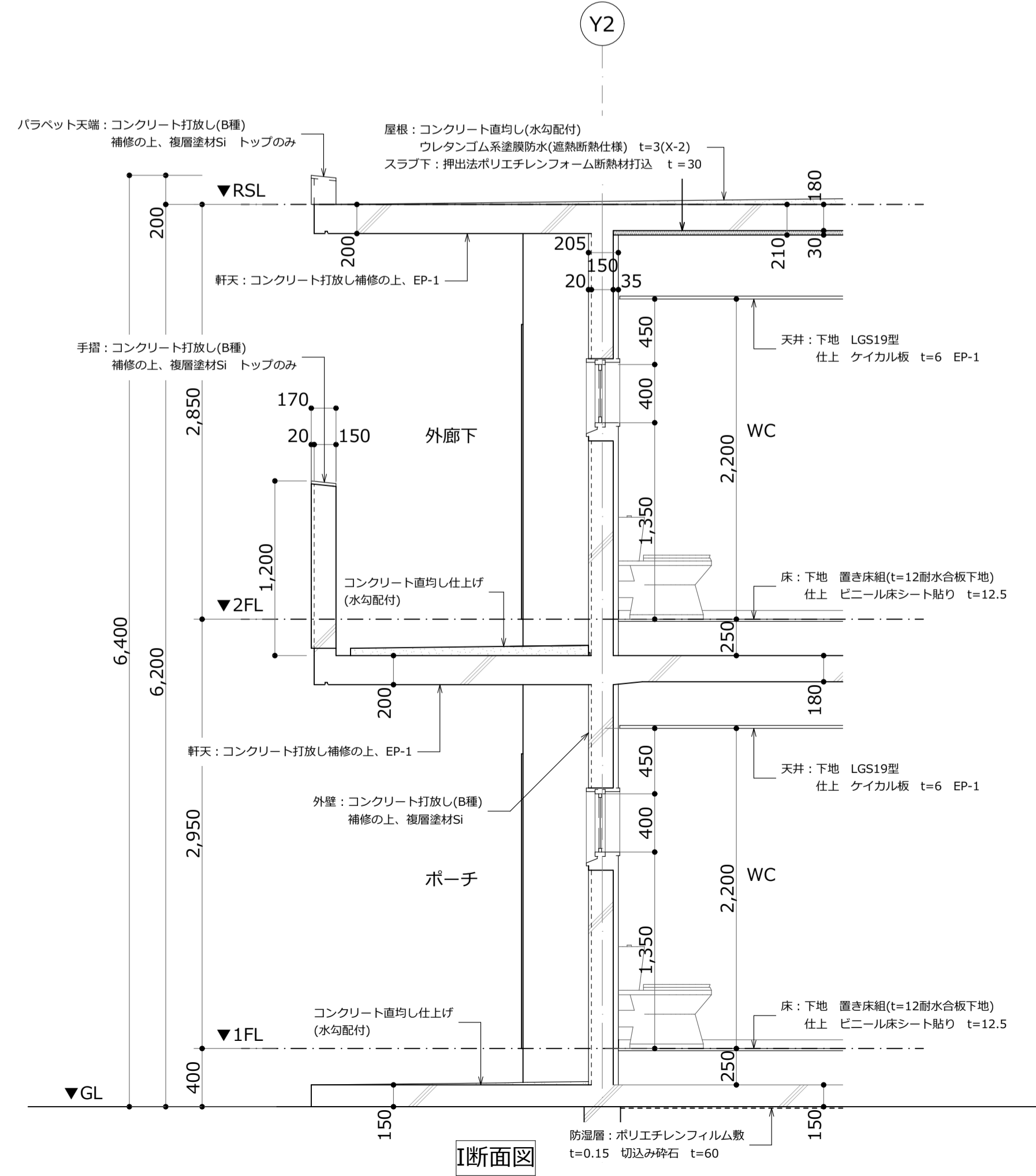
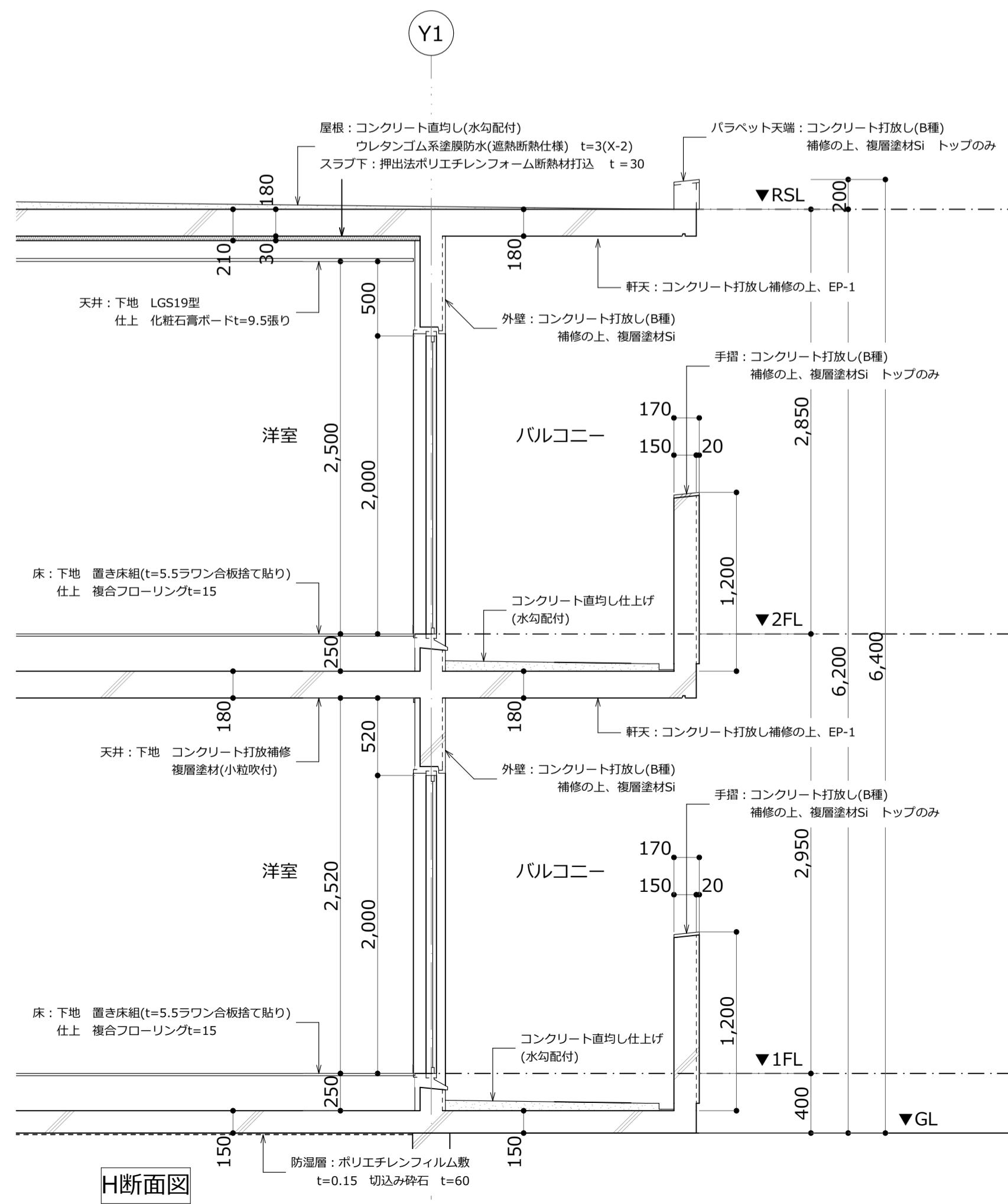
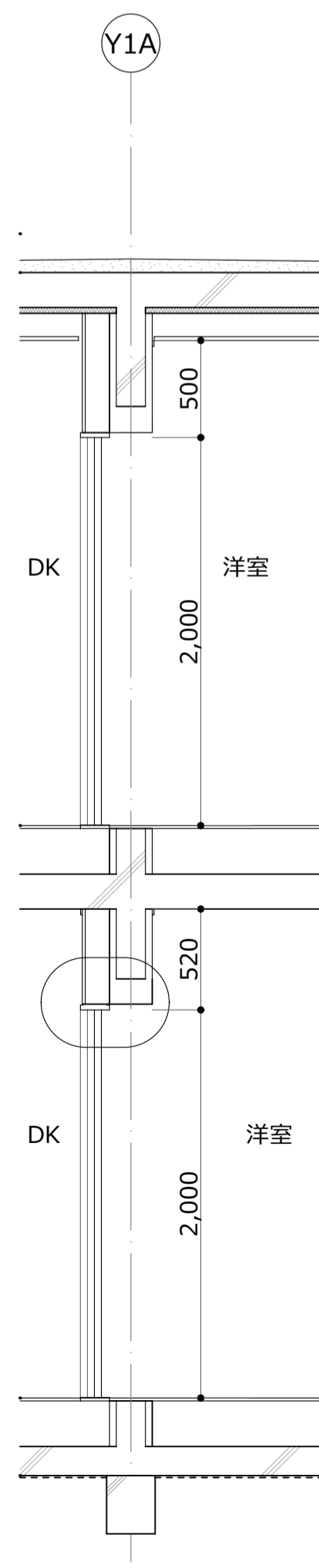
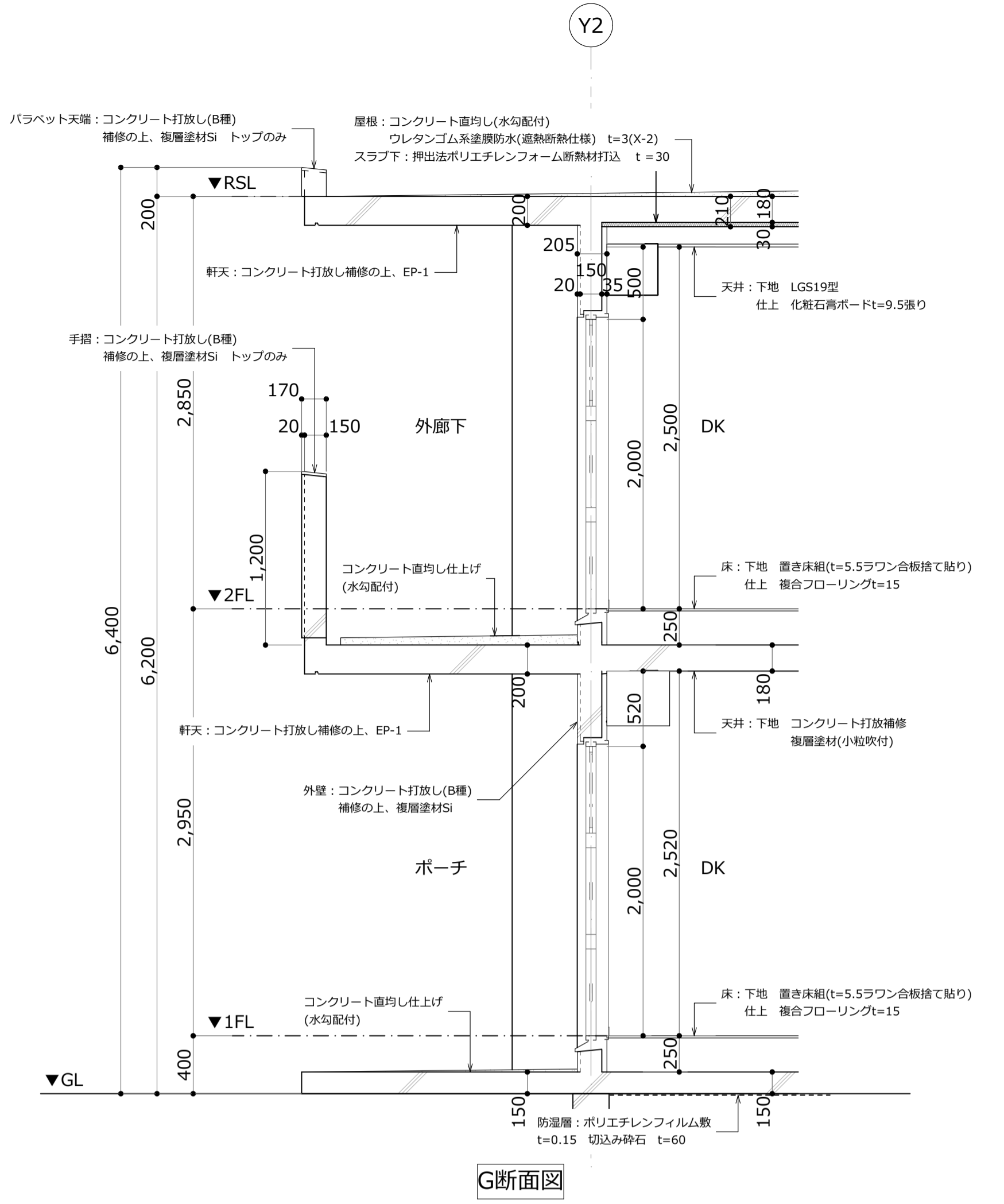
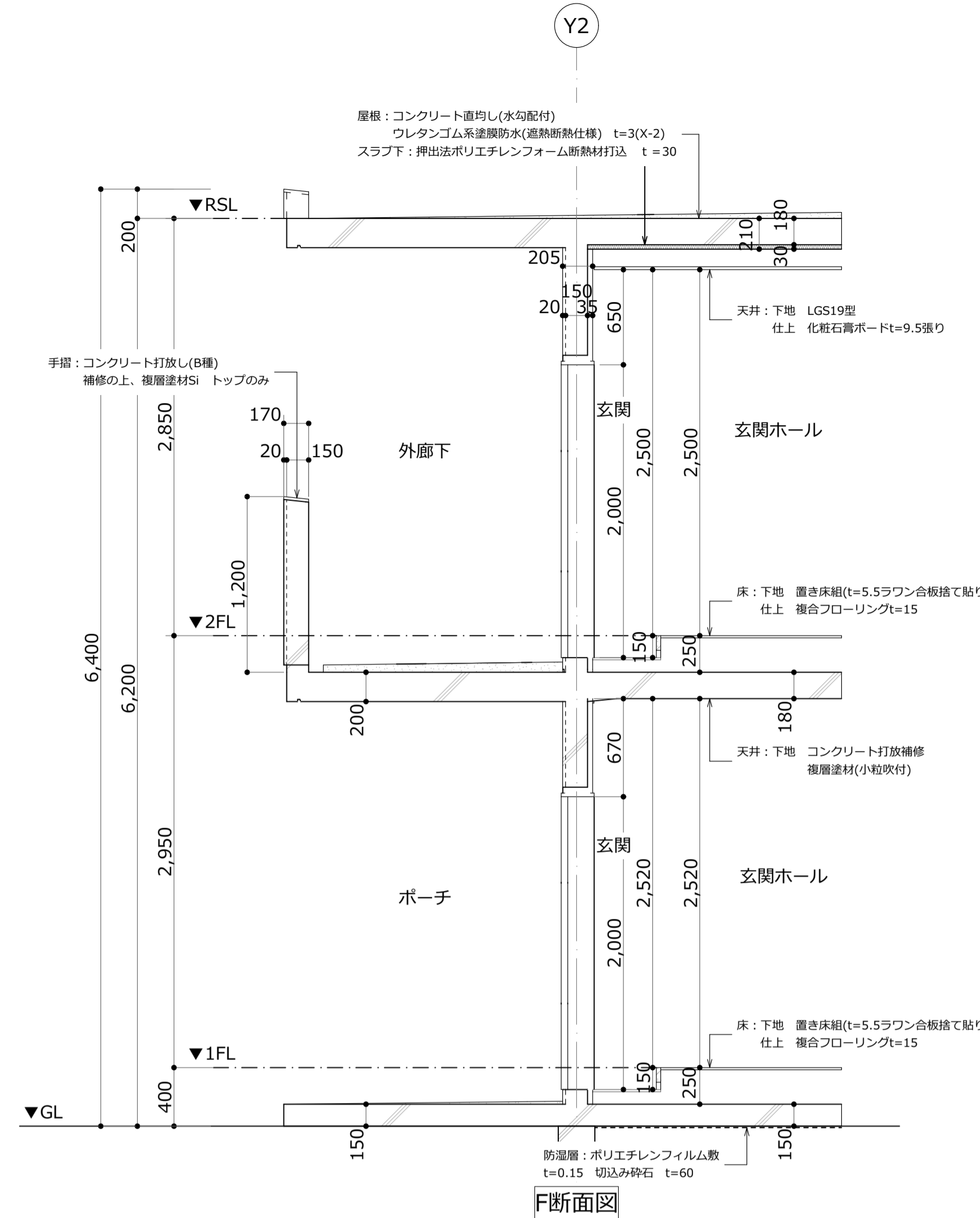
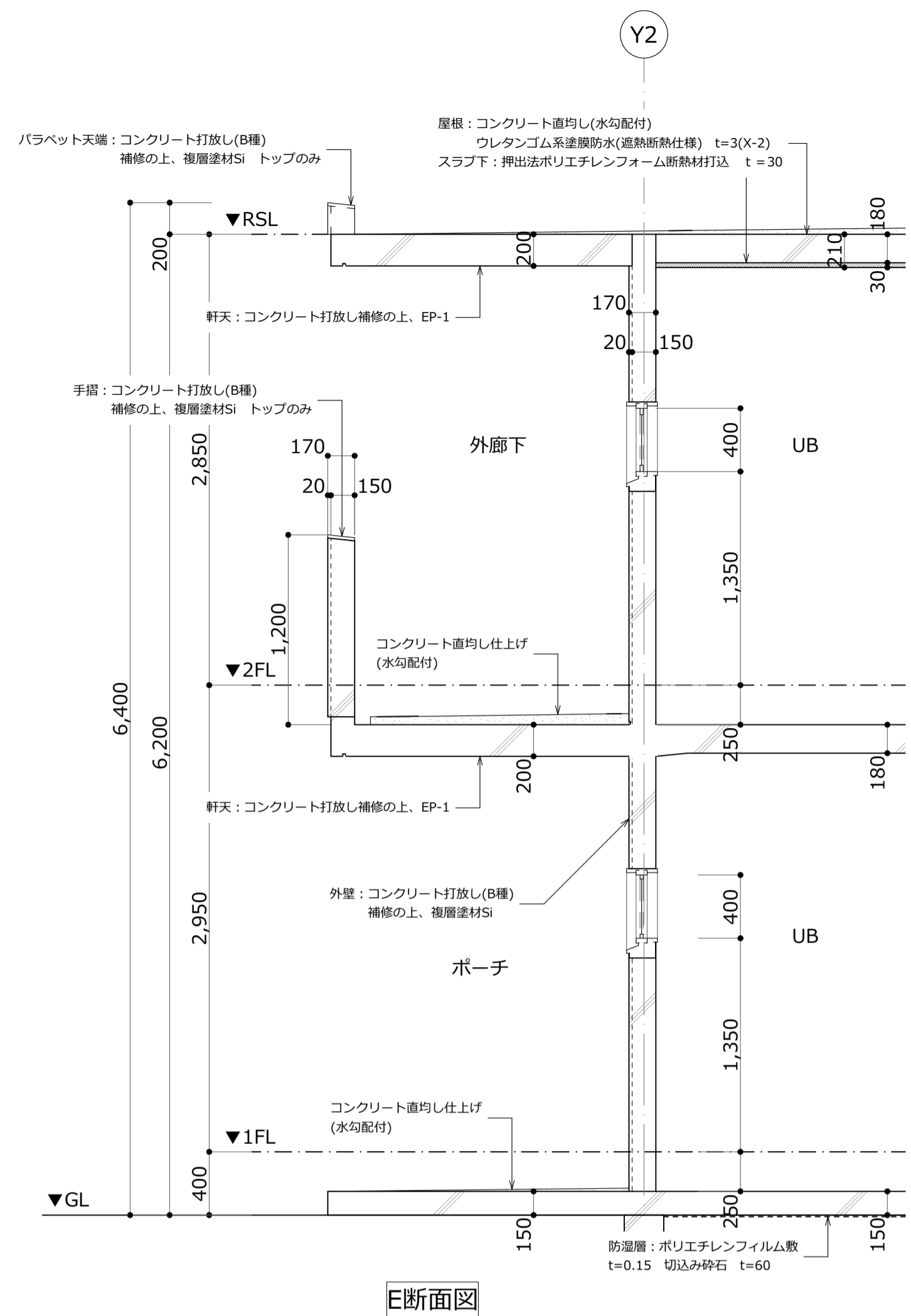
キープラン

凡例・特記

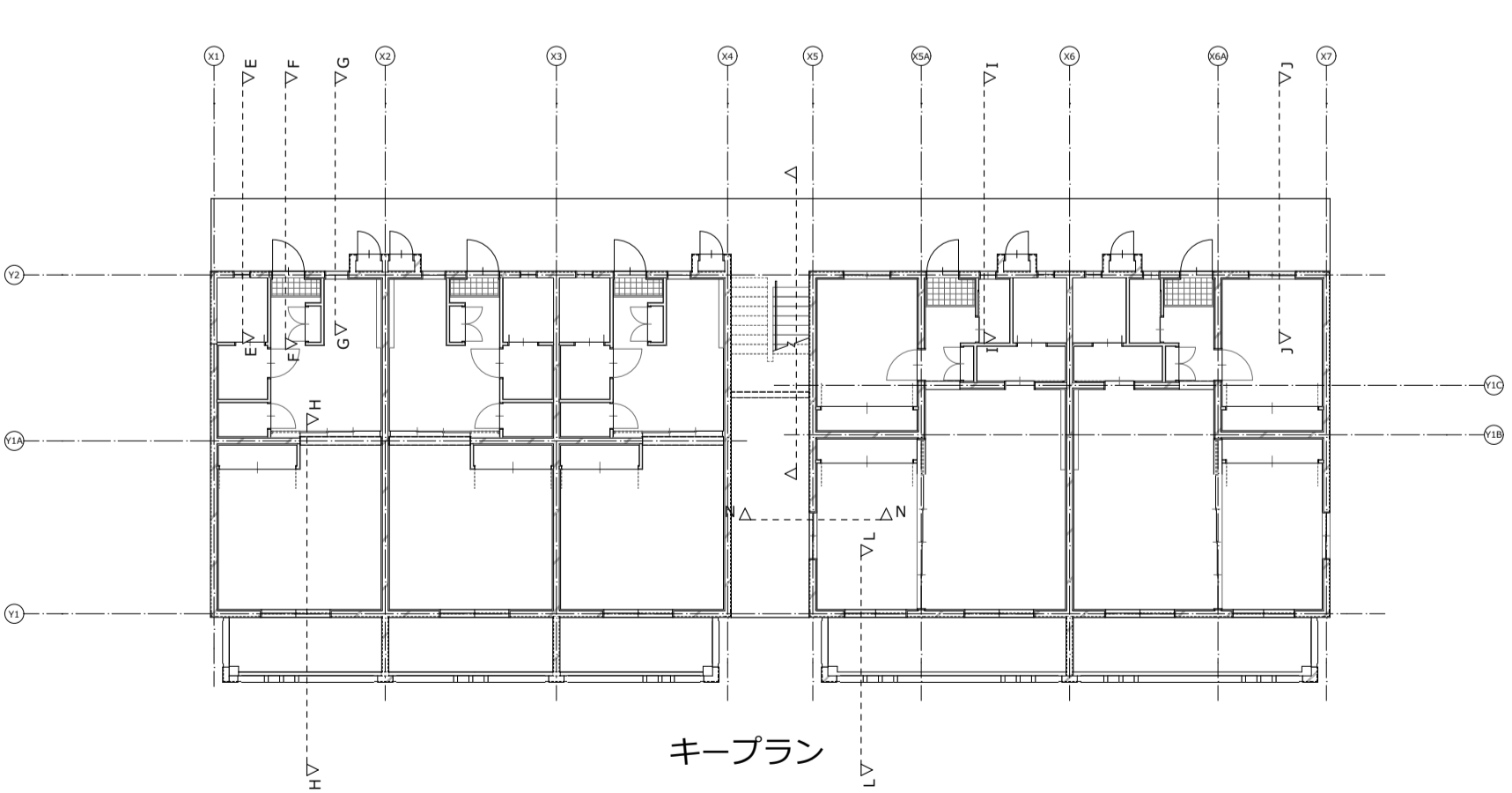
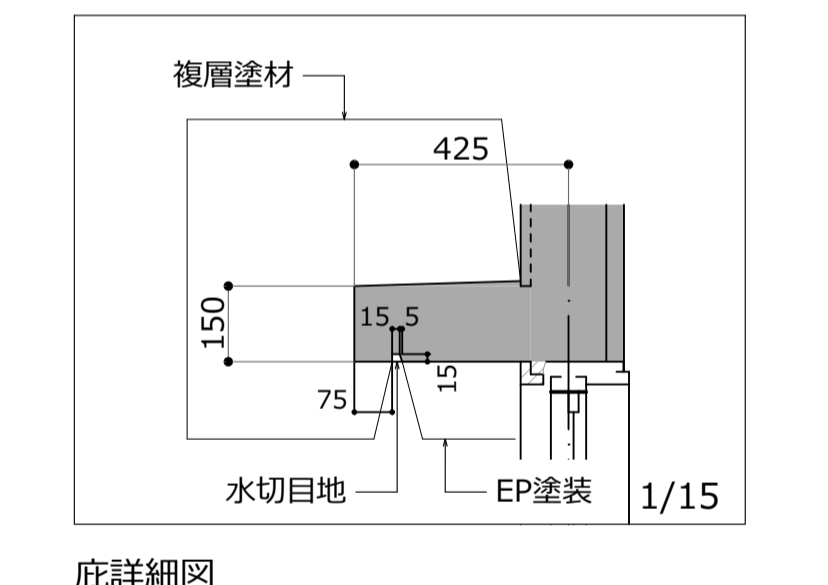
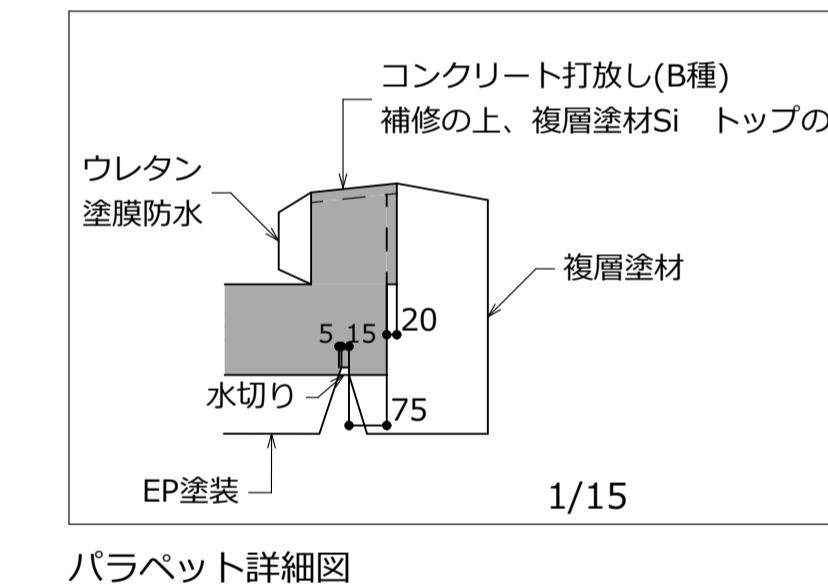
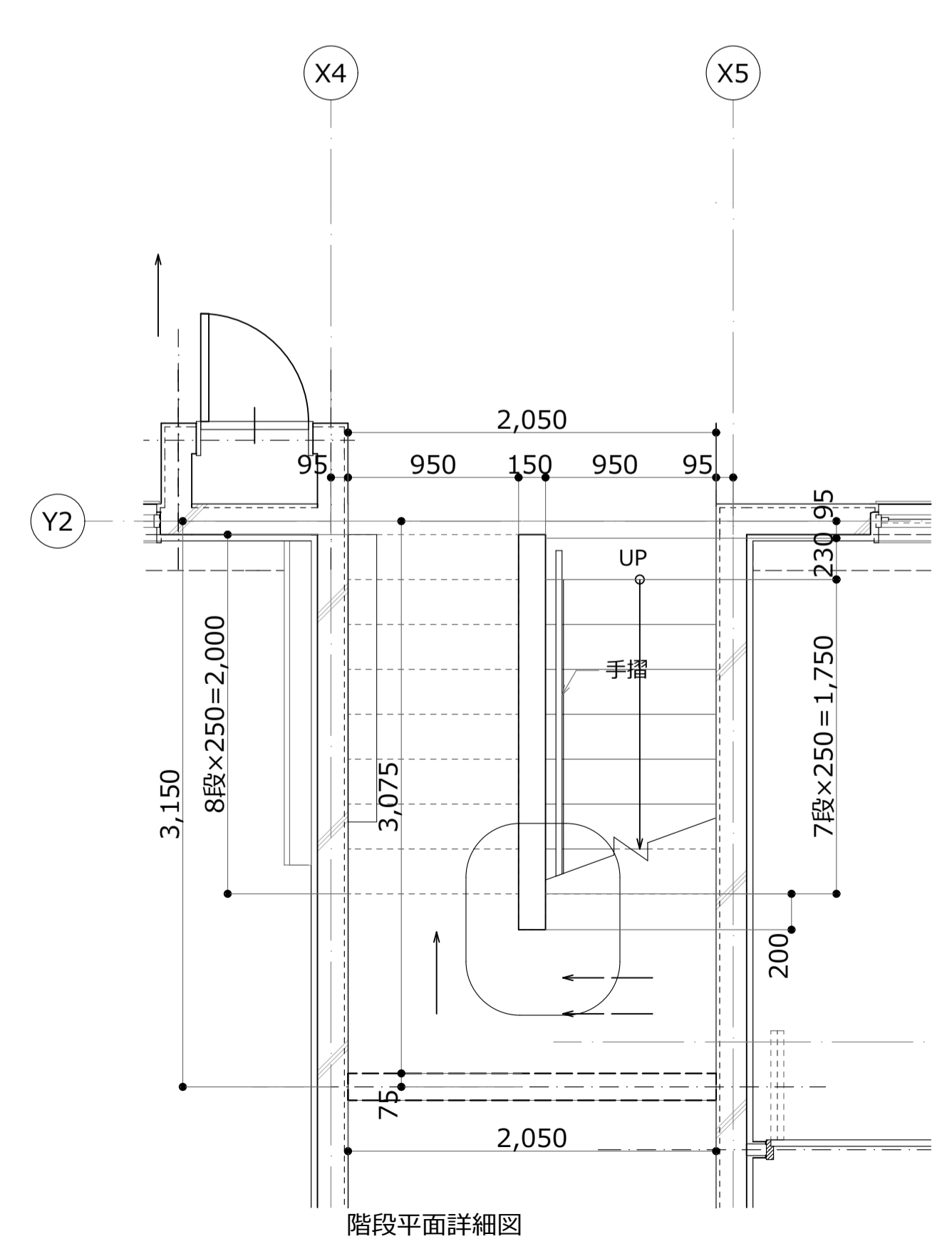
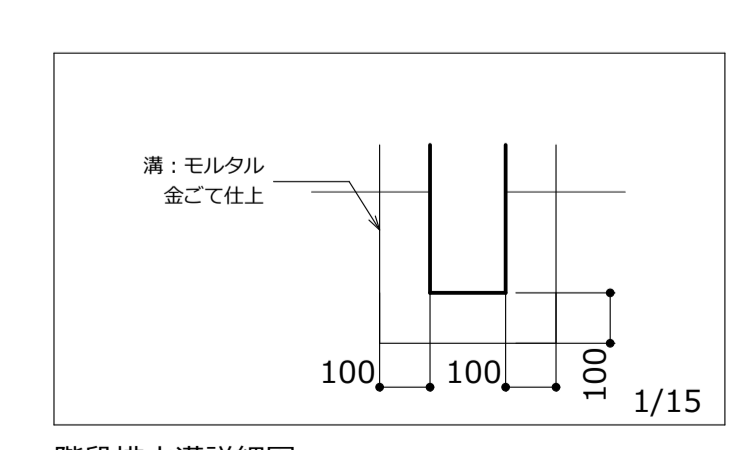
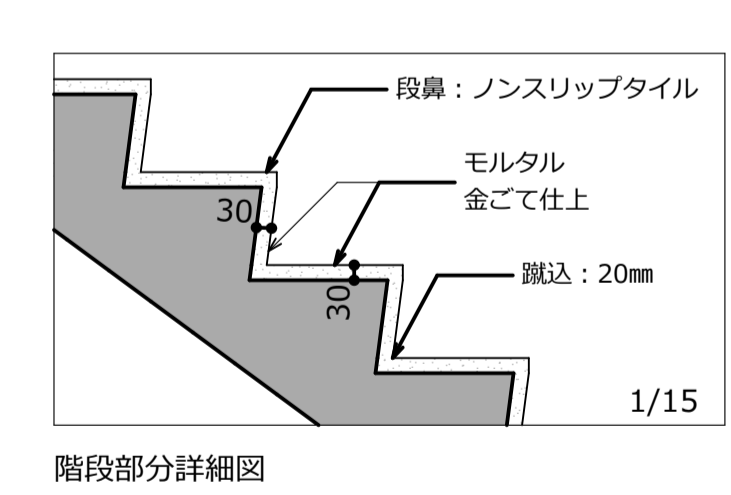
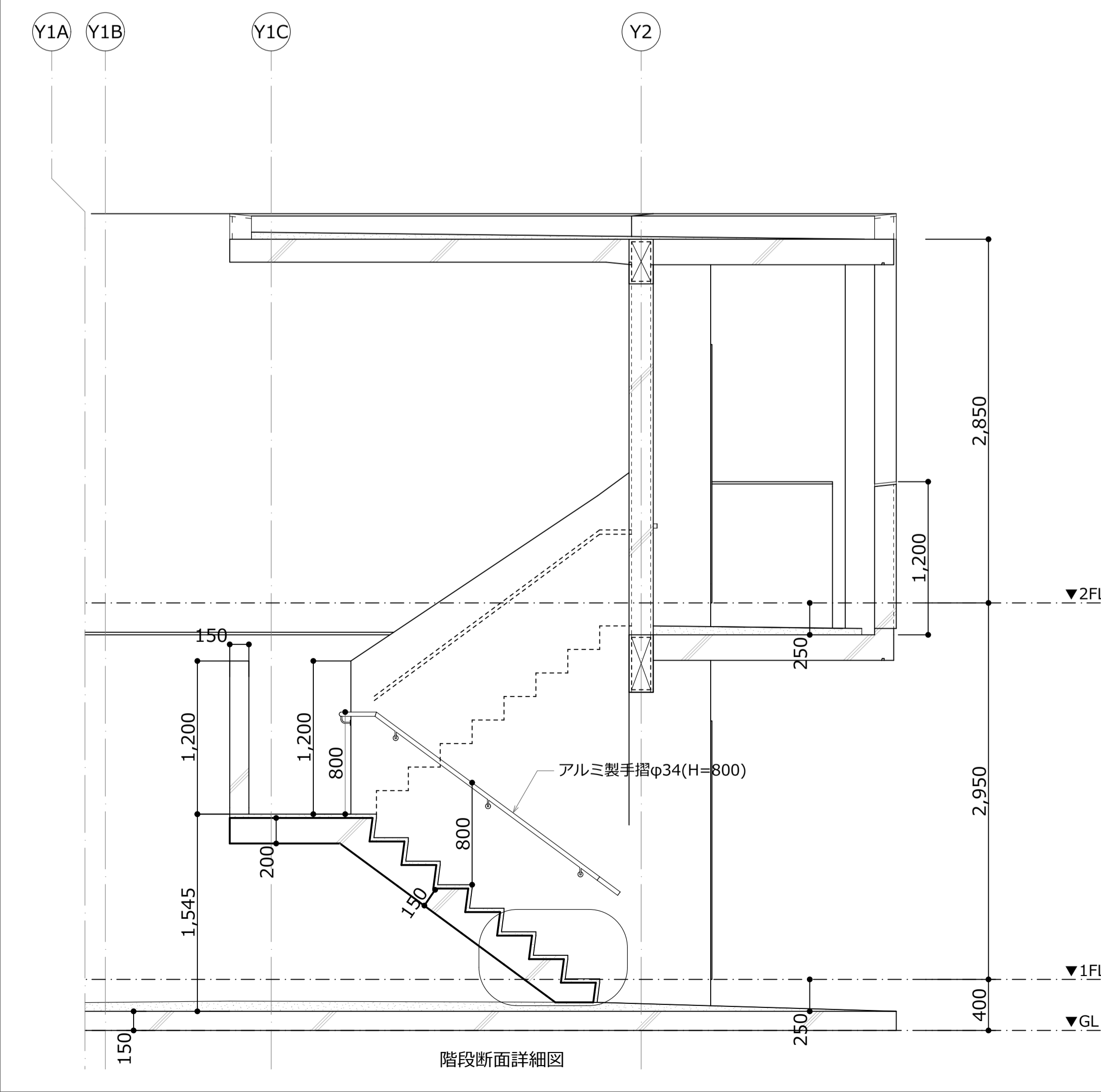
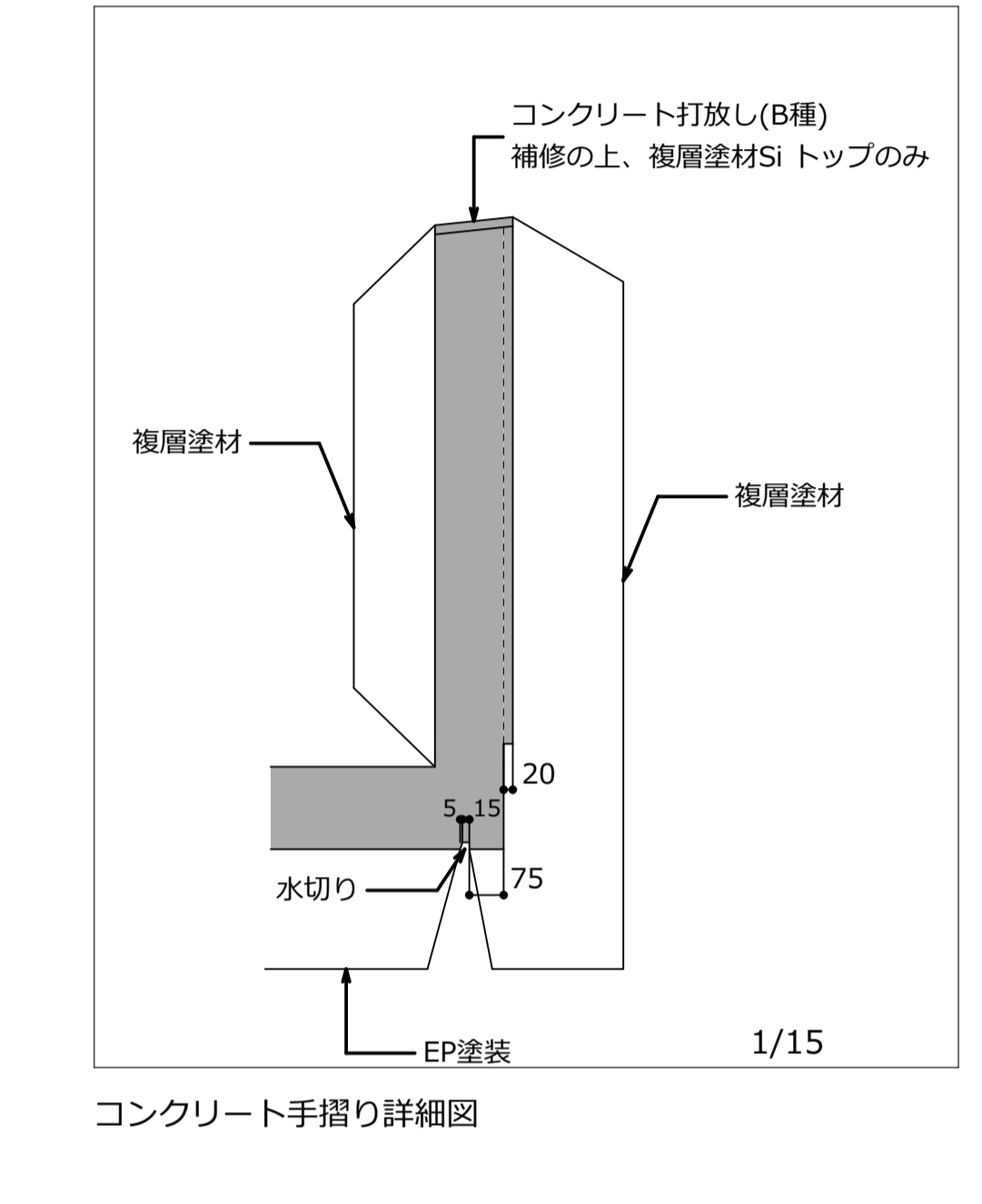
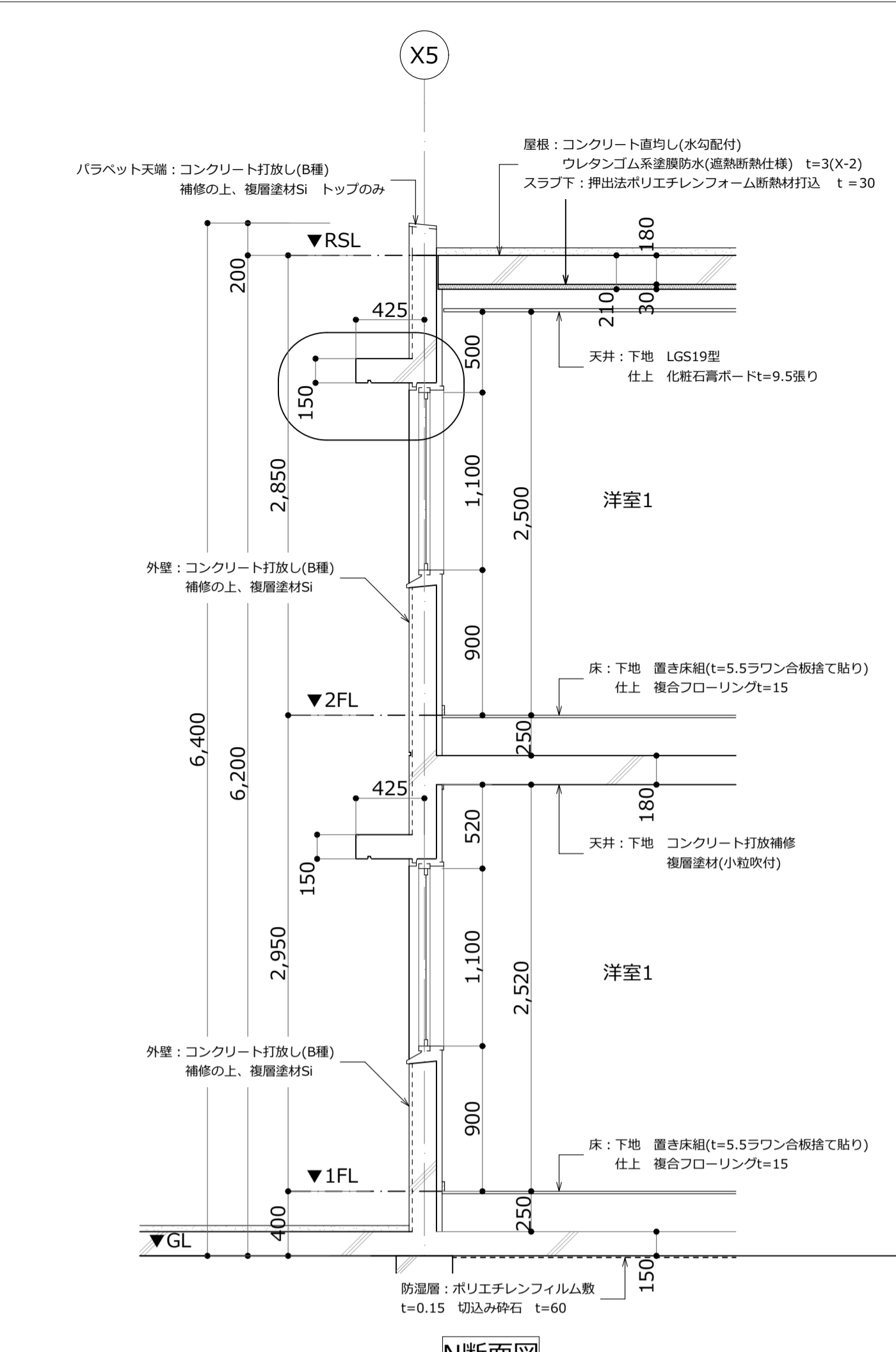
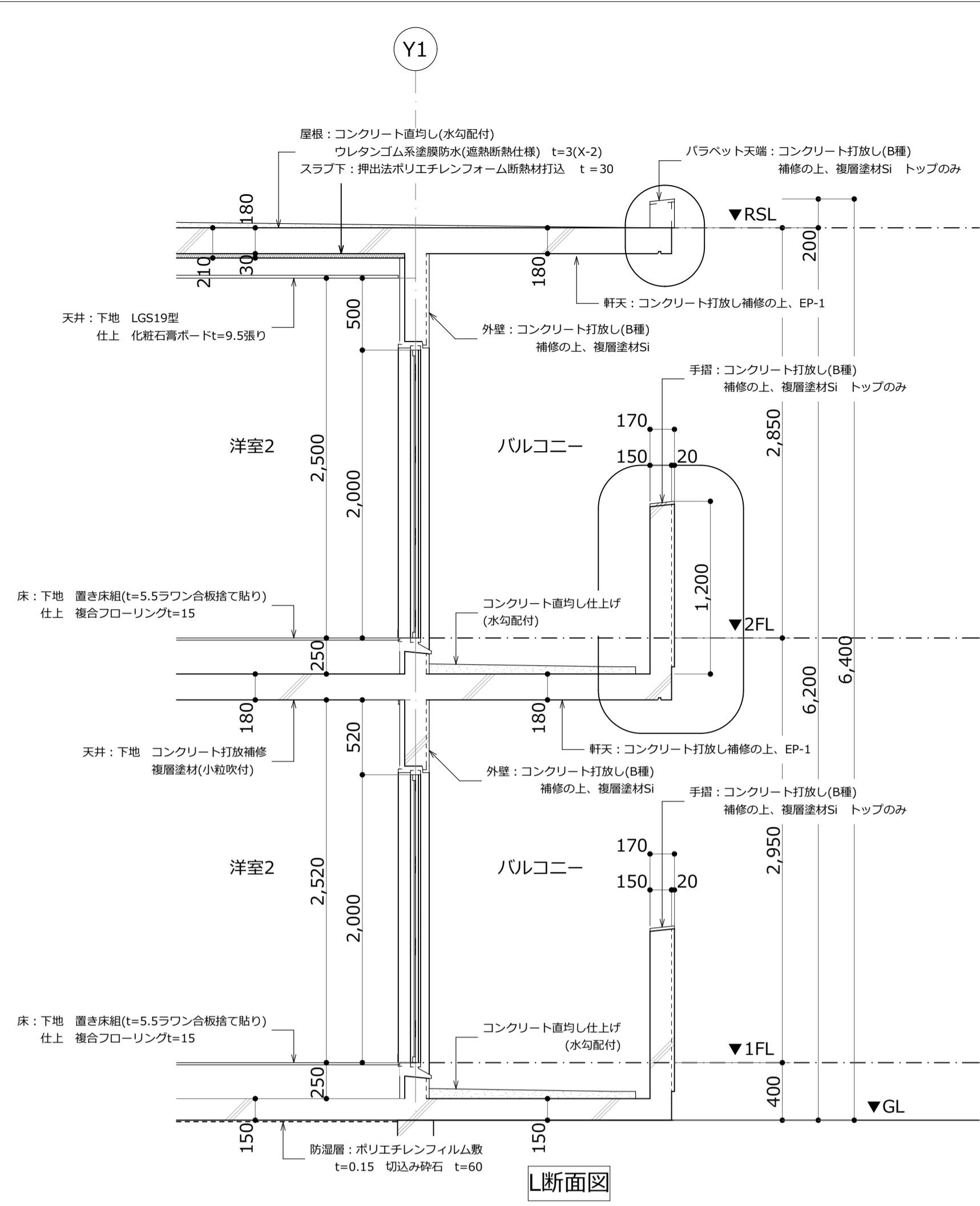
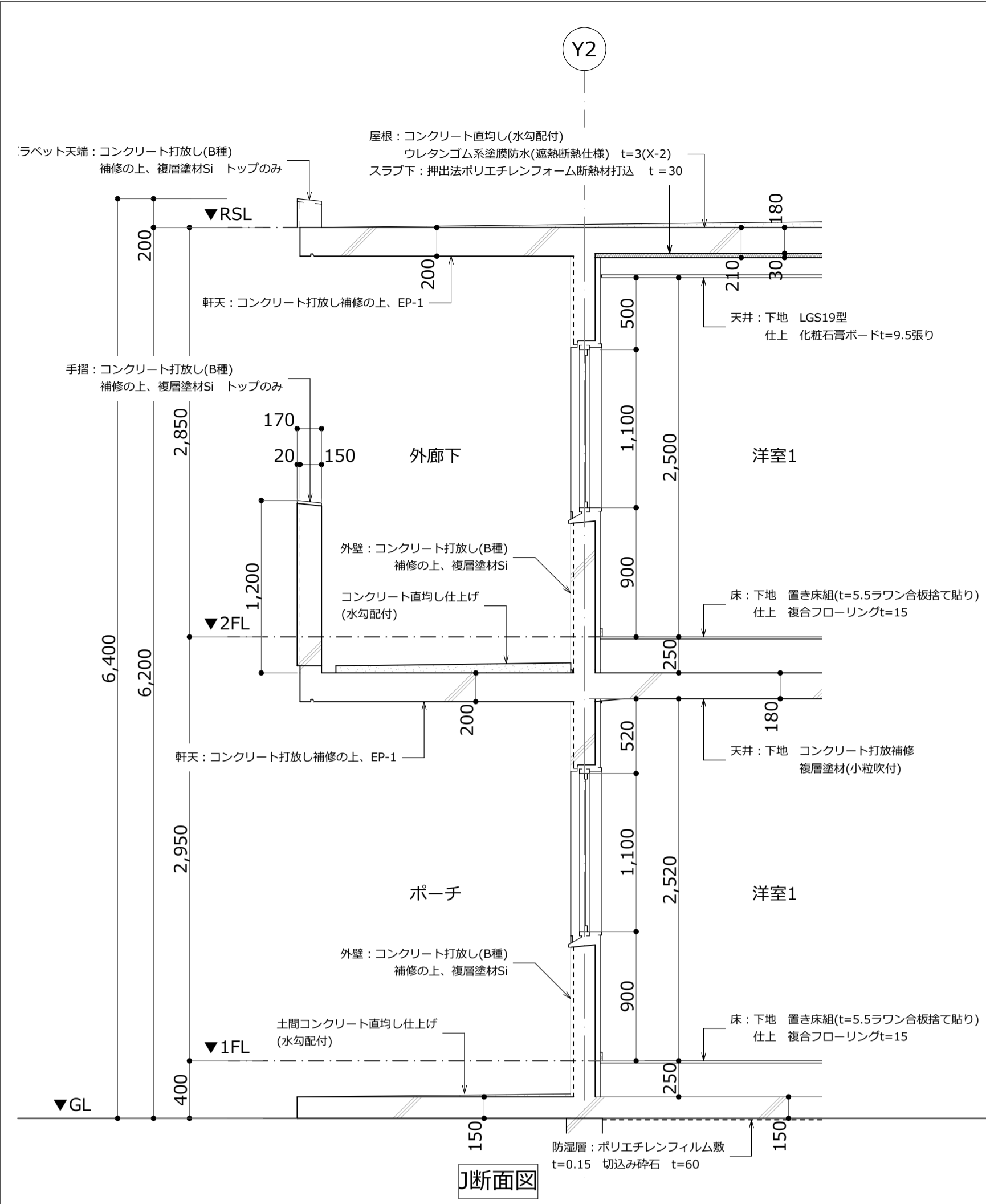
展開方向

※靴箱背面壁、AC、カーテンレール取付箇所下地補強

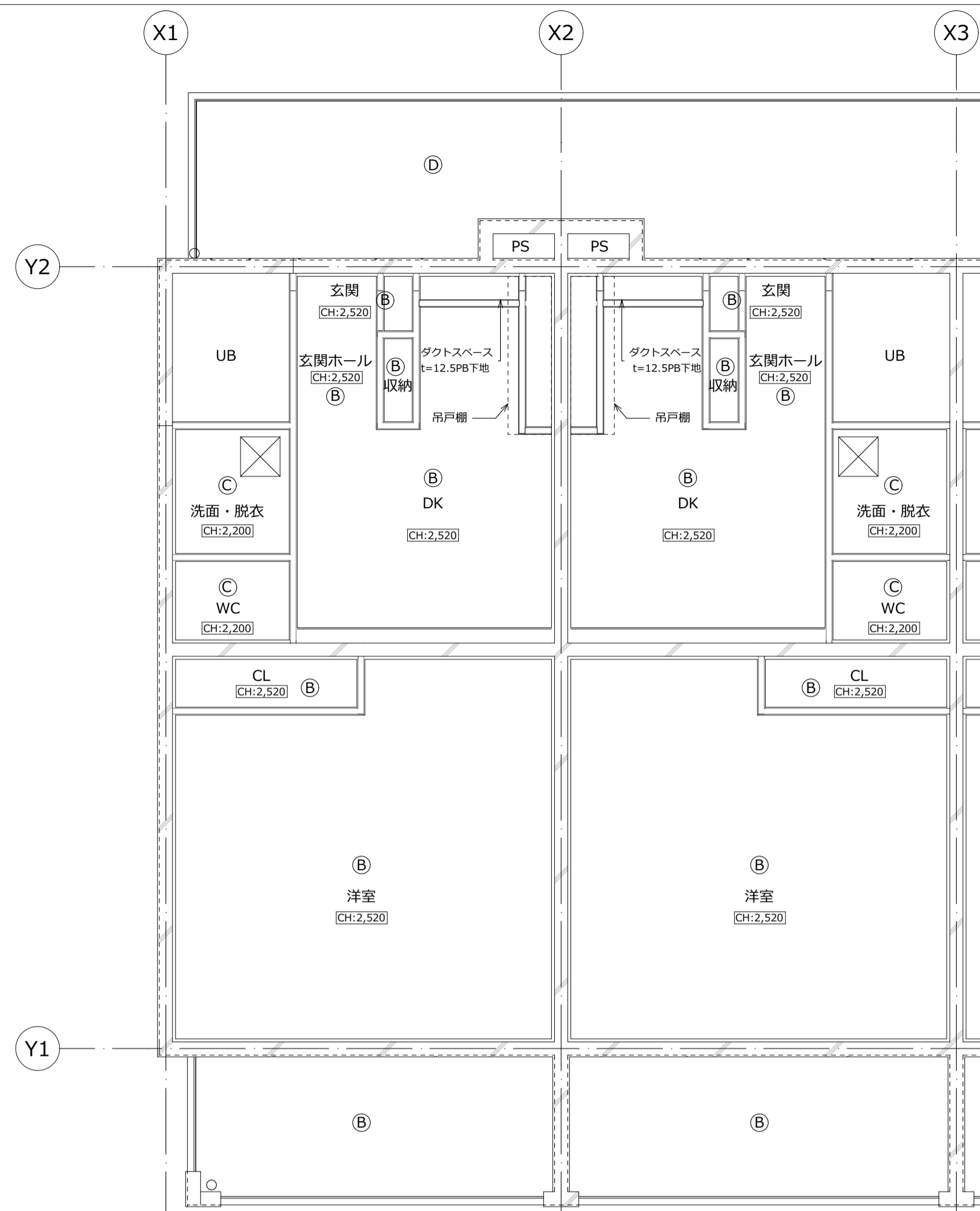
工事名称	(仮称) 栗国村教員住宅(南棟Ⅱ)新築工事(建築)	工事年度	令和5年度
工事場所	栗国村字東544番地(他5筆)	図面名称	平面詳細図-2
発注機関	栗国村教育委員会	図面名称	A1 1/30 A3 1/60
摘要		図面番号	A-15
検印	管理建築士	設計	製図
	名称	(株) 渡久山設計	
	資格者氏名	比嘉 義明	
	登録番号	一級建築士 大宮事務所 第 25938号 一級建築士事務所 第 104-194号	
	所在地	浦添市牧港2丁目8番4号	



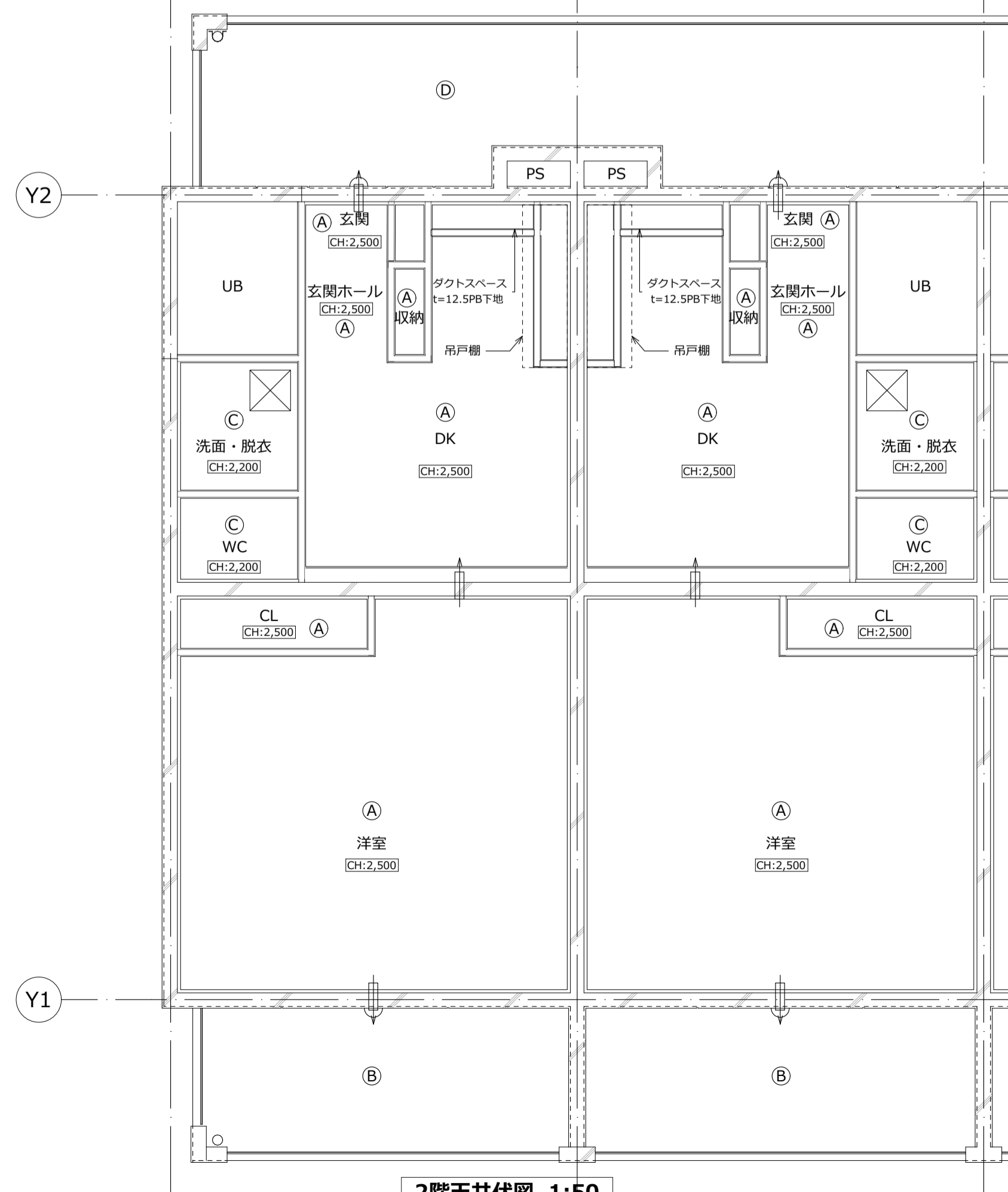
工事名称	(仮称) 栗国村教員住宅(南棟Ⅱ)新築工事(建築)	工事年度	令和5年度
工事場所	栗国村字東544番地(他5筆)	図面名称	矩形欄-1
発注機関	栗国村教育委員会	図面番号	A1 1/30 A3 1/60
摘要	管理建築士 設計 製図		
検印	名称	(株) 渡久山設計	
	資格者氏名	比嘉 義明	
	登録番号	第一級建築士 本登録第 25938号 一級建築士事務所登録第 104-194号	
	所在地	浦添市牧港2丁目8番4号	



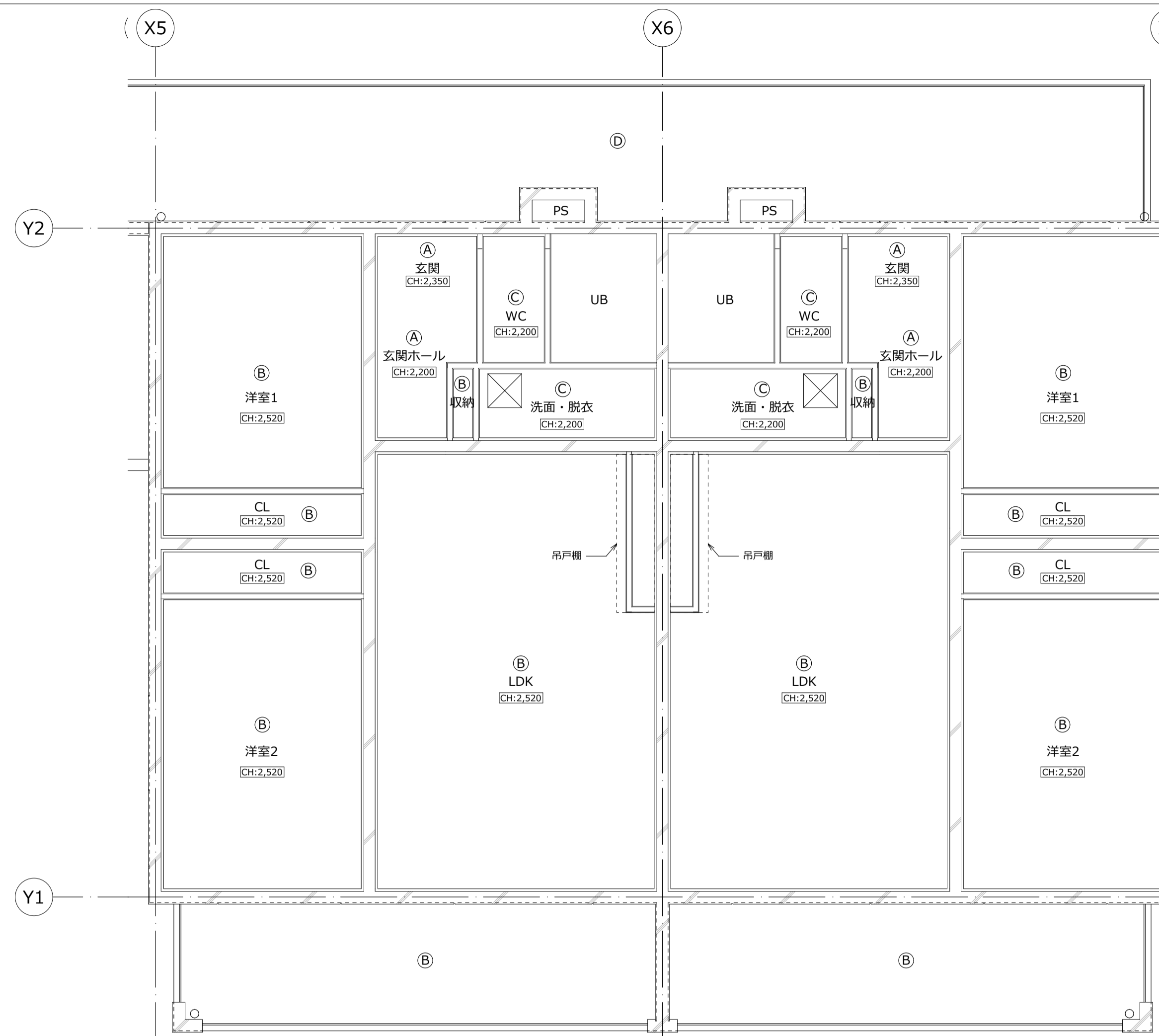
工事名称	(仮称) 栗国村教員住宅(南棟Ⅱ)新築工事(建築)	工事年度	令和5年度
工事場所	栗国村字東544番地(他5筆)	図面名称	矩形脚-2、階段詳細図
発注機関	栗国村教育委員会	図面番号	A1 1/30 A3 1/60
摘要		図面番号	A-17
検印	管理建築士	設計	製図
	名称	(株) 渡久山設計	
	資格者氏名	比嘉 義明	
	登録番号	一級建築士 本邦登録 第 25938号 一級建築士事務所登録 第104-198号	
	所在地	浦添市牧港2丁目8番4号	



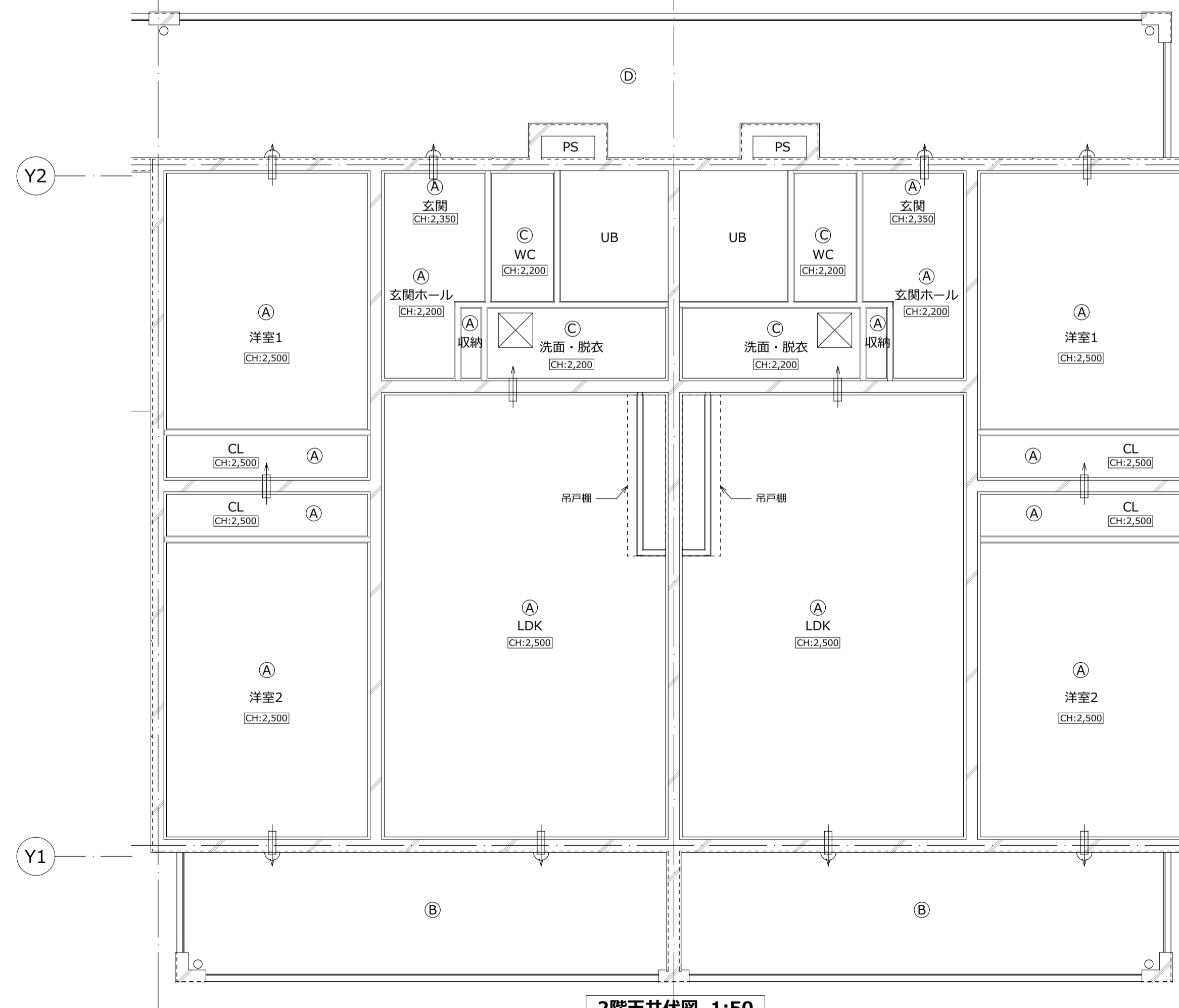
1階天井伏図 1:50



2階天井伏図 1:50



1階天井伏図 1:50



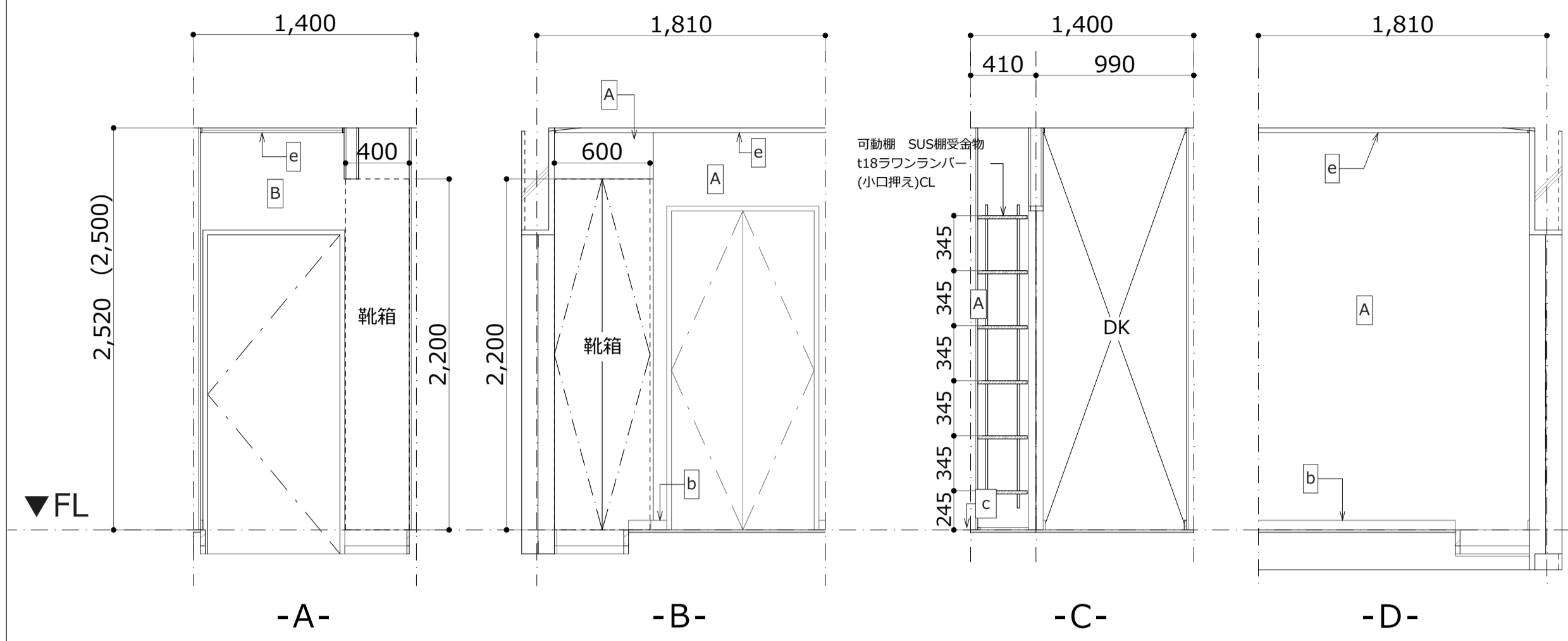
2階天井伏図 1:50

凡例

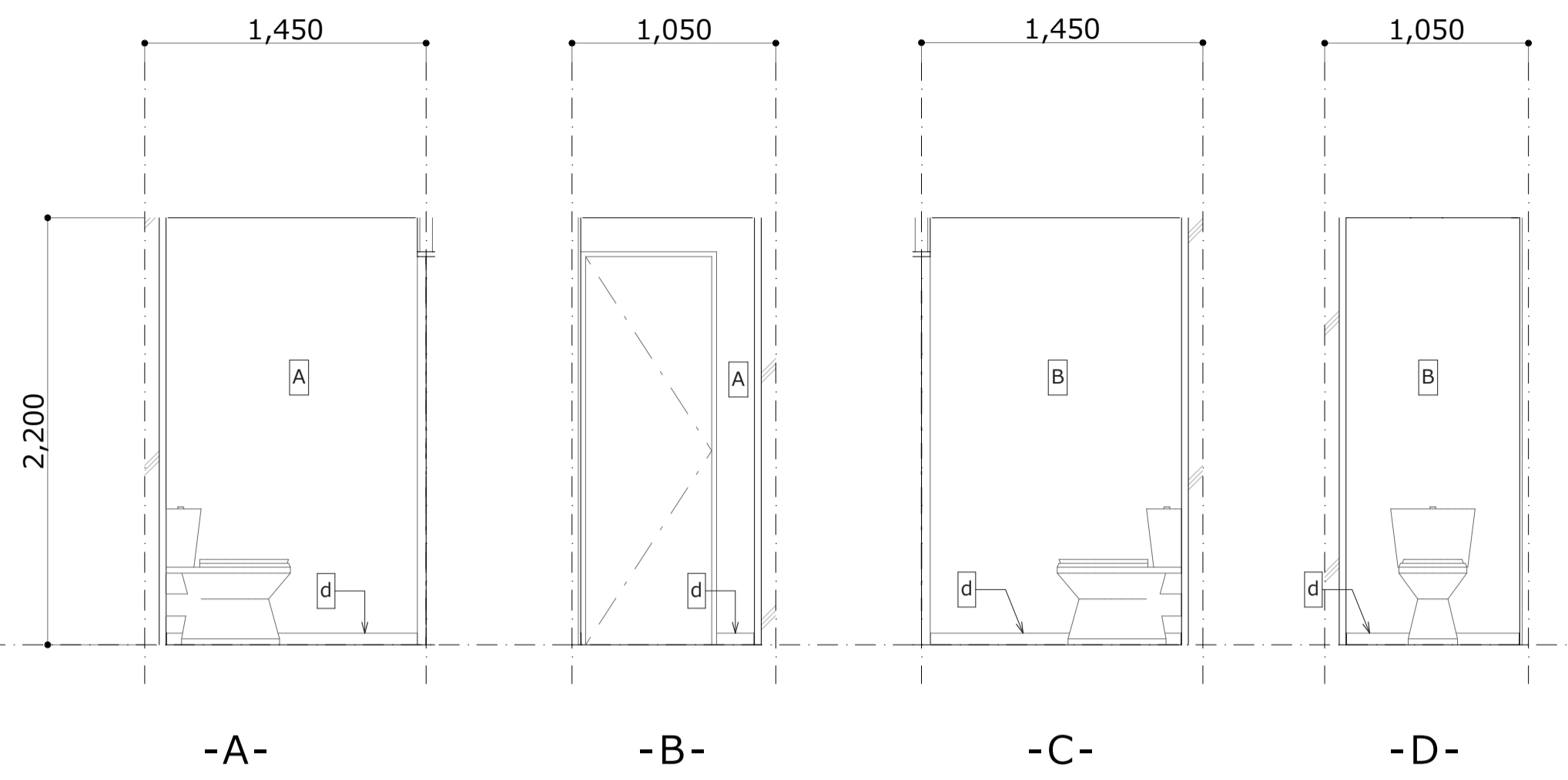
(A)	下地：LGS 19型 仕上：化粧石膏ボード t=9.5張り	天井点検口 450×450 ※設置場所は現場にて調整
(B)	下地：コンクリート打放し補修 複数塗装 (小粒吹付)	天井通気口 Φ75 ※設置場所は現場にて調整
(C)	下地：LGS 19型 仕上：ケイカル板 t=6 EP-1	ステンレスフード Φ75 防虫網付き
(D)	コンクリート打放し補修の上、EP-1	

工事名称	(仮称) 栗国村教員住宅(南棟Ⅱ)新築工事(建築)	工事年度	令和5年度
工事場所	栗国村字東544番地(他5筆)	図面名称	各階天井伏図
発注機関	栗国村教育委員会	図面名称	A1 1/50 A3 1/100
摘要		図面番号	A-18
検印	管理建築士	設計	製図
	名称	(株) 渡久山設計	
	資格者氏名	比嘉 義明	
	登録番号	第一級建築士 本邦登録 第 25938号 第一級建築士事務所登録番号 第104-194号	
所在地	浦添市牧港2丁目8番4号		

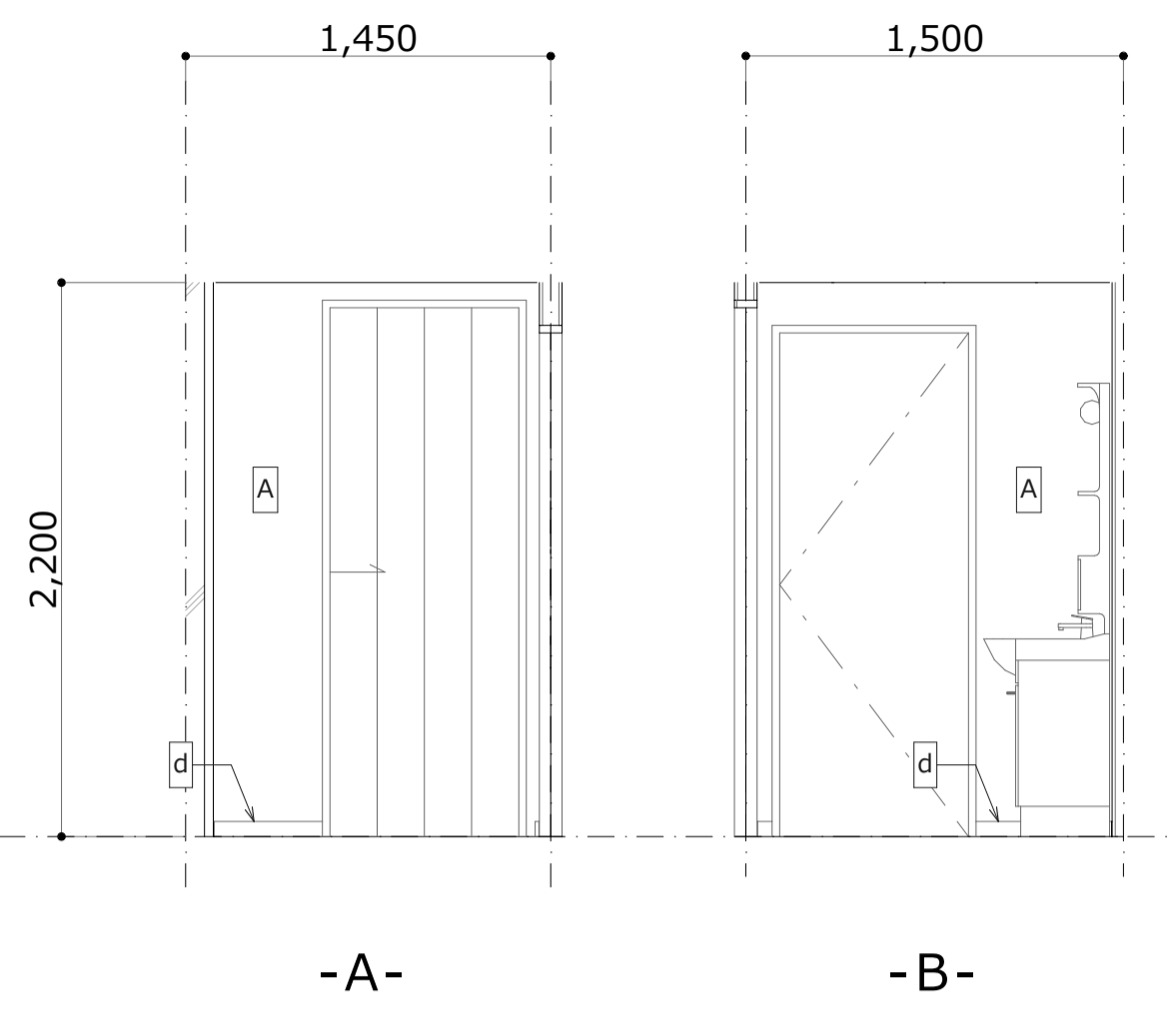
単身世帯住戸
Aタイプ：玄関



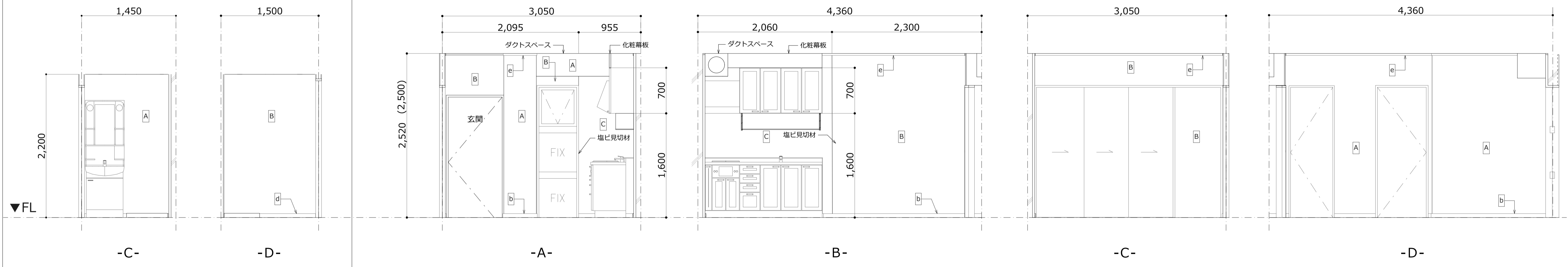
単身世帯住戸
Aタイプ：WC



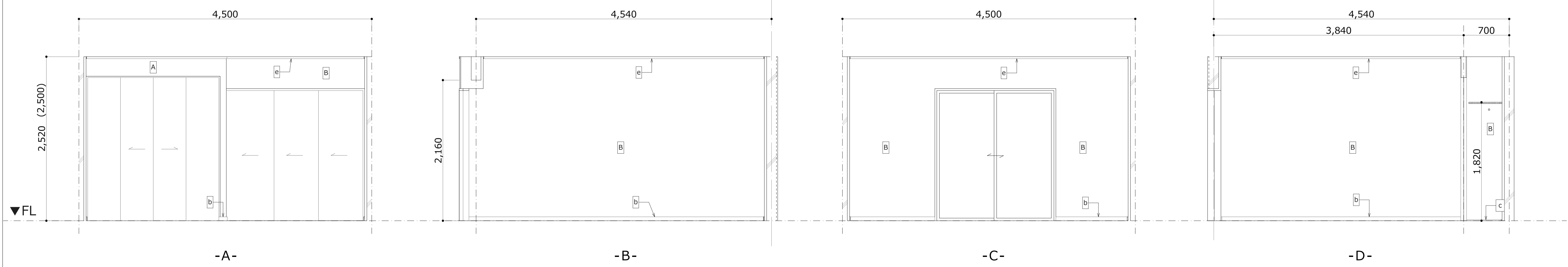
単身世帯住戸
Aタイプ：洗面・脱衣



単身世帯住戸
Aタイプ：DK



単身世帯住戸
Aタイプ：洋室

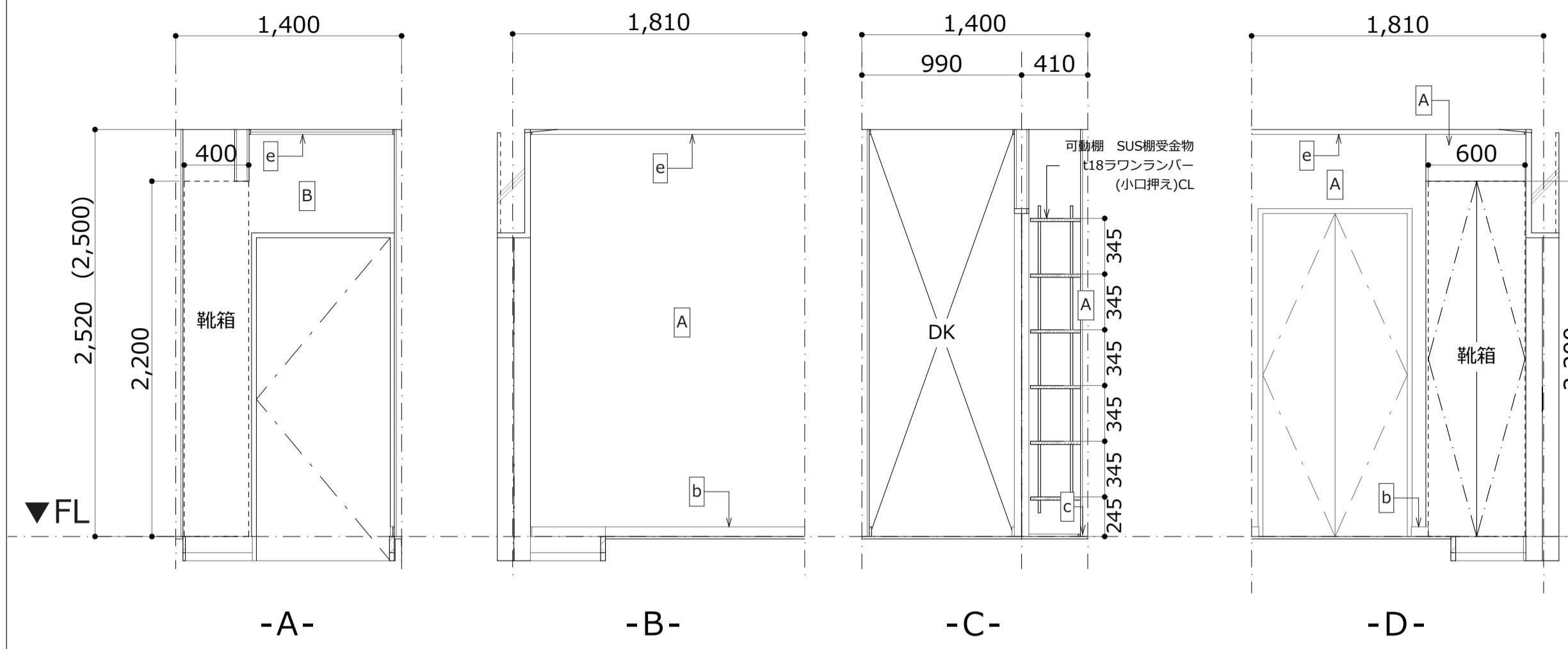


凡例			
(A) 下地：LGS 65型 仕上：石膏ボード t=12.5 ビニールクロス	(a) 巾木：木製 CL 9×60	(d) 巾木：ソフト巾木 H=60	
(B) 下地：RC GL工法 仕上：石膏ボード t=12.5 ビニールクロス	(b) 巾木：木製 CL 15×60	(e) 廻縁：木製 CL 9×30	
(C) 耐水石膏ボード t=12.5 キッチンパネル	(c) 巾木：木製 CL 15×15		

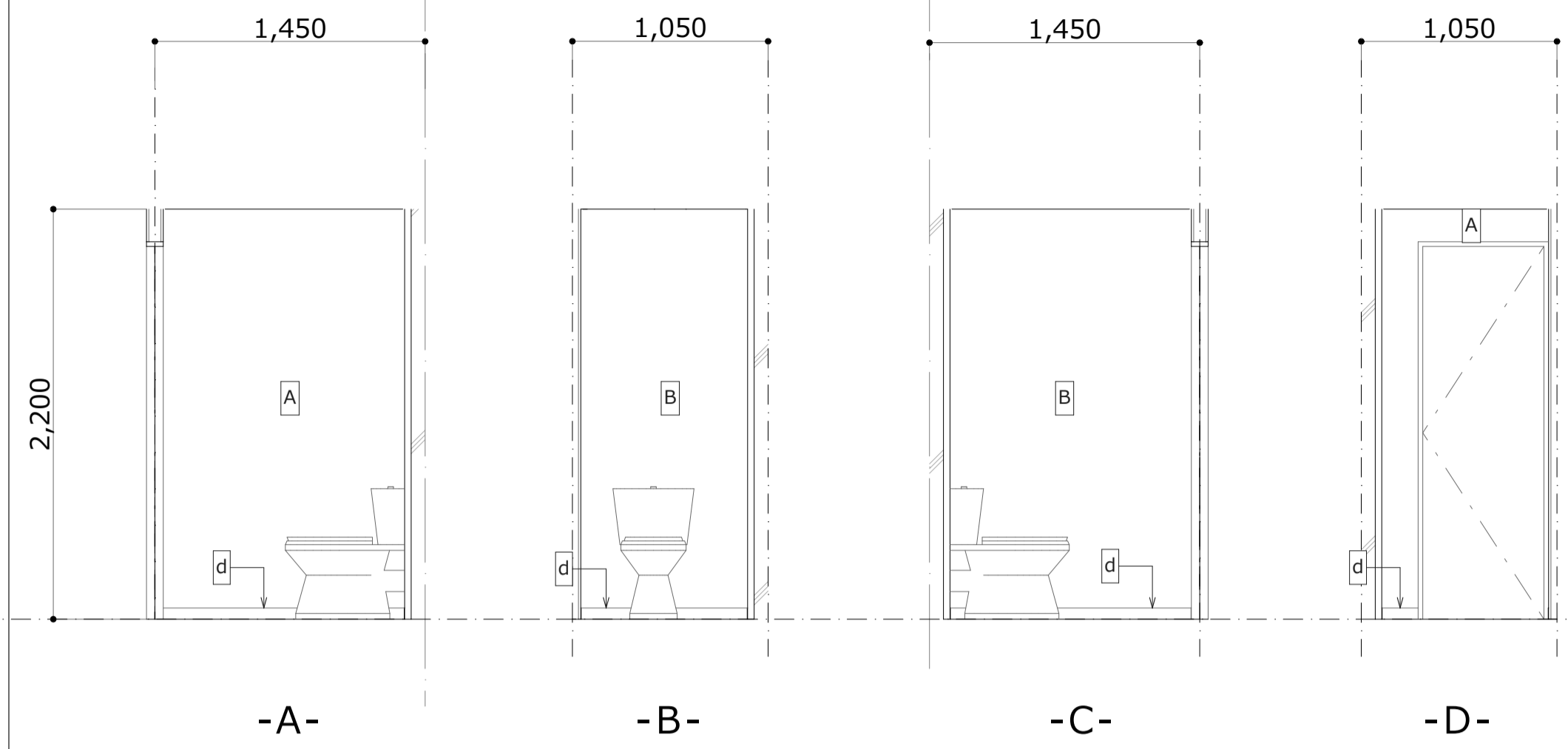
※()内寸法は2Fの天井高さを示す
※WC、洗面脱衣所は耐水石膏ボード下地

工事名称	(仮称) 栗国村教員住宅(南棟II)新築工事(建築)	工事年度	令和5年度
工事場所	栗国村字東544番地(他5筆)	図面名称	展開図-Aタイプ
発注機関	栗国村教育委員会	図面番号	A1 1/30 A3 1/60
摘要	図面番号 A-19		
検印	管理建築士	設計	製図
	名称	(株) 渡久山設計	
	資格者氏名	比嘉 義明	
	登録番号	一般建築士 本登録第 25938号 一般建築士事務所別称登録 第104-198号	
所在地	浦添市牧港2丁目8番4号		

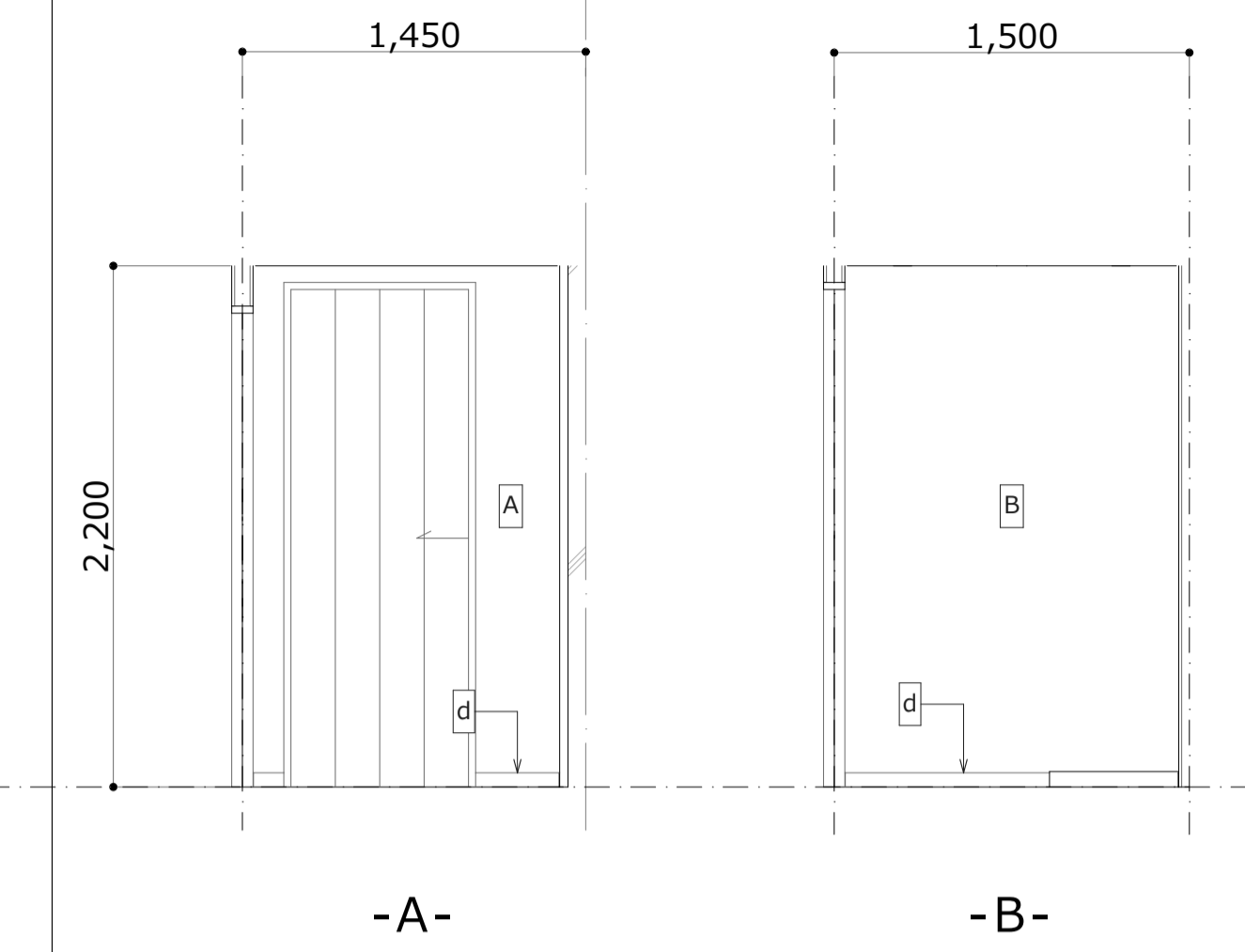
単身世帯住戸
Bタイプ：玄関



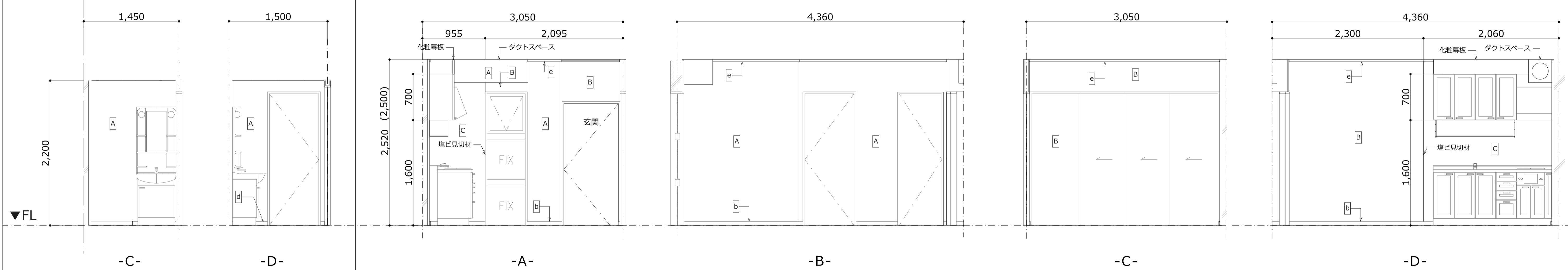
単身世帯住戸
Bタイプ：WC



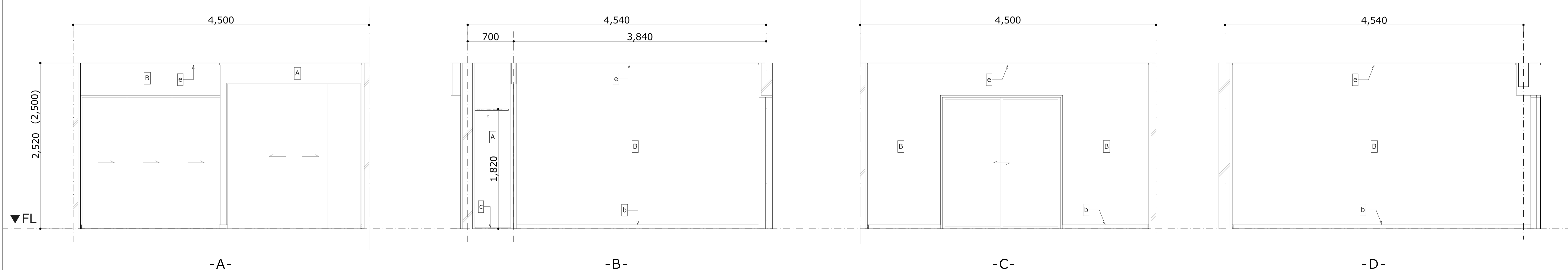
単身世帯住戸
Bタイプ：洗面・脱衣



単身世帯住戸
Bタイプ：DK



単身世帯住戸
Bタイプ：洋室

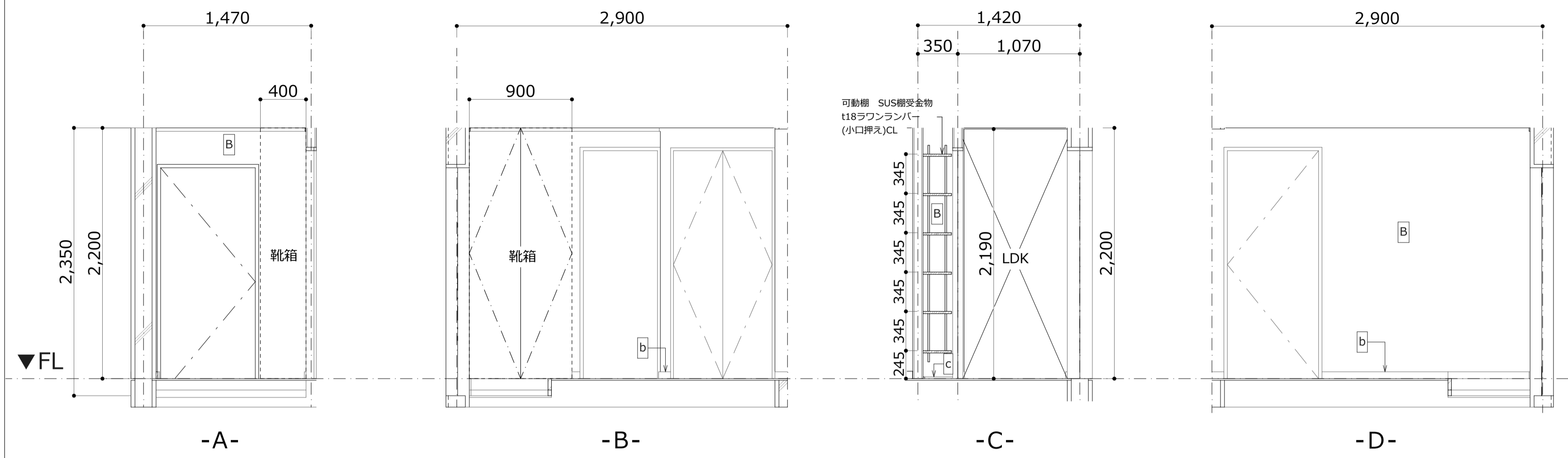


凡例			
(A) 下地：LGS 65型 仕上：石膏ボード t=12.5 ビニールクロス	(a) 巾木：木製 CL 9×60	(d) 巾木：ソフト巾木 H=60	
(B) 下地：RC GL工法 仕上：石膏ボード t=12.5 ビニールクロス	(b) 巾木：木製 CL 15×60	(e) 廻縁：木製 CL 9×30	
(C) 耐水石膏ボード t=12.5 キッチンパネル	(c) 巾木：木製 CL 15×15		

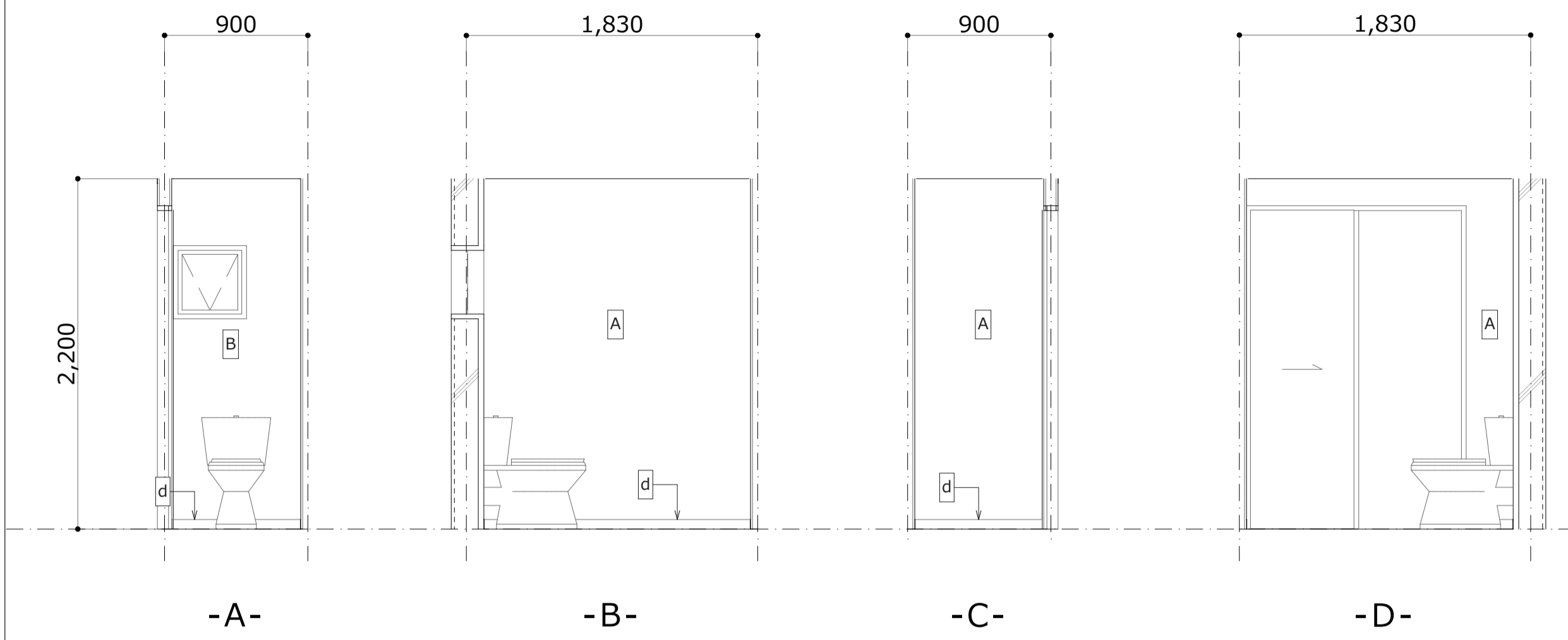
※()内寸法は2Fの天井高さを示す
※WC、洗面脱衣所は耐水石膏ボード下地

工事名称	(仮称) 栗国村教員住宅(南棟Ⅱ)新築工事(建築)	工事年度	令和5年度
工事場所	栗国村字東544番地(他5筆)	図面名称	展開図-Bタイプ
発注機関	栗国村教育委員会	図面番号	A1 1/30 A3 1/60
摘要	図面番号 A-20		
検印	管理建築士	設計	製図
	名称	(株) 渡久山設計	
	資格者氏名	比嘉 義明	
	登録番号	一級建築士 本登録第 25938号 一級建築士事務所登録第 第104-198号	
	所在地	浦添市牧港2丁目8番4号	

家族世帯住戸
Cタイプ：玄関



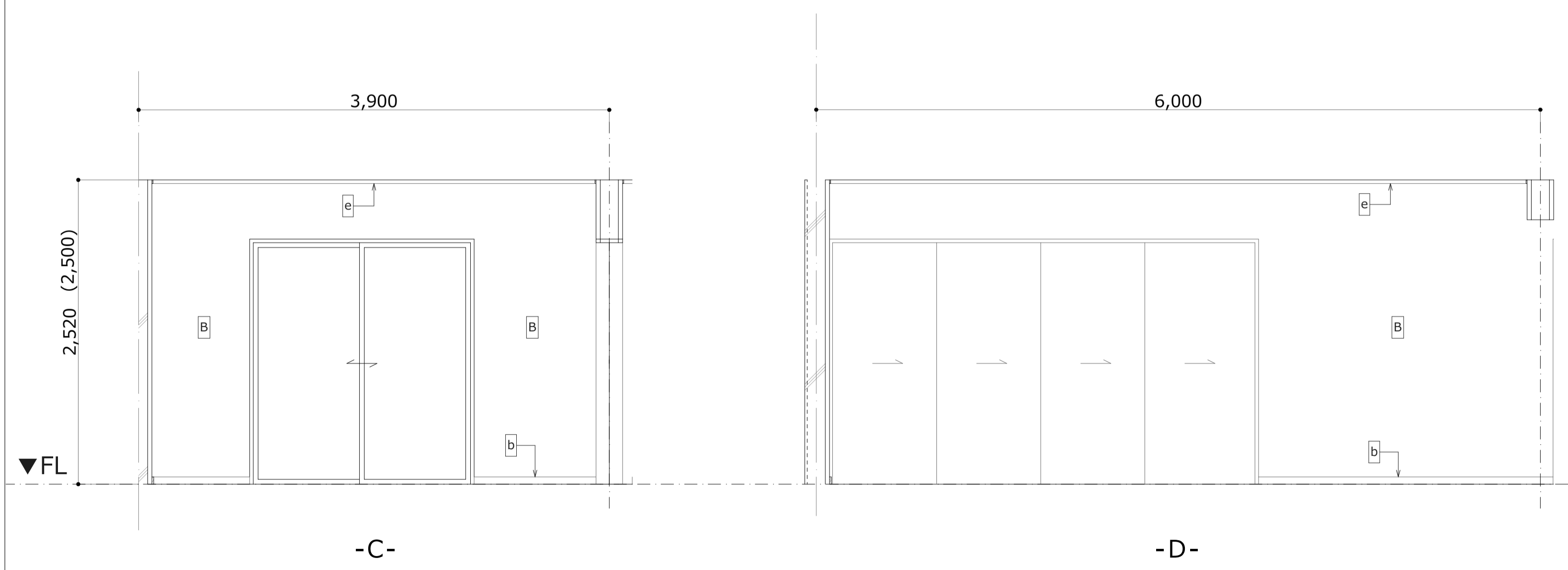
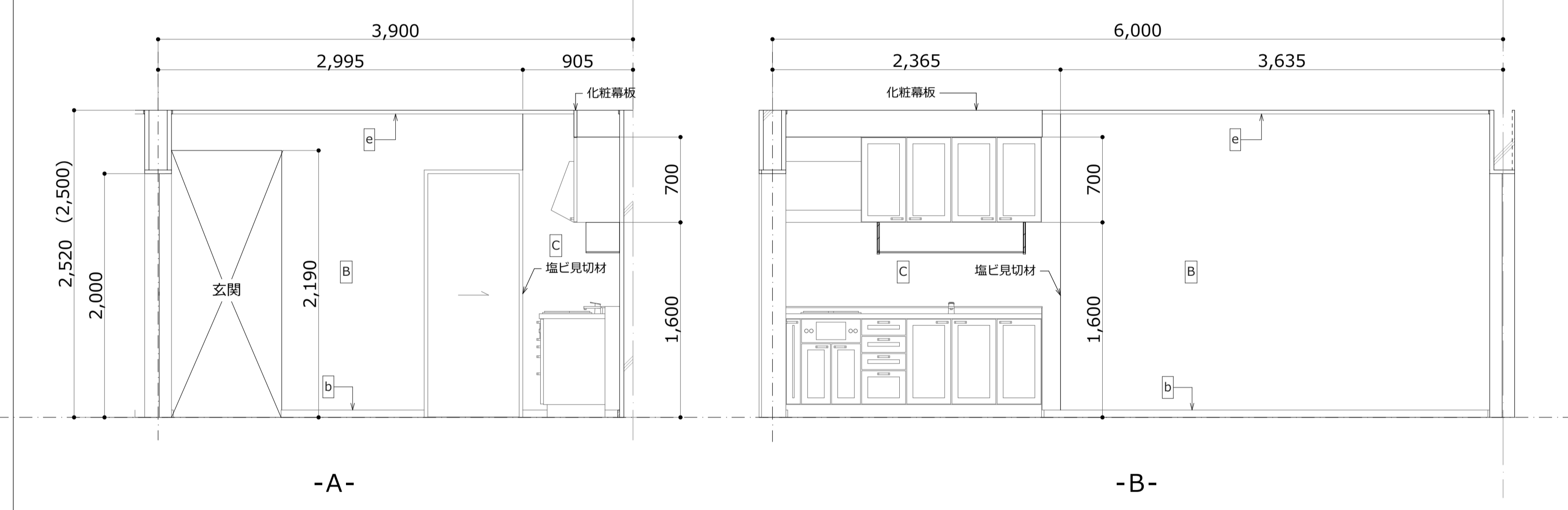
家族世帯住戸
Cタイプ：WC



家族世帯住戸
Cタイプ：洗面・脱衣



家族世帯住戸
Cタイプ：LDK

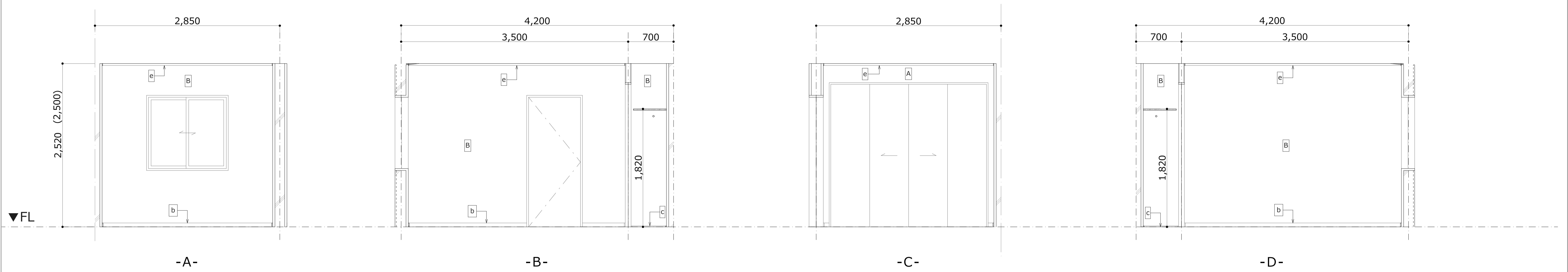


凡例			
(A) 下地：LGS 65型 仕上：石膏ボード t=12.5 ビニールクロス	(a) 巾木：木製 CL 9×60	(d) 巾木：ソフト巾木 H=60	
(B) 下地：RC GL工法 仕上：石膏ボード t=12.5 ビニールクロス	(b) 巾木：木製 CL 15×60	(e) 廻縁：木製 CL 9×30	
(C) 耐水石膏ボード t=12.5 キッチンパネル	(c) 巾木：木製 CL 15×15		

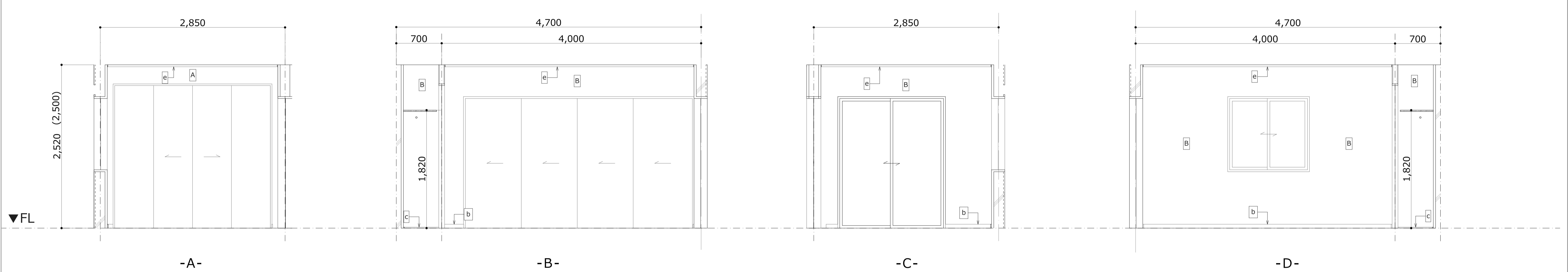
※()内寸法は2Fの天井高さを示す
※WC、洗面脱衣所は耐水石膏ボード下地

工事名称	(仮称) 栗国村教員住宅(南棟Ⅱ)新築工事(建築)	工事年度	令和5年度
工事場所	栗国村字東544番地(他5筆)	図面名称	展開図-Cタイプ-1
発注機関	栗国村教育委員会	縮尺	A1 1/30 A3 1/60
摘要	図面番号 A-21		
検印	管理建築士	設計	製図
	名称	(株) 渡久山設計	
	資格者氏名	比嘉 義明	
	登録番号	一般建築士 大宮事務所 第 259388号 一般建築士事務所 第 104-198号	
所在地	浦添市牧港2丁目8番4号		

家族世帯住戸
Cタイプ：洋室1



家族世帯住戸
Cタイプ：洋室2

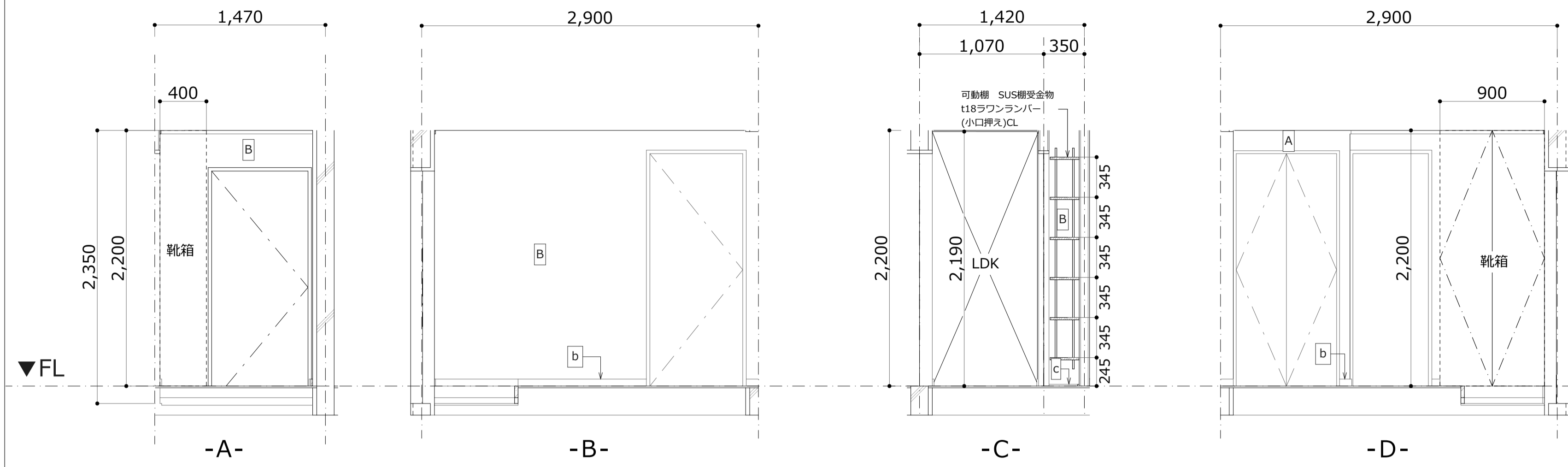


凡例			
(A) 下地：LGS 65型 仕上：石膏ボード t=12.5 ビニールクロス	(a) 巾木：木製 CL 9×60	(d) 巾木：ソフト巾木 H=60	
(B) 下地：RC GL工法 仕上：石膏ボード t=12.5 ビニールクロス	(b) 巾木：木製 CL 15×60	(e) 廻縁：木製 CL 9×30	
(C) 耐水石膏ボード t=12.5 キッチンパネル	(c) 巾木：木製 CL 15×15		

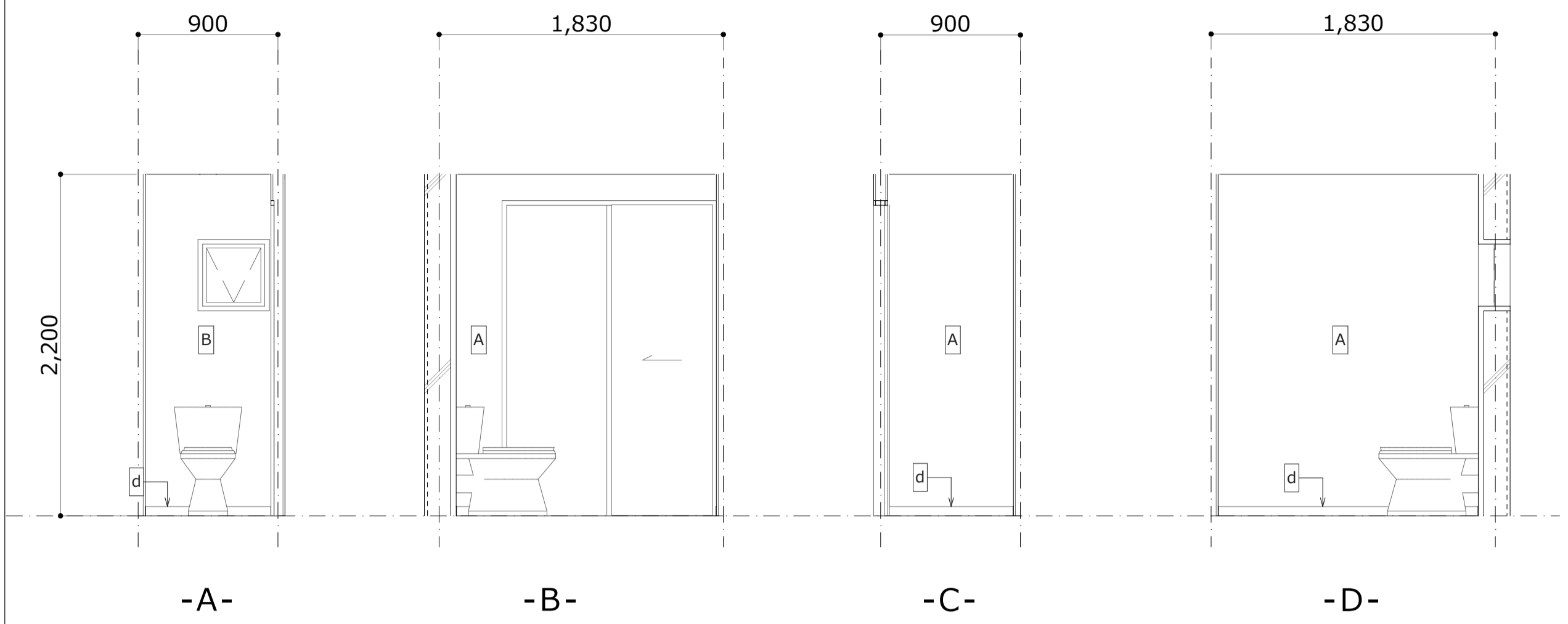
※()内寸法は2Fの天井高さを示す
※WC、洗面脱衣所は耐水石膏ボード下地

工事名称	(仮称) 栗国村教員住宅(南棟Ⅱ)新築工事(建築)	工事年度	令和5年度
工事場所	栗国村字東544番地(他5筆)	図面名称	展開図-Cタイプ-2
発注機関	栗国村教育委員会	図面尺	A1 1/30 A3 1/60
摘要	図面番号 A-22		
検印	管理建築士	設計	製図
	名称	(株) 渡久山設計	
	資格者氏名	比嘉 義明	
	登録番号	一般建築士 大宮事務所 第 25938号 一般建築士事務所 第 104-194号	
所在地	浦添市牧港2丁目8番4号		

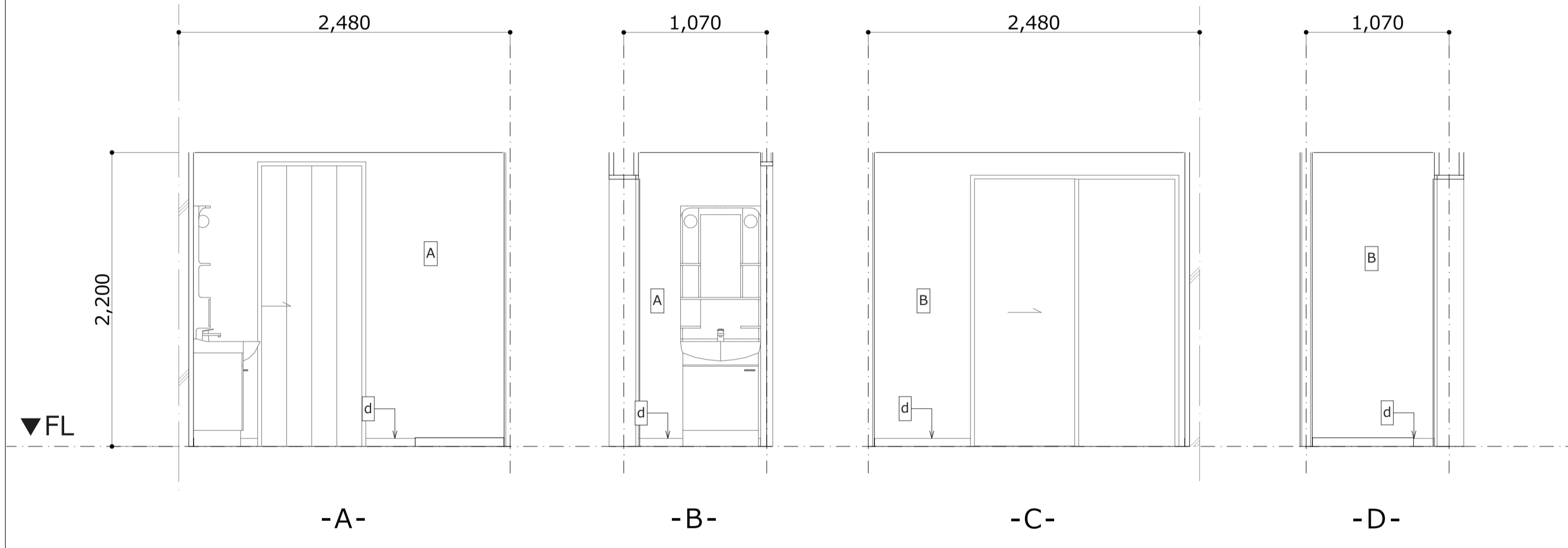
家族世帯住戸
Dタイプ：玄関



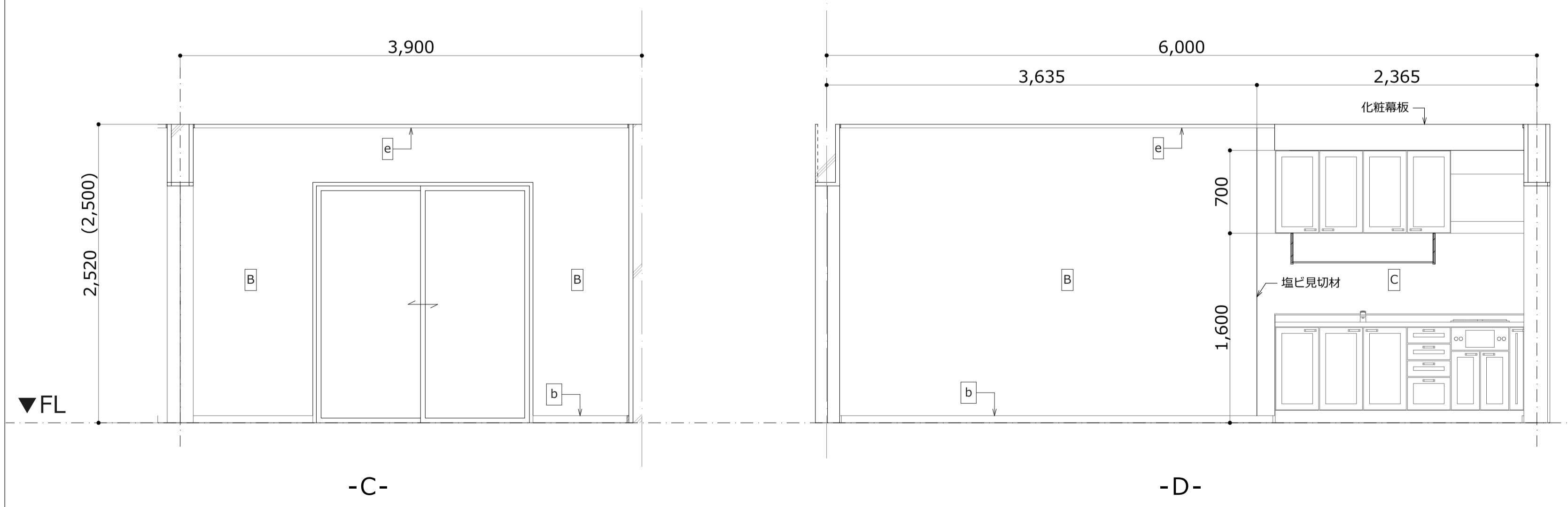
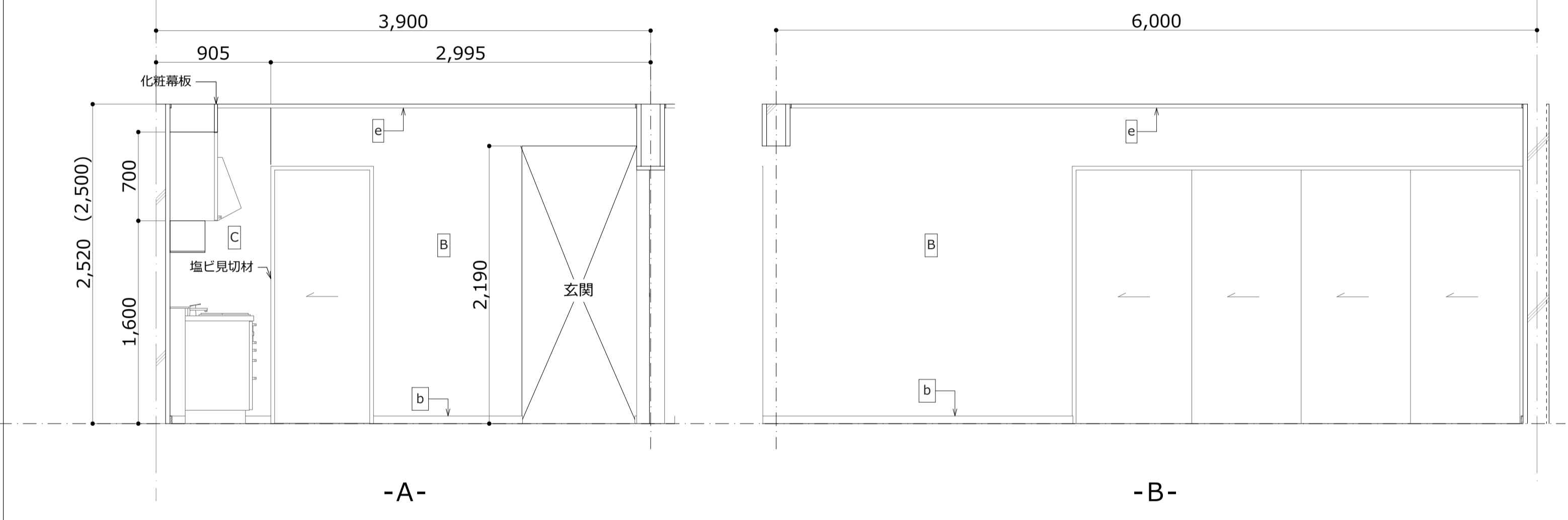
家族世帯住戸
Dタイプ：WC



家族世帯住戸
Dタイプ：洗面・脱衣



家族世帯住戸
Dタイプ：LDK

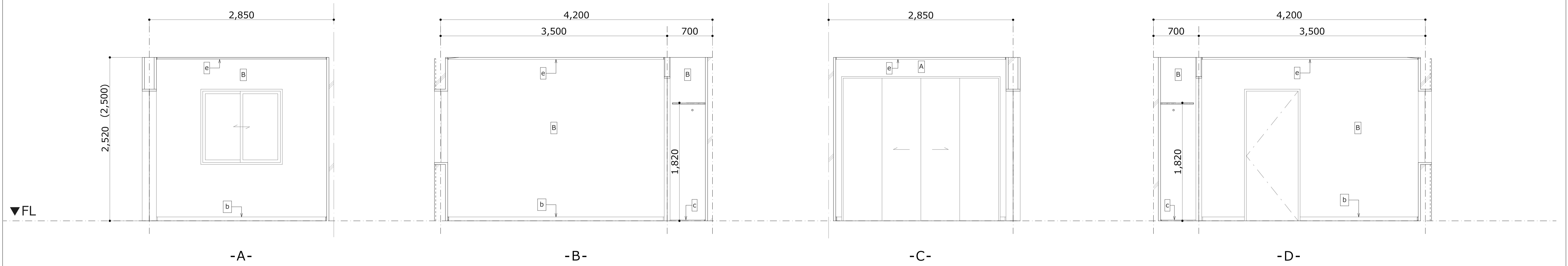


凡例			
(A) 下地：LGS 65型 仕上：石膏ボード t=12.5 ピニールクロス	(a) 巾木：木製 CL 9×60	(d) 巾木：ソフト巾木 H=60	
(B) 下地：RC GL工法 仕上：石膏ボード t=12.5 ピニールクロス	(b) 巾木：木製 CL 15×60	(e) 廻縁：木製 CL 9×30	
(C) 耐水石膏ボード t=12.5 キッチンパネル	(c) 巾木：木製 CL 15×15		

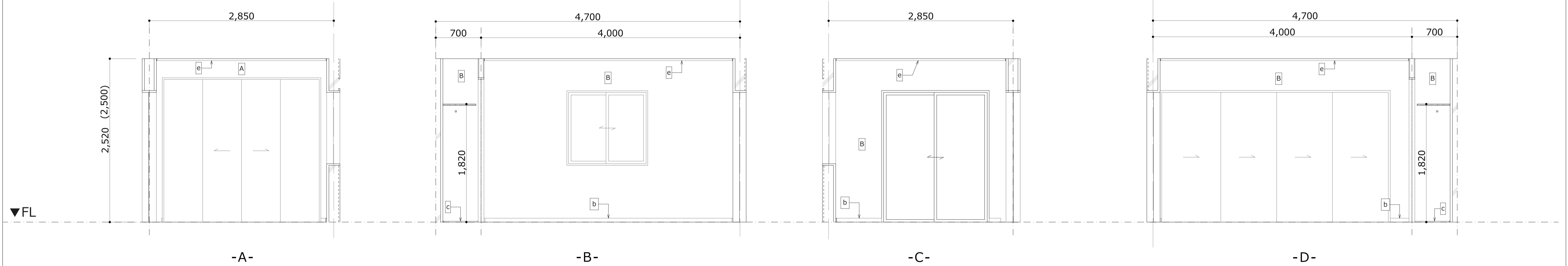
※()内寸法は2Fの天井高さを示す
※WC、洗面脱衣所は耐水石膏ボード下地

工事名称	(仮称)栗国村教員住宅(南棟Ⅱ)新築工事(建築)	工事年度	令和5年度
工事場所	栗国村字東544番地(他5筆)	図面名称	展開図-Dタイプ-1
発注機関	栗国村教育委員会	図面名尺	A1 1/30 A3 1/60
摘要	図面番号 A-23		
検印	管理建築士	設計	製図
	名称	(株)渡久山設計	
	資格者氏名	比嘉 義明	
	登録番号	一級建築士 本登録第 25938号 一級建築士事務所建築士登録 第104-194号	
所在地	浦添市牧港2丁目8番4号		

家族世帯住戸
Dタイプ：洋室1



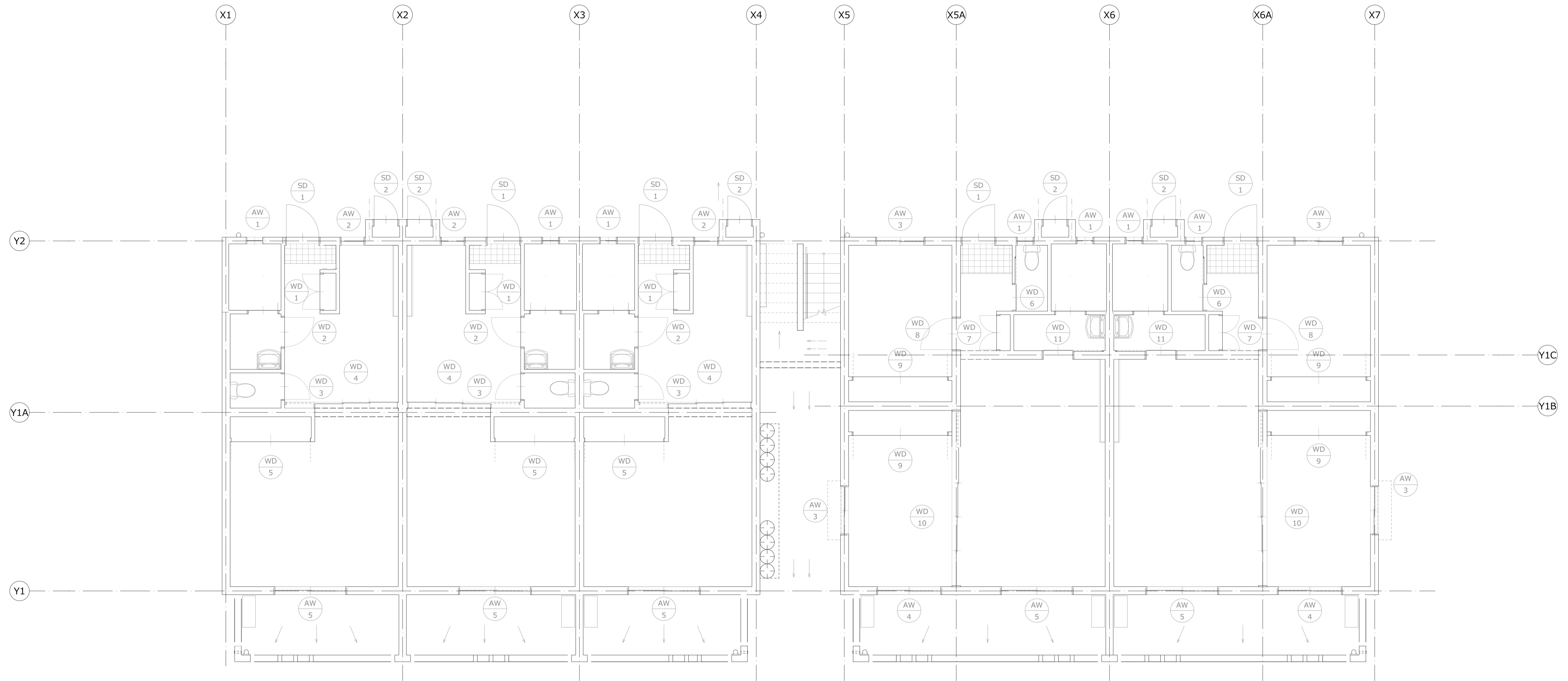
家族世帯住戸
Dタイプ：洋室2



凡例			
Ⓐ	下地：LGS 65型 仕上：石膏ボード t=12.5 ビニールクロス	Ⓐ	巾木：木製 CL 9×60
Ⓑ	下地：RC GL工法 仕上：石膏ボード t=12.5 ビニールクロス	Ⓑ	巾木：木製 CL 15×60
Ⓒ	耐水石膏ボード t=12.5 キッチンパネル	Ⓒ	巾木：木製 CL 15×15
		Ⓓ	巾木：ソフト巾木 H=60
		Ⓔ	廻縁：木製 CL 9×30

※()内寸法は2Fの天井高さを示す
※WC、洗面脱衣所は耐水石膏ボード下地

工事名称	(仮称)栗国村教員住宅(南棟Ⅱ)新築工事(建築)	工事年度	令和5年度
工事場所	栗国村字東544番地(他5筆)	図面名称	展開図-Dタイプ-2
発注機関	栗国村教育委員会	図面尺	A1 1/30 A3 1/60
摘要	図面番号 A-24		
検印	管理建築士	設計	製図
	名称	(株)渡久山設計	
	資格者氏名	比嘉 義明	
	登録番号	一般建築士 本邦登録 第 25938号 一般建築士事務所登録 第04-194号	
	所在地	浦添市牧港2丁目8番4号	



工事名称	(仮称) 栗国村教員住宅(南棟Ⅱ)新築工事(建築)	工事年度	令和5年度
工事場所	栗国村字東544番地(他5筆)	図面名称	1・2階建具ケーブルプラン
発注機関	栗国村教育委員会	縮尺	A1 1/50 A3 1/100
摘要	図面番号 A-25		
検印	管理建築士	設計	製図
	名称	(株) 渡久山設計	
	資格者氏名	比嘉 義明	
	登録番号	一級建築士 本邦登録 第 25938号 一級建築士事務所登録 第04-194号	
	所在地	浦添市牧港2丁目8番4号	

記号	SD 1	SD 2	AW 1	AW 2	AW 3	AW 4	AW 5
建具番号	1	2	1	2	3	4	5
名称	ステンレス製片開きフラッシュ戸	ステンレス製片開きフラッシュ戸	アルミ製外倒し窓	アルミ製3連窓（上段外倒し窓 下2段FIX窓）	アルミ製引違い窓	アルミ製引違い窓	アルミ製引違い窓
姿図							
数量	10	10	14	6	8	4	10
枠見込	70mm以上	70mm以上	70mm以上	70mm以上	70mm以上	70mm以上	70mm以上
仕上	室外表面：ステンレス化粧鋼板 室内表面：化粧鋼板	ステンレス焼付塗装(扉・枠共)	アルマイト処理(シルバー)	アルマイト処理(シルバー)	アルマイト処理(シルバー)	アルマイト処理(シルバー)	アルマイト処理(シルバー)
ガラス種類・厚	---	---	型板ガラス t=6mm	型板ガラス t=6mm	フロート板ガラス t=5mm	フロート板ガラス t=5mm	フロート板ガラス t=5mm
金物	レバーハンドル錠、ステンレス丁番、ドアクローザー、戸当たり、付属金物一式	ケースハンドル、ワイヤー式あおり止め、軸吊ヒンジ、付属金物一式	フック棒、アルミ水切り、網戸、付属金物一式	フック棒、アルミ水切り、網戸、付属金物一式	クレセント、アルミ水切り、面格子、可動網戸、付属金物一式	クレセント、アルミ水切り、可動網戸、雨戸、付属金物一式	クレセント、アルミ水切り、可動網戸、雨戸、付属金物一式
室名	玄関	PS	WC・UB	単身世帯住戸 DK	家族世帯住戸 洋室1・2	家族世帯住戸 洋室2	家族世帯住戸 LDK 単身世帯住戸 洋室
備考	LIXIL Sseries QRF-10 同等品以上						

開き勝手は平面詳細図に準ずる

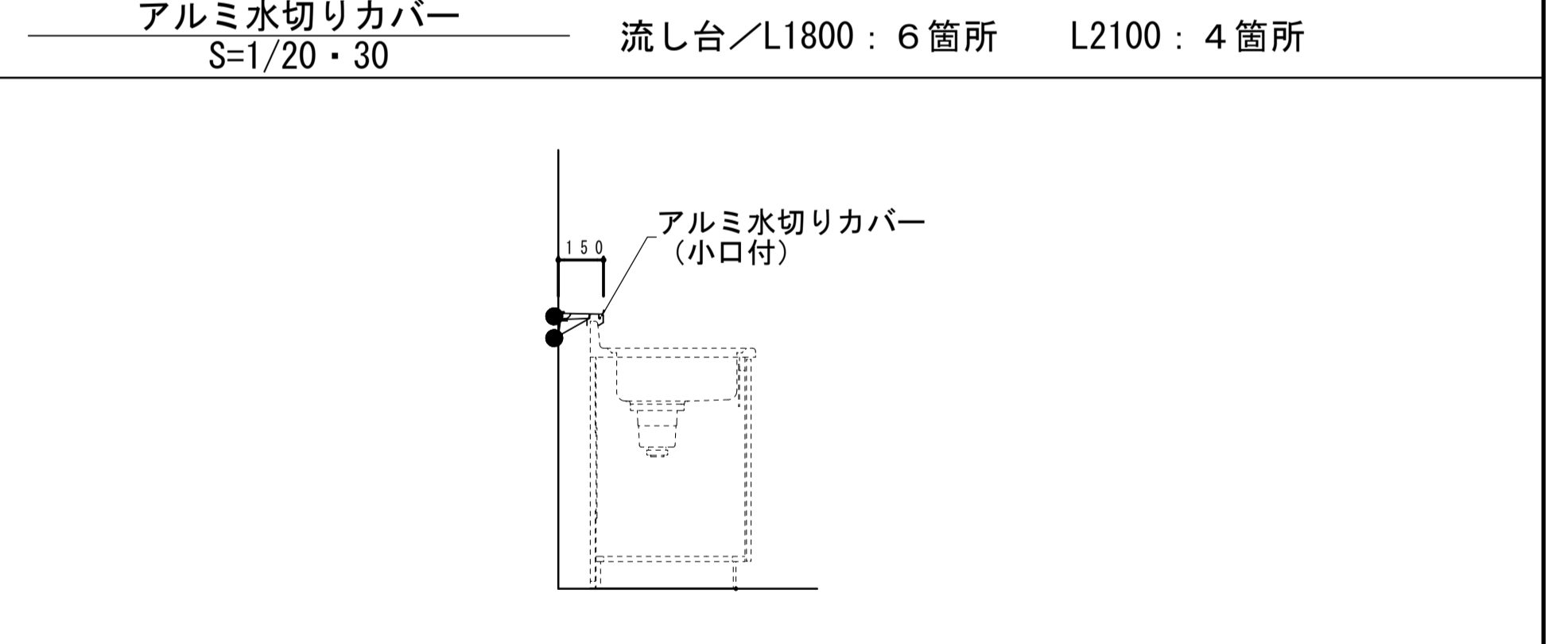
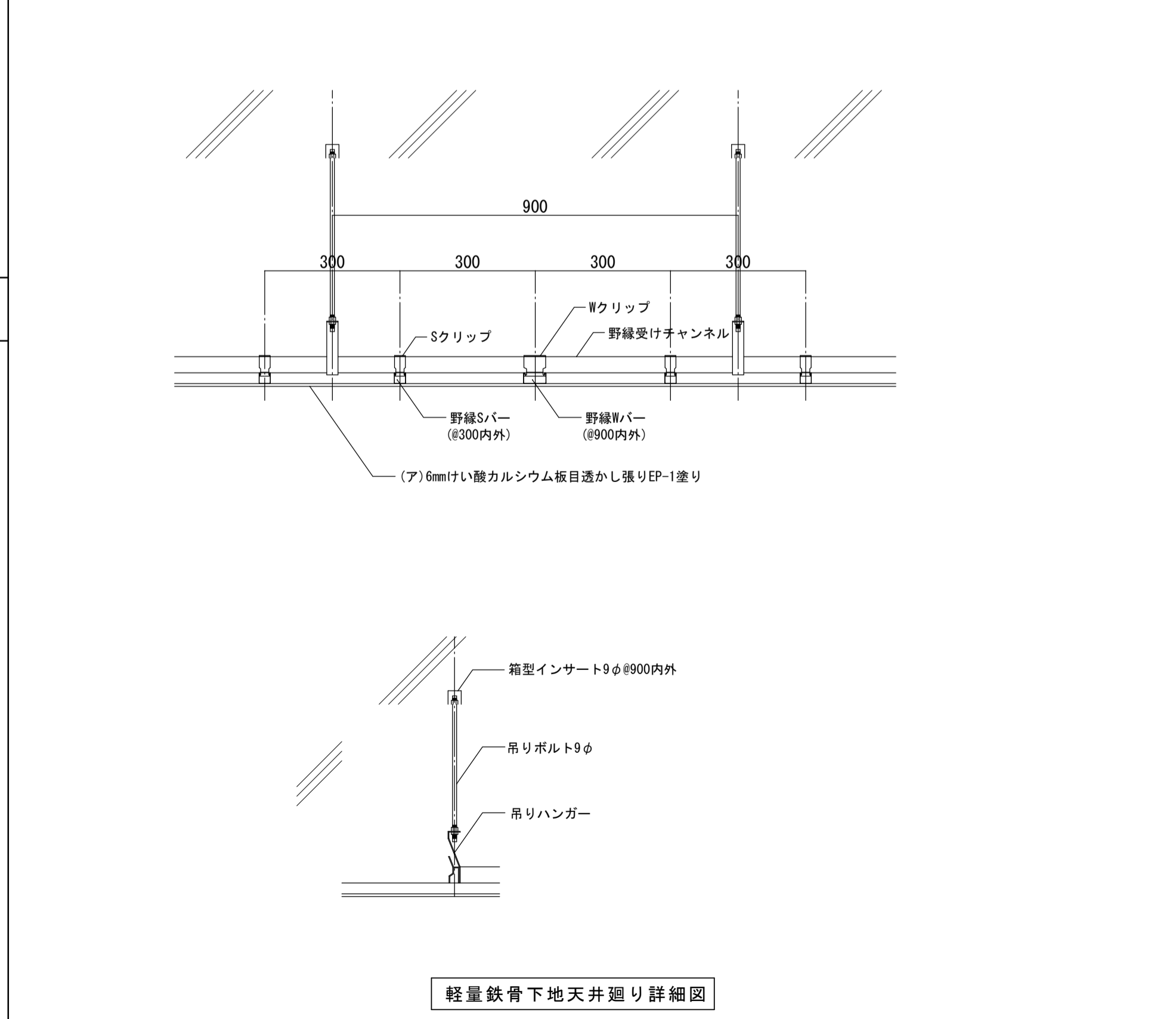
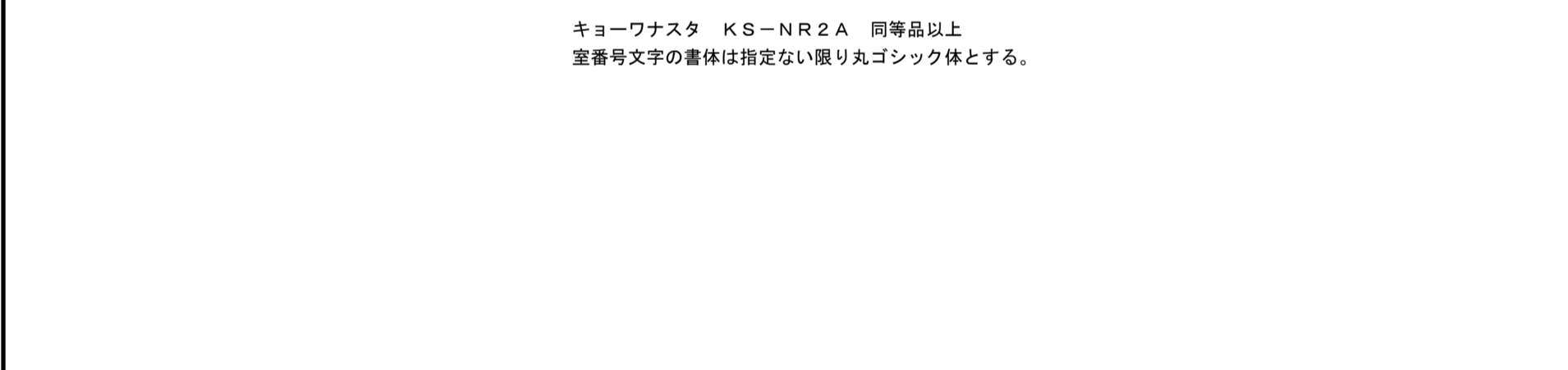
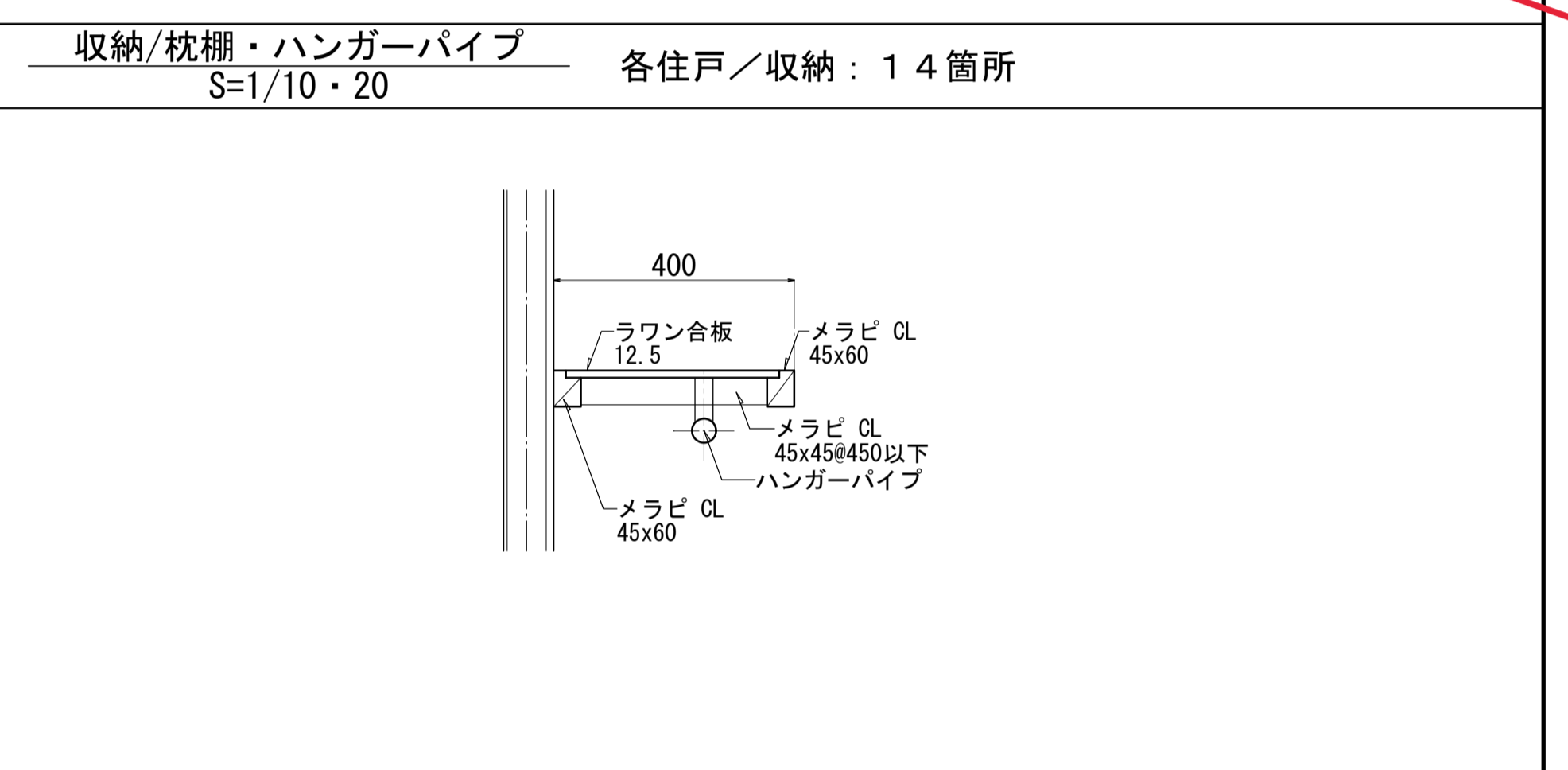
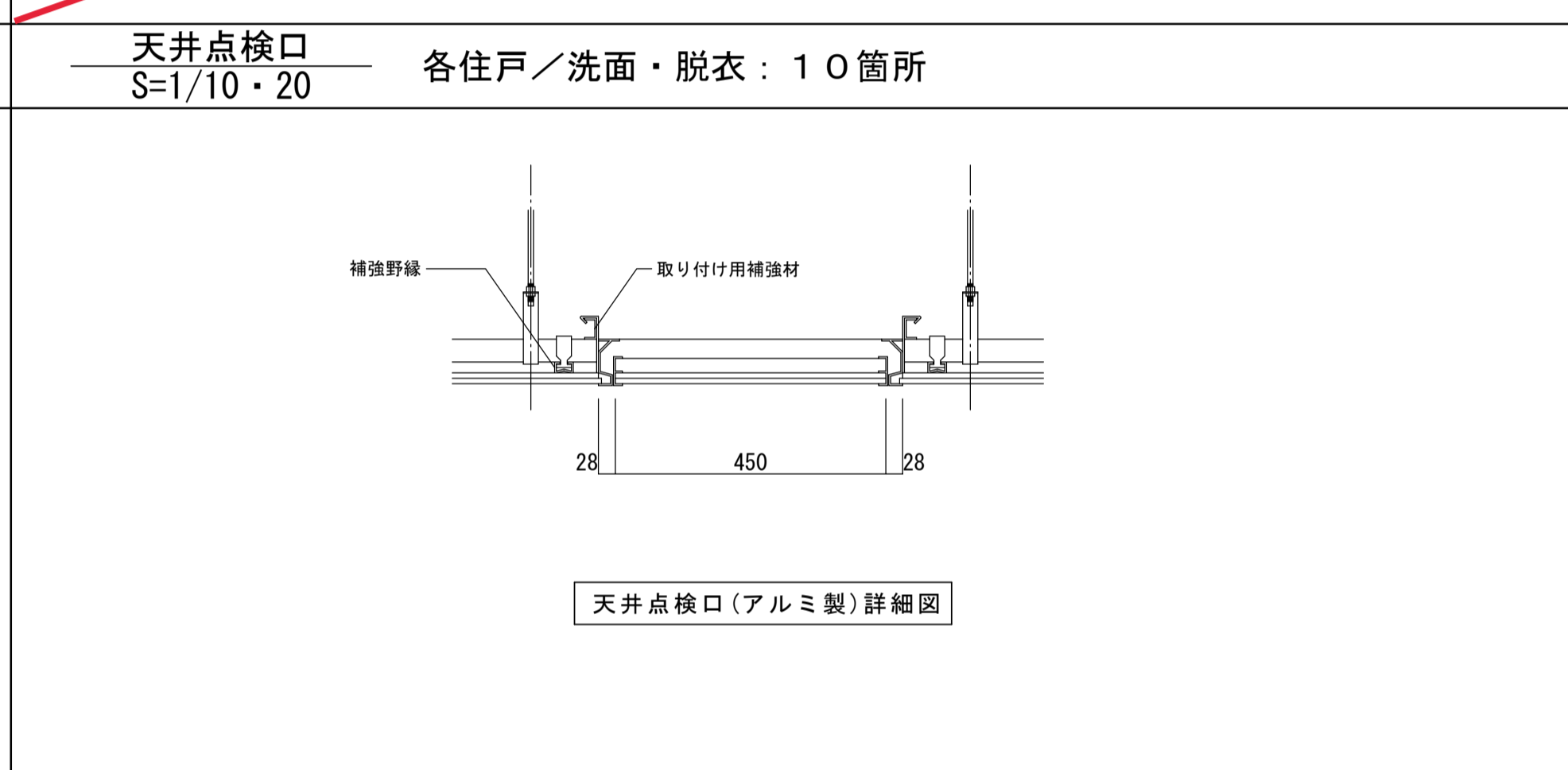
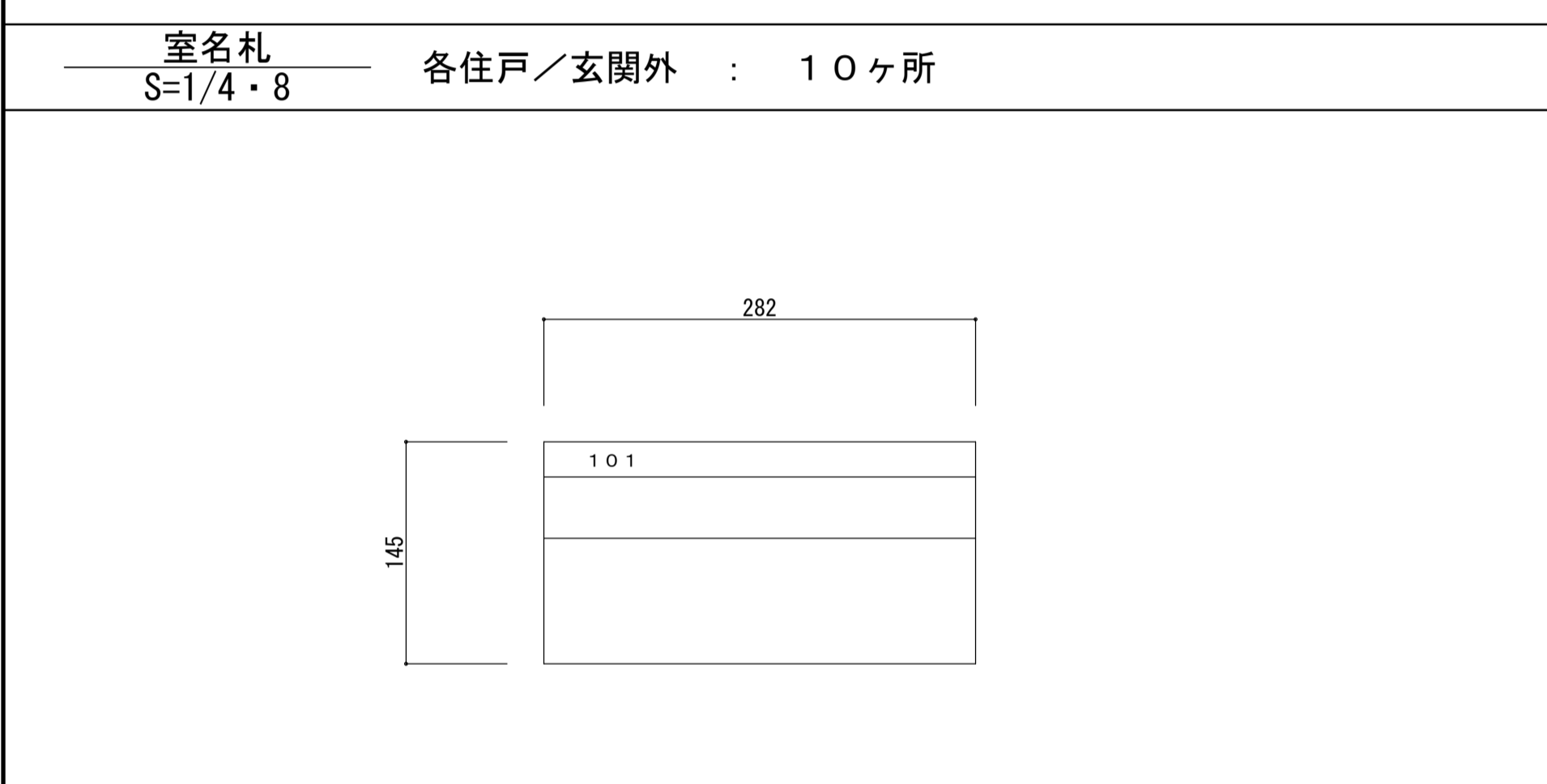
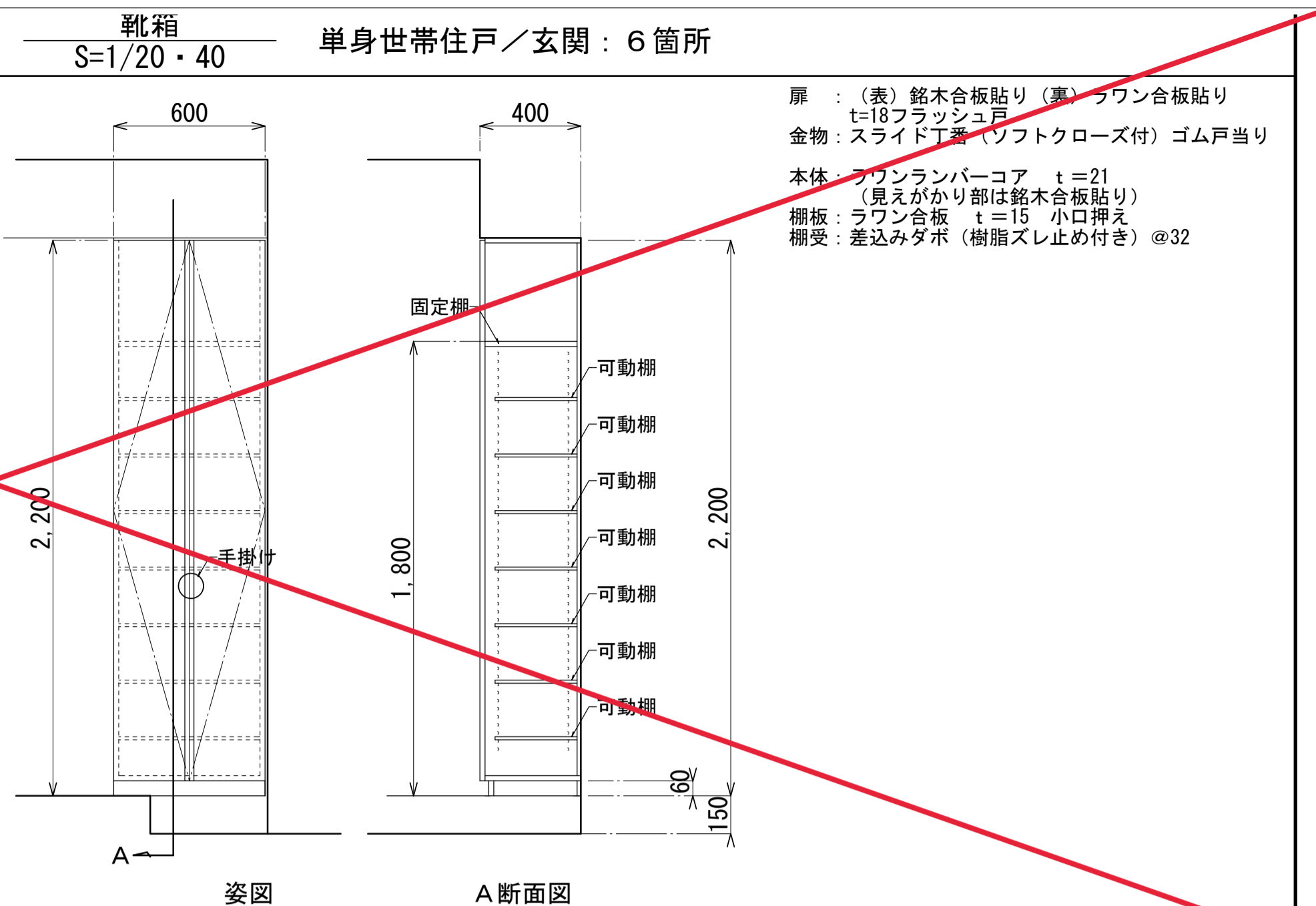
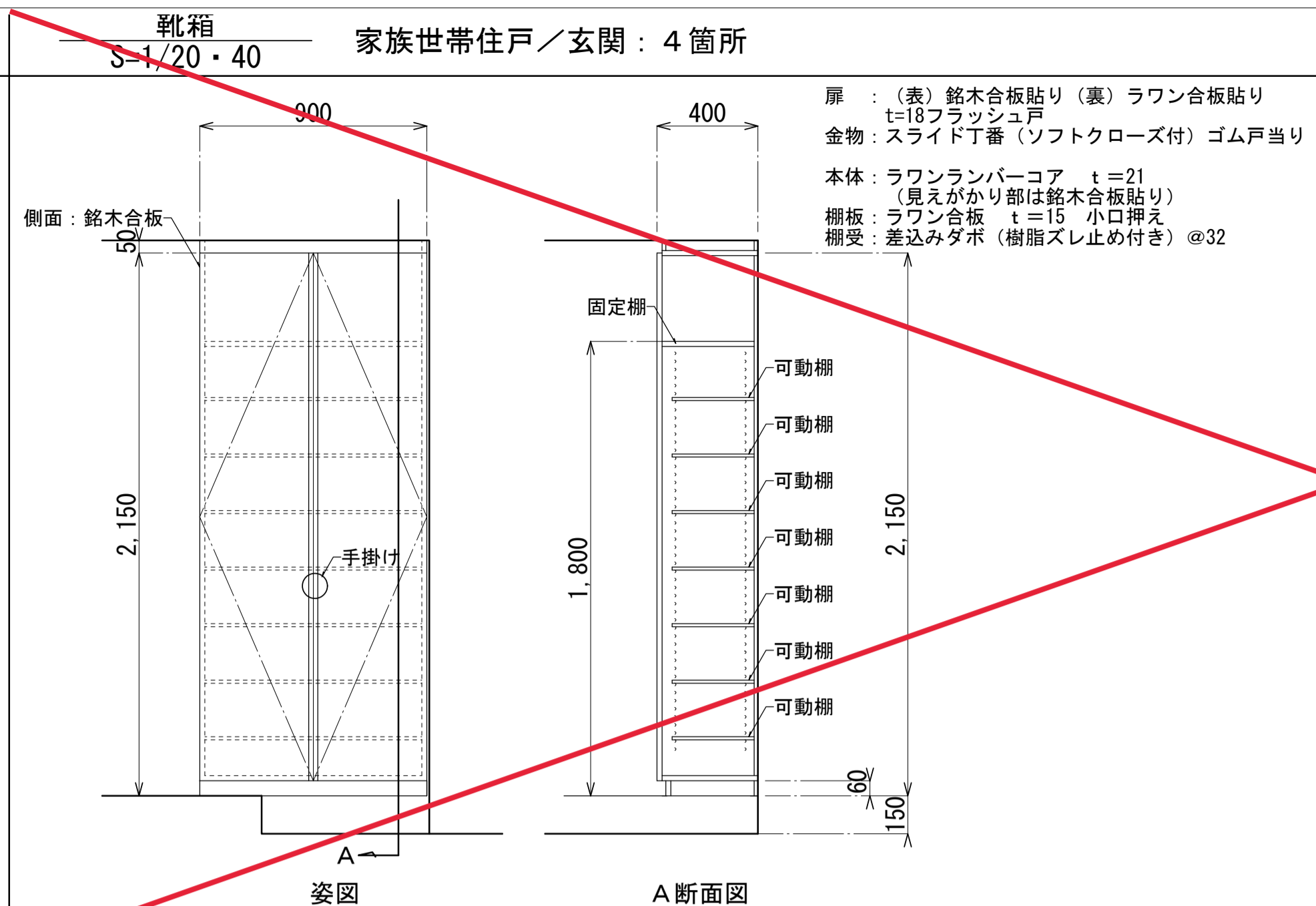
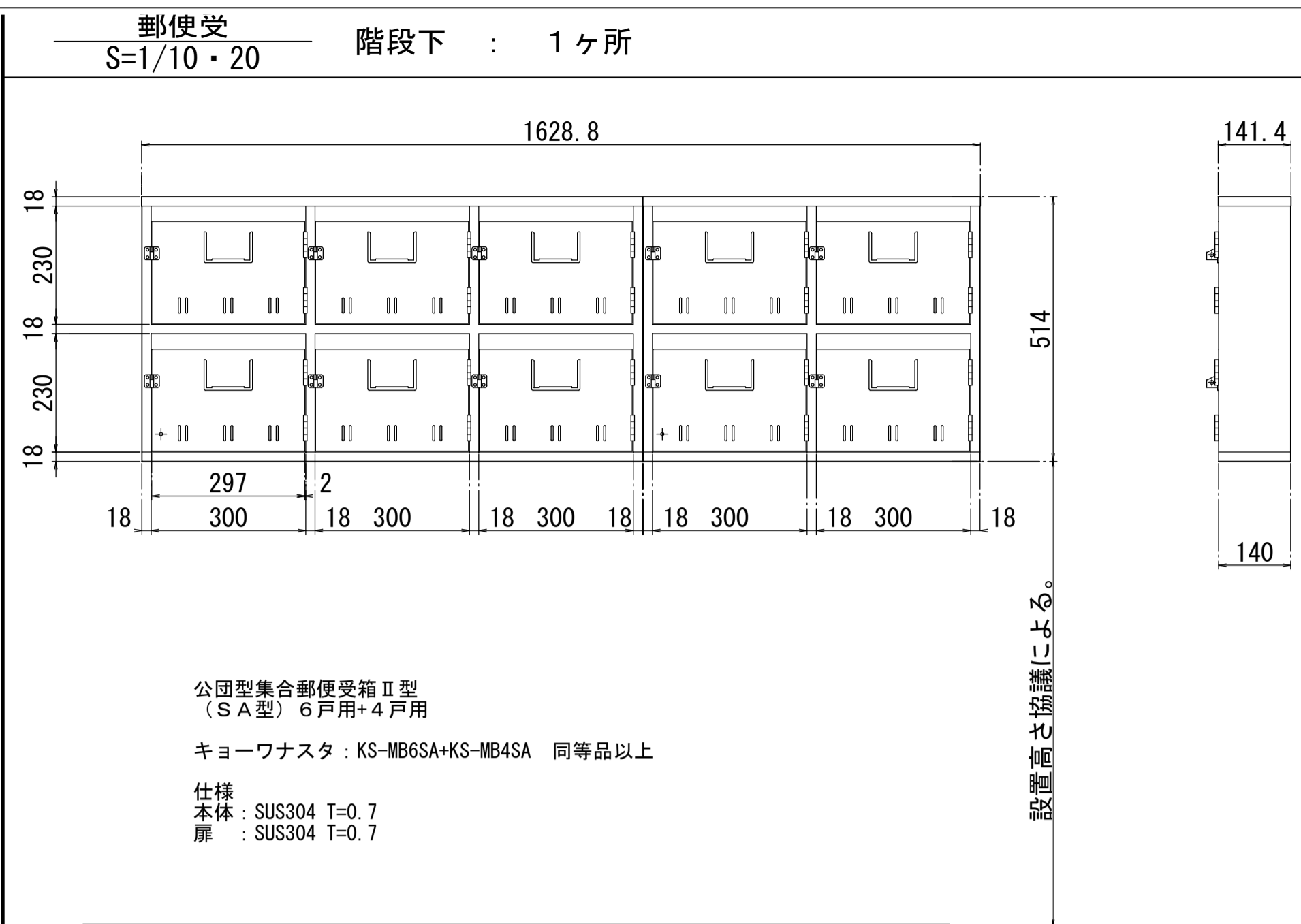
工事名称	(仮称)栗国村教員住宅(南棟II)新築工事(建築)	工事年度	令和5年度
工事場所	栗国村字東544番地(他5筆)	図面名称	金網建具表
発注機関	栗国村教育委員会	図面尺	A1 1/50 A3 1/100
摘要		図面番号	A-26
検印	管理建築士	設計	製図
	名称	(株)渡久山設計	
	資格者氏名	比嘉 義明	
	登録番号	一級建築士 大宮事務所 第25938号 一級建築士事務所建築士登録 第104-194号	
	所在地	浦添市牧港2丁目8番4号	

符号	WD 1	WD 2	WD 3	WD 4	WD 5	WD 6	WD 7
建具番号	1	2	3	4	5	6	7
名称	木製 両開きフラッシュ戸	木製片開きフラッシュ戸	木製片開きフラッシュ戸	木製3枚片引きフラッシュ戸	木製フラッシュ両開き折れ戸	木製片引きフラッシュ戸	木製両開きフラッシュ戸
姿図							
数量	6	6	6	6	6	4	4
枠見込	36mm	36mm	36mm	36mm	36mm	36mm	36mm
扉仕上	銘木合板 CL塗装	銘木合板 CL塗装	銘木合板 CL塗装	銘木合板 CL塗装	銘木合板 CL塗装	銘木合板 CL塗装	銘木合板 CL塗装
ガラス種類・厚	---	---	---	---	---	---	---
金物	スライド丁番、取手、付属金物一式	丁番、レバーハンドル表示錠、戸当たり、付属金物一式	丁番、レバーハンドル表示錠、戸当たり、付属金物一式	彫込引手、戸当たり、Vレール、戸車、付属金物一式	上吊金物、上下彫込レール、彫込引手、付属金物一式	彫込引手、戸当たり、ステンレス鎌錠、ソフトクローズ、付属金物一式	スライド丁番、取手、付属金物一式
室名	単身者世帯住戸 玄関ホール	単身者世帯 洗面・脱衣	単身世帯住戸 WC	単身世帯 DK	単身世帯住戸 CL	家族世帯住戸 WC	家族世帯住戸 玄関ホール
備考							
符号	WD 8	WD 9	WD 10	WD 11			
建具番号	8	9	10	11			
名称	木製片開きフラッシュ戸	木製フラッシュ両開き折れ戸	木製4枚引込みフラッシュ戸	木製片引きフラッシュ戸			
姿図							
数量	4	8	4	4			
枠見込	36mm	36mm	36mm	36mm			
扉仕上	銘木合板 CL塗装	銘木合板 CL塗装	銘木合板 CL塗装	銘木合板 CL塗装			
ガラス種類・厚	---	---	---	---			
金物	丁番、レバーハンドル錠、戸当たり、付属金物一式	上吊金物、上下彫込レール、彫込引手、付属金物一式	彫込引手、回転取手、戸当たり、Vレール、戸車、付属金物一式	彫込引手、戸当たり、ステンレス鎌錠、ソフトクローズ、付属金物一式			
室名	家族世帯住戸 洋室1	家族世帯住戸 CL	家族世帯住戸 洋室2	家族世帯住戸 洗面・脱衣			
備考							

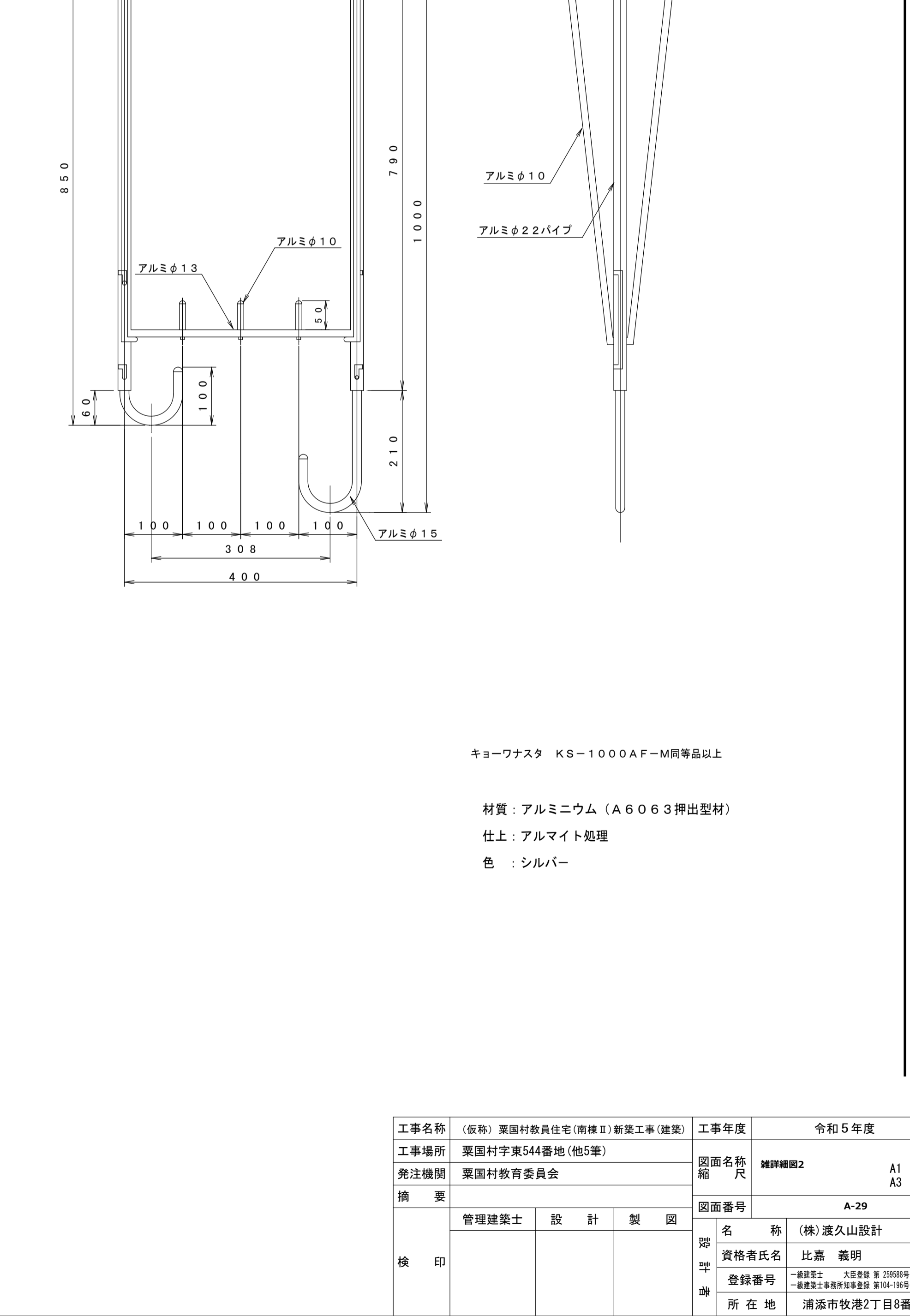
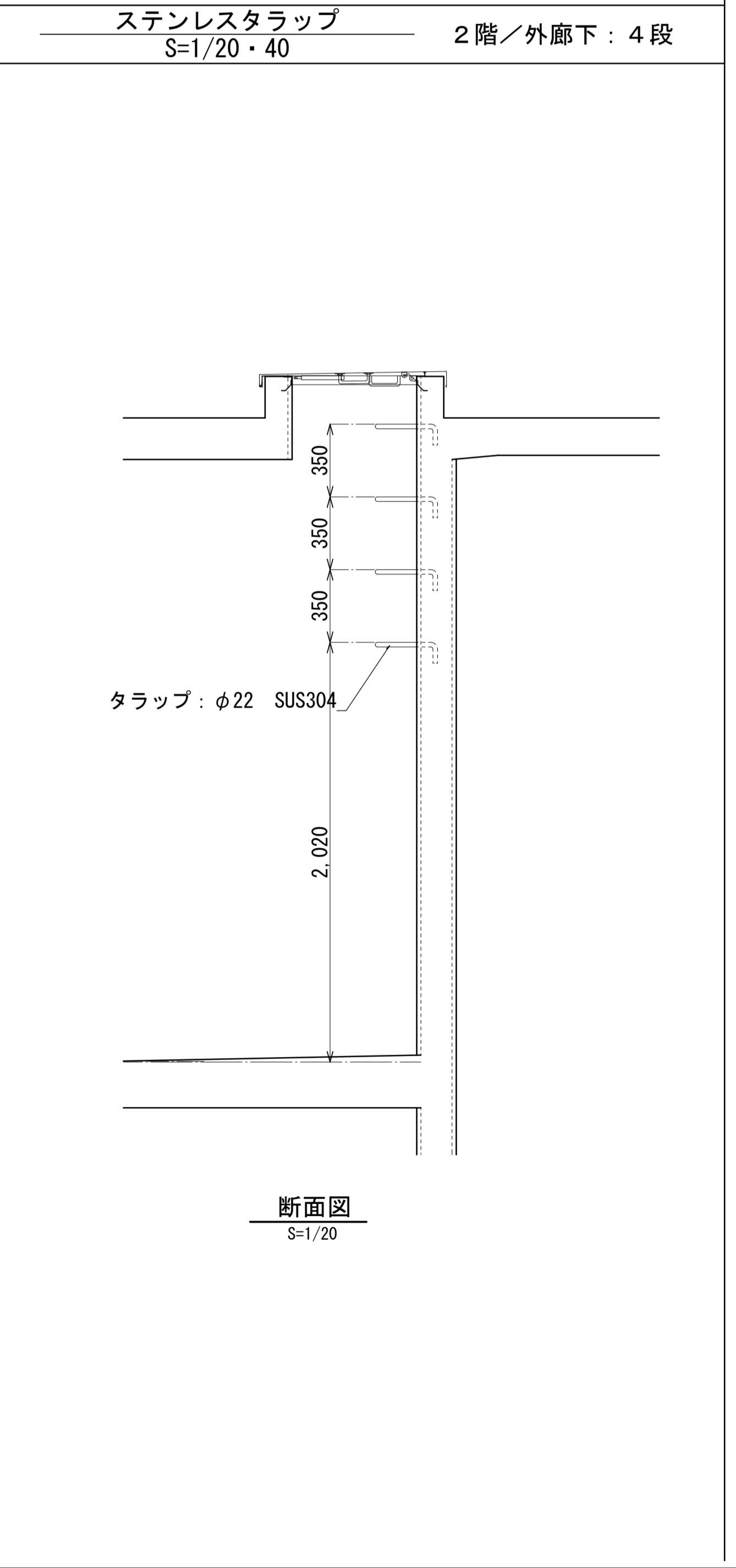
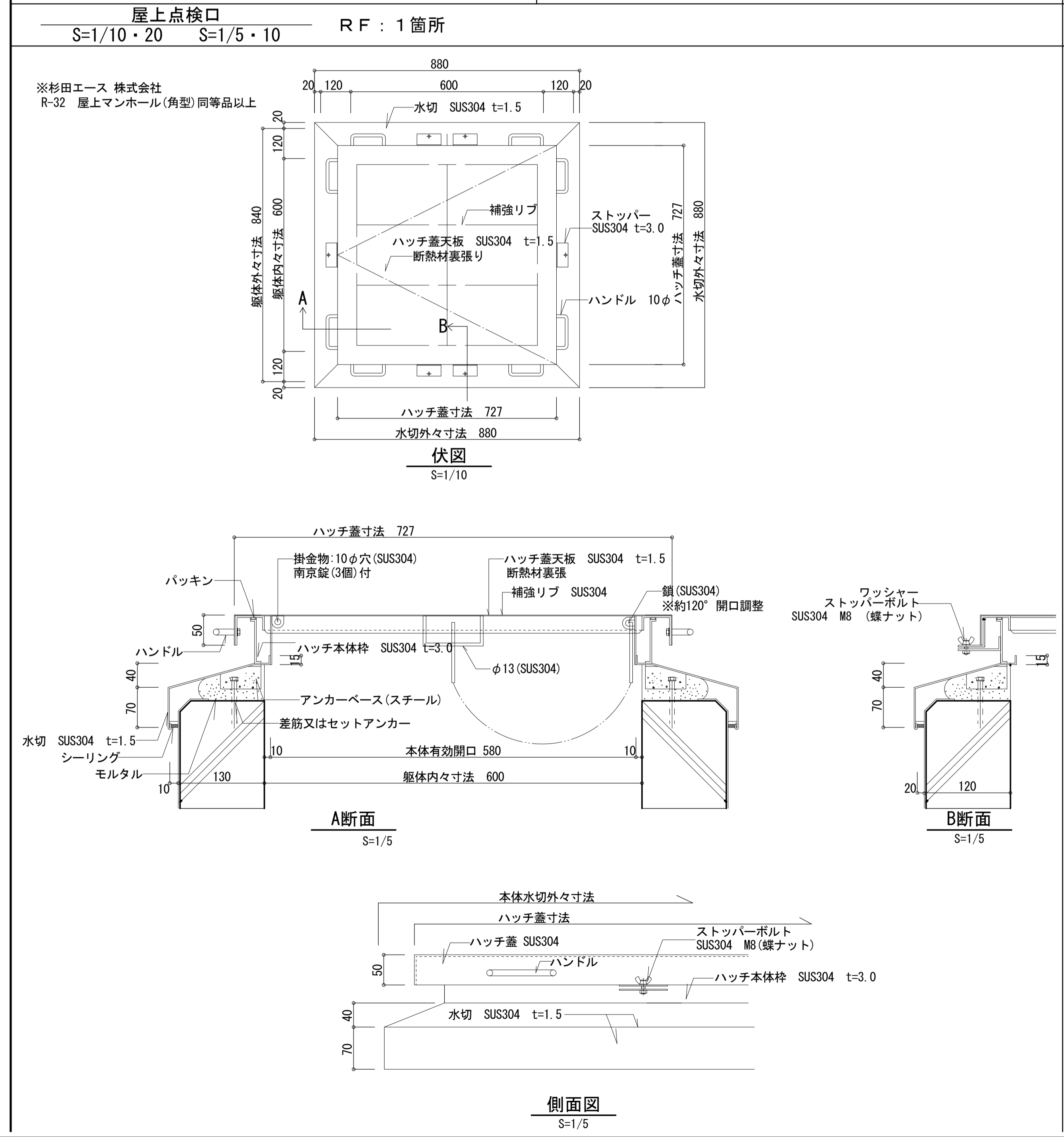
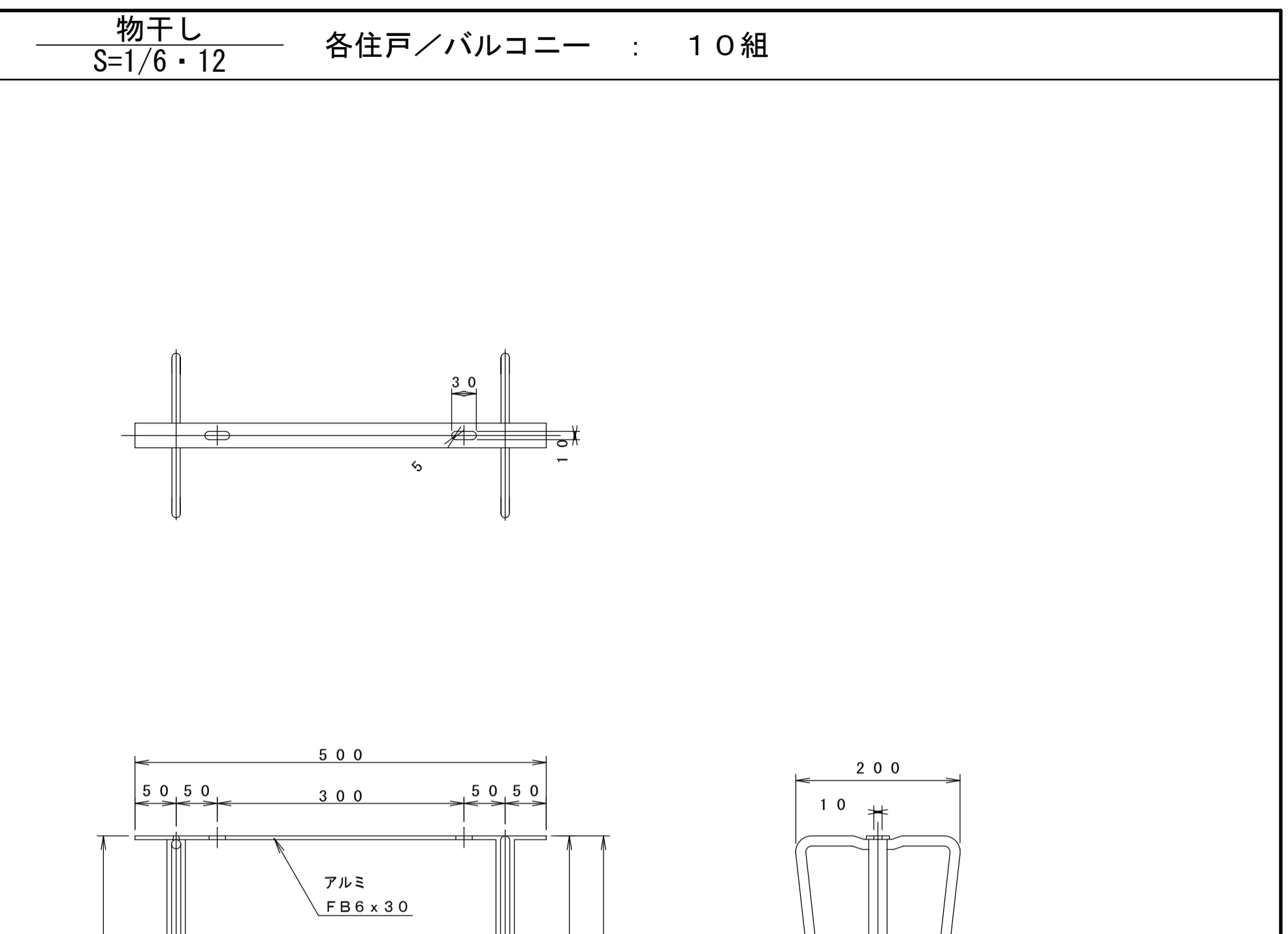
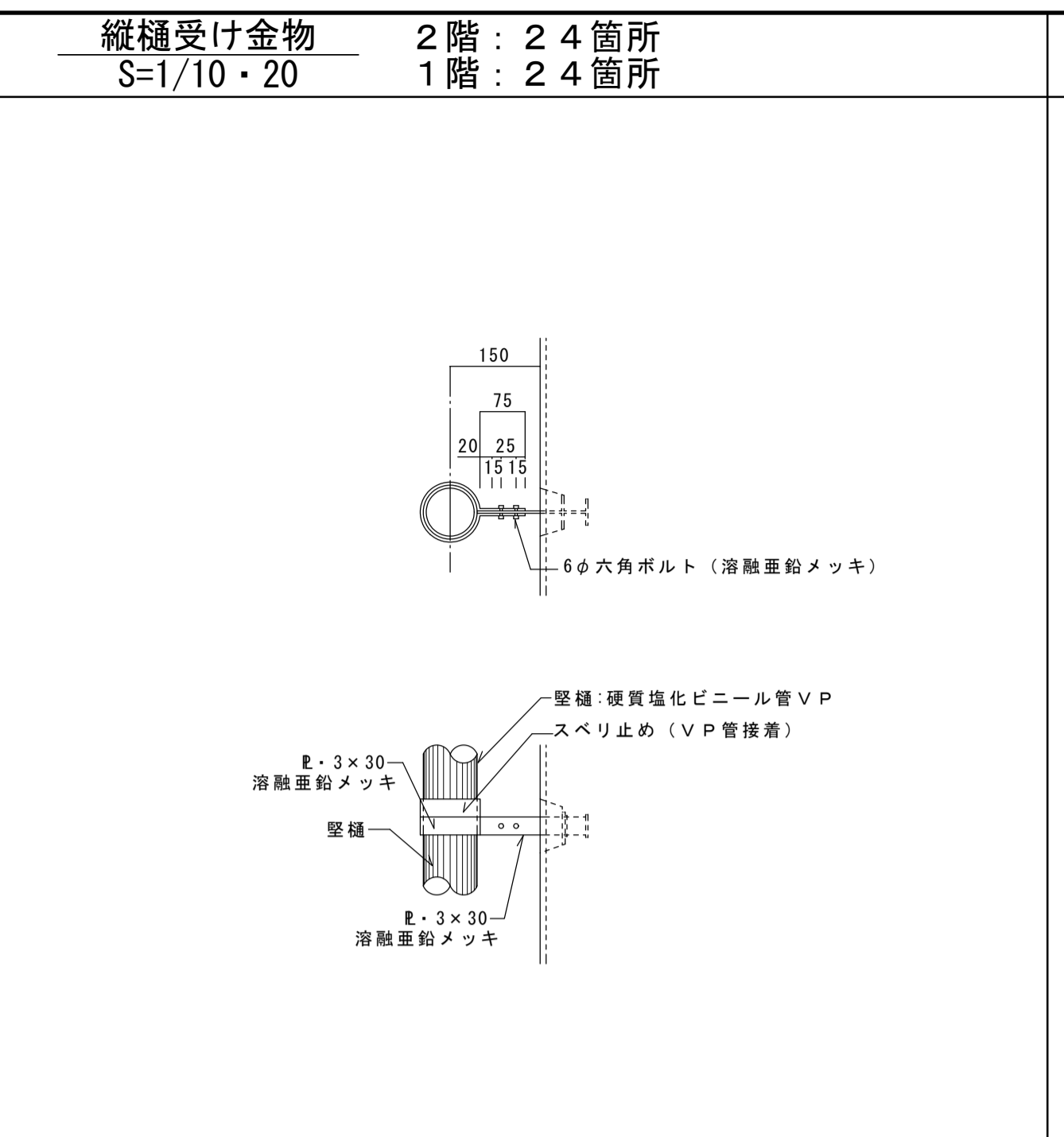
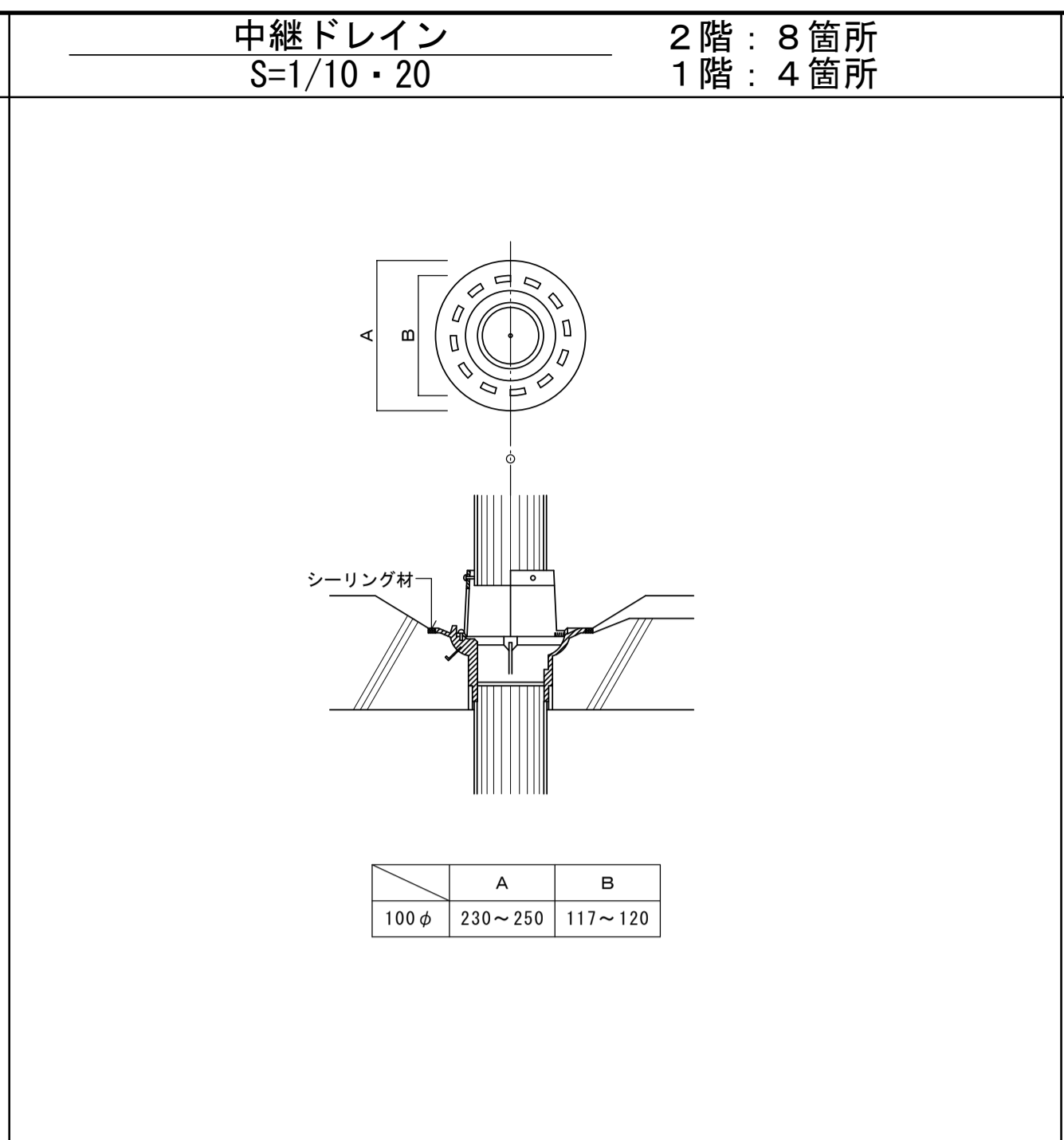
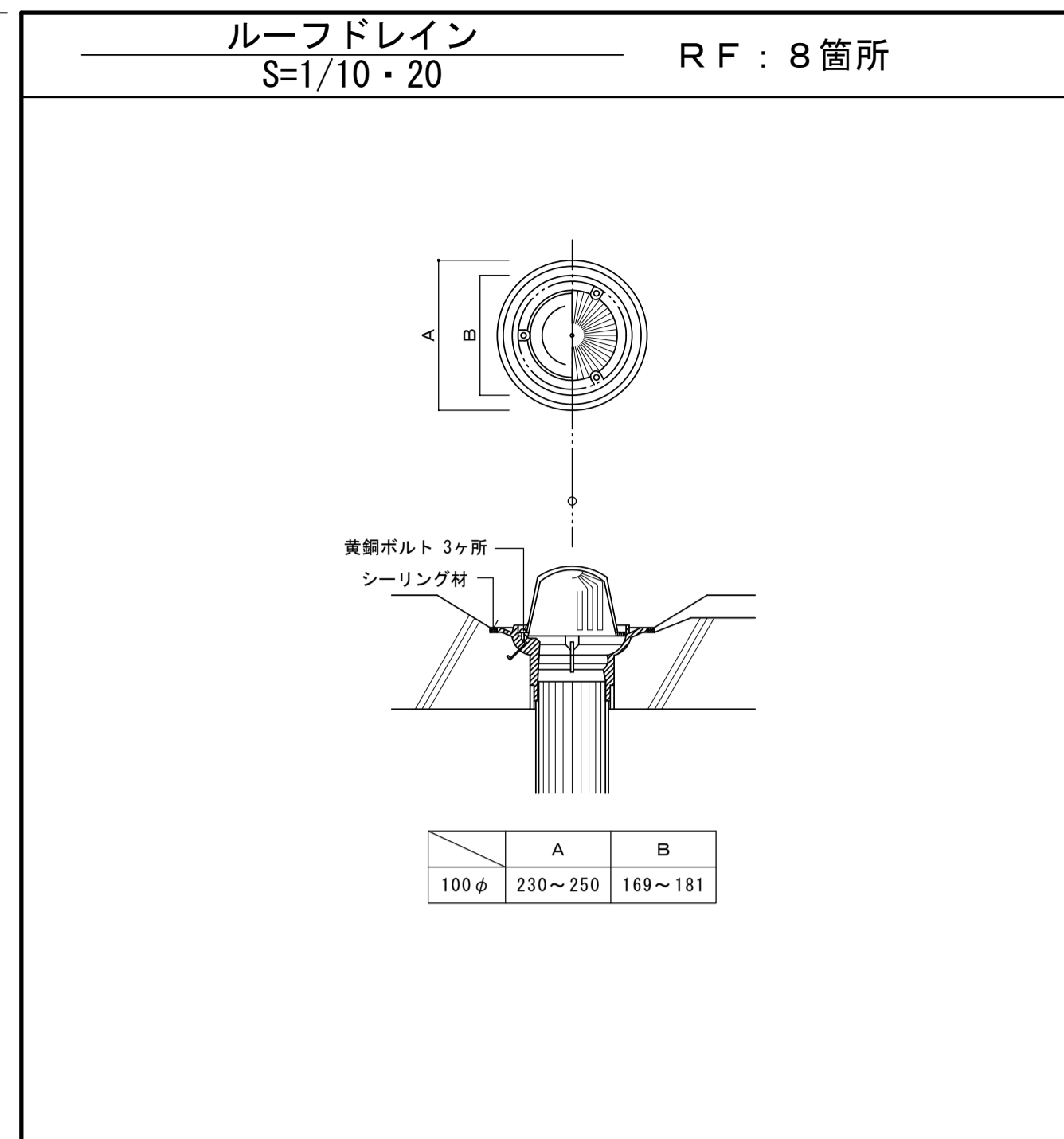
開き勝手は平面詳細図に準ずる

開き戸にはアンダーカット10mmを設ける

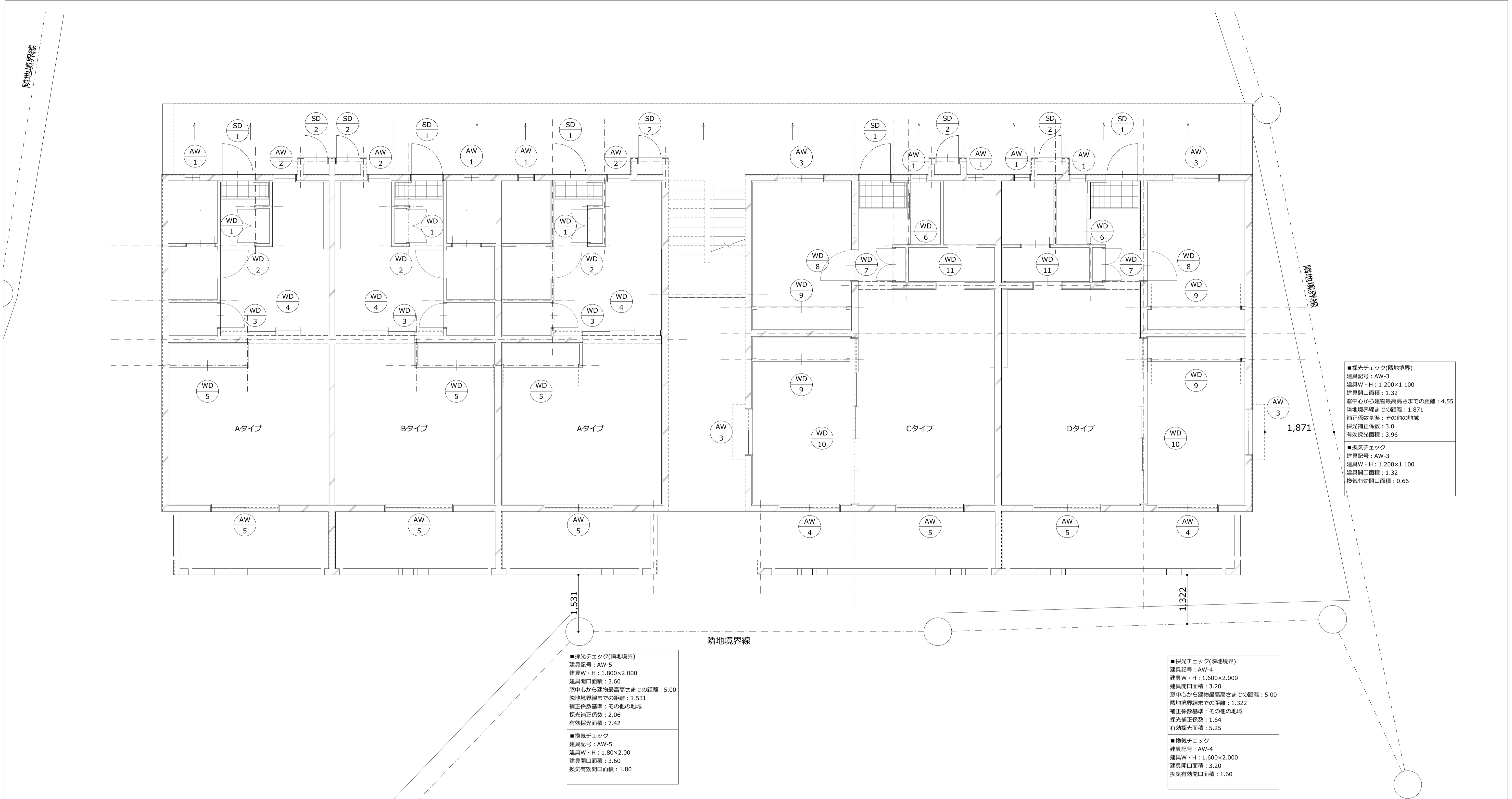
工事名称	(仮称) 栗国村教員住宅(南棟II)新築工事(建築)	工事年度	令和5年度
工事場所	栗国村字東544番地(他5筆)	図面名称	木製建具表
発注機関	栗国村教育委員会	図面尺	A1 1/50 A3 1/100
摘要		図面番号	A-27
検印	管理建築士	設計	製図
	名称	(株) 渡久山設計	
	資格者氏名	比嘉 義明	
	登録番号	一級建築士 大宮事務所 第25938号 一級建築士事務所 第104-194号	
	所在地	浦添市牧港2丁目8番4号	



工事名称	(仮称) 栗国村教員住宅(南棟Ⅱ)新築工事(建築)	工事年度	令和5年度
工事場所	栗国村字東544番地(他5筆)	図面名称	補詳細図1 A1 A3
発注機関	栗国村教育委員会	図面番号	A-28
摘要	管理建築士 設計 製図	名称	(株) 渡久山設計
検印	資格者氏名	比嘉 義明	所在地
	登録番号	第一級建築士 本居 義明 第 25938号 第一級建築士事務所 比嘉 義明 第 104-194号	
	所在地	浦添市牧港2丁目8番4号	



工事名称	(仮称) 栗国村教員住宅(南棟II)新築工事(建築)	工事年度	令和5年度
工事場所	栗国村字東544番地(他5筆)	図面名称	補詳細図2
発注機関	栗国村教育委員会	尺	A1 A3
摘要		図面番号	A-29
検印	管理建築士	設計	製図
	名称	(株) 渡久山設計	
	資格者氏名	比嘉 義明	
	登録番号	第一級建築士 大宮事務所 第 25938号 一級建築士事務所 第 104-194号	
所在地	浦添市牧港2丁目8番4号		



■採光チェック(隣地境界)
 建具記号: AW-3
 建具W・H: 1.200×1.100
 建具開口面積: 1.32
 窓中心から建物最高高さまでの距離: 4.55
 隣地境界線までの距離: 1.871
 補正係数基準: その他の地域
 採光補正係数: 3.0
 有効採光面積: 3.96

■換気チェック
 建具記号: AW-3
 建具W・H: 1.200×1.100
 建具開口面積: 1.32
 換気有効開口面積: 0.66

■採光チェック(隣地境界)
 建具記号: AW-5
 建具W・H: 1.800×2.000
 建具開口面積: 3.60
 窓中心から建物最高高さまでの距離: 5.00
 隣地境界線までの距離: 1.531
 補正係数基準: その他の地域
 採光補正係数: 2.06
 有効採光面積: 7.42

■換気チェック
 建具記号: AW-5
 建具W・H: 1.80×2.00
 建具開口面積: 3.60
 換気有効開口面積: 1.80

■採光チェック(隣地境界)
 建具記号: AW-4
 建具W・H: 1.600×2.000
 建具開口面積: 3.20
 窓中心から建物最高高さまでの距離: 5.00
 隣地境界線までの距離: 1.322
 補正係数基準: その他の地域
 採光補正係数: 1.64
 有効採光面積: 5.25

■換気チェック
 建具記号: AW-4
 建具W・H: 1.600×2.000
 建具開口面積: 3.20
 換気有効開口面積: 1.60

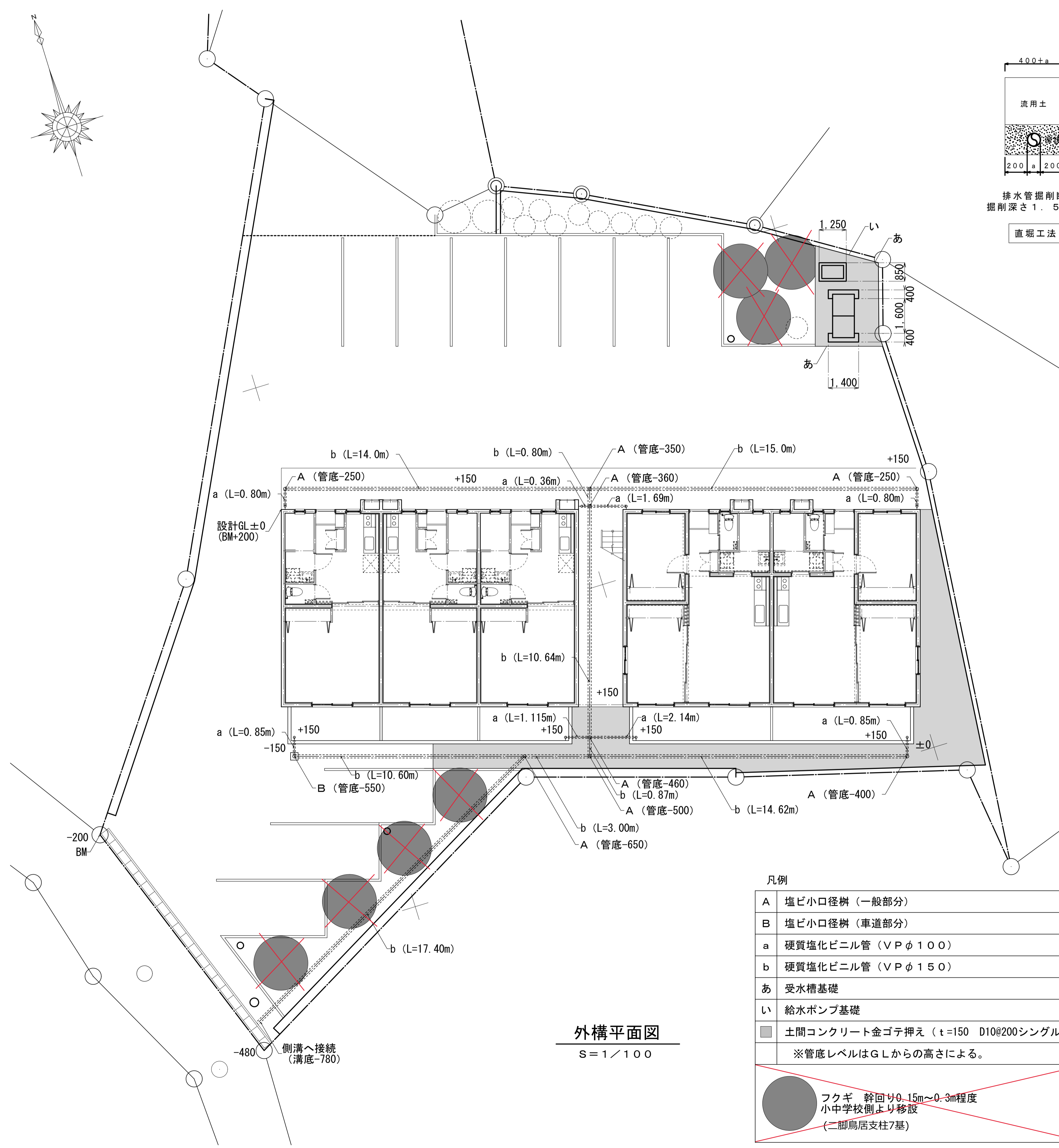
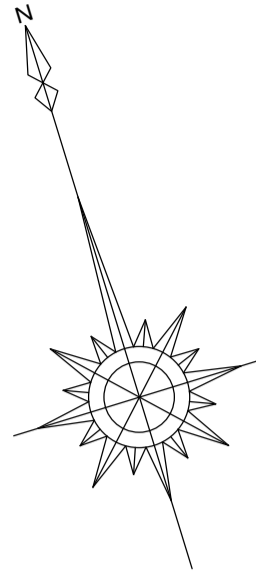
階数	室名	室面積	採光				有効面積	計	判定	換気				有効面積	計	判定	排煙				
			必要面積	建具	計算式	補正係数				ケ	必要面積	建具	計算式				ケ	必要面積	建具	計算式	ケ
1	Aタイプ1 DK・洋室	29.6400	1/7 4.2343	AW5	1.800×2.000	2.06	1	7.42	7.42	OK	1/20 1.4820	AW5	1.800×2.000×1/2	1	1.80	1.80	OK	建築基準法第126条の2 1項一号			
1	Dタイプ 洋室2	11.4000	1/7 1.6286	AW3 AW4	1.200×1.100 1.600×2.000	3.00 1.64	1 1	3.96 5.25	9.21	OK	1/20 0.5700	AW3 AW4	1.200×1.100×1/2 1.600×2.000×1/2	1 1	0.66 1.6	2.26	OK				

階	室名	建具	d	/	h	×	α	-	β	=	係数
1	Aタイプ DK・洋室	AW5	1.531	/	5.00	×	10	-	1	=	2.06
1	Dタイプ 洋室2	AW3	1.871	/	4.55	×	10	-	1	=	3.11
		AW4	1.322	/	5.00	×	10	-	1	=	1.64

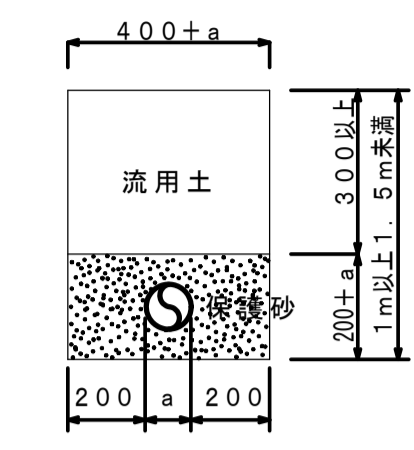
<無窓階の判定>
 1~2階延床面積 249.26 × 1/30 = 8.31
 建具符号 W H 開口率 数量
 AW/5 1.800 × 2.000 × 1/2 × 5 = 9.00 開口W750以上×H1200以上

9.00 m² OK
 有窓階

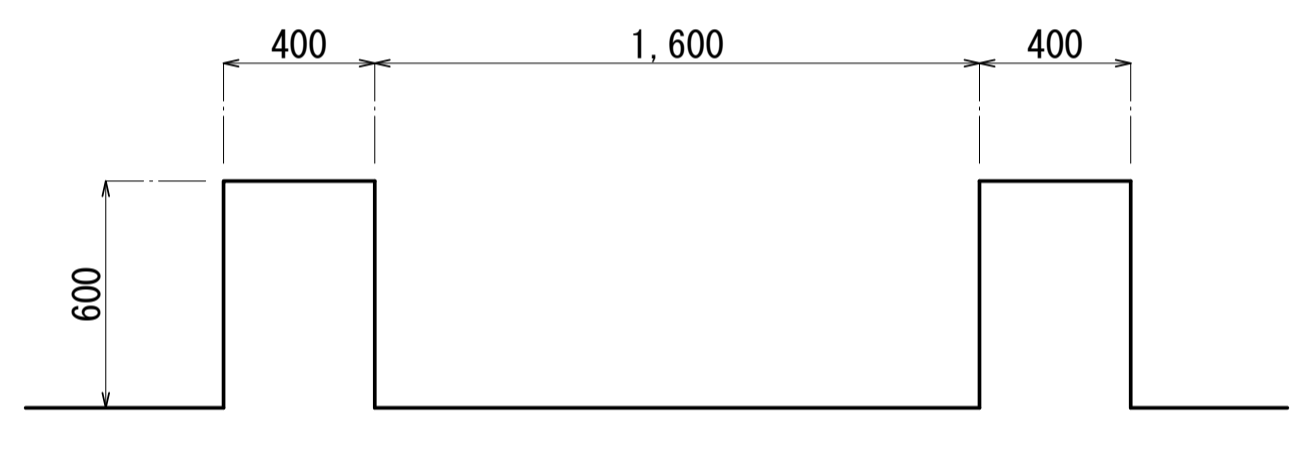
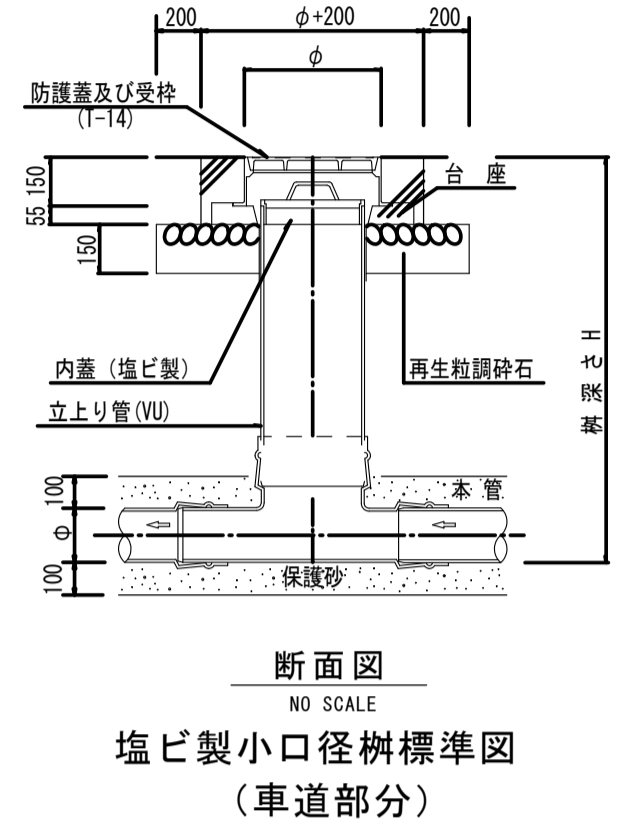
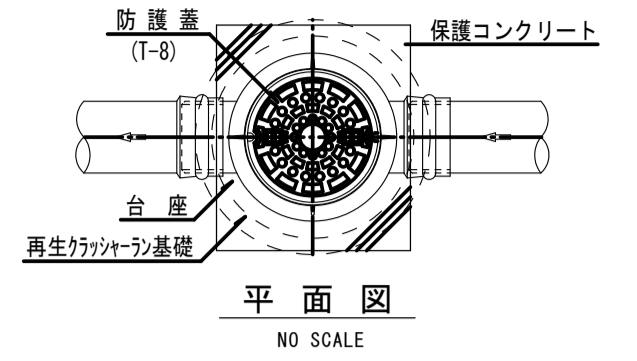
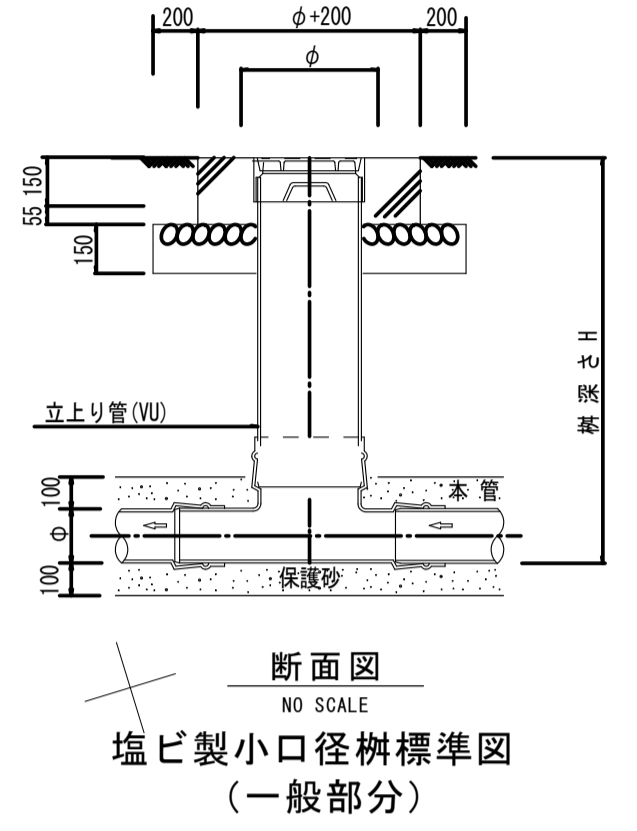
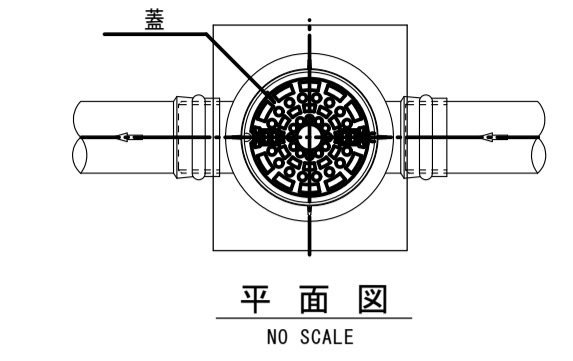
工事名称	(仮称) 栗園村教員住宅(南棟II)新築工事(建築)	工事年度	令和5年度
工事場所	栗園村字東544番地(他5筆)	図面名称	1階法規チェック図
発注機関	栗園村教育委員会	図面尺	A1 1/50 A3 1/100
摘要		図面番号	A-30
検印	管理建築士	設計	製図
	名称	(株) 渡久山設計	
	資格者氏名	比嘉 義明	
	登録番号	第一級建築士 大宮直樹 第 25938号 第一級建築士事務所建築士 第104-196号	
	所在地	浦添市牧港2丁目8番4号	



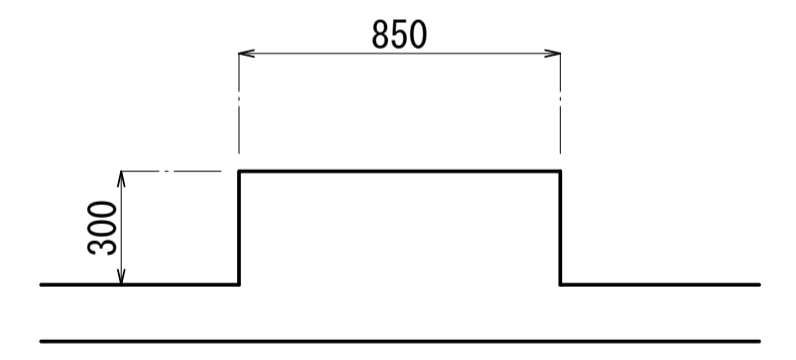
外構平面図
S = 1 / 100



排水管掘削断面
掘削深さ1.5m未満
直掘り工法



受水槽基礎断面図
S = 1 / 20
配筋：上下共3-D16
STP D13@200



給水ポンプ基礎断面図
S = 1 / 20
配筋：D10@200

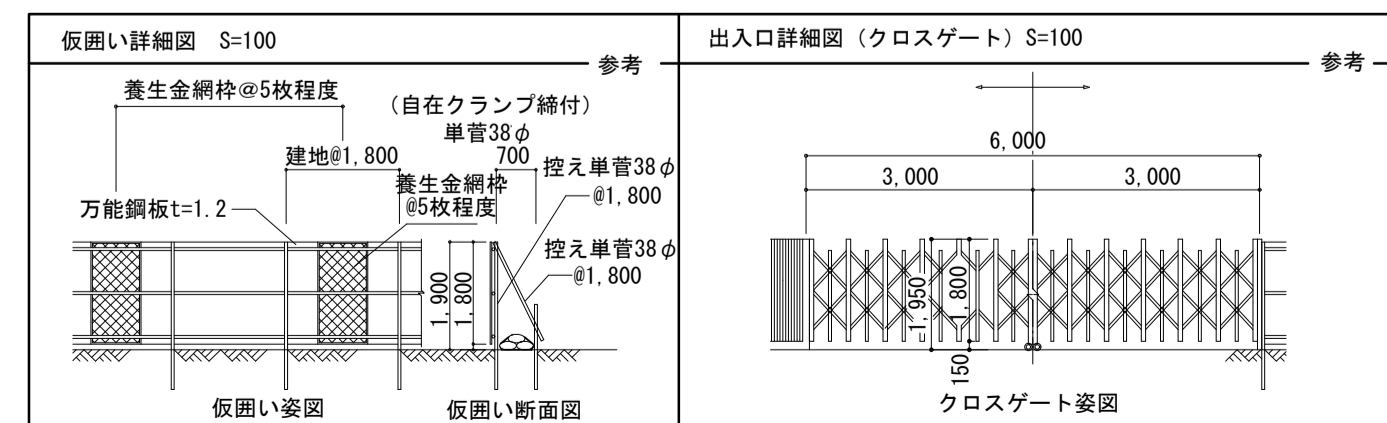
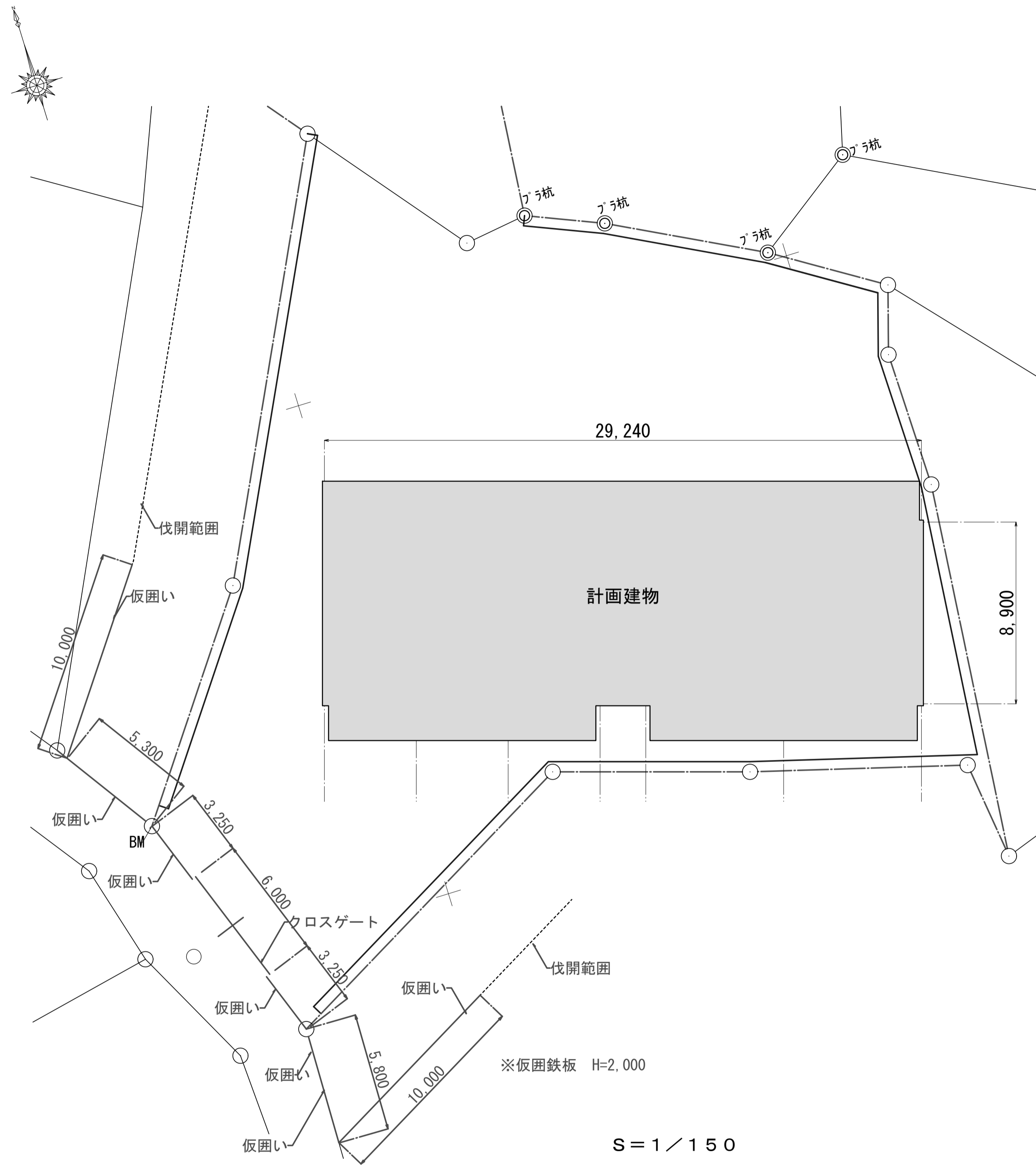
凡例

A	塩ビ小口径樹 (一般部分)
B	塩ビ小口径樹 (車道部分)
a	硬質塩化ビニル管 (VPφ100)
b	硬質塩化ビニル管 (VPφ150)
あ	受水槽基礎
い	給水ポンプ基礎
■	土間コンクリート金ゴテ押え (t=150 D10@200シングル配筋)

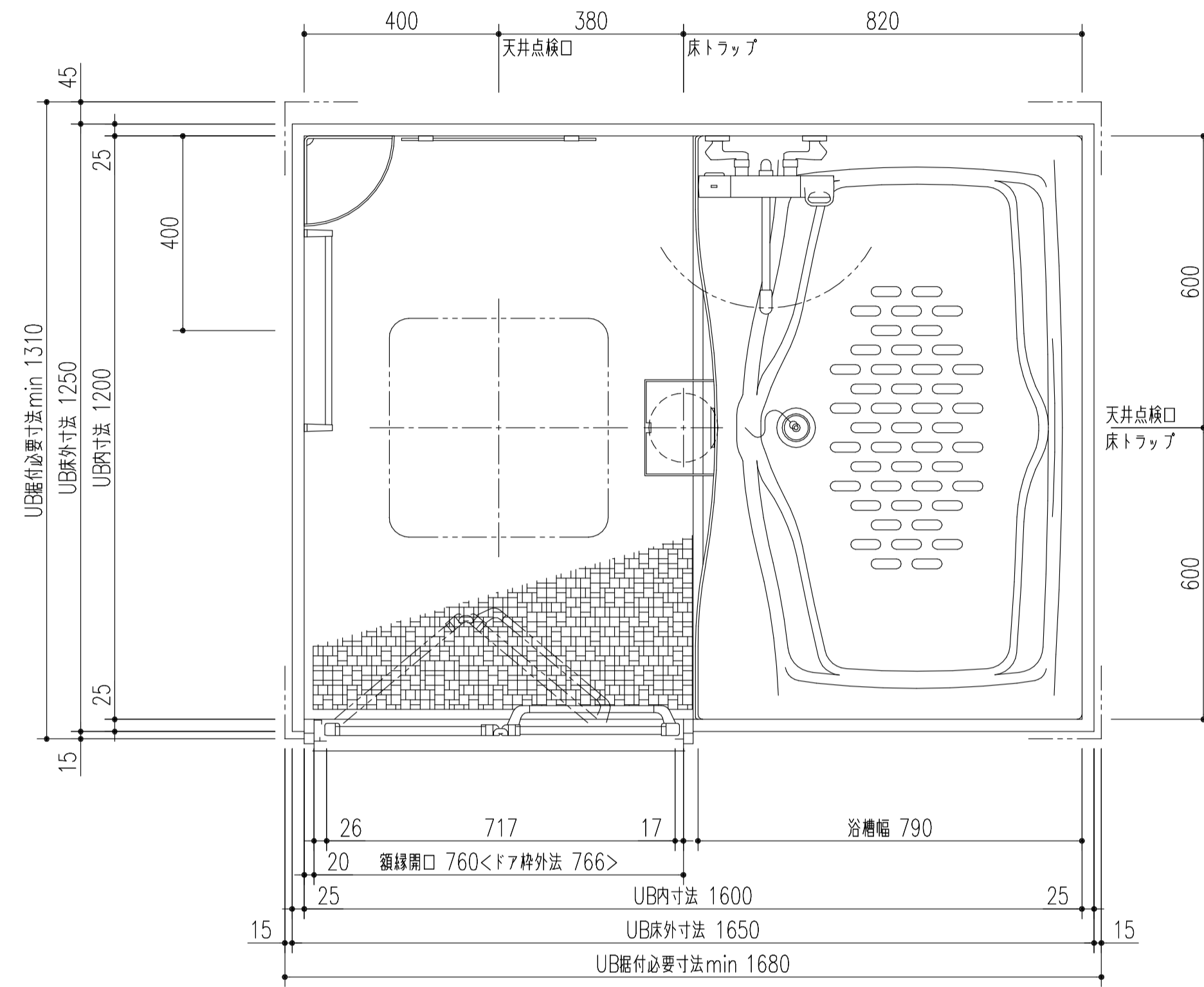
※管底レベルはGLからの高さによる。

● フクギ 幹回り0.15m~0.3m程度
小中学校側より移設
(二脚鳥居支柱7基)

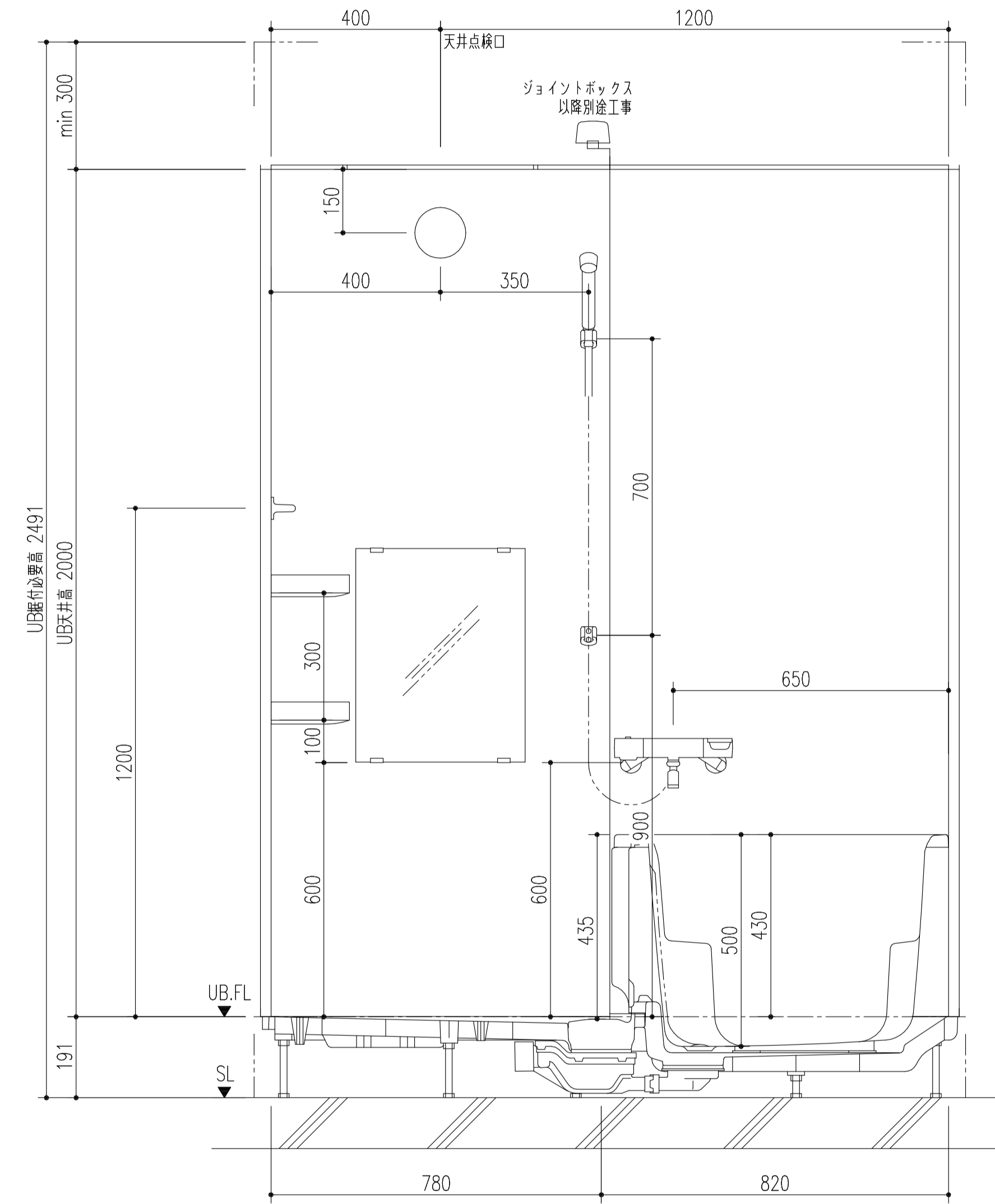
工事名称	(仮称) 栗国村教員住宅(南棟II)新築工事(建築)	工事年度	令和5年度
工事場所	栗国村字東544番地(他5筆)	図面名称	外構図 A1 1/100 A3 1/200
発注機関	栗国村教育委員会	図面番号	A-31
摘要	管理建築士 設計 製 図	名称	(株) 渡久山設計
検印		資格者氏名	比嘉 義明
		登録番号	一級建築士 大宮事務所 第 25938号 一級建築士事務所 第 104-194号
		所在地	浦添市牧港2丁目8番4号



工事名称	(仮称) 栗国村教員住宅(南棟II)新築工事(建築)	工事年度	令和5年度
工事場所	栗国村字東544番地(他5筆)	図面名称	共通版設平面図
発注機関	栗国村教育委員会	縮尺	A1 1/150・250 A3 1/300・500
摘要	図面番号 A-32		
検印	管理建築士	設計	製図
	名称	(株) 渡久山設計	
	資格者氏名	比嘉 義明	
	登録番号	一級建築士 本邦登録 第 25938号 一級建築士事務所登録 第104-194号	
所在地	浦添市牧港2丁目8番4号		

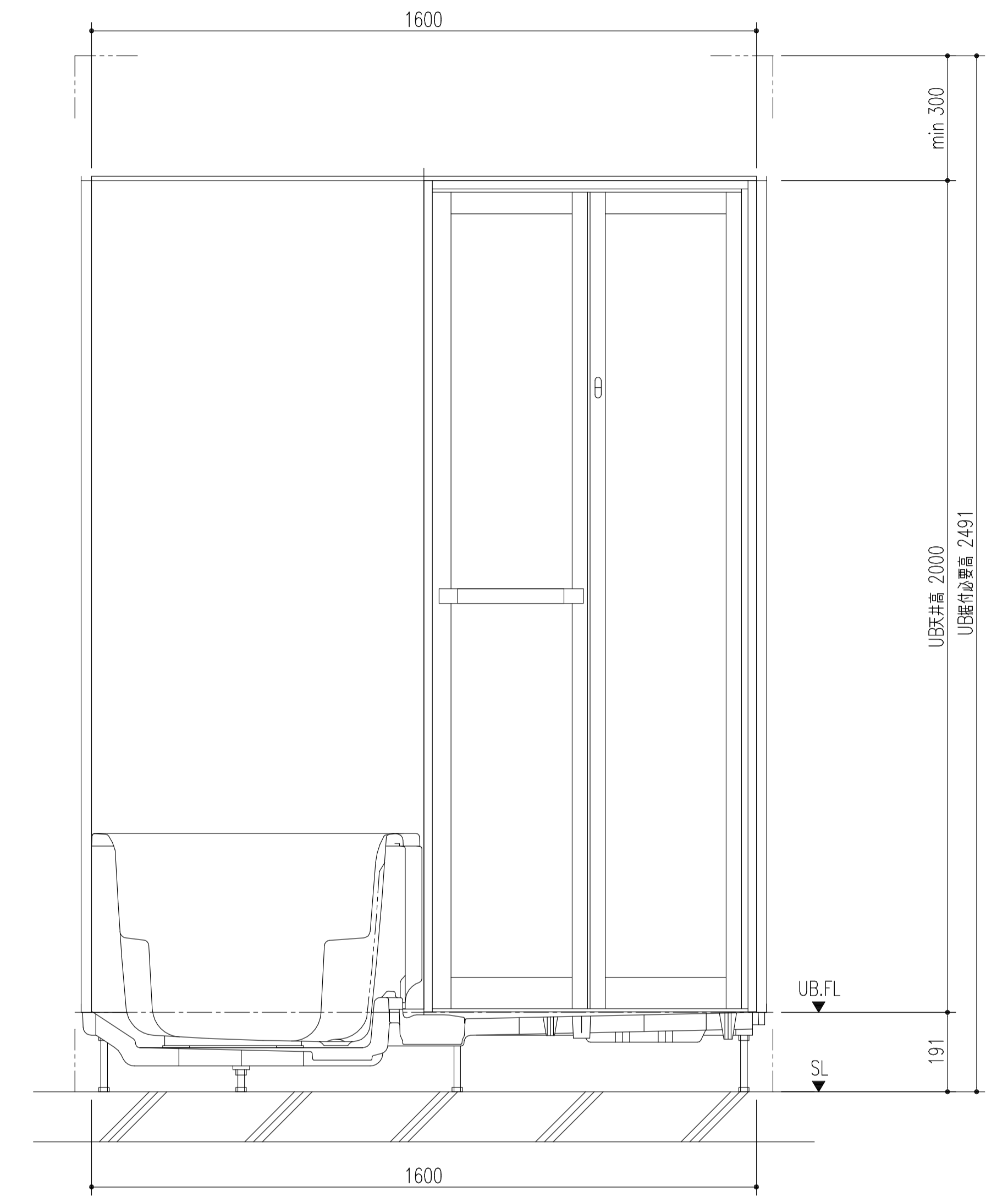
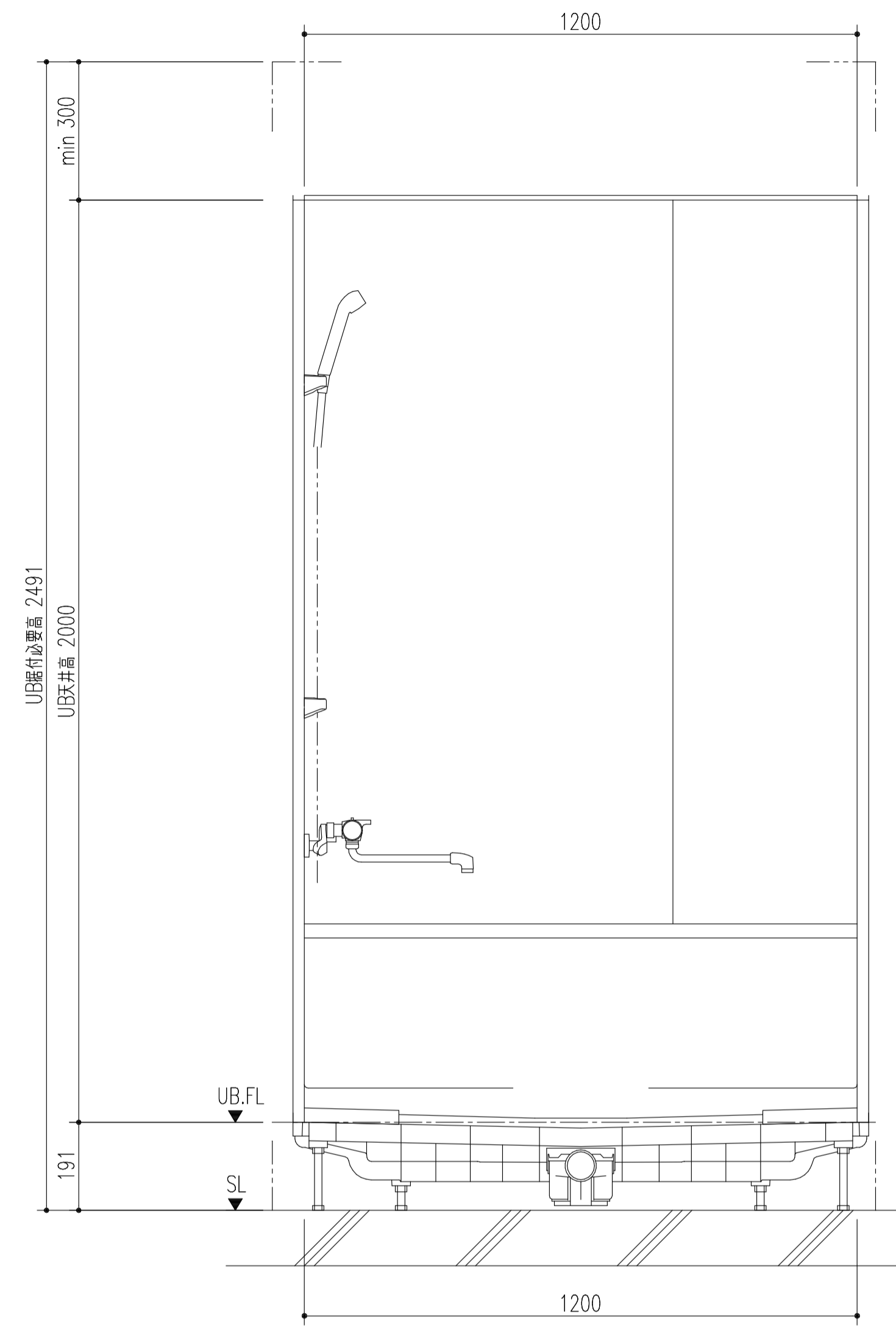
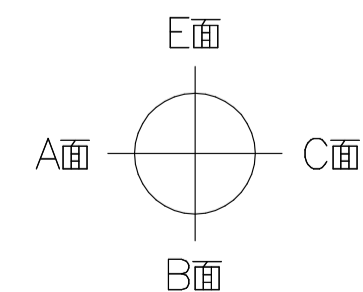
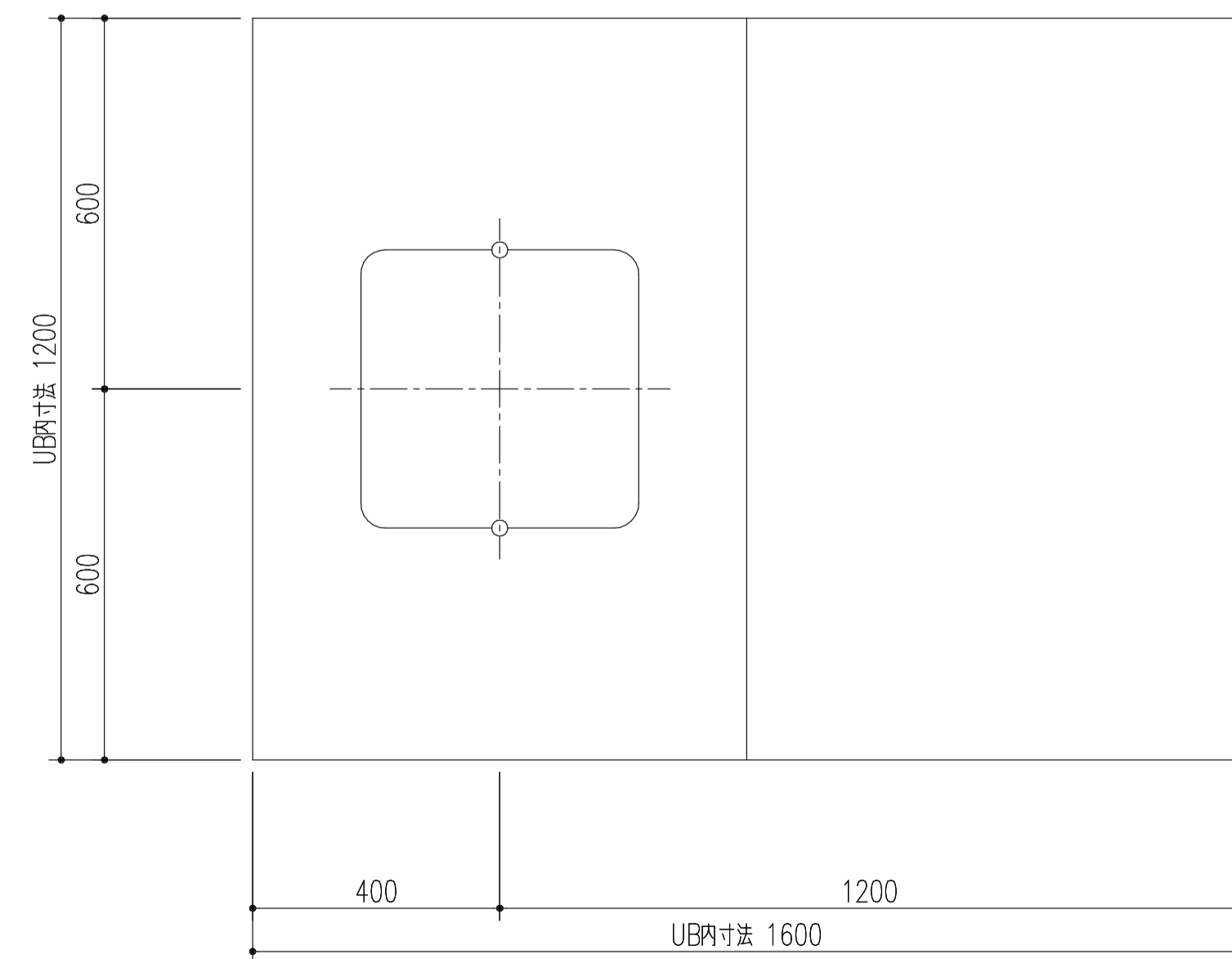
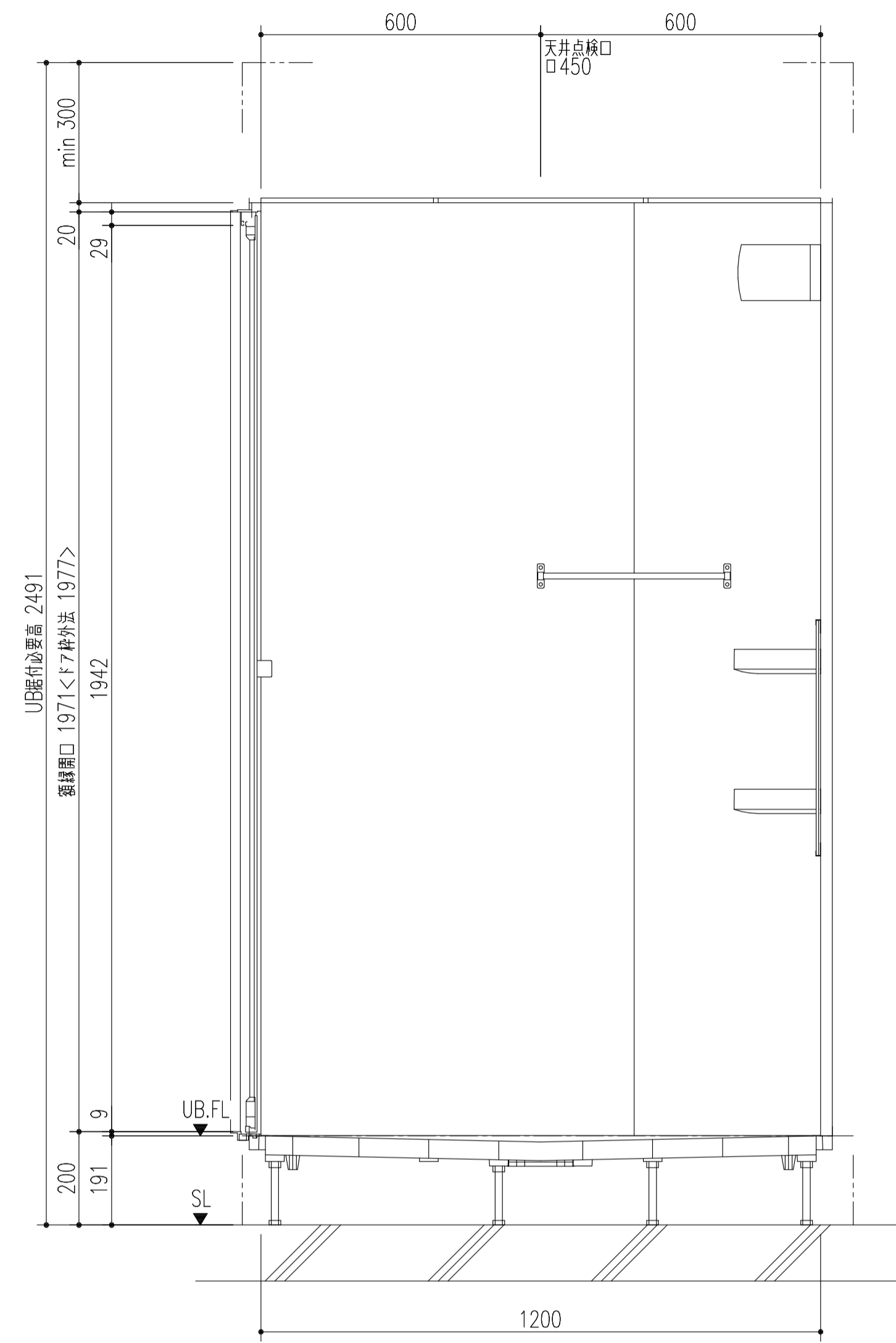


* UB据付必要寸法はドア部の寸法を含みません。ドア部の寸法は詳細図のドア取合をご確認ください。



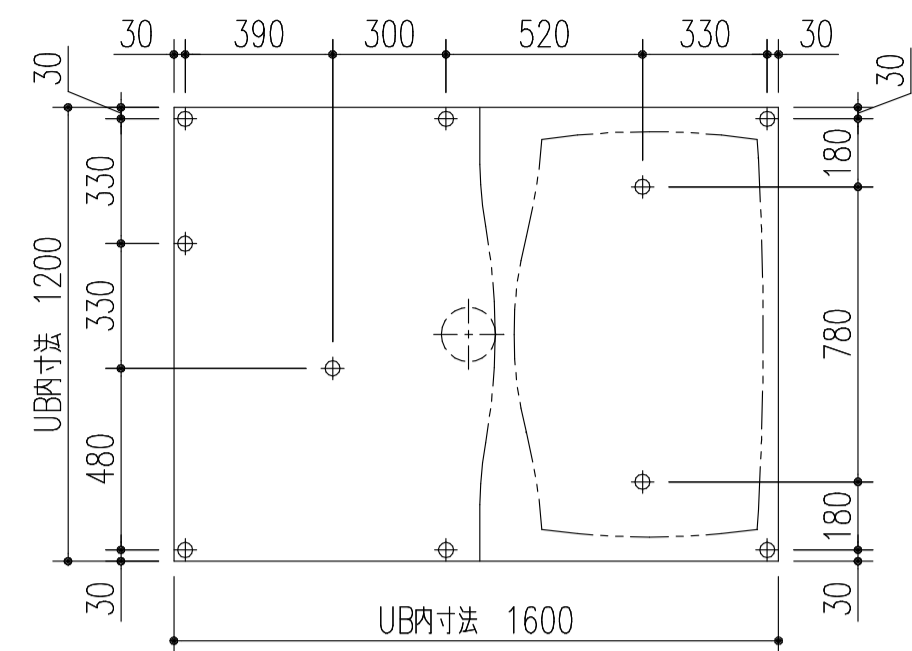
部位/項目	仕様(寸法単位:mm)	備考(色柄・品番等)	部位/項目	仕様(寸法単位:mm)	備考(色柄・品番等)
据付必要寸法	1310D×1680W×2491H		タオル掛	アルミパイプ L400 ブラケット:樹脂製	TB-400E-K
内寸法	1200D×1600W×2000H		鏡	防湿型化粧鏡 406W×504H	KGM-4050
床	FRP 単色 モザイクパターン		収納	コーナー棚<ホワイト>2段 樹脂製	NT-180A/W91
壁	Lパネル(マット)	LE301	換気口	特注開口 位置サイズ未定	
天井	化粧調板複合パネル	UE103	ドレン部材	ドレン部材(ホースニップル)	HN-5
ドア	折り戸:アルミアルマイト処理(キレイドア) 面材:型板調樹脂板	VDY-8002003L(73)/WM	トラップ	ABS樹脂製 封水50mm	TP-47(1)
浴槽	FRP(浴槽内寸法 1082W×660D×500H) ゴム排水栓	NW1	給水管	別途	
水栓金具	兼用:壁付サモ水栓(ノルマーレス) シャワー:スプレーシャワー	BF-WL145TX(250)-PU BF-6JBP-PU1	給湯管	別途	
シャワーフック	樹脂製(ホワイト) 2個	BF-30C-PU	雑排水管	塩ビ管 VP50	
照明	スリム照明(防湿型) LEDランプ 1灯 WFケーブル2芯3.0m(延長ケーブル1.5m含めて)付	LDA-C1-2A			

工事名称	(仮称)栗国村教員住宅(南棟II)新築工事(建築)	工事年度	令和5年度
工事場所	栗国村字東544番地(他5筆)	図面名称	ユニットバス参考図1
発注機関	栗国村教育委員会	尺	A1 1/10 A3 1/20
摘要		図面番号	A-33
検印	管理建築士	設計	製図
	名称	(株)渡久山設計	
	資格者氏名	比嘉 義明	
	登録番号	一級建築士 本邦登録 第 25938号 一級建築士事務所建築士登録 第104-194号	
所在地	浦添市牧港2丁目8番4号		

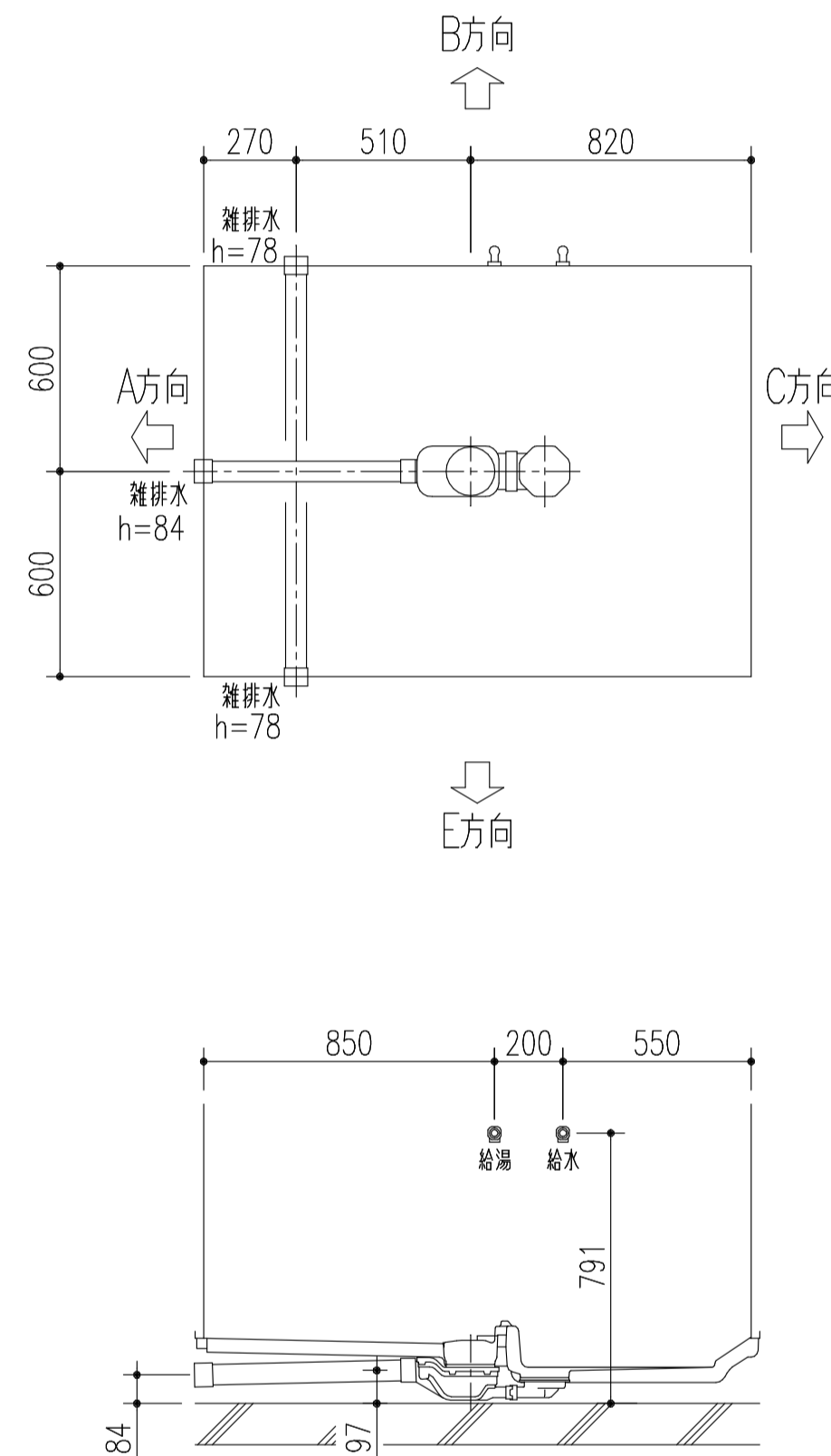


工事名称	(仮称) 栗国村教員住宅(南棟Ⅱ)新築工事(建築)	工事年度	令和5年度
工事場所	栗国村字東544番地(他5筆)	図面名称	ユニットバス参考図2
発注機関	栗国村教育委員会	尺	A1 1/10 A3 1/20
摘要		図面番号	A-34
検印	管理建築士	設計	製図
	名称	(株) 渡久山設計	
	資格者氏名	比嘉 義明	
	登録番号	一級建築士 本邦登録 第 25938号 一級建築士事務所登録 第104-194号	
所在地	浦添市牧港2丁目8番4号		

床支持位置

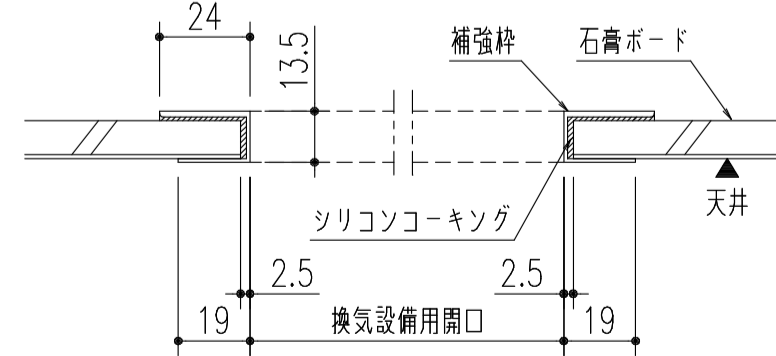


配管持出し方向

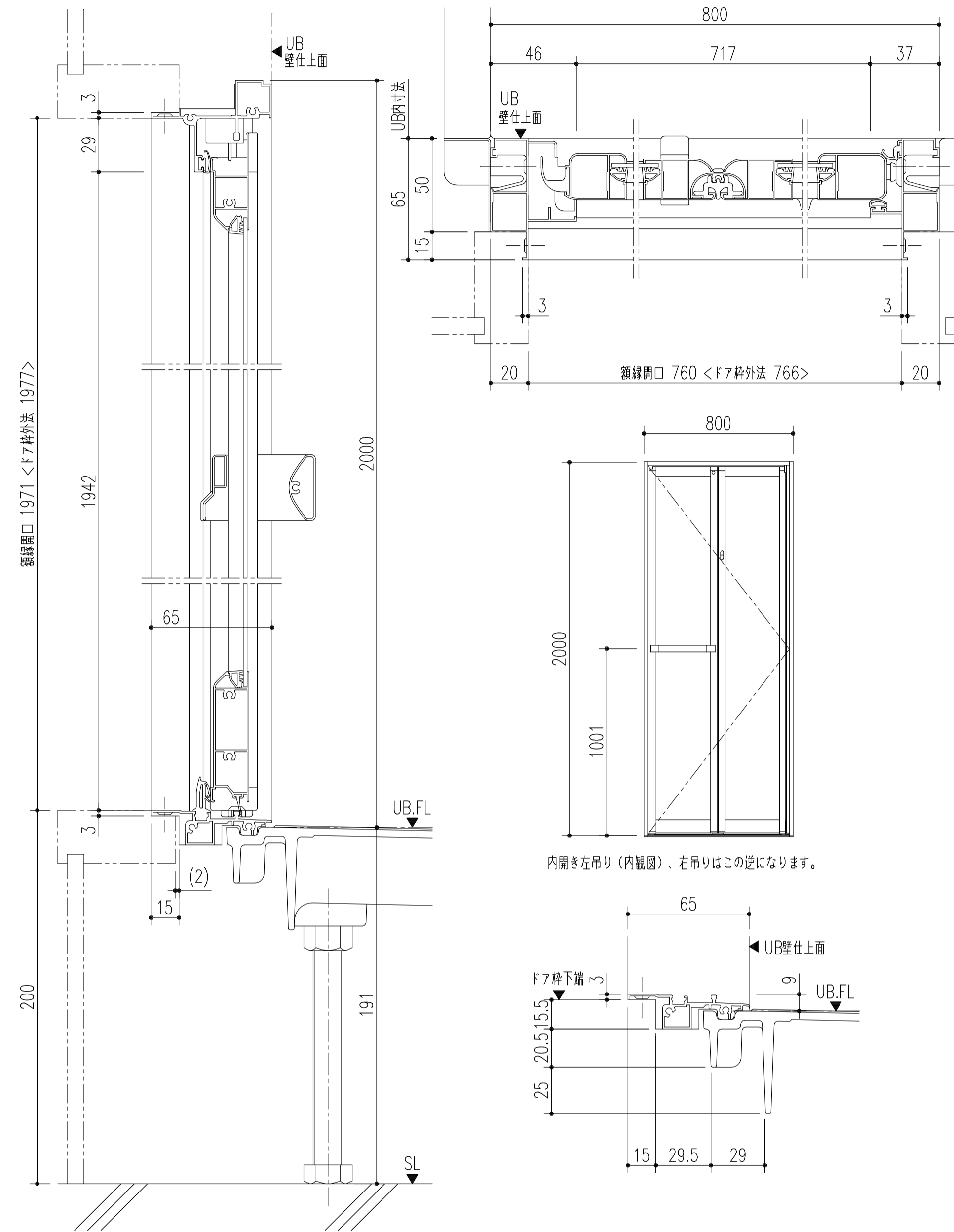


換気設備用開口

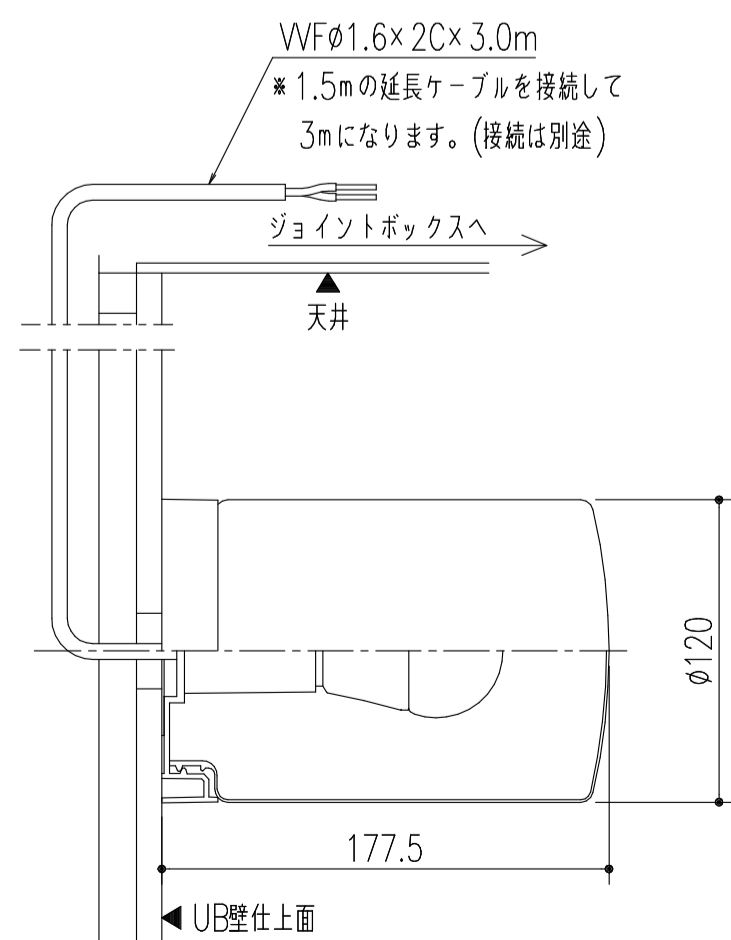
注記：樹脂製補強枠 支給
：取付現場加工



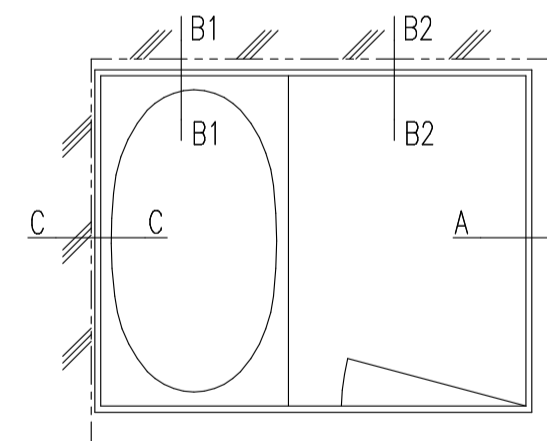
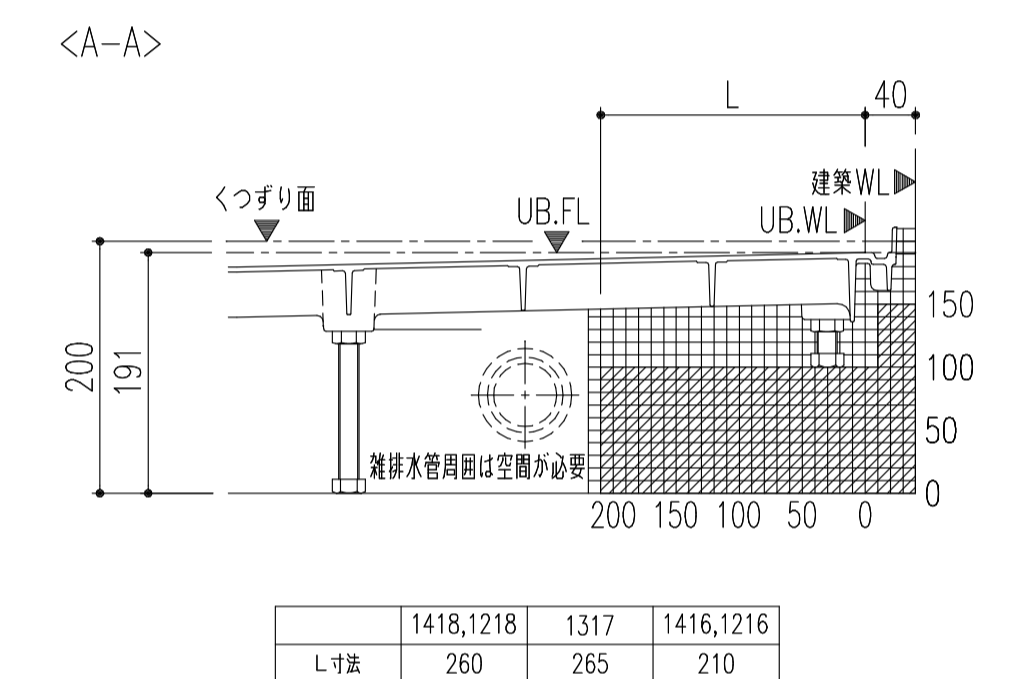
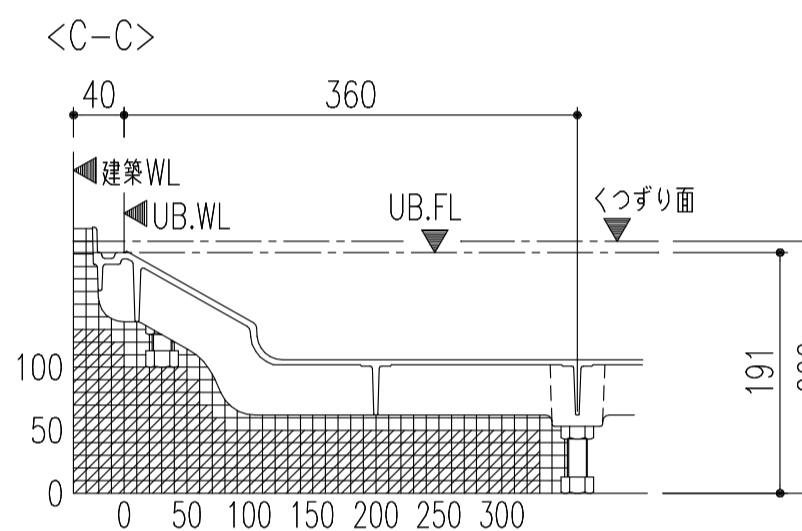
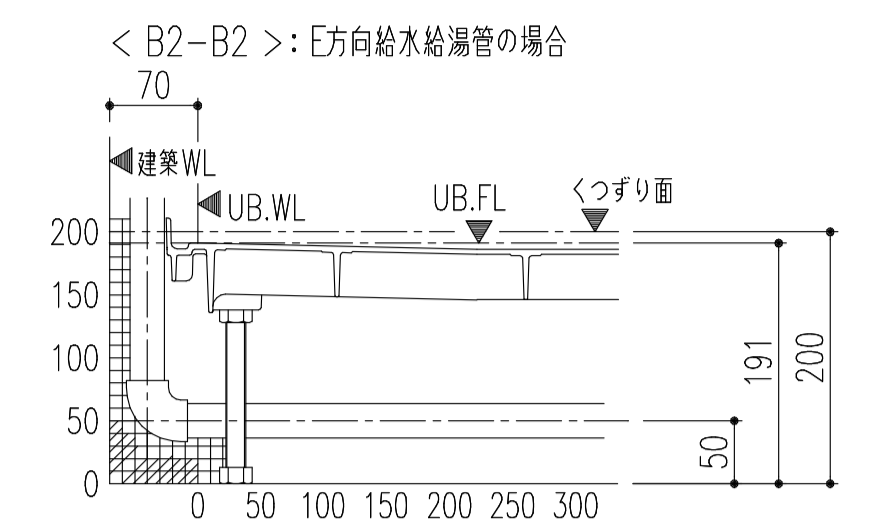
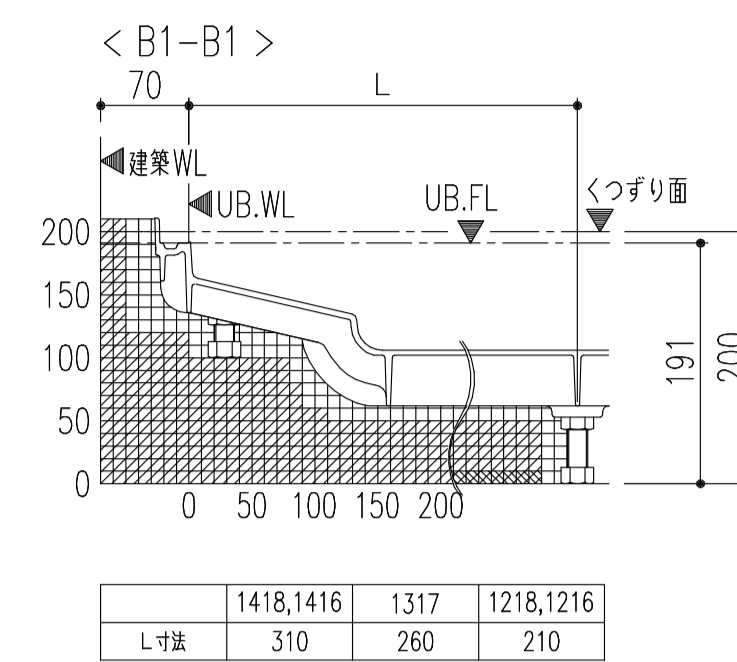
ドア取合



照明



逆梁対応範囲



- ・上図の範囲内で逆梁を避けてください。
- ・逆梁上に設置される床支持ボルトを短くしなければならない場合、短い床支持ボルトへ変更となります。（現場取り換え加工）
- ・逆梁と床パン、オプション配管が干渉する場合は、床高さを高くする等の配慮が必要です。

工事名称	(仮称) 栗国村教員住宅(南棟II)新築工事(建築)	工事年度	令和5年度
工事場所	栗国村字東544番地(他5筆)	図面名称	ユニットバス参考図3
発注機関	栗国村教育委員会	尺	A1 1/10 A3 1/20
摘要		図面番号	A-35
検印	管理建築士	設計	製図
	名称	(株) 渡久山設計	
	資格者氏名	比嘉 義明	
	登録番号	一級建築士 本邦登録 第 25938号 一級建築士事務所建築士登録 第104-194号	
	所在地	浦添市牧港2丁目8番4号	

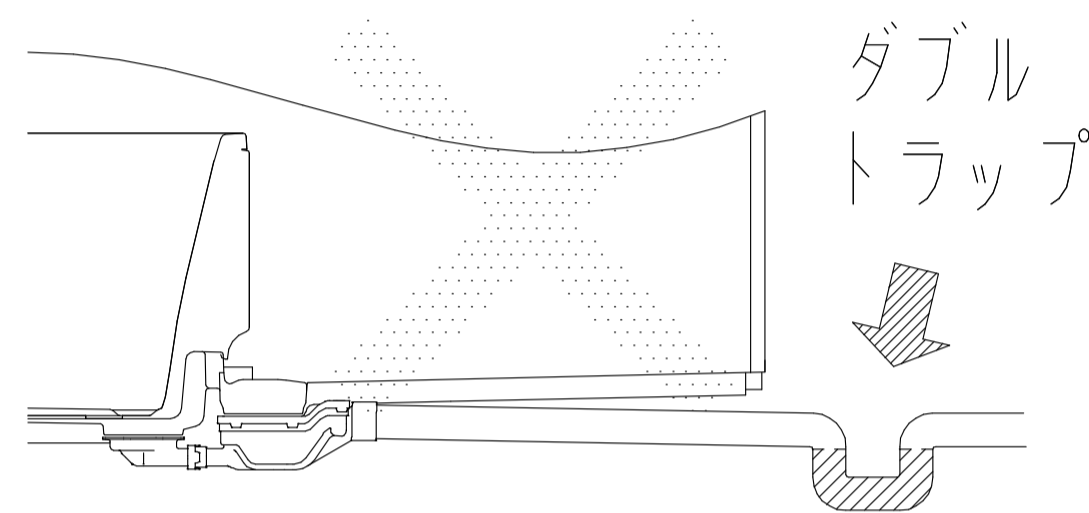
排水管接続の注意点

浴槽排水時には最大約1.2L/Sの流量が発生します。排水管の経路や、管内の状態によっては正しく排水されない場合があります。設計・取付の際は次の各項目を確認して下さい。

■ダブルトラップの禁止

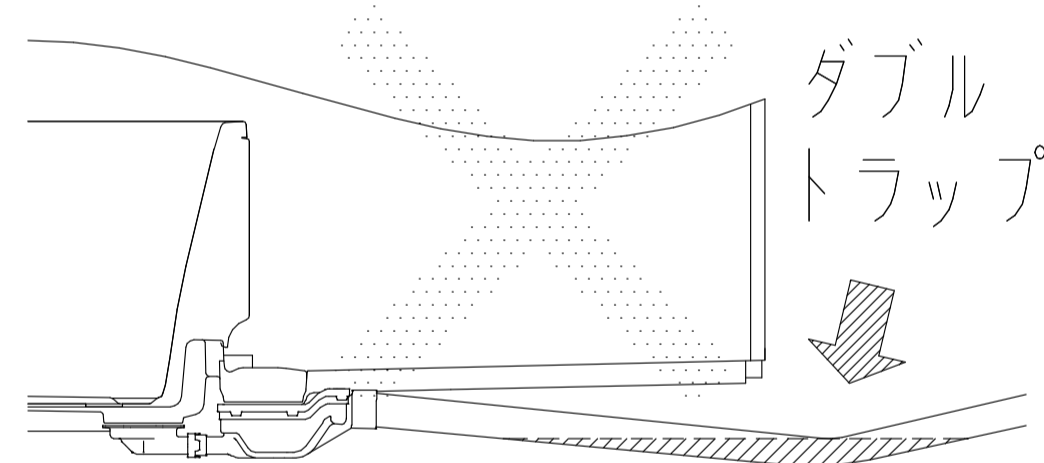
浴室以降の排水管経路上に、トラップが無いことを確認して下さい。システムバス側のトラップでは、ダブルトラップの解除はできません。

(ダブルトラップの例)



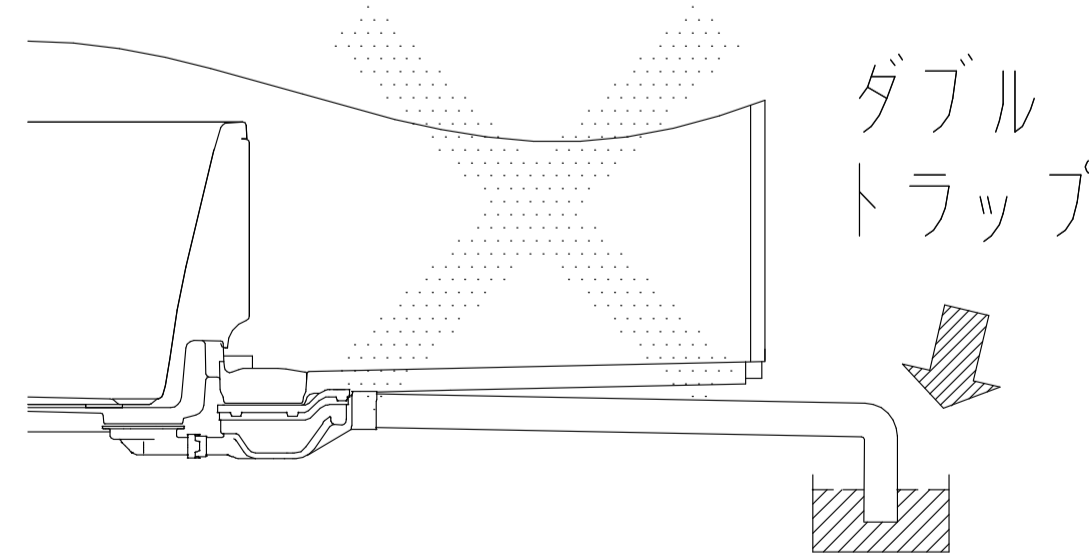
ダブル
トラップ

下に曲がった配管部分がトラップになっている



ダブル
トラップ

長い横引き配管がたわんで、トラップになっている



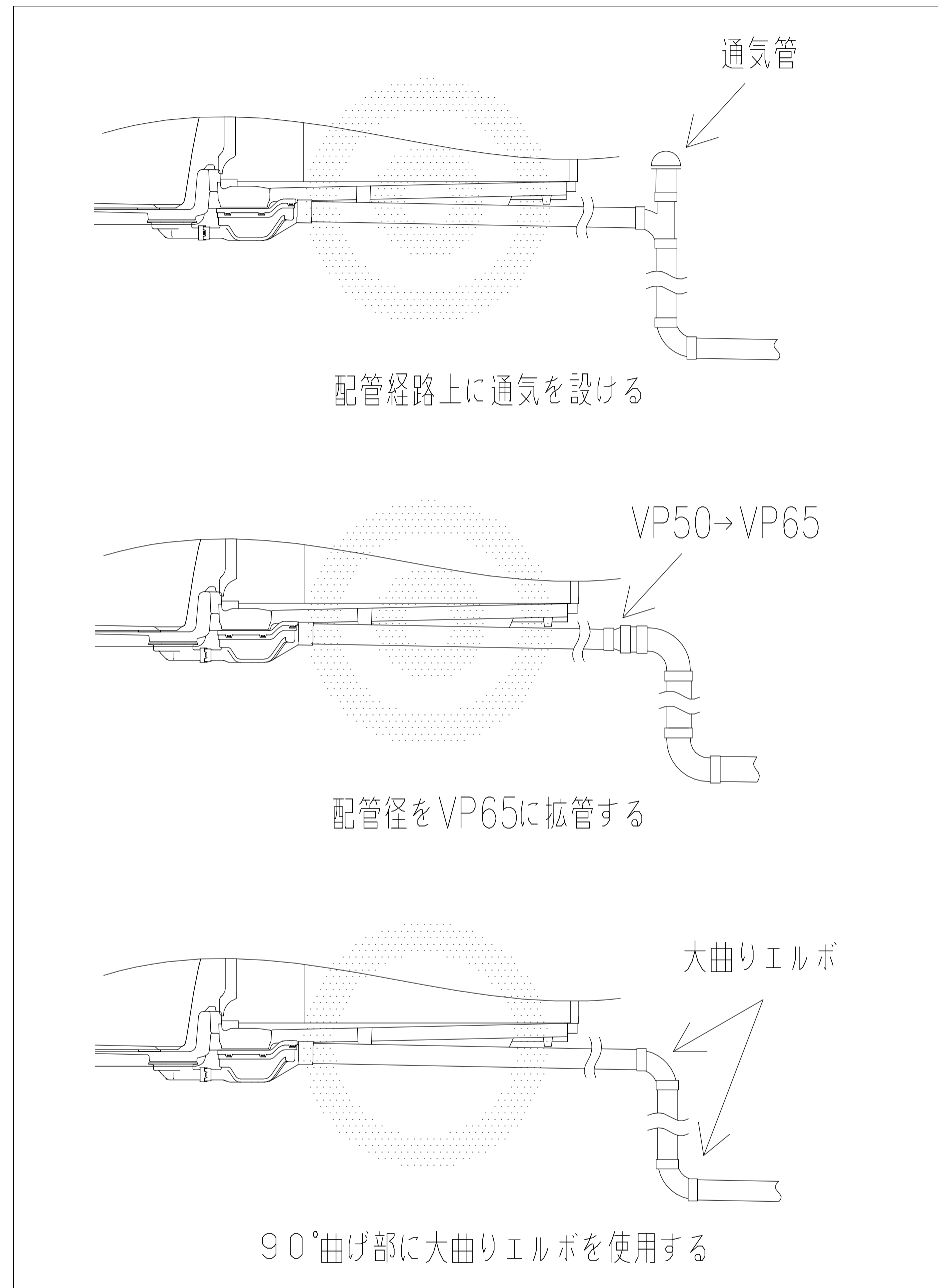
ダブル
トラップ

排水ます溜水内に配管が開放され、トラップになっている

■排水管経路

排水管の経路によっては、システムバスの排水異常や、くるりんポイ排水口のうずが発生しない場合があります。このような異常にならないよう、下記にて推奨します例を元に配管を行なってください。(※1、※2)

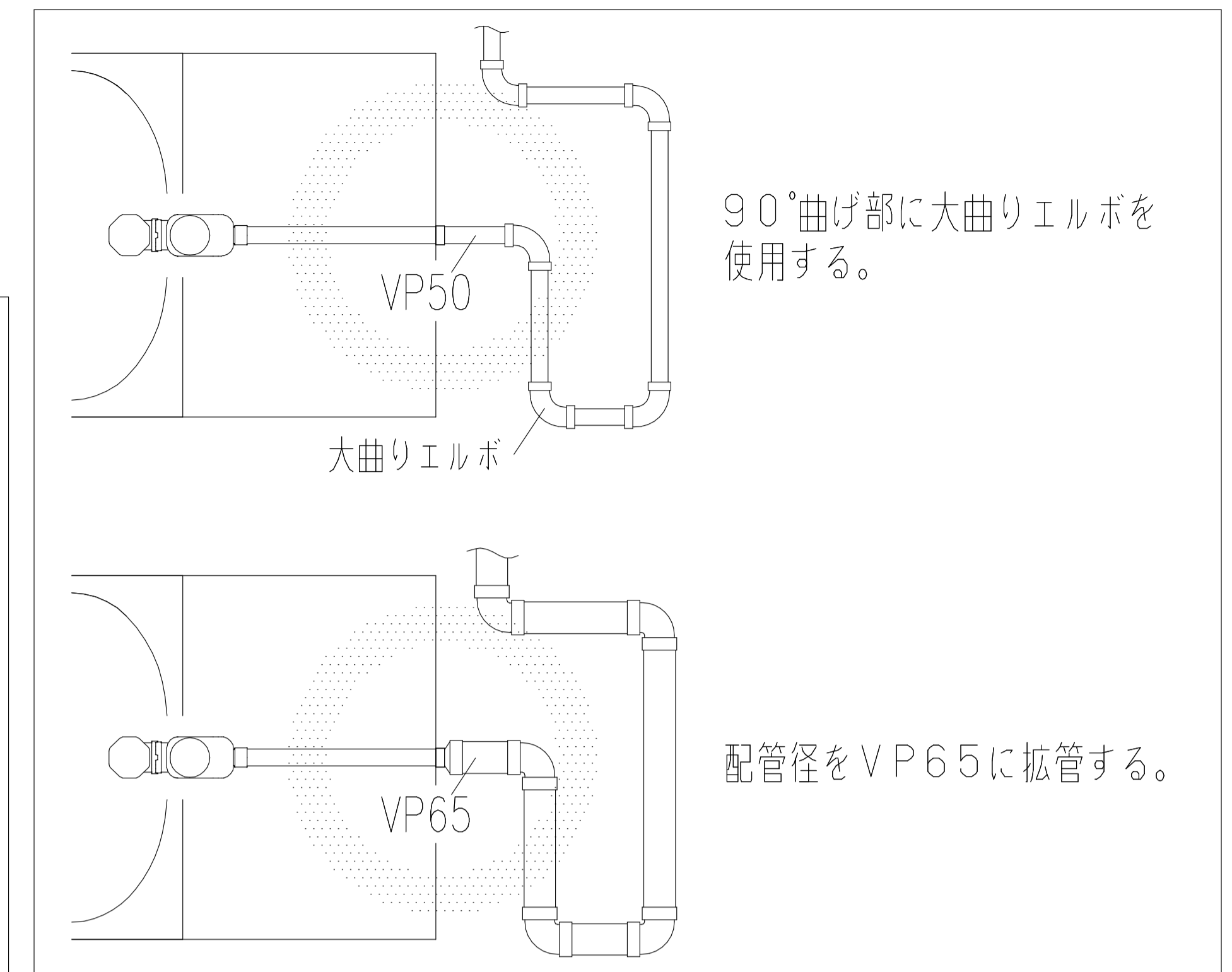
①排水を縦に落とす場合



※1 浴槽排水時に排水口から「ゴボゴボ」と音が発生することがありますが、異常ではありません

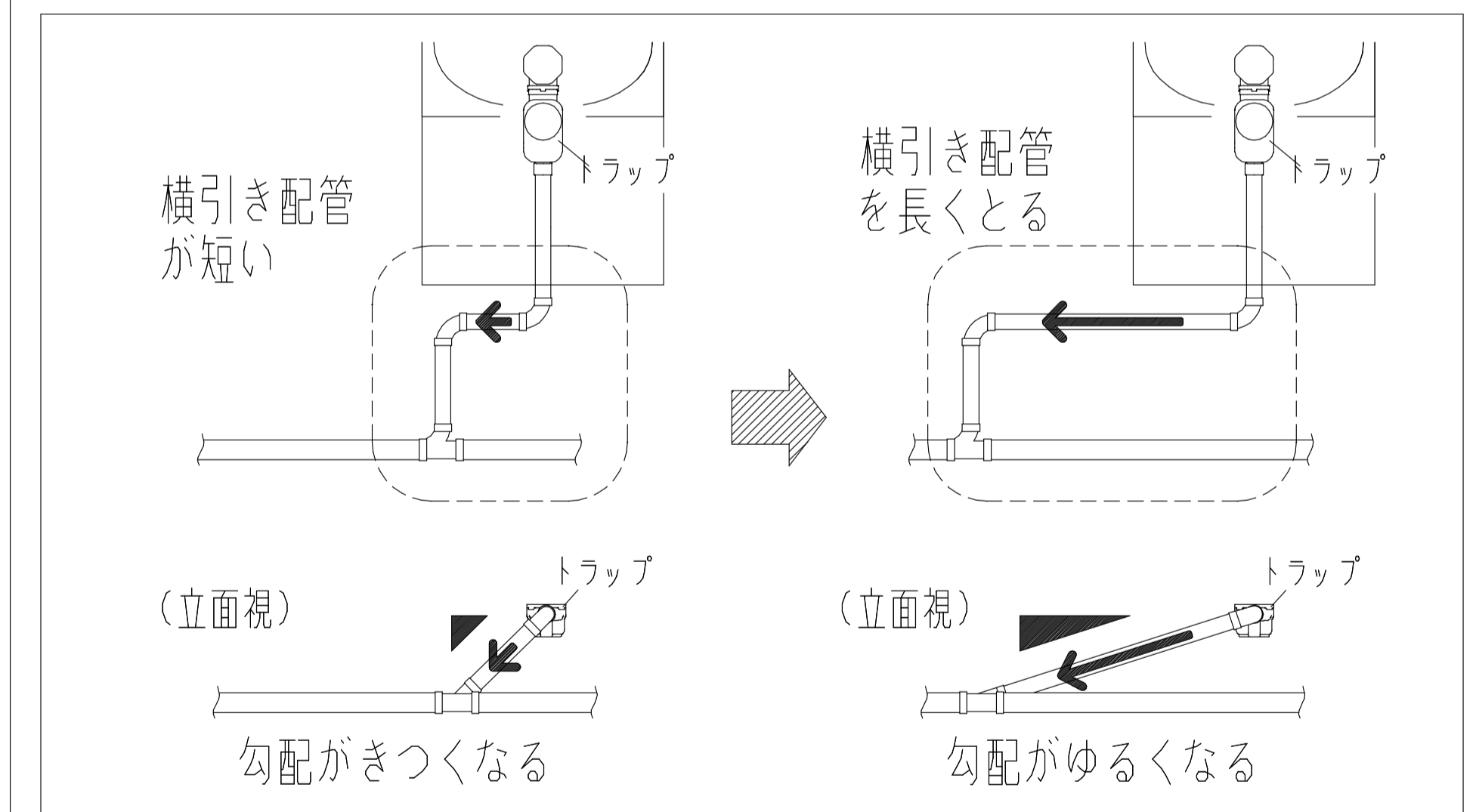
※2 くるりんポイ排水口において、排水条件によってはうず流が浴槽排水直後しか発生しない場合がありますが、排水直後のうず流でゴミをまとめる効果を得られます。

②横引き配管



③排水横枝管への接続

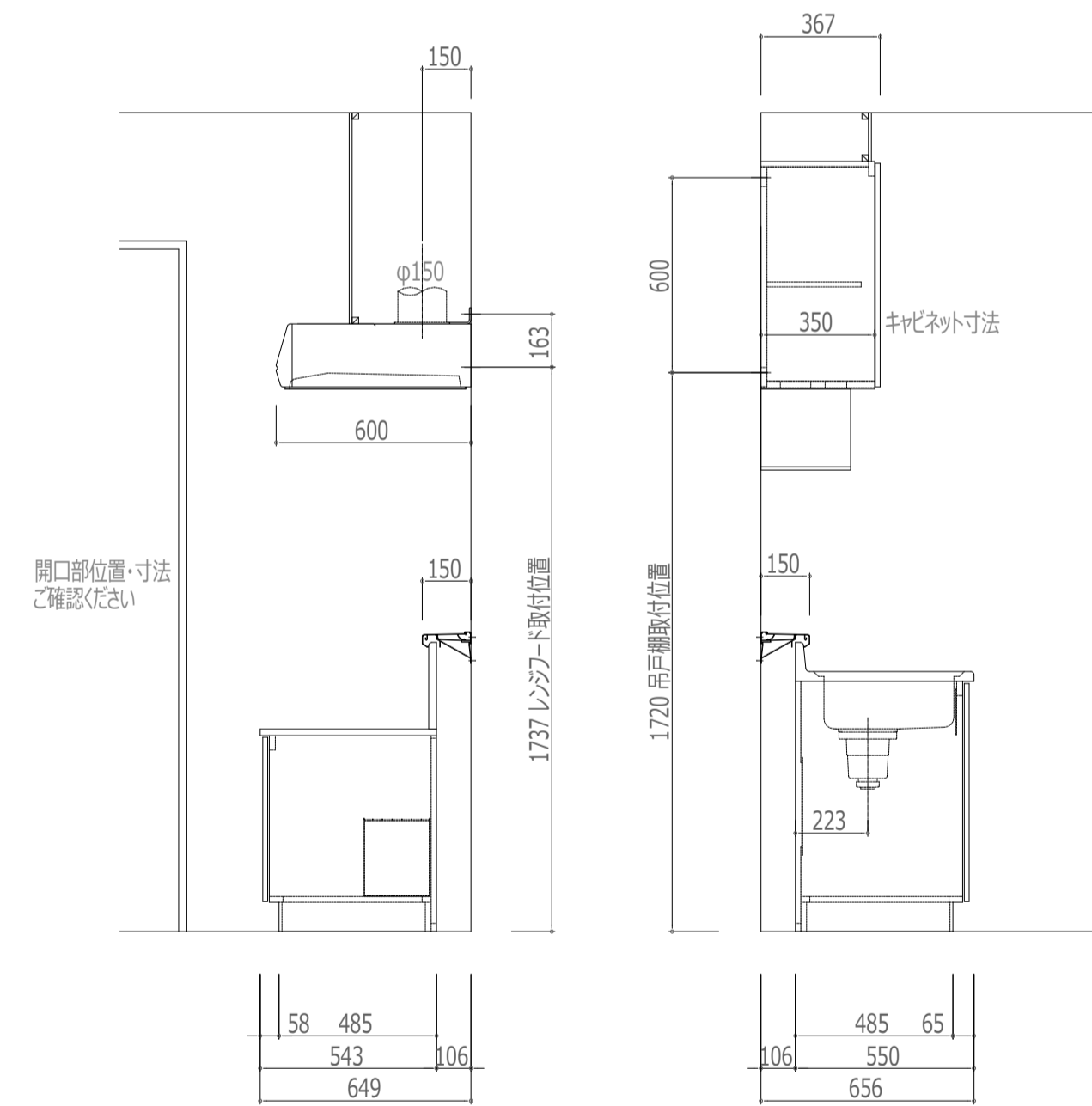
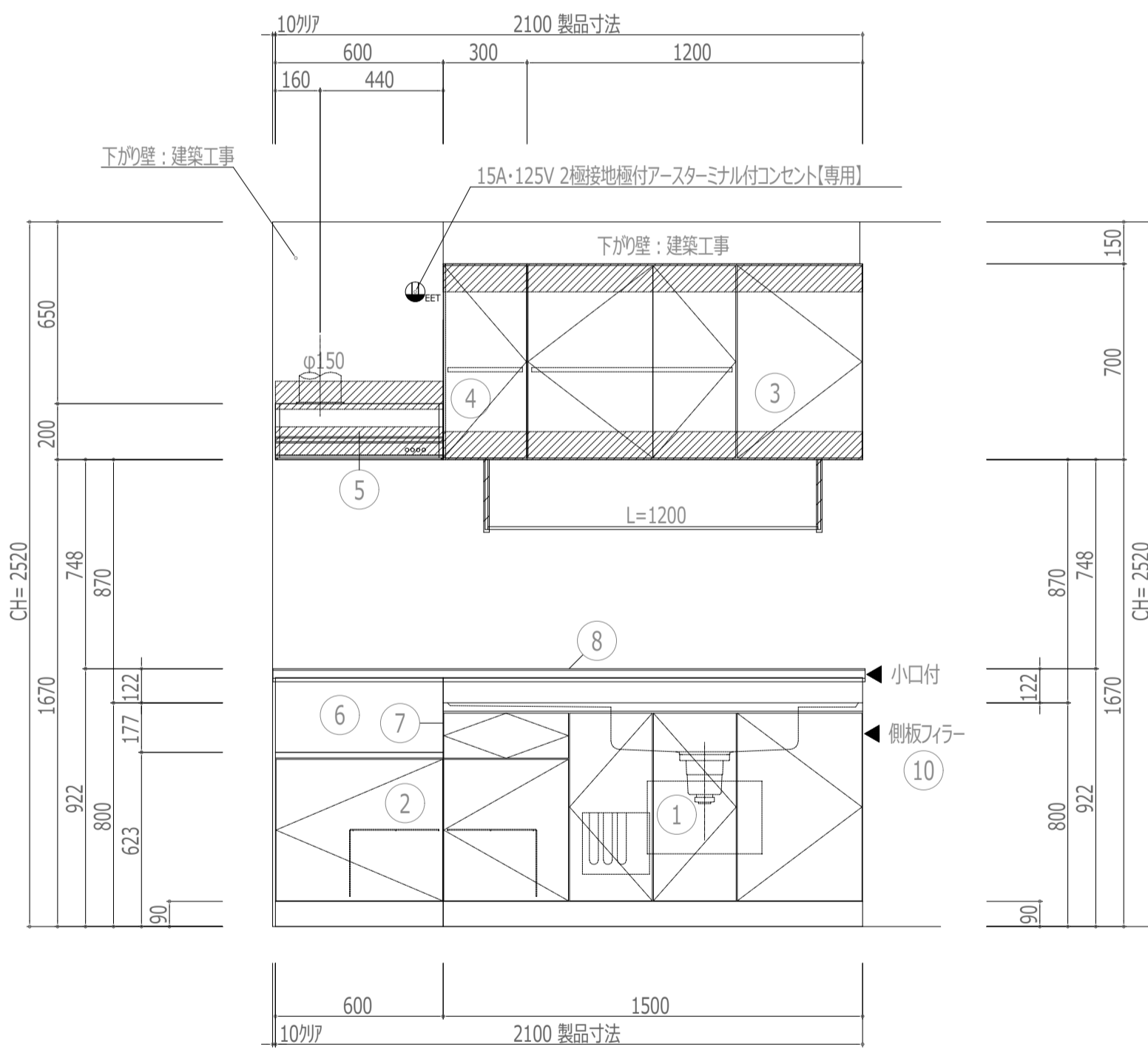
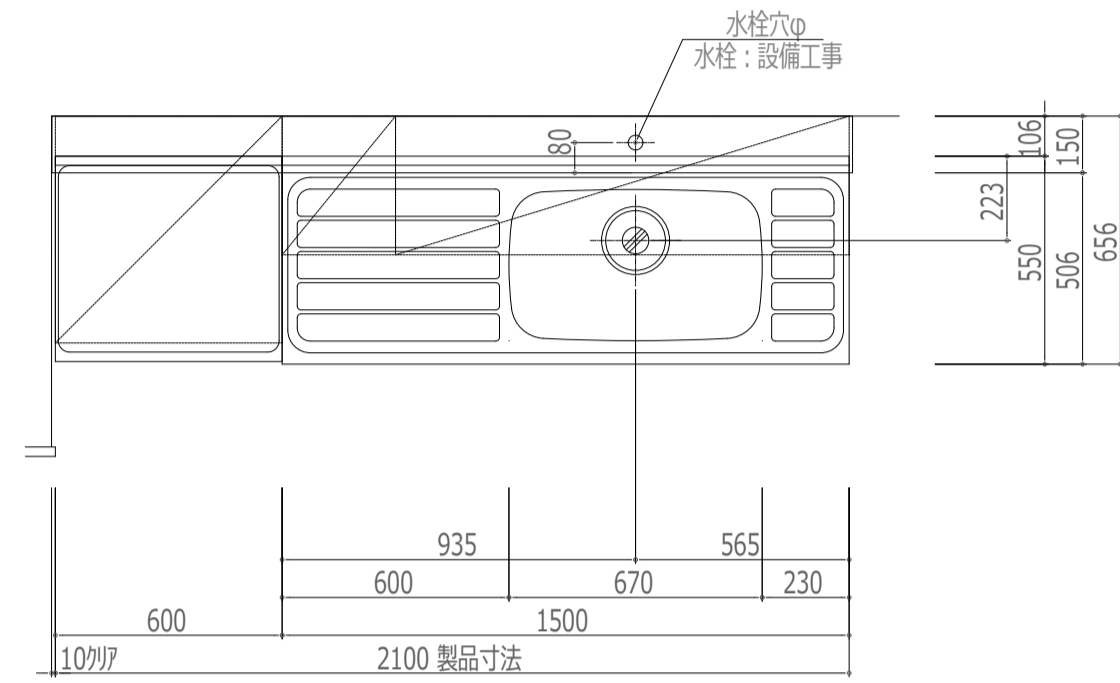
排水横枝管と高低差がある場合、合流までの横引き配管は出来るだけ長くとり、勾配の変動をゆるやかにして下さい。



※3 くるりんポイ排水口において、排水トラップ以降の配管の状況により居室ごとのうずの状態(持続時間、水位上昇量)は異なります。

工事名称	(仮称)栗国村教員住宅(南棟Ⅱ)新築工事(建築)	工事年度	令和5年度
工事場所	栗国村字東544番地(他5筆)	図面名称	ユニットバス参考図4
発注機関	栗国村教育委員会	図面名尺	A1 A3
摘要		図面番号	A-36
検印	管理建築士	設計	製図
	名称	(株)渡久山設計	
	資格者氏名	比嘉 義明	
	登録番号	一級建築士 本邦登録 第 25938号 一級建築士事務所建築士登録 第104-198号	
	所在地	浦添市牧港2丁目8番4号	

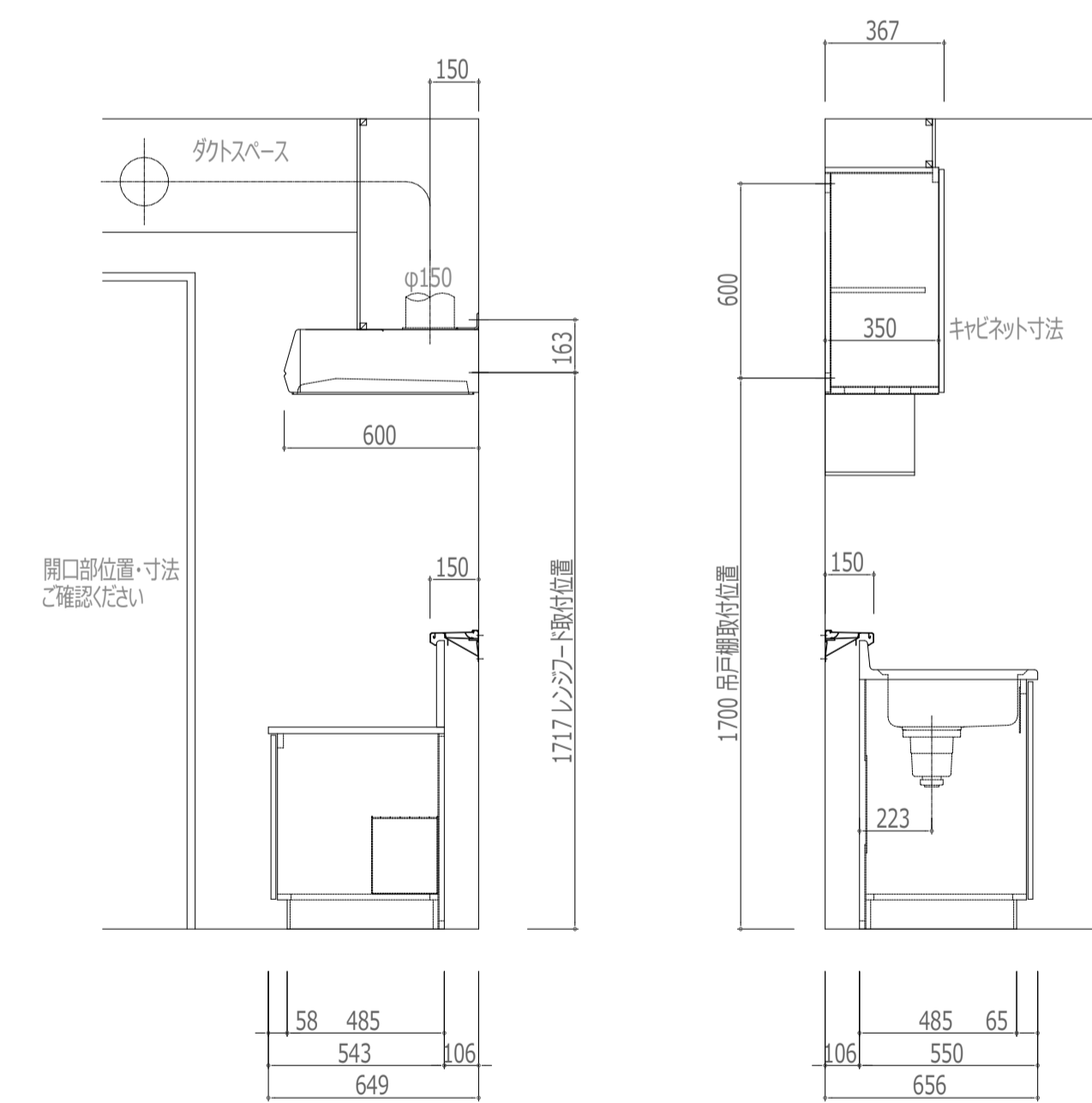
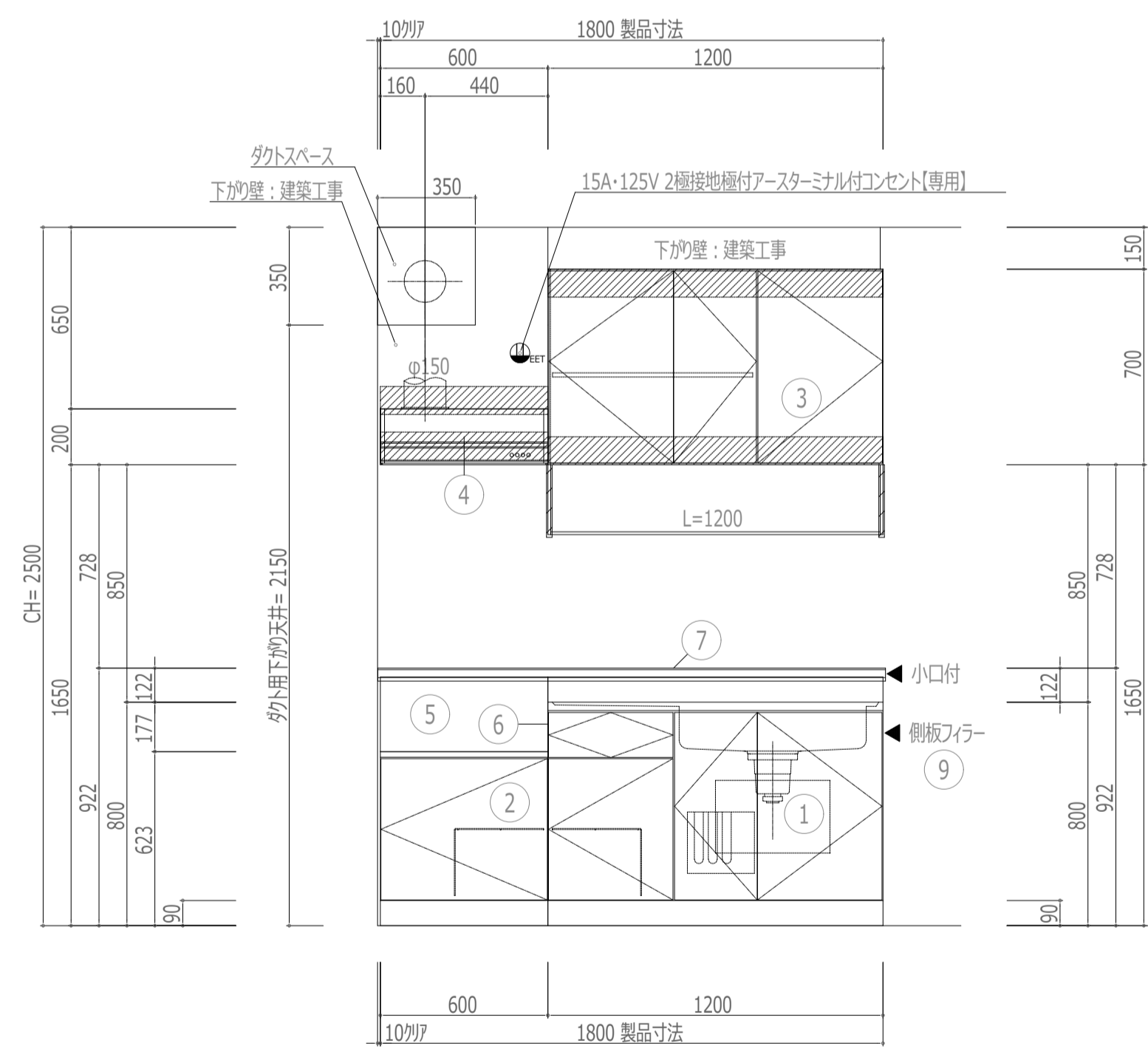
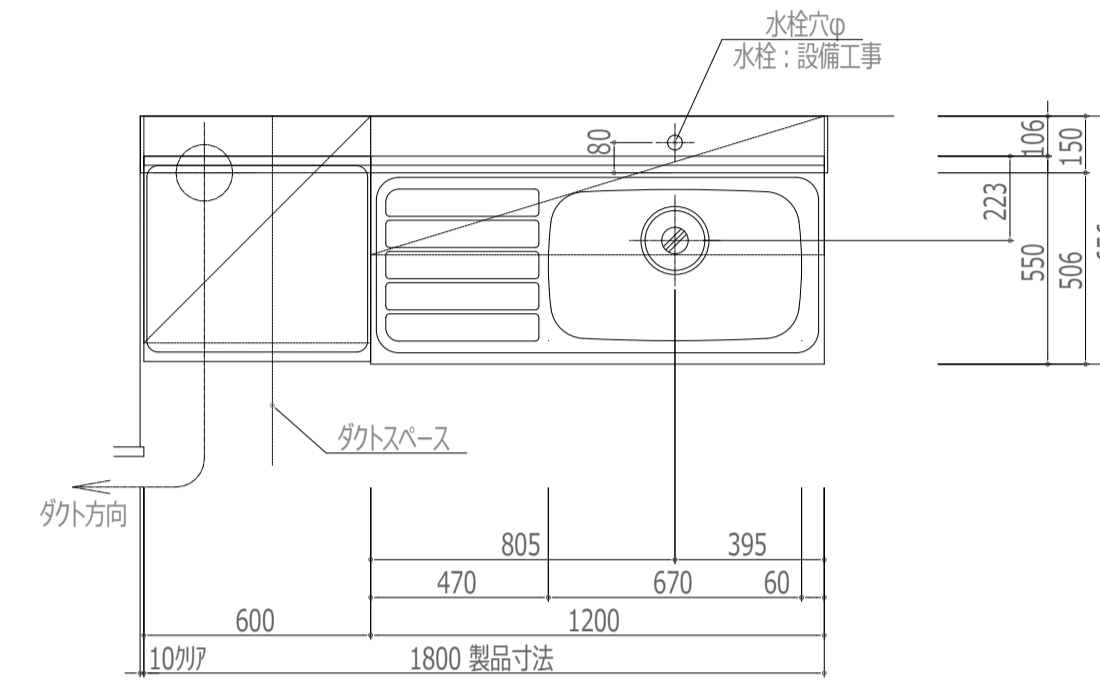
C・D タイプ



タイプ	GK-BL		
シリーズ	GKWシリーズ		
扉カラー	ライトオーク(W)		
カウンター	ステンレス		
部材リスト			
品名	品番	数	備考
1 流し台	GKWS150MYRBL	1	背板点検口付
2 コンロ台	GKWK60KLBL	1	
3 吊戸棚	GKWA120BL	1	
4 吊戸棚	GKWA30FRBL	1	側面・底面不燃処理
5 BFRS3のドアにB.L認定	BFRS3F603LBLSI	1	W600・シルバー→左勝手
6 コンロ用バックガード	BGH600	1	
7 サイドカバー	SG512X160	1	
8 水切りカバー	ALMC240WB	1	
9 水切りカバー-サイドプレート	ALMCSPWB	1	奥行15cm用 (1枚入)
10 側板フライ	SF8G011SH1	1	木製セグショナル用・H800用
特記事項 電気、給排水、換気等設備工事別途			

...取付下地 (建築工事)
 ※ R C 面は下地不要
 ⑨ サイドプレートの有無ご確認ください。

A・B タイプ



タイプ	GK-BL		
シリーズ	GKWシリーズ		
扉カラー	ライトオーク(W)		
カウンター	ステンレス		
部材リスト			
品名	品番	数	備考
1 流し台	GKWS120MYRBL	1	背板点検口付
2 コンロ台	GKWK60KLBL	1	
3 吊戸棚	GKWA120FRBL	1	側面・底面不燃処理
4 BFRS3のドアにB.L認定	BFRS3F603LBLSI	1	W600・シルバー→左勝手
5 コンロ用バックガード	BGH600	1	
6 サイドカバー	SG512X160	1	
7 水切りカバー	ALMC180WB	1	
8 水切りカバー-サイドプレート	ALMCSPWB	1	奥行15cm用 (1枚入)
9 側板フライ	SF8G011SH1	1	木製セグショナル用・H800用
特記事項 電気、給排水、換気等設備工事別途			

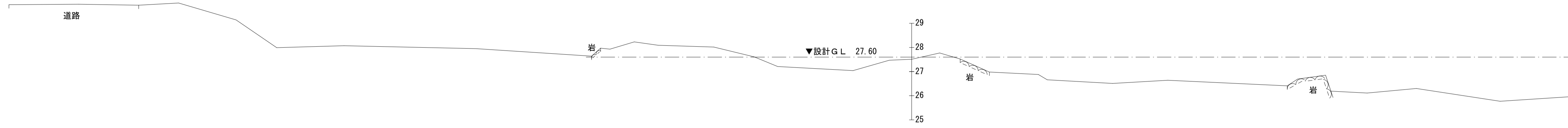
...取付下地 (建築工事)
 ※ R C 面は下地不要
 ⑧ サイドプレートの有無ご確認ください。

工事名称	(仮称) 栗国村教員住宅(南棟Ⅱ)新築工事(建築)	工事年度	令和5年度
工事場所	栗国村字東544番地(他5筆)	図面名称	キッチン参考図1
発注機関	栗国村教育委員会	縮尺	A1 1/20 A3 1/40
摘要		図面番号	A-37
検印	管理建築士	設計	製図
	名称	(株) 渡久山設計	
	資格者氏名	比嘉 義明	
	登録番号	一級建築士 本邦登録 第 25938号 一級建築士事務所登録 第104-194号	
所在地	浦添市牧港2丁目8番4号		

横断図

S=1/100

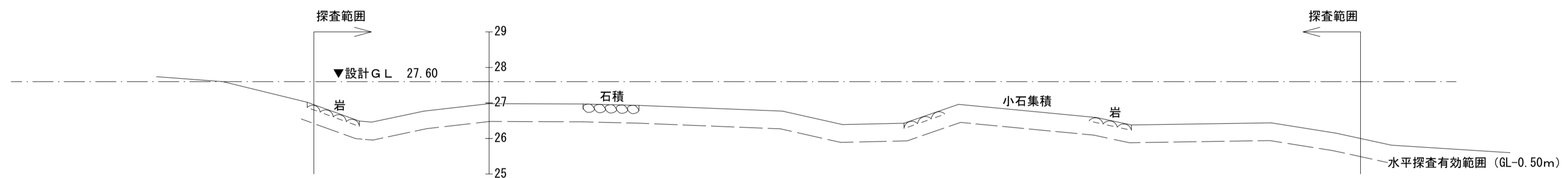
E. P
(NO. 2+10.00)
D = 50.000
GH = 27.51
FH =



DL=23.00

NO. 2

D = 40.000
GH = 26.98
FH =

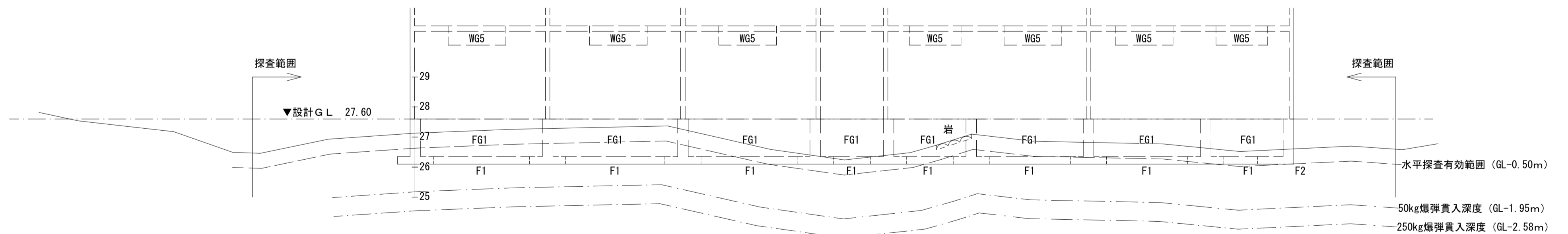


DL=23.00

※探査範囲の現況地盤は全て設計GLより浅い深度にあるため、造成工事による経層探査は不要。

NO. 1

D = 20.000
GH = 27.13
FH =

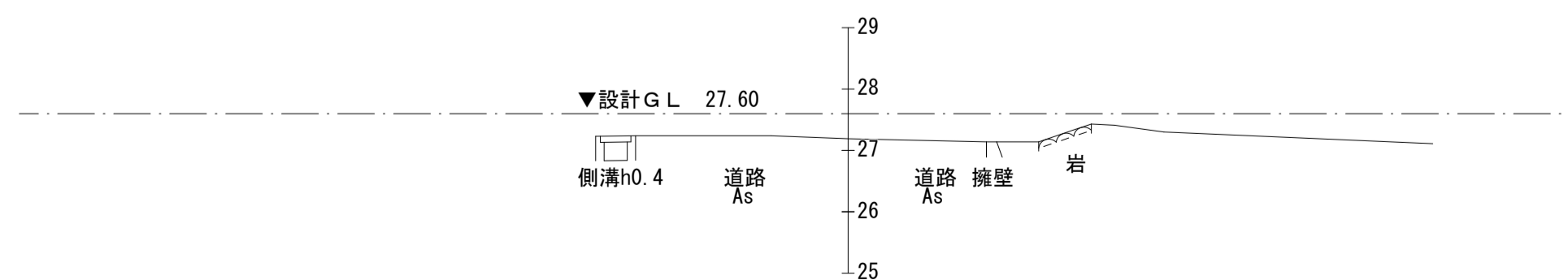


DL=23.00

※探査範囲の現況地盤は全て設計GLより浅い深度にあるため、造成工事による経層探査は不要。
※不発弾の埋没深度については、安全を考慮して「調査孔No.1」の貫入深度計算値を採用する。(別紙「不発弾貫入深度計算書」参照)
※建物箇所の詳細については、別紙「磁気探査詳細図(建物)」参照。

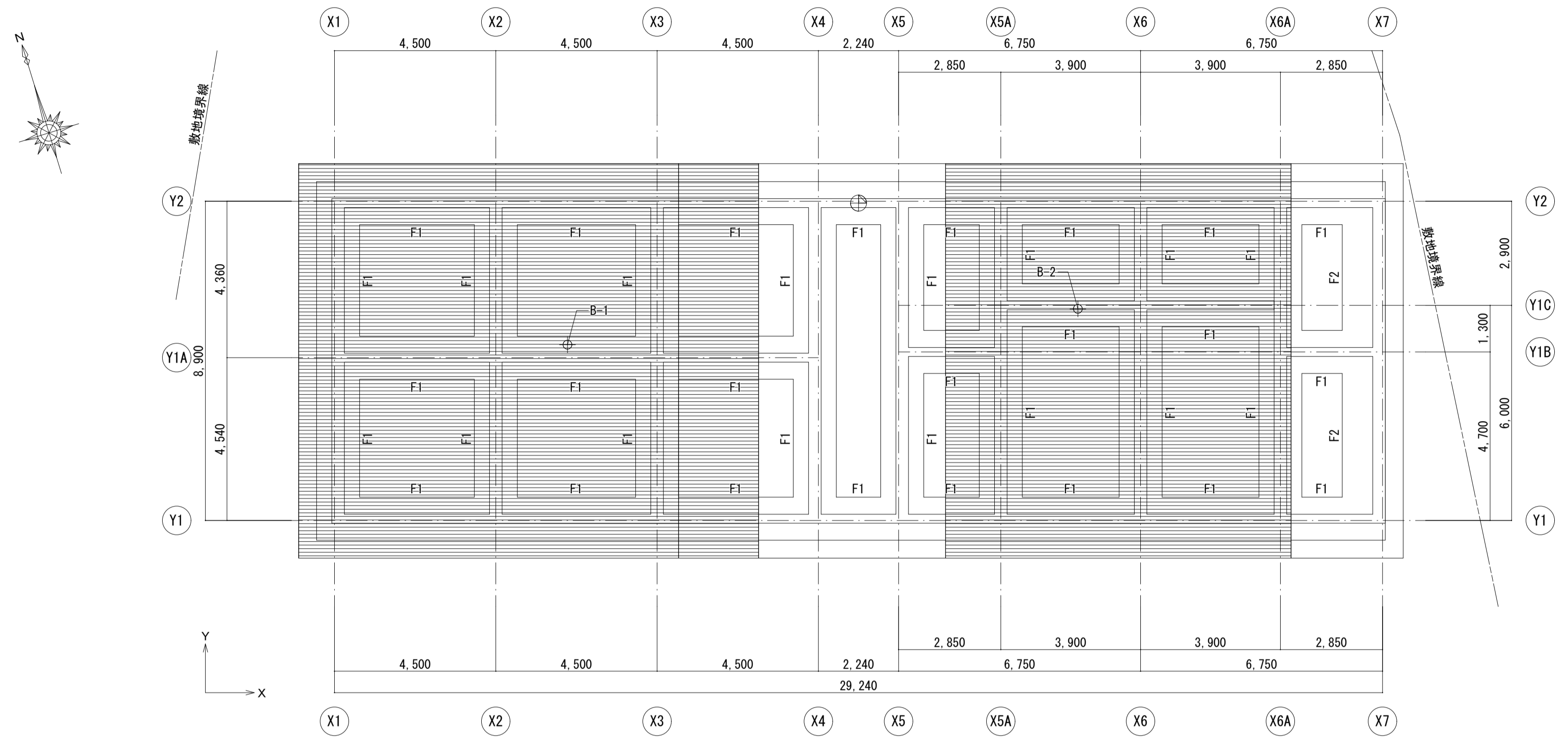
B. P

D = 0.000
GH = 27.19
FH =

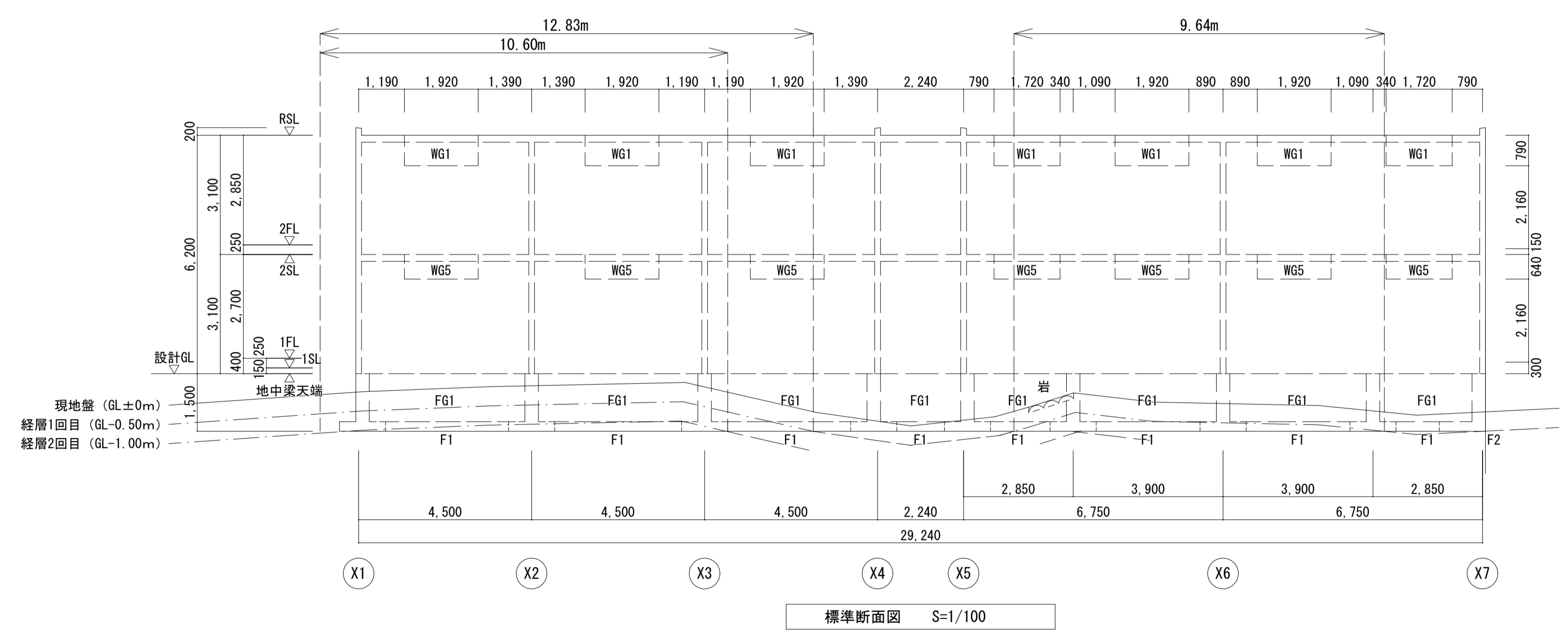


DL=23.00

工事名称	(仮称)栗国村教員住宅(南棟Ⅱ)新築工事(建築)	工事年度	令和5年度
工事場所	栗国村字東544番地(他5筆)	図面名称	磁気探査 横断図
発注機関	栗国村教育委員会	図面名尺	A1 1/100 A3 1/200
摘要		図面番号	A-38
検印	管理建築士	設計	製図
	名称	(株)渡久山設計	
	資格者氏名	比嘉 義明	
	登録番号	一級建築士 大宮直樹 第 25938号 一級建築士事務所技師登録 第104-194号	
所在地	浦添市牧港2丁目8番4号		



経層1回 (GL-0.5m)
 経層2回 (GL-1.0m)

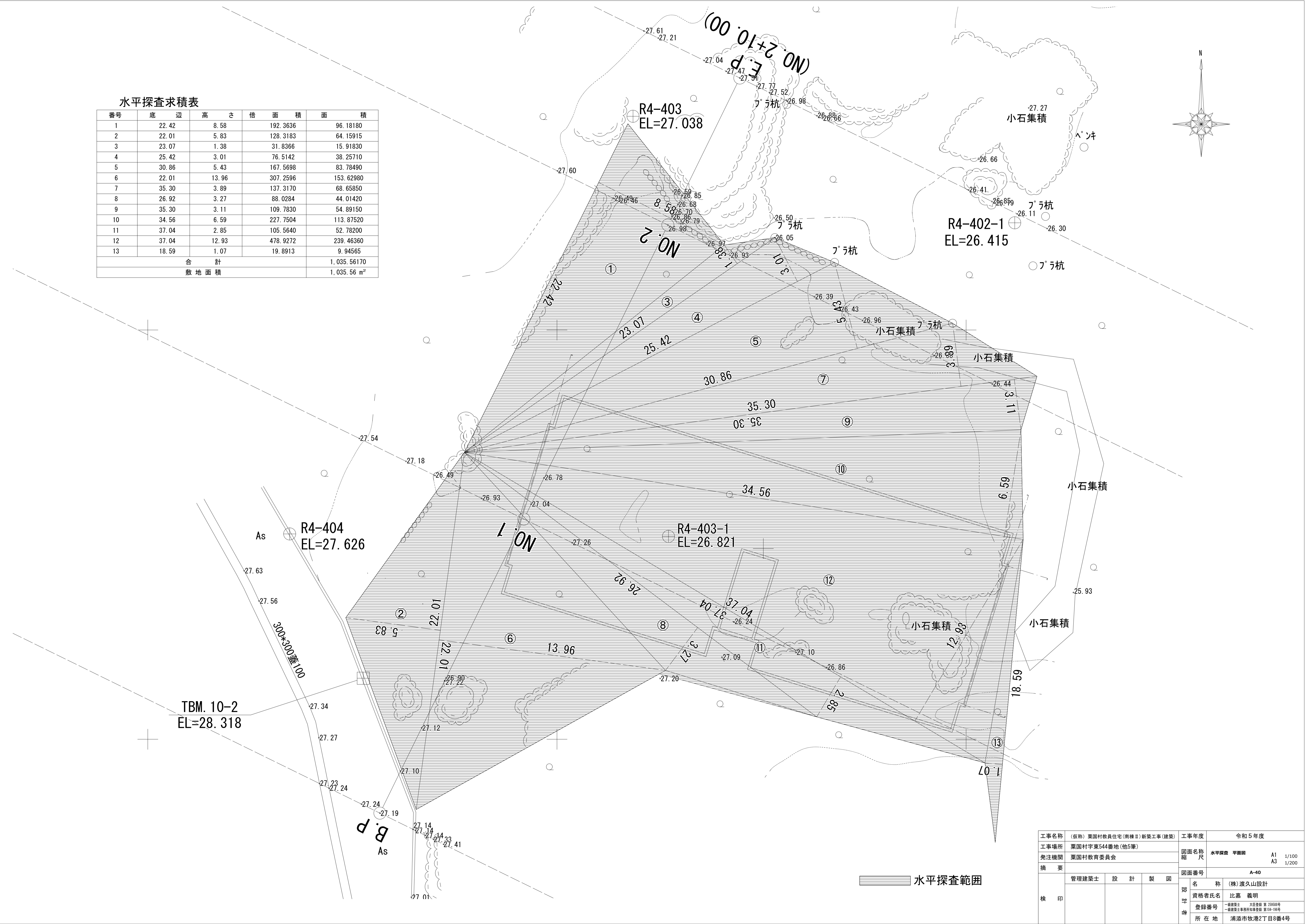
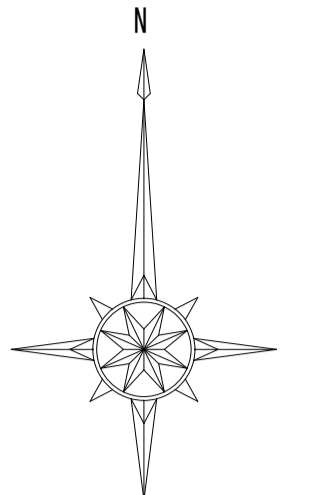


※現地盤ラインは「横断面No1」を基準として算出している。(別紙「磁気探査横断面」参照)

工事名称	(仮称) 栗国村教員住宅(南棟Ⅱ)新築工事(建築)	工事年度	令和5年度
工事場所	栗国村字東544番地(他5筆)	図面名称	磁気探査 詳細図
発注機関	栗国村教育委員会	縮尺	A1 1/100 A3 1/200
摘要		図面番号	A-39
検印	管理建築士	設計	製図
	名称	(株) 渡久山設計	
	資格者氏名	比嘉 義明	
	登録番号	一般建築士 大宮事務所 第 25938号 一般建築士事務所 第 104-194号	
	所在地	浦添市牧港2丁目8番4号	

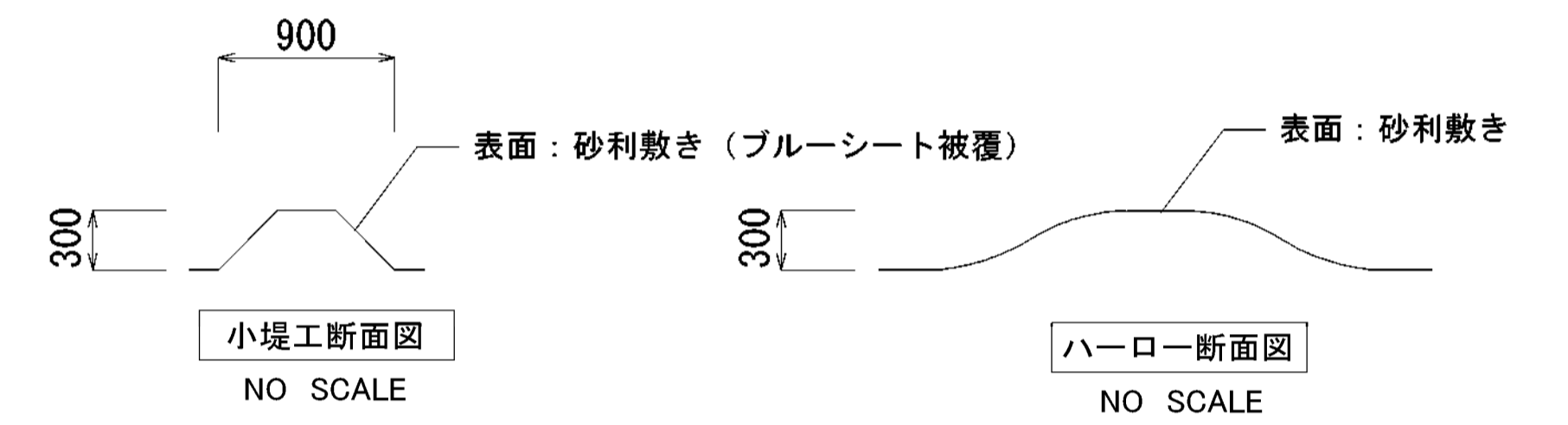
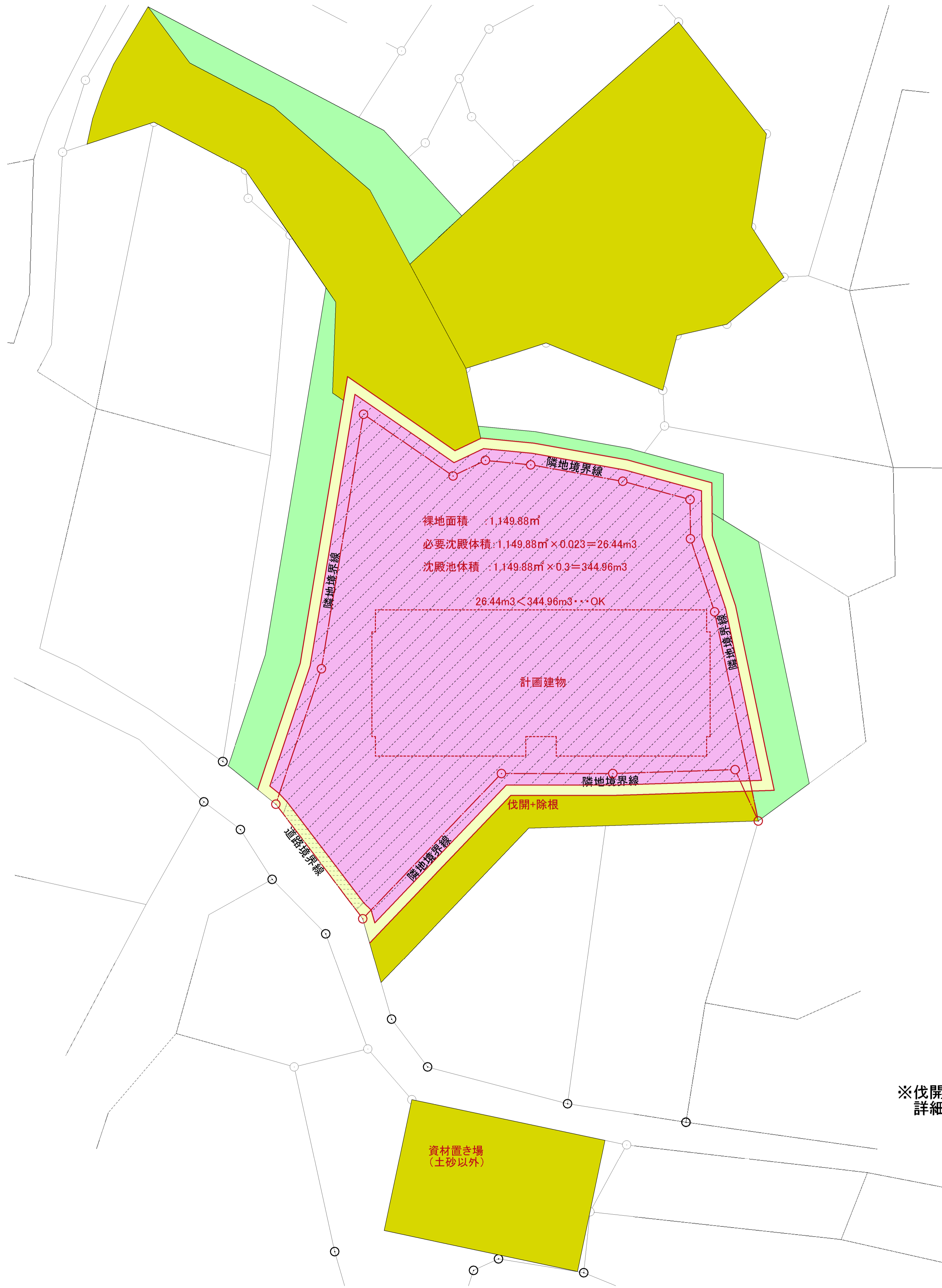
水平探査求積表

番号	底辺	高さ	倍面積	面積
1	22.42	8.58	192.3636	96.18180
2	22.01	5.83	128.3183	64.15915
3	23.07	1.38	31.8366	15.91830
4	25.42	3.01	76.5142	38.25710
5	30.86	5.43	167.5698	83.78490
6	22.01	13.96	307.2596	153.62980
7	35.30	3.89	137.3170	68.65850
8	26.92	3.27	88.0284	44.01420
9	35.30	3.11	109.7830	54.89150
10	34.56	6.59	227.7504	113.87520
11	37.04	2.85	105.5640	52.78200
12	37.04	12.93	478.9272	239.46360
13	18.59	1.07	19.8913	9.94565
合計				1,035.56170
敷地面積				1,035.56 m ²



工事名称	(仮称) 栗国村教員住宅(南棟II)新築工事(建築)	工事年度	令和5年度
工事場所	栗国村字東544番地(他5筆)	図面名称	水平探査 平面図
発注機関	栗国村教育委員会	縮尺	A1 1/100 A3 1/200
摘要	図面番号 A-40		
検印	管理建築士	設計	製図
	名称	(株) 渡久山設計	
	資格者氏名	比嘉 義明	
	登録番号	一級建築士 大宮 義明 第 25938号 一級建築士事務所 比嘉 義明 第 104-194号	
所在地	浦添市牧港2丁目8番4号		

水平探査範囲



《凡例》

- : 計画敷地(今回工事範囲)
- : アスファルト舗装
- : 砂利敷設(表土保全)
- : コンクリート
- : 伐開(除根無し)
- : 計画建物
- : 裸地
- : 植栽帯
- : 小堤工(砂利敷) h=300
- : 擁壁
- : ハーロー(車両出入口) (砂利敷) h=300
- : 沈殿池

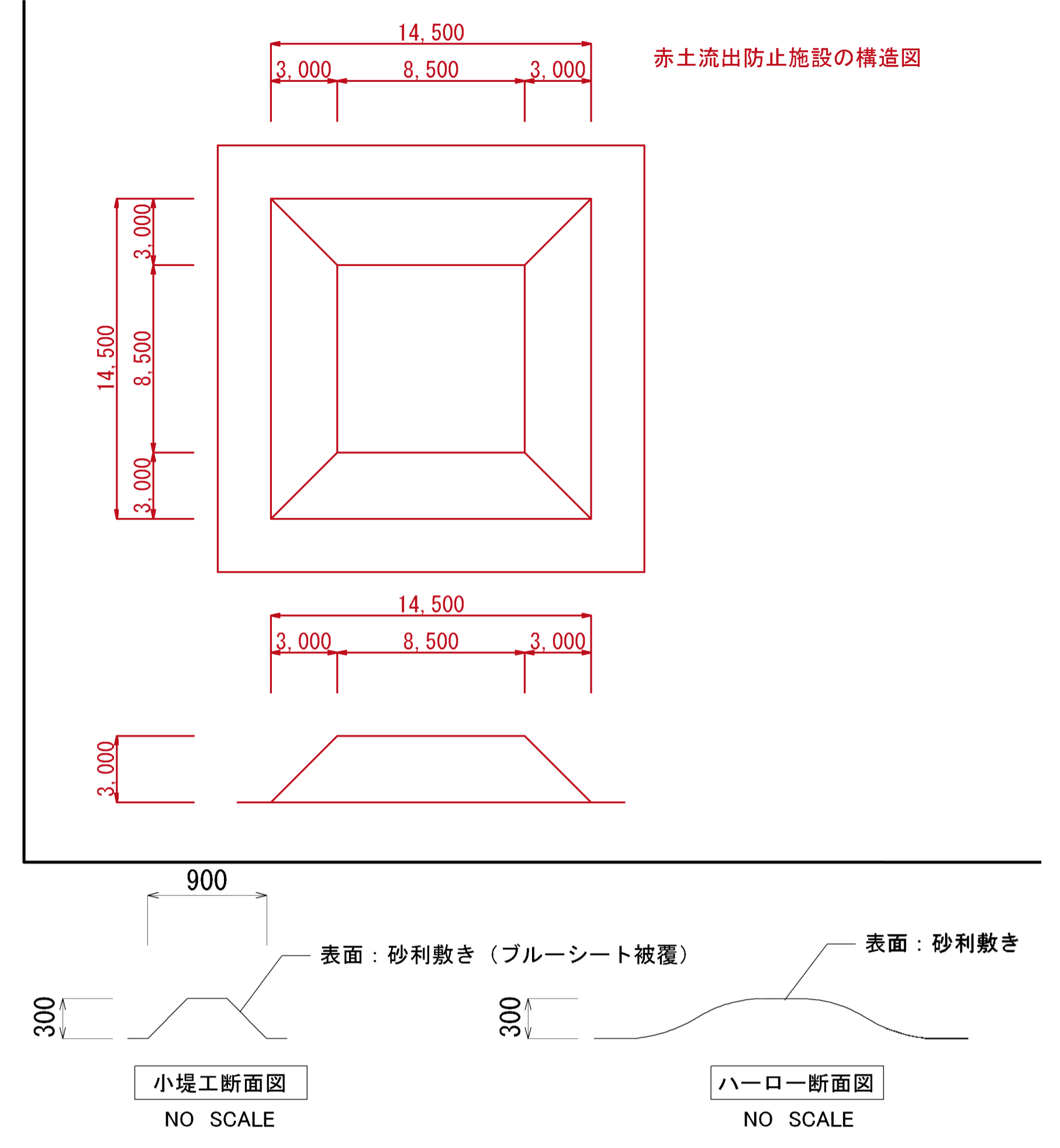
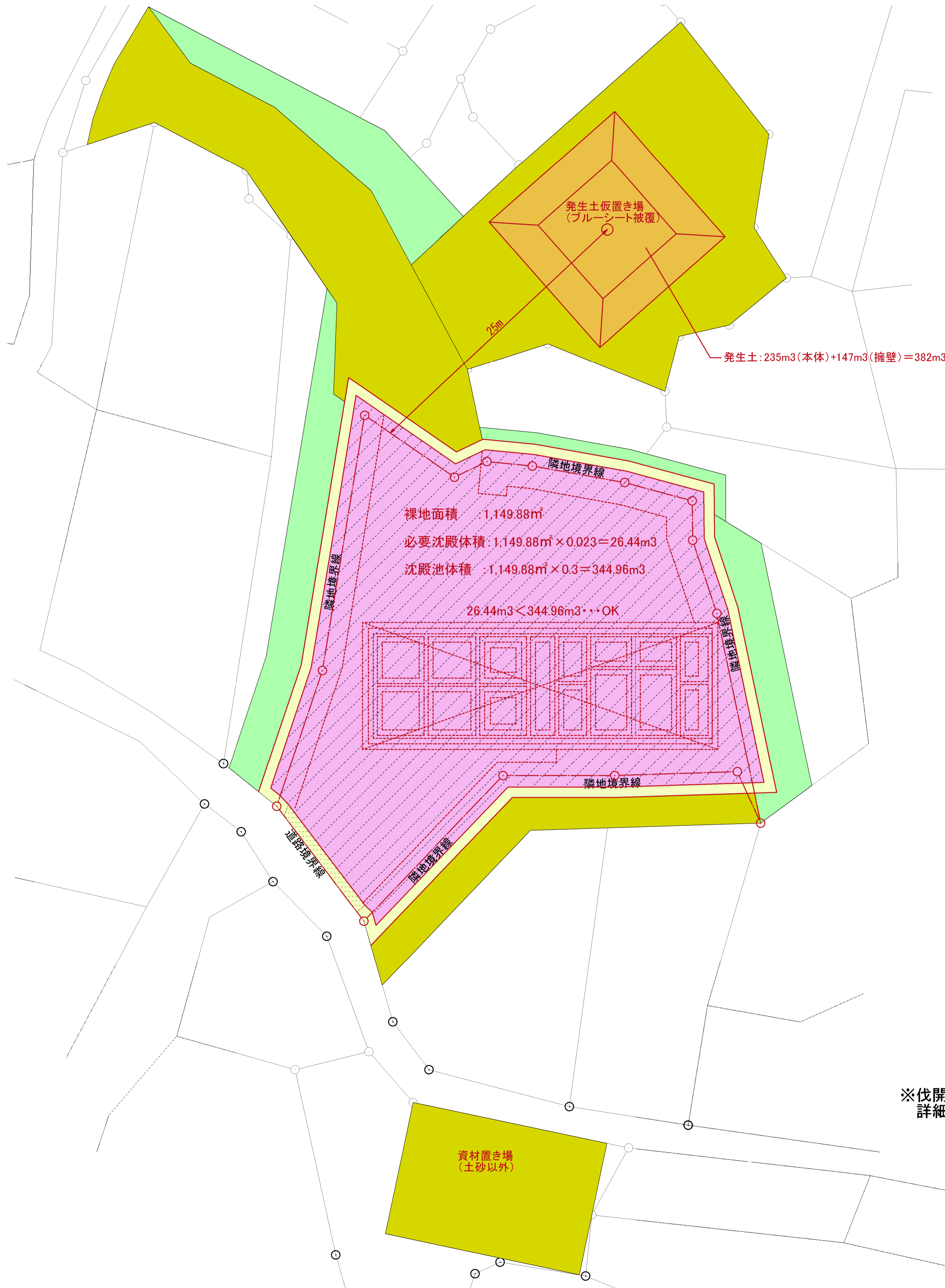
事業現場面積: 2,858.61㎡
 裸地面積: 1,149.88㎡
 表土保全面積: 1,708.73㎡

工事期間: 延月 0月 ~ 1月	
切盛面積(裸地面積)	1,149.88㎡
表土保護面積	1,708.73㎡

現状樹木伐採工事、その後整地及び磁気探査工事において敷地境界線に小堤工を設ける。小堤工によって敷地内からの土は流出しない。敷地全体を沈殿池とみなす。除根範囲は砂利敷設により表面保護を行う。
 本体工事工程上、部分的に裸地状態になる場合はブルーシート等で養生する。

※伐開・除根・盛土・クラッシャー敷きについての詳細は図番C-12、C-13を参照。

工事名称	(仮称) 栗国村教員住宅(南棟Ⅱ)新築工事(建築)	工事年度	令和5年度
工事場所	栗国村字東544番地(他5筆)	図面名称	表土対策図(1)
発注機関	栗国村教育委員会	縮尺	A1 1/100 - 20 A3 1/200 - 40
摘要	管理建築士 設計 製図	図面番号	A-41
検印	名称	(株) 渡久山設計	
	資格者氏名	比嘉 義明	
	登録番号	一級建築士 本登録第 25938号 一級建築士事務所登録第 104-194号	
	所在地	浦添市牧港2丁目8番4号	



《凡例》

- : 計画敷地(今回工事範囲)
- : 砂利敷設(表土保全)
- : 伐開(除根無し)
- : 裸地
- : 小堤工(砂利敷) h=300
- : ハーロー(車両出入口)
(砂利敷) h=300
- : 沈殿池
- : アスファルト舗装
- : コンクリート
- : 計画建物
- : 植栽帯
- : 擁壁

事業現場面積: 2,858.61m²
 裸地面積 : 1,149.88m²
 表土保全面積: 1,708.73m²

※伐開・除根・盛土・クラッシャー敷きについての
 詳細は図番C-12、C-13を参照。

工事期間: 延月 1月~4月	
切盛面積(裸地面積)	1,149.88m ²
表土保護面積	1,708.73m ²
本体基礎、擁壁工事のため掘削(根切り)を行う。 掘削した掘込みと敷地境界線上に設けた小堤工内で沈殿池とする。 小堤工によって敷地内からの赤土は流出しない。 敷地全体を沈殿池とみなす。 発生土仮置き場も小堤工を設け赤土流失防止を行う。	
本体工事工程上、部分的に裸地状態になる場合はブルーシート等で養生する。	

工事名称	(仮称) 栗園村教員住宅(南棟II)新築工事(建築)	工事年度	令和5年度
工事場所	栗園村字東544番地(他5筆)	図面名称	赤土対策図(2)
発注機関	栗園村教育委員会	縮尺	A1 1/100 - 20 A3 1/200 - 40
摘要	管理建築士 設 計 製 図	図面番号	A-42
検 印	名 称	(株) 渡久山設計	
	資格者氏名	比 嘉 義 明	
	登録番号	一級建築士 本登録 第 25938号 一級建築士事務所建築士登録 第104-194号	
	所在地	浦添市牧港2丁目8番4号	

